

設 計 書

工事名称 松戸市立東部小学校エレベーター設置工事

工事場所 松戸市高塚新田382番地の1

工 期 自 令和 年 月 日
至 令和 9年 12月 24日

設計年月日 令和 8年 10月 日

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考

[illegible]

増築					
名 称		数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
土工		1	式		
地業		1	式		
鉄筋		1	式		
コンクリート		1	式		
型枠		1	式		
鉄骨		1	式		
既製コンクリート		1	式		
防水		1	式		
木		1	式		
屋根及びとい		1	式		
金属		1	式		
左官		1	式		
建具		1	式		
塗装		1	式		
内外装		1	式		
ユニット及びその他		1	式		
計					

増築					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	既製杭地業	1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨	本体鉄骨	1	式		
鉄骨	付帯鉄骨等	1	式		
鉄骨	耐火被覆	1	式		
計					
既製コンクリート	外部	1	式		
既製コンクリート	内部	1	式		
計					

増築					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
木	内部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	内部	1	式		
計					

[illegible]

備考

式

1

式

計

改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
外部改修	撤去	1	式		
外部改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処理	積み込み・運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		

增築

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

増築		鉄骨		本体鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(鋼材)						
角形鋼管	BCR295□-250x250x9	4.2	t			
H形鋼 (広幅系)	SN400BH-125x125x6.5x9	0.2	t			
H形鋼 (細幅系)	SN400BH-300x150x6.5x9	2.3	t			
H形鋼 (細幅系)	SN400BH-250x125x6x9	0.2	t			
H形鋼 (細幅系)	SN400BH-200x100x5.5x8	0.1	t			
鋼板	SN490CPL-16	0.5	t			
鋼板	SN400BPL-16	0.1	t			
鋼板	SN400BPL-12	0.02	t			
鋼板	SN400BPL-9	0.6	t			
鋼板	SN400BPL-6	0.2	t			
高力ボルト (材料)	トルシア型(S10T) 径 M16 長 55	766	本			
高力ボルト (材料)	トルシア型(S10T) 径 M16 長 50	50	本			
高力ボルト (材料)	トルシア型(S10T) 径 M16 長 45	304	本			
高力ボルト (材料)	普通型(F10T) 径 M16 長 50	32	本			
高力ボルト (材料)	普通型(F10T) 径 M16 長 45	9	本			
スクラップ 控除		▲1	式			別紙 00-0017
(加工組立建方)						
鉄骨工場製作費 (手間・副資材共)	S造 既製JFM 工場溶接共	7.8	t			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り	鉄鋼面 工程B種 鉛・クロムワリ-さび止め 素地C種	7.8	t			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

改修		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(コンクリート)						
外壁、パワースト壁 普通コンクリート	千葉北部地区 21N/mm2 スラブ 18cm	2.6	m3			
強度補正值 (普通コンクリート) (材料)	6N/mm2 千葉北部地区 21N/mm2 スラブ 18cm)	2.6	m3			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0030
コンクリートポンプ圧送		1	式			別紙 00-0031
(型枠)						
型枠 (複合合板)	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 標準階高	10.9	m			
型枠 (複合合板)	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 標準階高	23.7	m			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	1	式			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	23.7	m			
(鉄筋)						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.04	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.01	t			
鉄筋加工組立	改修用	0.05	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	1	式			
あと施工アンカー	D10 下向き	15	本			
あと施工アンカー	D13 下向き	10	本			
あと施工アンカー	D13 横向き	26	本			
あと施工アンカー	D13 上向き	10	本			
打込式差筋アンカー	D10 下向き	4	本			

改修		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
打込式差筋アンカー	D10 横向き	8	本			
打込式差筋アンカー	D10 上向き	4	本			
(躯体その他)						
無収縮珪砂圧入 (材工共)	(試験費共)	0.2	m ³			
無収縮モルタル注 入用型枠 (シー グ共 (外壁)	両面鋼製	6.6	m			
外壁高圧水洗い (手間・損料共)	12MPa(120kg/cm ²)	17.3	m ²			
外壁 防錆塗装	鉄筋切断面 (ハ [°] ラ [°] ット研り面)	0.4	m ²			
外壁 下地調整	珪砂補修程度 (ハ [°] ラ [°] ット研り面)	0.4	m ²			
外壁 複層塗材 E	既存面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整共	17.7	m ²			
外壁 複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費共	8	m ²			
(屋上)						
新設RC天端 コンクリート金ごて	仕上 W175	2.9	m			
屋上笠木 ウレタン塗膜防水	密着工法X-2 糸幅300程度	2.9	m			
(その他)						
新設RC～既存RC 取合シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10 (内部側含む)	54.8	m			
新設RC～既存笠木 取合シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 25×20	2.9	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カー)	径100	9.9	m			
計						

[illegible]

改修		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(アルミ製建具)						
AD1 引違い戸(連動式)	W1800×H2500 ｶﾊﾞｰ-工法	1	か所			
小計						
(鋼製建具)						
SD2 防火引戸	W1050×H2100 遮煙・煙感知	1	か所			
小計						
(軽量鋼製建具)						
LSD1 ﾊﾝｶﾞｰ-片引戸	W1020×H2000	1	か所			
小計						
(シャッター)						
SS1(1F) 電動式防煙重量 シャッター	W3740×H2460 ｶﾊﾞｰ-工法 特定防火設備(煙感知)	1	か所			
SS1(2F) 電動式防煙重量 シャッター	W3740×H2520 ｶﾊﾞｰ-工法 特定防火設備(煙感知)	1	か所			
SS1(3F) 電動式防煙重量 シャッター	W3740×H2540 ｶﾊﾞｰ-工法 特定防火設備(煙感知)	1	か所			
SS2 電動式防煙重量 シャッター	W2325×H2570 ｶﾊﾞｰ-工法 特定防火設備(煙感知)	3	か所			
SS3 電動式シートシャッター	W1810×H2140 特定防火設備(煙感知)	1	か所			
SS4 電動式シートシャッター	W1805×H2140 特定防火設備(煙感知)	2	か所			
SS5 電動式シートシャッター	W1540×H2440 特定防火設備(煙感知)	1	か所			
小計						
(その他)						
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ 清掃共	1.5	㎡			

[illegible]

改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床珪藻土撤去	集積共	12.8	m ²			
階段側桁ボルト珪藻土撤去	W100程度 集積共	2.3	m			
床フローリング撤去	集積共	8.2	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	0.7	m ²			
タイルカーペット撤去	集積共	2	m ²			
KAD1下部 コンクリート研り	W200x135	1.8	m			
(壁)						
ビニル幅木撤去	一般 集積共	1.6	m			
巾木珪藻土撤去	H100 集積共	2.7	m			
壁珪藻土撤去	集積共	16	m ²			
壁合板撤去	一重張り 一般 集積共	4.3	m ²			
壁石膏ボード撤去	一重張り 一般 集積共	4.5	m ²			
壁クロス撤去	集積共	2.4	m ²			
間仕切 軽鉄下地撤去	集積共	3.8	m ²			
(天井)						
天井石膏ボード撤去	一重張り 一般 集積共	78.9	m ²			
天井 軽鉄下地撤去	集積共	72.2	m ²			
天井 木製下地撤去	集積共	4.9	m ²			
(その他)						

改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
WD 沓摺撤去	ステンレス埋込レール	1.8	m			
沓摺 シーリング 撤去	集積共	1.8	m			
床 パッキン材撤去	集積共	1	m			
シャッターBOX 隙間塞ぎ珐珐撤去	W30xH50 集積共	10.6	m			
シャッターBOX シーリング 撤去	集積共	7	m			
天井 幕板撤去	木製 H120xt20 集積共	3.7	m			
AW下枠 額縁撤去	木製 45x25+80x25 L型 荷物掛けフック共 集積共	11.3	m			
AW上枠 額縁撤去	木製 35x20+90x20 L型 集積共	11.3	m			
KAP1 縦枠撤去	木製 100x40+50x20 集積共	5	m			
階段 手摺撤去	手摺:木製 45x120 手摺子:スチール製 H920 φ13@130 集積共	2.5	m			
階段(2F) 壁付手摺撤去	ビニール製φ34 L200 集積共	1	か所			
廊下(1F外部) 鋼製スロープ 撤去	W900xD900 縞鋼板	1	か所			
廊下(3F) 救助袋撤去	W880xD500xH1300	1	か所			
天井点検口撤去	集積共	11	か所			
カッター入れ	珐珐外面 厚さ20～30mm	70.7	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	3.7	m			
計						

改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床珪藻土塗り	金ゴテ フローリング下地 厚35	12.3	m ²			
床珪藻土塗り	金ゴテ ビニル系床材下地 厚48	1.1	m ²			
床 フローリングブロック	300x300xt15 グナ 塗装品 直張り用	12.3	m ²			
ビニル床シート	t2	0.1	m ²			
硬質塩化 ビニル床シート	t2.0 防汚性	0.5	m ²			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフパイル 一般事務室用	1.4	m ²			
床 下地調整	既存面・張物下地	0.9	m ²			
AD1下部(外部側) 珪藻土金ゴテ	仕上 W30	1.8	m ²			
(壁)						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	7	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	24.8	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	1.8	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	2	か所			
壁 珪藻土金ゴテ	塗装下地 t20	1.7	m ²			
壁 下地調整	既存面 勾下下地	1.7	m ²			
ビニル幅木	高さ60	1.3	m			
ビニル幅木	高さ100	24.5	m			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	9.7	m ²			
壁 強化せっこう ボード張り(GB-F)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	43.6	m ²			

改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁 強化せっこう ボード張り(GB-F)	厚21.0 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-F 厚21.0共	3.4	m			
壁 ビニルクロス	RC面	1.7	m			
壁 ビニルクロス	ボード面	7.4	m			
耐火壁四周処理		85.5	m			
(天井)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	72.9	m			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	7.7	m			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボード等切込み共	16	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 200×1250mm程度 ボード等切込み共	5	か所			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H215	4.3	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300	12.1	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H370	2	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H670	3.8	m			
天井 複層塗材E	RC面 下地調整共(既存面)	4.3	m			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライーチン 突付け	74.7	m			
天井 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 目透かし	7.7	m			
下り壁 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライーチン 突付け	4.6	m			
下り壁 強化石膏ボード 張り(GB-F)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	3.3	m			
天井廻縁	塩化ビニル製	110	m			
下り壁見切縁	アルミ製	22.2	m			

改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(その他)						
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	16	か所			
床 取合シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	1.8	m			
シャッターBOX 取合シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×20	5.4	m			
シャッターBOX 取合シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	1.5	m			
シャッターBOX 取合シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	7	m			
SSカイトレール 取合シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	7.3	m			
SSカイトレール 取合シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 10×10	15	m			
SSカイトレール 取合シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10	46	m			
床 パッキン材	20x10	1	m			
廊下 幕板	杉 90x25 手揚げフック共(φ120)	11.6	m			
SS3 鉄骨下地補強	柱:□-100x100x3.2 H2950 梁:□-100x100x3.2 L1900x2本 柱脚BPL・アンカー、梁受けアングル共	1	か所			
SS4 鉄骨下地補強	柱:□-100x100x3.2 H3100 梁:□-100x100x3.2 L1835x2本 柱脚BPL・アンカー、梁受けアングル共	2	か所			
SS5 鉄骨下地補強	柱:□-100x100x3.2 H3210 梁:□-100x100x3.2 L1800x2本 柱脚BPL・アンカー、梁受けアングル共	1	か所			
廊下(3F) 救助袋	格納箱共	1	か所			
廊下(3F) 衝突防止ミラー	W480xH247	1	か所			
階段 壁付手摺	φ34 端部加へ新設	1	か所			
廊下(2・3F) 床配管撤去跡 防水モルタル補修	φ75	2	か所			
倉庫 スチールロッカー	W1800xD600xH1800 移設・再設置	1	か所			
廊下(1F) 校歌板	W2730xH1460 取外し・再取付け	1	か所			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

改修		外部改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(土工)						
すきとり	積み込み共 H300程度	0.4	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	0.1	m ³			
敷きならし	締め固め共	0.3	m ³			
(地業)						
砂利地業	再生クランチャ	0.2	m ³			
(コンクリート)						
水洗い場 土間コンクリート	千葉北部地区 21N/mm ² スラブ [°] 18cm	0.2	m ³			
ｽｰﾌﾟ、立上り 土間コンクリート	千葉北部地区 21N/mm ² スラブ [°] 18cm	0.6	m ³			
コンクリート打設手間	土間 人力打設 - S15～S18 - -	0.8	m ³			
(型枠)						
型枠（複合合板）	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 標準階高	0.8	m ²			
型枠（複合合板）	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 標準階高	1.9	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	1	式			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	1.9	m ²			
渡り廊下土間 目地棒	20x10	4	m			
(鉄筋)						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.01	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.02	t			
鉄筋加工組立	改修用	0.03	t			

改修		外部改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	1	式			
溶接金網敷	径6.0 100×100	5.6	m			
あと施工アンカー	D10 下向き	29	本			
鉄筋溶接	D13	20	か所			
(屋根)						
渡り廊下屋根 折版	亜鉛メッキ鋼板t0.6 山高90 1/2"式	8.6	m			
渡り廊下屋根 軒樋	塩ビ製 前高130 取外し・再取付	3.8	m			
(床)						
土間小口 防錆塗装	鉄筋切断面	0.2	m			
洗い場床 珪藻土金ごて	仕上 t30-35	0.7	m			
洗い場立上り 珪藻土金ごて	仕上	0.7	m			
洗い場笠木 珪藻土金ごて	仕上 W140xt20	4.2	m			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	5.6	m			
スロープ立上り天端 コンクリート金ごて	仕上 W175	5.2	m			
(その他)						
渡り廊下土間 床目地シーリング	一般部 ポリサルファイト系(PS-2) 20×10	4	m			
渡り廊下スロープ 手摺	アルミ製 L1622.5xH700～750 手摺:φ34.5x2段、支柱:φ75	2	か所			
計						

[illegible]

[illegible]

増築 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	小規模	19.2	m			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	小規模 S造 地上階	33.4	m			
墨出し	小規模 RC・SRC造 吹き抜け(柱・梁等有り)	24.2	m			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	小規模 S造 地上階	33.4	m			
養生	小規模 S造 吹き抜け(柱・梁等有り)	24.2	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	小規模 S造 地上階	33.4	m			
整理清掃 後片付け	小規模 S造 吹き抜け(柱・梁等有り)	24.2	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

増築						
コンクリート				躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0014
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 - -	1.3	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	16.9	m3			
コンクリート打設手間	1F立上り 人力打設 - S15～S18 - -	0.5	m3			
コンクリート打設手間	S造スラブ ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	5.7	m3			
計						
ポンプ圧送		1	式			別紙 00-0015
コンクリートポンプ圧送	基本料金別途	22.6	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	3	回			
計						
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0016
強度補正值 (普通コンクリート) (材料)	3N/mm2 千葉北部地区 24N/mm2 スラブ 18cm)	16.9	m3			
強度補正值 (普通コンクリート) (材料)	3N/mm2 千葉北部地区 24N/mm2 スラブ 18cm)	0.5	m3			
強度補正值 (普通コンクリート) (材料)	3N/mm2 千葉北部地区 21N/mm2 スラブ 18cm)	5.7	m3			
計						

[illegible]

[illegible]

改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0021
墨出し(内部改修)	個別改修	38.2	m			
墨出し(内部改修)	複合改修	131	m			
計						
養生		1	式			別紙 00-0022
養生(外壁改修)		10.8	m			
養生(内部改修)	個別改修	38.2	m			
養生(内部改修)	複合改修	131	m			
養生(内部改修)	搬出入路部分	752	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0023
整理清掃後片付け(外壁改修)		10.8	m			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	38.2	m			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	131	m			
整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分	707	m			
計						

改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0024
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 存置30日	92.7	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置30日	9	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 存置50日	55.7	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 存置50日	53.4	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置50日	10.8	m			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0025
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	233	m ²			
計						
仮設間仕切		1	式			別紙 00-0026
仮設間仕切り	B種 LGS下地+PB9.5(片面)	312	m ²			
仮設扉	木製片開き 合板張り程度	17	か所			
計						
開口養生	外壁開口部	1	式			別紙 00-0027
壁養生(外壁側)	LGS下地65形+耐水PB12.5+アールシート	29.6	m ²			
計						

改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
災害防止		1	式			別紙 00-0028
ネット養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 存置30日	102	m			
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災ホ°レスル 存置30日	5.4	m			
ネット養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類 存置50日	86.1	m			
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災ホ°レスル 存置50日	10.8	m			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0029
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	148	m			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	53.4	m			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	19.8	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	3階建	233	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		188	m			
仮設材運搬 (小幡ネット)		16.2	m			
仮設材運搬 (仮設間仕切り)	C種	312	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ラッパレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)		1	式			別紙 00-0035
ラッパレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り ハンドレタ付き 賃料 標準	10	日			
計						
移設関連		1	式			別紙 00-0036
朝礼台	移設	1	か所			
バスケットゴール	移設	2	か所			
鉄棒	一部取り外し・再取付け (L1750×12本)	1	か所			
計						
化学物質測定費	ホルムアルデヒド等6品目	1	式			別紙 00-0037
化学物質測定費	ホルムアルデヒド等6品目	2	か所			
計						
土質調査費	28品目 溶出	1	式			別紙 00-0038
土壌分析費 溶出試験28項目 含有試験 2項目 計	結果証明書共 試料採取持込共	1	式			

現場説明書

1. 工事名称 松戸市立東部小学校エレベーター設置工事
2. 工事場所 松戸市高塚新田382番地の1
3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 関係官公署への届出は、契約後速やかに行うこと。
- ・ 騒音、振動が発生する作業を行う場合は、事前に学校関係者と十分協議し作業を行うこと。
- ・ 関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
- ・ 別途発注の機械設備工事、電気設備工事が行われるため、工程、仮設計画等の調整を密に行うこと。

<仮設について>

- ・ 別途発注の機械設備工事、電気設備工事のほか、令和9年3月頃契約予定の下水道接続工事が行われ、校庭が手狭となるため、敷き鉄板、仮囲い等外部仮設物は共用で使用する。
- ・ 児童、職員及び施設利用者の安全や動線の確保がされるように仮設を計画し、安全管理を十分に行うこと。
- ・ 材料搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。

<工程について>

- ・ ①-5棟階段室の防火シャッター改修を春休み期間中に予定していることから製作期間を考慮し、契約後すみやかに施工計画書及び施工図等を提出し、承諾を得ること。
- ・ コンクリート壁解体等、特に騒音、振動が大きい作業を伴う際は、授業に影響の無い様、土曜日等の休校に工程を組むこと。
- ・ 工事の日程等は、施設管理者および関係者に事前に周知を図ること。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、通期の週休2日に取り組むことを指定する週休2日工事（発注者指定方式）である。
- ・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格には通期の4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。

検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。

松戸市立東部小学校エレベーター設置工事

図面リスト					
図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
A-00	表紙・図面リスト	A-36	EV棟 1階平面詳細図	A-72	昇降機設備図-2
A-01	建築工事特記仕様書(1)	A-37	EV棟 2・3階平面詳細図	A-73	昇降機設備図-3
A-02	建築工事特記仕様書(2)	A-38	EV棟 RF階平面詳細図	A-74	昇降機設備図-4
A-03	建築工事特記仕様書(3)	A-39	EV棟 展開図	A-75	昇降機設備図-5
A-04	建築工事特記仕様書(4)	A-40	改修前 1階廊下・倉庫 平面詳細図 展開図 断面図	A-76	[1期]アスベスト除去 1階内部仮設計画図 (案)
A-05	改修工事特記仕様書(1)	A-41	改修後 1階廊下・倉庫 平面詳細図 展開図 断面図	A-77	[1期]アスベスト除去 2階内部仮設計画図 (案)
A-06	改修工事特記仕様書(2)	A-42	改修前 2階廊下・階段室・校長室 平面詳細図 展開図 断面図	A-78	[2期]アスベスト除去 1階内部仮設計画図 (案)
A-07	改修工事特記仕様書(3)	A-43	改修後 2階廊下・階段室・校長室 平面詳細図 展開図 断面図	A-79	[2期]アスベスト除去 2階内部仮設計画図 (案)
A-08	改修工事特記仕様書(4)	A-44	改修前 3階廊下・階段室 平面詳細図 展開図 断面図	A-80	[1期] 1階内部仮設計画図 (案)
A-09	改修工事特記仕様書(5)	A-45	改修後 3階廊下・階段室 平面詳細図 展開図 断面図	A-81	[1期] 2階内部仮設計画図 (案)
A-10	改修工事特記仕様書(6)	A-46	①-2棟 階段室・廊下 平面詳細図・展開図	A-82	[1期] 3階内部仮設計画図 (案)
A-11	改修工事特記仕様書(7)	A-47	①-2棟 廊下・渡廊下 平面詳細図・立面図・断面図	A-83	[2期] 1階内部仮設計画図 (案)
A-12	改修工事特記仕様書(8)	A-48	①-5棟 階段室・廊下 平面詳細図・展開図・断面図	A-84	[2期] 2階内部仮設計画図 (案)
A-13	案内図・配置図	A-49	改修前 1階天井伏図	A-85	[2期] 3階内部仮設計画図 (案)
A-14	仕上表	A-50	改修後 1階天井伏図	A-86	外部仮設計画図(案)
A-15	敷地求積図・求積表-1	A-51	改修前 2階天井伏図		
A-16	敷地求積図・求積表-2	A-52	改修後 2階天井伏図		
A-17	建物求積図・求積表-1	A-53	改修前 3階天井伏図		
A-18	建物求積図・求積表-2	A-54	改修後 3階天井伏図		
A-19	建物求積図・求積表-3	A-55	改修前 1階建具キープラン	S-001	構造関係特記仕様書 (1)
A-20	改修前 1階平面図	A-56	改修後 1階建具キープラン	S-002	構造関係特記仕様書 (2)
A-21	改修後 1階平面図	A-57	改修前 2階建具キープラン	S-003	構造関係特記仕様書 (3)
A-22	改修前 2階平面図	A-58	改修後 2階建具キープラン	S-004	構造関係共通事項 (その1)
A-23	改修後 2階平面図	A-59	改修前 3階建具キープラン	S-005	構造関係共通事項 (その2)
A-24	改修前 3階平面図	A-60	改修後 3階建具キープラン	S-006	構造関係共通事項 (その3)
A-25	改修後 3階平面図	A-61	改修前 建具表	S-007	構造関係共通事項 (その4)
A-26	改修前 RF階平面図	A-62	改修後 建具表	S-008	構造関係共通事項 (その5)
A-27	改修後 RF階平面図	A-63	①-2棟 渡廊下スロープ 平面詳細図・詳細図	S-009	ハイベースNE0工法設計施工標準図 (その1)
A-28	撤去 立面図	A-64	①-2棟 渡廊下屋根伏図・詳細図	S-010	ハイベースNE0工法設計施工標準図 (その2)
A-29	EV棟 立面図	A-65	建具詳細図-1	S-011	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準図
A-30	EV棟 断面図	A-66	建具詳細図-2	S-012	スクリーパイルEAZET設計施工標準
A-31	撤去 矩計図	A-67	建具詳細図-3	S-101	梁伏図・軸組図
A-32	EV棟 矩計図	A-68	雑詳細図-1	S-102	杭・基礎リスト
A-33	①-1棟階段室矩計図-1	A-69	雑詳細図-2	S-103	柱・基礎梁・スラブ・鉄骨部材リスト
A-34	①-1棟階段室矩計図-2	A-70	EV棟 Exp. j詳細図	S-104	鉄骨詳細図
A-35	①-2棟階段室矩計図	A-71	昇降機設備図-1		

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	表紙タイトル		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1 : 1	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

[illegible]

① 見本の製作等

・特殊な建具の取組（建具符号： ）
（表16. 1. 3）

② アルミ製建具

外部に面する建具
（表16. 2. 2）（表16. 2. 4）（表16. 2. 1）

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	※図示	施工箇所
○A種	S-4	※A-3	※W-4	※70、100	※図示	-
-B種	S-5	-	-	-	※図示	-
-住宅用	S-3	A-4	W-4	100	※図示	-

表面処理 ※B-1種・B-2種（「ブラウ」系・「ブラク」・「ステッカー」）
（表14. 2. 1）

屋内建具
表面処理 ※C-1種又はB-1種
・C-2種又はB-2種（「ブラウ」系・「ブラク」・「ステッカー」）
（表14. 2. 1）

3 網戸

防虫網
網の種類 ※「ス」繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製・「フ」ネット
形 式 ※外部可動式・固定式・内開き式・「フ」リツ式
（表16. 2. 3）

④ 鋼製建具

簡易気密型「A」種の適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸 →適用あり
（表16. 3. 2）（表16. 3. 1）

5 鋼製軽量建具

簡易気密型「A」種の適用は建具表による
※カド「A」（LSD-1）小松ワーク工業㈱同等品
（表16. 4. 2）

6 ステン製建具

簡易気密型「A」種の適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ ※HL程度・鏡面仕上げ ・2B仕上げ
曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（補強あり）
特定防火設備の戸 →適用あり
（表16. 5. 4）
（表16. 5. 5）
（表16. 5. 1）

7 自動ドア開閉装置

開閉方法		セツの種類
※「S」タイプ「D」	・「M」スイッチ	・電子「M」スイッチ
・「S」タイプ「D」	・光線スイッチ	・音波スイッチ
	・熱線スイッチ	・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

品質規格 ※標仕16. 9. 11による
※カムスライダー 文化シャッター同等品
（表16. 9. 2'3）

8 自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※標仕16. 9. 11による
※カムスライダー 文化シャッター同等品
（表16. 9. 2'3）

9 木製建具

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）
ふすまの上張り
※新鳥の子又は「ビ」紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
（表16. 6. 2）
（表16. 6. 3）
（表16. 6. 2）

⑩ 建具用金物

ビス・ナット ※製作する ・製作しない
建具用金物 （表16. 7. 4）
（表16. 3. 6）（表16. 4. 6）
錠類は「リ」が「箱錠（ハ「ハ」）」とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける
（表16. 7. 2）
吊金物
・「丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）」
・「ピン」
（表16. 7. 2）

⑪ ガラス

※建具表による
ガラスの仕様 標準16. 13. 51による
（表16. 13. 2）
（表16. 13. 5）
表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 防火性能
・正方形 ・ ・ ※リテ ※無し
・長方形 ・ ・ ・ ・
（表16. 13. 2）

⑫ ガラス留め材及び溝

ガラス留め材
（表16. 13. 2）（表9. 6. 1）
建具の種類 材 種
アルミ合金製 ※「シリ」材・「ガ」ネット（FIX部は「シリ」材）
鋼製及び鋼製軽量 ※「シリ」材
ステンレス製 ※「シリ」材
防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づき防火性能を有するものとする。
（表16. 13. 3）
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
標準16. 13. 3 以外のガラス留め材は建築基準法に基づき防火性能を有するものとする。
JASS 17が「ガラス工事3. 1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を
監督職員に提出する
（表16. 13. 3）

13 ガラス用フィルム

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り・外張り	飛散防止率 DI

品質 JIS A 5759による
（表16. 13. 2）

14 重量シャッター

シャッターの種類	一般重量シャッター	耐火重量シャッター
一般重量シャッター	耐風圧性能()N/m ²	耐風圧性能()N/m ²
外壁用防火シャッター	耐風圧性能()N/m ²	耐風圧性能()N/m ²
屋内用防火シャッター	耐風圧性能()N/m ²	耐風圧性能()N/m ²
屋内用防煙シャッター	耐風圧性能()N/m ²	耐風圧性能()N/m ²

開閉機能 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式
（表16. 10. 2）（表16. 10. 1）
危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない
危害防止設置工事 Sガード（サンユウタイム㈱同等品）
（表16. 10. 2）

15 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用）
（表16. 11. 2）（表16. 11. 1）
素材 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板・鋼板 ・ステンレス
形状 ※「タ」ロキ「ン」形 オ「バ」ラ「ビ」ン「グ」形
（表16. 11. 4）
（表16. 11. 2）
耐風圧性能 () N/m²
（表16. 12. 2'3）

16 オ「バ」ヘッドドア

セッション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・「ス」タイプ	※「パ」ランス式	・「ス」タイプ	・「ス」タイプ
・「タ」タイプ	・「チェ」式	・「ロ」タイプ	・「ロ」タイプ
・「フ」タイプ	・「エ」式	・「ハ」タイプ	・「ハ」タイプ

耐風圧性能 (1000) N/m²
開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用）
シート 材質 樹脂コーティング耐熱「タ」タイプ (0. 7mm)
ガイドレール・マグサ 材質 ※ステンレス・スチール
座板 材質 ※ステンレス・スチール
（表16. 12. 2'3）

17 シードシャッター

開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用）
シート 材質 樹脂コーティング耐熱「タ」タイプ (0. 7mm)
ガイドレール・マグサ 材質 ※ステンレス・スチール
座板 材質 ※ステンレス・スチール
（表16. 12. 2'3）

⑬ 塗装工事

① 材料
（表18. 1. 3）
② 素地ごしらえ
（表18. 1. 3）
③ 錆止め塗料塗り
（表18. 1. 3）
④ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）
（表18. 1. 3）
5 クリアコート塗り（OL）
（表18. 1. 3）
6 クリア樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）
（表18. 1. 3）
7 耐候性塗料塗り（DP）
（表18. 1. 3）
⑧ 付着有合成樹脂エポキシペイント塗り（EP-D）（GEP）
（表18. 1. 3）
9 合成樹脂エポキシペイント塗り（EP）（AEP）
（表18. 1. 3）
10 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り（EP-T）
（表18. 10. 1）
11 クリア樹脂ガラス塗り（UC）
（表18. 11. 1）（表18. 11. 2）
12 ラッカーニス塗り（LE）
（表18. 12. 1）（表18. 12. 2）
13 ナイロンニス塗り（OS）
（表18. 13. 1）（表18. 13. 2）
14 木材保護塗装塗り（WP）
（表18. 14. 1）（表18. 14. 2）
15 特殊塗料塗り
（表18. 15. 1）
16 木部内部塗装（WS）
（表18. 16. 1）
17 床用塗料塗り
（表18. 17. 1）
18 防塵用塗料塗り
（表18. 18. 1）

⑭ 内装工事

屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量：※☆☆☆☆☆
※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは防火材料とする。
（表18. 1. 3）
素地
種別
・木部 ※A種（不透明塗料塗り）
・鉄鋼面 ※A種・B種・C種
・垂れめっき鋼面 ※A種・B種・C種
・コンクリート及びALCパネル面 ※A種・B種
・コンクリート及び押出成形セメント板面 ※A種・B種
・せっこうボード及びその他のボード面 ※A種（継目処理）※B種（その他）
a 塗装種類
・鉄鋼面 ※A種（屋外）※B種（屋内）
・垂れめっき鋼面 ※A種・B種
b 錆止めの塗料塗り
・鉄鋼面 ※A種（見掛け）※B種（見隠れ）
・垂れめっき鋼面 ※A種（鋼製建具）※B種（その他）※C種（その他）
c 錆止めの塗料塗り
・鉄鋼面 ※A種（見掛け）※B種（見隠れ）
・垂れめっき鋼面 ※A種（鋼製建具）※B種（その他）※C種（その他）
d 錆止めの塗料塗り
・鉄鋼面 ※A種（見掛け）※B種（見隠れ）
・垂れめっき鋼面 ※A種（鋼製建具）※B種（その他）※C種（その他）
e 錆止めの塗料塗り
・鉄鋼面 ※A種（見掛け）※B種（見隠れ）
・垂れめっき鋼面 ※A種（鋼製建具）※B種（その他）※C種（その他）
f 錆止めの塗料塗り
・鉄鋼

20 コンクリート及び鉄骨工事	1 フリーファーフ	<table><tr><td colspan="6">(20.2.2)</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>構 法</td><td>仕上り高 (mm)</td><td>適用地震時 水平力</td><td>耐荷重性能</td><td>表面仕上げ材</td><td>備 考</td></tr><tr><td></td><td>・バ ンド構法 ・溝構法</td><td>50</td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3.000N ・5.000N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルベア</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・バ ンド構法 ・溝構法</td><td></td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3.000N ・5.000N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルベア</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・バ ンド構法 ・溝構法</td><td></td><td>・1.0G ・0.6G</td><td>・3.000N ・5.000N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルベア</td><td></td></tr></table> <p>5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーファーフの開発」の建設技術評価において評価を取得したものと又は同等品とする。 ※共同リサーチワークーフ7400</p> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による A0-7 及び B-7-1 ※製造所の標準仕様 図示 コンクリートの取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンクリート本体は別途設備工事) コンクリートの箇所数は図示 配線用取り出しバ ンド 配線取り出し開口バ ンド1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーファーフ全体面積に対する設置割合 ※20~30%</p> <p>空調用吹き出しバ ンド ※無し ・有り(※固定式 ・可変式 ;施工箇所は図示)</p>	(20.2.2)						施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考		・バ ンド構法 ・溝構法	50	・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルベア			・バ ンド構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルベア			・バ ンド構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルベア		
	(20.2.2)																																				
	施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考																														
		・バ ンド構法 ・溝構法	50	・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルベア																															
		・バ ンド構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルベア																															
		・バ ンド構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルベア																															
	2 可動間仕切	<table><tr><td colspan="6">(20.2.3)</td></tr><tr><td>構造形式</td><td>バ ンド部の 総厚さ(mm)</td><td>表面材種 厚さ(mm)</td><td>表面仕上げ</td><td>遮音性能</td><td>防火性能</td></tr><tr><td>・スラット式 ・スラットバ ンド式 ・バ ンド式</td><td>・</td><td>※銅板 (※0.6・0.8)</td><td>※アミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け</td><td>・あり () ・なし</td><td>・あり () ・なし</td></tr></table>	(20.2.3)						構造形式	バ ンド部の 総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能	・スラット式 ・スラットバ ンド式 ・バ ンド式	・	※銅板 (※0.6・0.8)	※アミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり () ・なし	・あり () ・なし																	
	(20.2.3)																																				
	構造形式	バ ンド部の 総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能																															
	・スラット式 ・スラットバ ンド式 ・バ ンド式	・	※銅板 (※0.6・0.8)	※アミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり () ・なし	・あり () ・なし																															
	3 移動間仕切	<table><tr><td colspan="6">(20.2.4)</td></tr><tr><td>遮音性能</td><td>厚さ(mm)</td><td>表面材</td><td>表面仕上げ</td><td>操作方法</td><td></td></tr><tr><td>一般タイプ</td><td>50</td><td>・銅板</td><td>・焼付塗装 ・壁紙張り</td><td>・手動式 ・電動式</td><td></td></tr><tr><td>・遮音タイプ (36db以上)</td><td>85</td><td>※銅板</td><td>・焼付塗装 ・壁紙張り</td><td>・電動式 ・部分電動式</td><td></td></tr></table> <p>表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による 遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する ※ライトリウォール小松アール工業㈱同等品</p>	(20.2.4)						遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法		一般タイプ	50	・銅板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式		・遮音タイプ (36db以上)	85	※銅板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・電動式 ・部分電動式												
	(20.2.4)																																				
	遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法																																
	一般タイプ	50	・銅板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式																																
	・遮音タイプ (36db以上)	85	※銅板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・電動式 ・部分電動式																																
4 トイレノース	<p>表面仕上げ材 (20.2.5)</p> <p>※メラミン樹脂系化粧板t40 ・バ ンド系樹脂系化粧板</p> <p>足形状 ※幅木型・足金物型</p>																																				
5 階段滑止め	<p>材 種 ・スチルスUS304 ・7本ミニム 37mm巾コ ートファクトタイプ</p> <p>形 状 ビ ンド付入り</p> <p>面端フラットエンド ※有り(・スチルス製 ※ビ ンド製) ・無し</p> <p>幅(mm) 約35</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法</p>	(20.2.6)																																			
6 階段手すり	<table><tr><td>種 別</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>・メー ル集成材 クレタクリ</td><td></td></tr><tr><td>・樹脂製ハンドレール(34φ) ・スチルバ ンド 32φ SGP塗</td><td></td></tr></table>	種 別	施工箇所	・メー ル集成材 クレタクリ		・樹脂製ハンドレール(34φ) ・スチルバ ンド 32φ SGP塗																															
種 別	施工箇所																																				
・メー ル集成材 クレタクリ																																					
・樹脂製ハンドレール(34φ) ・スチルバ ンド 32φ SGP塗																																					
7 黒板及びホワイトボード	<table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>色 彩</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・黒板</td><td>※焼付け 図示</td><td>※緑・黒 ※緑・黒</td><td>※平面(後) ・半曲面(前)・スクリーン付引分</td></tr><tr><td>・ホワイトボード</td><td>※ほうろう 図示</td><td>※白</td><td>※平面・曲面・スクリーン付引分</td></tr></table>	種 類	寸法(mm)	色 彩	備 考	・黒板	※焼付け 図示	※緑・黒 ※緑・黒	※平面(後) ・半曲面(前)・スクリーン付引分	・ホワイトボード	※ほうろう 図示	※白	※平面・曲面・スクリーン付引分	(20.2.8)																							
種 類	寸法(mm)	色 彩	備 考																																		
・黒板	※焼付け 図示	※緑・黒 ※緑・黒	※平面(後) ・半曲面(前)・スクリーン付引分																																		
・ホワイトボード	※ほうろう 図示	※白	※平面・曲面・スクリーン付引分																																		
8 鏡	<p>寸法(mm) 図示 ・</p> <p>厚さ(mm) ※5 ・</p>	(20.2.9)																																			
9 表示標識	<p>衝突防止表示</p> <p>※図示(市販品 ※スチルス製 径約30mm ・カテナゲシート貼り(ヤシ工事)) (・両面・片面) ・無し</p> <p>表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による 誘導標識、非常用進出口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。</p>	(20.2.10)																																			
10 煙突用成形材(タング)	<p>・煙突用成形材(タング) 材</p> <p>最高使用温度 ※650℃ ・400℃</p> <p>・タング耐火材</p> <p>工 法 ※こて押さえ</p> <p>最高使用温度 ※400℃</p>	(20.2.11)																																			
11 ブラインド	<table><tr><td>形 式</td><td>種 類</td><td>スラットの材質</td><td>スラットの幅(mm)</td></tr><tr><td>※横型 ※バ ンダ式 ・コード式 ・操作棒式</td><td>・コード式 ・バ ンダ式</td><td>※7本ミニム合金製 ・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・縦型 ・1本操作コード ・2本操作コード</td><td>・7本ミニム ・7本ミニム</td><td></td><td>・80 ・100</td></tr></table>	形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型 ※バ ンダ式 ・コード式 ・操作棒式	・コード式 ・バ ンダ式	※7本ミニム合金製 ・	※25	・縦型 ・1本操作コード ・2本操作コード	・7本ミニム ・7本ミニム		・80 ・100	(20.2.12)																							
形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)																																		
※横型 ※バ ンダ式 ・コード式 ・操作棒式	・コード式 ・バ ンダ式	※7本ミニム合金製 ・	※25																																		
・縦型 ・1本操作コード ・2本操作コード	・7本ミニム ・7本ミニム		・80 ・100																																		
12 ロータリー	<p>防火性能 ※有り</p> <table><tr><td>施工箇所</td><td>装 置</td><td>備 考</td></tr><tr><td></td><td>電動 手引</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	施工箇所	装 置	備 考		電動 手引			・	・		・	・		・	・	(20.2.13)																				
施工箇所	装 置	備 考																																			
	電動 手引																																				
	・	・																																			
	・	・																																			
	・	・																																			
13 カーテン	<table><tr><td>施工箇所</td><td>形 式</td><td>装 置</td><td>ひだの種類</td><td>性 能</td><td>備 考</td></tr><tr><td></td><td>引引</td><td>電動 ひも引 手引</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考		引引	電動 ひも引 手引					・	・	・	・	・		・	・	・	・	・		・	・	・	・	・	(20.2.14)					
施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考																																
	引引	電動 ひも引 手引																																			
	・	・	・	・	・																																
	・	・	・	・	・																																
	・	・	・	・	・																																
14 カーテンレール	<p>材 種 ※7本ミニム製(シングルタイプ) ・スチルス製(ダブルタイプ)</p> <p>形 式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)</p>	(20.2.14)																																			
15 ブラインド、タング及びカーテンボックス	<p>・市販品(7本ミニム製 押出し型材)</p> <p>溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・</p> <p>色彩 ※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック・スチルス)</p> <p>図示による (カーテン、ブラインドは別途工事とする)。</p>																																				

16 耐震リット	<table><tr><td>方 向</td><td>タイプ</td><td>耐火性能</td><td>防水性能</td></tr><tr><td>・垂直方向 ・水平方向</td><td>※完全(全貫通型)リット</td><td>・耐火型 ・非耐火型</td><td>・有り ・無し</td></tr></table> <table><tr><td>目 地</td><td>内壁(幅×深さ)</td><td>外壁(幅×深さ)</td></tr><tr><td>目地材</td><td>シーリング材(見え掛かりのみ)</td><td>シーリング材(内外とも)</td></tr><tr><td>目地寸法(mm)</td><td>※20×10 ・</td><td>※20×10 ・</td></tr></table>	方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)リット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	目 地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)	目地寸法(mm)	※20×10 ・	※20×10 ・	17 止水板	<p>形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式</p> <p>寸 法 t5.0(発泡止水剤)・200×6(ペントナイト系)</p> <p>製造所</p>	18 天井点検口	<p>材 質 7本ミニム製(※額縁タイプ ・目地タイプ)</p>	19 床点検口	<p>材 質 7本ミニム製(受け枠 ※7本ミニム製 ・スチルス製)</p>	20 鋼製書架及び物品棚	<table><tr><td>種 類</td><td>規格等</td><td>耐荷重による種類</td></tr><tr><td>・鋼製書架</td><td>JIS S 1039の規格による</td><td>水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ</td></tr><tr><td>・鋼製物品棚</td><td>JIS S 1040の規格による</td><td>※1種・2種・3種</td></tr></table>	種 類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ	・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種・2種・3種	21 かざ箱	<p>市販品</p> <p>形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・</p>	22 くつふきマット	<p>市販品</p> <p>材 質 ・塩化ビニル製(コイル状 スチルス製受枠) ・ビニル製(スチルス製受枠) ・硬質7本ミニム製(受枠とも) ・スチルス製(受枠とも)</p>	23 流しユニット	<table><tr><td>種 類</td><td>寸法(L=mm)</td><td>適用内容</td><td>規格・品質等</td></tr><tr><td></td><td>・1200 ・1500 ・1650</td><td></td><td>※優良住宅部品</td></tr><tr><td></td><td>※600 ・700 図示</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>※1200 ・1800 ・600</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>※1200 ・900</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・1200 ・1500 図示</td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等		・1200 ・1500 ・1650		※優良住宅部品		※600 ・700 図示				※1200 ・1800 ・600				※1200 ・900				・1200 ・1500 図示			24 屋内掲示板	<p>枠の材質 ※7本ミニム製</p> <p>表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・</p>	25 洗面前タナ	<p>材 種 ・アミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石</p> <p>奥行き(mm) 約450 ・約600 図示</p> <p>マフ ライトML607レン TOTOT同等品</p>	26 防煙垂れ壁	<p>・固定式</p> <table><tr><td>材 質</td><td>厚さ(mm)</td><td>高さ(mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス</td><td>※6.8 ・</td><td>※500 ・</td><td>7本ミニム製枠付き</td></tr></table> <p>・可動式</p> <table><tr><td>種 類</td><td>材 質</td><td>高さ(mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・垂直降下式 (巻取り型)</td><td>※不燃布 (不燃認定品)</td><td>※500 ・800 ・</td><td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td></tr><tr><td>・回転降下式</td><td>銅板製又は7本ミニム製</td><td>※500 ・800 ・</td><td>表面仕上げ ※天井材張り</td></tr></table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手动開放装置(埋込型)</p>	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	7本ミニム製枠付き	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	銅板製又は7本ミニム製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り	27 視覚障害者用床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	<p>ブロックタイルはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする</p> <p>屋 内 ※塩化ビニル製(各階EVホール) ・点字紙</p> <p>屋 外 ※磁器質製 無ゆう ・点字紙</p>	(19.2.2)	28 旗竿	<p>材 質 ※7本ミニム合金製</p> <p>形 式 ※テーパー型・同一断面型</p> <p>地上高さ(m) ・4・6・8・10・12</p> <p>操作方法 ※ハンドル式・ロープ式</p> <p>固定方法 ・埋込式 ・バネ式 ・バンド式</p> <p>製造所</p>	29 旗竿受金物	<p>材 種 スチルス製SUS304</p>	30 フェンス	<p>・ビニル被覆鉄パイプフェンス</p> <p>・樹脂塗装鉄パイプフェンス</p>	31 屋外掲示板	<p>照明器具 ※有り ・無し</p> <p>施 錠 ※有り ・無し</p> <p>製造所</p>	32 車止め支柱	<p>※スチルス製(上下式鎮内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm</p> <p>※スチルス付 ・スチルス付 無し</p> <p>・</p>	33 収納家具	<p>材質 ※図示</p> <p>形状・寸法 ※図示</p> <p>組立方法 ビドの放散量 ※規制対象外 ・第三種</p>	34 エクスパンション ジョイント金物	<p>材質 ○() (屋根+外壁、外壁+コーナ、天井+天井、内壁+内壁) ・スチルス(床+床)</p> <p>クリップス ・50 ・100・150 図示</p> <p>耐火性能 ○有り() ・無し</p> <p>防水型 ※適用する ・適用しない</p> <p>メーカー・ベン・商会同等品</p>	35 建築物緑化	<p>屋上緑化システム 図</p> <p>・管理方法による区分 ・省管理型</p> <p>質量の上限値 () kg/m</p> <p>かん水装置 ・設ける(工事区分は図示)</p> <p>透水層、保水層及び排水層等</p> <p>保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能:240l/m²h以上</p> <p>耐荷重性能</p> <p>省管理型:3×10 N/m²以上の載荷重で異常のないこと。</p> <p>耐根腐の材料</p> <p>合成樹脂耐根腐シート(厚さ3mm以上)又は抗根性剤とする(耐根性能の実績を有すること)</p> <p>植込み用土 製造所の仕様による</p> <p>植栽の種類 製造所の指定するものとする</p> <p>・管理方法による区分 ・管理型</p>	36 甲板	<p>材質 アクリル樹脂シート(図示)</p>																																						
方 向	タイプ	耐火性能	防水性能																																																																																																																																																			
・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)リット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																																			
目 地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)																																																																																																																																																				
目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)																																																																																																																																																				
目地寸法(mm)	※20×10 ・	※20×10 ・																																																																																																																																																				
種 類	規格等	耐荷重による種類																																																																																																																																																				
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ																																																																																																																																																				
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種・2種・3種																																																																																																																																																				
種 類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等																																																																																																																																																			
	・1200 ・1500 ・1650		※優良住宅部品																																																																																																																																																			
	※600 ・700 図示																																																																																																																																																					
	※1200 ・1800 ・600																																																																																																																																																					
	※1200 ・900																																																																																																																																																					
	・1200 ・1500 図示																																																																																																																																																					
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																																																																																																																																			
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	7本ミニム製枠付き																																																																																																																																																			
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																																																																																																																																																			
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																																																																																																			
・回転降下式	銅板製又は7本ミニム製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り																																																																																																																																																			
37 大型成	<p>・7本ミニム製品(図示による)</p> <p>7本ミニムタイプ D=900</p> <p>アルミニウム底 AF-6同等品</p> <p>・7本ミニム製品(図示による)</p>	38 スロープ上屋		21 排水工事	<table><tr><td>排水管用材料</td><td>材 種</td><td>管の種類</td><td>(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)</td></tr><tr><td>※通心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外径圧管(※1種・2種)</td><td>管形状(接合方法)</td><td>8形(コ ート接合)</td></tr><tr><td>・硬質塩化ビニル管</td><td>※VP ・VU</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・排水用ポリ(オレフィン)硬質塩化ビニル管</td><td>・REP-VU</td><td>図</td><td></td></tr></table> <p>車道部の排水管の敷設 (21.3.1)(21.3.3)</p> <p>※図示</p> <p>・砂基礎(地床厚さ20cm以上 材料 山砂の類)</p>	排水管用材料	材 種	管の種類	(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)	※通心力鉄筋コンクリート管	※外径圧管(※1種・2種)	管形状(接合方法)	8形(コ ート接合)	・硬質塩化ビニル管	※VP ・VU			・排水用ポリ(オレフィン)硬質塩化ビニル管	・REP-VU	図		2 排水樹及びふた	<p>鉄鋼製マフ ンふた (21.2.2)</p> <table><tr><td>種 類</td><td>適用荷重</td></tr><tr><td>・水封形 ・簡易気密形(バ ンダ式) ・中ふた付密閉形</td><td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td></tr></table> <p>グレーチングふた (21.2.2)</p> <table><tr><td>材 質</td><td>形 式</td><td>種 類</td><td>適用荷重</td><td>バ ンダ・ビ ンダ</td><td>上面形状</td></tr><tr><td>・鋼製 ・スチルス製</td><td>※受枠付き ・バ ンダ固定 ・※有り ・図示</td><td>・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用</td><td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td><td>・普通目 ・細目</td><td>・凹凸形 ・凹凸形</td></tr></table>	種 類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(バ ンダ式) ・中ふた付密閉形	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	材 質	形 式	種 類	適用荷重	バ ンダ・ビ ンダ	上面形状	・鋼製 ・スチルス製	※受枠付き ・バ ンダ固定 ・※有り ・図示	・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・凹凸形 ・凹凸形	3 埋戻し土	<p>※A種 ・</p> <p>(21.2.3)(表3.2.1)</p>	4 浸透管及び浸透樹	<p>製造所</p>	22 舗装工事	<table><tr><td>1 盛り土に用いる材料</td><td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種</td><td>(22.2.3)(表3.2.1)</td></tr><tr><td>2 遮断層及び凍上抑制層の材料</td><td>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生グラウラン・グラウラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示</td><td>(22.2.2'3)</td></tr><tr><td>3 路床安定処理</td><td>※添加材料による安定処理 種類 ・普通バ ンダド セメント ・ファイブセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 3 kg/m³(目標CBR ※5以上)</td><td>(22.2.2'3)(表22.2.2)</td></tr><tr><td>4 路床土の支持力試験</td><td>※行う(※乱した土・乱さない土)</td><td>(22.2.5)</td></tr><tr><td>5 路床締固め度の試験</td><td>※行う</td><td>(22.2.5)</td></tr><tr><td>6 路盤材料</td><td>※再生グラウラン(RC-40) ・グラウラン(C-40)又はグラウラン(CS-40) ・透水性アスファルト舗装にもいる場合は透水性の高いもの</td><td>(22.3.3)</td></tr><tr><td>7 アスファルト舗装</td><td><table><tr><td>舗装の種類</td><td>車道部の基層</td><td>カー舗装の種類</td></tr><tr><td>※アスファルト舗装 ・カー舗装</td><td>※無し ・有り ※無し ・有り</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・</td></tr></table><p>カー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</p><p>アスファルト ※再生アスファルト ・スレートアスファルト</p><p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.3)(表22.4.4)(表22.4.6)</p><table><tr><td>区分</td><td>※一般地域</td><td>・寒冷地域</td></tr><tr><td>表層</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr><tr><td>基層</td><td>・粗粒度アスファルト混合物(20)</td><td></td></tr></table><p>シーコート ※行わない ・行う(施工範囲:) (22.4.5)</p><p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)</p><p>早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)</p><p>注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)</p><p>溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3'4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</p><p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6)(22.4.6)</p><p>アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2)</p><p>・改質アスファルトⅠ型 ※改質アスファルトⅡ型 (22.7.3)(表22.7.3)</p><p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)</p><table><tr><td>適用時期</td><td>種 類</td></tr><tr><td>下記以外</td><td>PKR-T1</td></tr><tr><td>冬季</td><td>PKR-T2</td></tr></table><p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)</p></td><td>11 ブロック系舗装</td><td><p>・コンクリート平板舗装 (22.8.2'3)</p><table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td>目地材</td></tr><tr><td>※普通平板(N) ・カー平板(O) ・洗出平板(W) ・掘石平板(S)</td><td>※300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>※砂 ・モルタル</td></tr></table><p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2'3)</p><table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>色彩及び表面加工等</td></tr><tr><td>※標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td><td>車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・ ※80 ・100</td><td>※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr></table></td></tr><tr><td>12 路面標示用塗料</td><td>JIS K 5665(路面標示用塗料)による</td><td>種類 施工 適用 色 幅(mm) 布厚さ(mm) 揮発性有機溶剤の含有率</td><td>・1種 図 常温 液状 ※白 ※150 ※1.0 塗料総質量に対して5%以下</td><td>23 植栽工事</td><td><table><tr><td>芝及び地被類</td><td>(23.2.2'3)(表23.2.1'2)</td></tr><tr><td>適用 有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法 整備範囲</td></tr><tr><td>※行う ・行わない ※20</td><td>※B種 ※植栽範囲 図示</td></tr></table><p>樹木 (23.2.2'3)(表23.2.1'2)</p><table><tr><td>樹木の樹高(m)</td><td>有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法 整備範囲</td></tr><tr><td>・12以上 ※100 ・</td><td>※A種</td><td>・葉張りの範囲</td></tr><tr><td>・7超~12未満 ※80 ・</td><td>・B種</td><td>ただし、低木は植栽範囲</td></tr><tr><td>・3超~7以下 ※60 ・</td><td>・C種</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td>・D種</td><td></td></tr></table><p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p><p>※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.2.3)</p><p>※適用する (23.2.3'4)</p><p>施工箇所 ※植栽範囲 図示</p><p>バ ンダたい肥</p><p>有機物の含有量(乾物) :70%以上</p><p>炭素窒素比(C/N比) :35以下</p><p>陽イオン交換容量(乾物) :70meq/100g以上</p><p>pH :5.5~7.5</p><p>水分 :55~65%</p><p>幼樹試験の結果</p><p>窒素全量(現物) :0.5%以上</p><p>りん酸全量(現物) :0.2%以上</p><p>加里全量(現物) :0.1%以上</p><p>発酵下水汚泥(コンポスト)</p><p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする</p><p>ひ素 :0.005%以下</p><p>カドミウム :0.0005%以下</p><p>水銀 :0.0002%以下</p><p>ニッケル :0.03%以下</p><p>クロム :0.05%以下</p><p>鉛 :0.01%以下</p><p>有機物の含有量(乾物) 炭素窒素比(C/N比)</p><p>pH :8.5以下</p><p>水分 :50%以下</p><p>窒素全量(現物) :0.8%以上</p><p>りん酸全量(現物) :1.0%以上</p><p>7日分(現物) :15%以下</p></td><td>4 支柱材</td><td><p>※杉の焼丸太(間伐材) 図 ・真竹 (23.3.2)</p></td><td>5 幹巻き用材料</td><td><p>※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p></td><td>6 芝張り</td><td><p>種類 ・こうらひ芝 ・野芝 :35%以上 :20以下 (23.4.2)</p><p>・ジャノヒゲ</p></td></tr><tr><td>工事名</td><td>松戸市立東部小学校エレベーター設置工事</td><td>図面名</td><td>建築工事特記仕様書(4)</td><td>作成年月日</td><td>令和8年3月13日</td><td>変更年月日</td><td>-</td><td>縮 尺</td><td>No Scale</td><td>図面番号</td><td>A-04</td><td>設 計</td><td>株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号</td><td>松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>	1 盛り土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	(22.2.3)(表3.2.1)	2 遮断層及び凍上抑制層の材料	・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生グラウラン・グラウラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示	(22.2.2'3)	3 路床安定処理	※添加材料による安定処理 種類 ・普通バ ンダド セメント ・ファイブセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 3 kg/m ³ (目標CBR ※5以上)	(22.2.2'3)(表22.2.2)	4 路床土の支持力試験	※行う(※乱した土・乱さない土)	(22.2.5)	5 路床締固め度の試験	※行う	(22.2.5)	6 路盤材料	※再生グラウラン(RC-40) ・グラウラン(C-40)又はグラウラン(CS-40) ・透水性アスファルト舗装にもいる場合は透水性の高いもの	(22.3.3)	7 アスファルト舗装	<table><tr><td>舗装の種類</td><td>車道部の基層</td><td>カー舗装の種類</td></tr><tr><td>※アスファルト舗装 ・カー舗装</td><td>※無し ・有り ※無し ・有り</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・</td></tr></table> <p>カー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・スレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.3)(表22.4.4)(表22.4.6)</p> <table><tr><td>区分</td><td>※一般地域</td><td>・寒冷地域</td></tr><tr><td>表層</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr><tr><td>基層</td><td>・粗粒度アスファルト混合物(20)</td><td></td></tr></table> <p>シーコート ※行わない ・行う(施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)</p> <p>早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)</p> <p>溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3'4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6)(22.4.6)</p> <p>アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2)</p> <p>・改質アスファルトⅠ型 ※改質アスファルトⅡ型 (22.7.3)(表22.7.3)</p> <p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)</p> <table><tr><td>適用時期</td><td>種 類</td></tr><tr><td>下記以外</td><td>PKR-T1</td></tr><tr><td>冬季</td><td>PKR-T2</td></tr></table> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)</p>	舗装の種類	車道部の基層	カー舗装の種類	※アスファルト舗装 ・カー舗装	※無し ・有り ※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・	区分	※一般地域	・寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)		適用時期	種 類	下記以外	PKR-T1	冬季	PKR-T2	11 ブロック系舗装	<p>・コンクリート平板舗装 (22.8.2'3)</p> <table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td>目地材</td></tr><tr><td>※普通平板(N) ・カー平板(O) ・洗出平板(W) ・掘石平板(S)</td><td>※300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>※砂 ・モルタル</td></tr></table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2'3)</p> <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>色彩及び表面加工等</td></tr><tr><td>※標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td><td>車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・ ※80 ・100</td><td>※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr></table>	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カー平板(O) ・洗出平板(W) ・掘石平板(S)	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・ ※80 ・100	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする	12 路面標示用塗料	JIS K 5665(路面標示用塗料)による	種類 施工 適用 色 幅(mm) 布厚さ(mm) 揮発性有機溶剤の含有率	・1種 図 常温 液状 ※白 ※150 ※1.0 塗料総質量に対して5%以下	23 植栽工事	<table><tr><td>芝及び地被類</td><td>(23.2.2'3)(表23.2.1'2)</td></tr><tr><td>適用 有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法 整備範囲</td></tr><tr><td>※行う ・行わない ※20</td><td>※B種 ※植栽範囲 図示</td></tr></table> <p>樹木 (23.2.2'3)(表23.2.1'2)</p> <table><tr><td>樹木の樹高(m)</td><td>有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法 整備範囲</td></tr><tr><td>・12以上 ※100 ・</td><td>※A種</td><td>・葉張りの範囲</td></tr><tr><td>・7超~12未満 ※80 ・</td><td>・B種</td><td>ただし、低木は植栽範囲</td></tr><tr><td>・3超~7以下 ※60 ・</td><td>・C種</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td>・D種</td><td></td></tr></table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3'4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 図示</p> <p>バ ンダたい肥</p> <p>有機物の含有量(乾物) :70%以上</p> <p>炭素窒素比(C/N比) :35以下</p> <p>陽イオン交換容量(乾物) :70meq/100g以上</p> <p>pH :5.5~7.5</p> <p>水分 :55~65%</p> <p>幼樹試験の結果</p> <p>窒素全量(現物) :0.5%以上</p> <p>りん酸全量(現物) :0.2%以上</p> <p>加里全量(現物) :0.1%以上</p> <p>発酵下水汚泥(コンポスト)</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする</p> <p>ひ素 :0.005%以下</p> <p>カドミウム :0.0005%以下</p> <p>水銀 :0.0002%以下</p> <p>ニッケル :0.03%以下</p> <p>クロム :0.05%以下</p> <p>鉛 :0.01%以下</p> <p>有機物の含有量(乾物) 炭素窒素比(C/N比)</p> <p>pH :8.5以下</p> <p>水分 :50%以下</p> <p>窒素全量(現物) :0.8%以上</p> <p>りん酸全量(現物) :1.0%以上</p> <p>7日分(現物) :15%以下</p>	芝及び地被類	(23.2.2'3)(表23.2.1'2)	適用 有効土層の厚さ(cm)	工 法 整備範囲	※行う ・行わない ※20	※B種 ※植栽範囲 図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法 整備範囲	・12以上 ※100 ・	※A種	・葉張りの範囲	・7超~12未満 ※80 ・	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3超~7以下 ※60 ・	・C種	図示	・	・D種		4 支柱材	<p>※杉の焼丸太(間伐材) 図 ・真竹 (23.3.2)</p>	5 幹巻き用材料	<p>※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p>	6 芝張り	<p>種類 ・こうらひ芝 ・野芝 :35%以上 :20以下 (23.4.2)</p> <p>・ジャノヒゲ</p>	工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事	図面名	建築工事特記仕様書(4)	作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-	縮 尺	No Scale	図面番号	A-04	設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号	松戸市 街づくり部 建築保全課
排水管用材料	材 種	管の種類	(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)																																																																																																																																																			
※通心力鉄筋コンクリート管	※外径圧管(※1種・2種)	管形状(接合方法)	8形(コ ート接合)																																																																																																																																																			
・硬質塩化ビニル管	※VP ・VU																																																																																																																																																					
・排水用ポリ(オレフィン)硬質塩化ビニル管	・REP-VU	図																																																																																																																																																				
種 類	適用荷重																																																																																																																																																					
・水封形 ・簡易気密形(バ ンダ式) ・中ふた付密閉形	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用																																																																																																																																																					
材 質	形 式	種 類	適用荷重	バ ンダ・ビ ンダ	上面形状																																																																																																																																																	
・鋼製 ・スチルス製	※受枠付き ・バ ンダ固定 ・※有り ・図示	・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・凹凸形 ・凹凸形																																																																																																																																																	
1 盛り土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	(22.2.3)(表3.2.1)																																																																																																																																																				
2 遮断層及び凍上抑制層の材料	・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生グラウラン・グラウラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示	(22.2.2'3)																																																																																																																																																				
3 路床安定処理	※添加材料による安定処理 種類 ・普通バ ンダド セメント ・ファイブセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 3 kg/m ³ (目標CBR ※5以上)	(22.2.2'3)(表22.2.2)																																																																																																																																																				
4 路床土の支持力試験	※行う(※乱した土・乱さない土)	(22.2.5)																																																																																																																																																				
5 路床締固め度の試験	※行う	(22.2.5)																																																																																																																																																				
6 路盤材料	※再生グラウラン(RC-40) ・グラウラン(C-40)又はグラウラン(CS-40) ・透水性アスファルト舗装にもいる場合は透水性の高いもの	(22.3.3)																																																																																																																																																				
7 アスファルト舗装	<table><tr><td>舗装の種類</td><td>車道部の基層</td><td>カー舗装の種類</td></tr><tr><td>※アスファルト舗装 ・カー舗装</td><td>※無し ・有り ※無し ・有り</td><td>※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・</td></tr></table> <p>カー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・スレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.3)(表22.4.4)(表22.4.6)</p> <table><tr><td>区分</td><td>※一般地域</td><td>・寒冷地域</td></tr><tr><td>表層</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr><tr><td>基層</td><td>・粗粒度アスファルト混合物(20)</td><td></td></tr></table> <p>シーコート ※行わない ・行う(施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)</p> <p>早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)</p> <p>溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3'4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6)(22.4.6)</p> <p>アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2)</p> <p>・改質アスファルトⅠ型 ※改質アスファルトⅡ型 (22.7.3)(表22.7.3)</p> <p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)</p> <table><tr><td>適用時期</td><td>種 類</td></tr><tr><td>下記以外</td><td>PKR-T1</td></tr><tr><td>冬季</td><td>PKR-T2</td></tr></table> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)</p>	舗装の種類	車道部の基層	カー舗装の種類	※アスファルト舗装 ・カー舗装	※無し ・有り ※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・	区分	※一般地域	・寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)		適用時期	種 類	下記以外	PKR-T1	冬季	PKR-T2	11 ブロック系舗装	<p>・コンクリート平板舗装 (22.8.2'3)</p> <table><tr><td>種 類</td><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td>目地材</td></tr><tr><td>※普通平板(N) ・カー平板(O) ・洗出平板(W) ・掘石平板(S)</td><td>※300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>※砂 ・モルタル</td></tr></table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2'3)</p> <table><tr><td>種 類</td><td>厚さ(mm)</td><td>色彩及び表面加工等</td></tr><tr><td>※標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td><td>車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・ ※80 ・100</td><td>※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする</td></tr></table>	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カー平板(O) ・洗出平板(W) ・掘石平板(S)	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・ ※80 ・100	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																
舗装の種類	車道部の基層	カー舗装の種類																																																																																																																																																				
※アスファルト舗装 ・カー舗装	※無し ・有り ※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・																																																																																																																																																				
区分	※一般地域	・寒冷地域																																																																																																																																																				
表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																																				
基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																																																																																																					
適用時期	種 類																																																																																																																																																					
下記以外	PKR-T1																																																																																																																																																					
冬季	PKR-T2																																																																																																																																																					
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																																																																																																			
※普通平板(N) ・カー平板(O) ・洗出平板(W) ・掘石平板(S)	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル																																																																																																																																																			
種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																																				
※標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・ ※80 ・100	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																																																				
12 路面標示用塗料	JIS K 5665(路面標示用塗料)による	種類 施工 適用 色 幅(mm) 布厚さ(mm) 揮発性有機溶剤の含有率	・1種 図 常温 液状 ※白 ※150 ※1.0 塗料総質量に対して5%以下	23 植栽工事	<table><tr><td>芝及び地被類</td><td>(23.2.2'3)(表23.2.1'2)</td></tr><tr><td>適用 有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法 整備範囲</td></tr><tr><td>※行う ・行わない ※20</td><td>※B種 ※植栽範囲 図示</td></tr></table> <p>樹木 (23.2.2'3)(表23.2.1'2)</p> <table><tr><td>樹木の樹高(m)</td><td>有効土層の厚さ(cm)</td><td>工 法 整備範囲</td></tr><tr><td>・12以上 ※100 ・</td><td>※A種</td><td>・葉張りの範囲</td></tr><tr><td>・7超~12未満 ※80 ・</td><td>・B種</td><td>ただし、低木は植栽範囲</td></tr><tr><td>・3超~7以下 ※60 ・</td><td>・C種</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td>・D種</td><td></td></tr></table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3'4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 図示</p> <p>バ ンダたい肥</p> <p>有機物の含有量(乾物) :70%以上</p> <p>炭素窒素比(C/N比) :35以下</p> <p>陽イオン交換容量(乾物) :70meq/100g以上</p> <p>pH :5.5~7.5</p> <p>水分 :55~65%</p> <p>幼樹試験の結果</p> <p>窒素全量(現物) :0.5%以上</p> <p>りん酸全量(現物) :0.2%以上</p> <p>加里全量(現物) :0.1%以上</p> <p>発酵下水汚泥(コンポスト)</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする</p> <p>ひ素 :0.005%以下</p> <p>カドミウム :0.0005%以下</p> <p>水銀 :0.0002%以下</p> <p>ニッケル :0.03%以下</p> <p>クロム :0.05%以下</p> <p>鉛 :0.01%以下</p> <p>有機物の含有量(乾物) 炭素窒素比(C/N比)</p> <p>pH :8.5以下</p> <p>水分 :50%以下</p> <p>窒素全量(現物) :0.8%以上</p> <p>りん酸全量(現物) :1.0%以上</p> <p>7日分(現物) :15%以下</p>	芝及び地被類	(23.2.2'3)(表23.2.1'2)	適用 有効土層の厚さ(cm)	工 法 整備範囲	※行う ・行わない ※20	※B種 ※植栽範囲 図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法 整備範囲	・12以上 ※100 ・	※A種	・葉張りの範囲	・7超~12未満 ※80 ・	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3超~7以下 ※60 ・	・C種	図示	・	・D種		4 支柱材	<p>※杉の焼丸太(間伐材) 図 ・真竹 (23.3.2)</p>	5 幹巻き用材料	<p>※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p>	6 芝張り	<p>種類 ・こうらひ芝 ・野芝 :35%以上 :20以下 (23.4.2)</p> <p>・ジャノヒゲ</p>																																																																																																																						
芝及び地被類	(23.2.2'3)(表23.2.1'2)																																																																																																																																																					
適用 有効土層の厚さ(cm)	工 法 整備範囲																																																																																																																																																					
※行う ・行わない ※20	※B種 ※植栽範囲 図示																																																																																																																																																					
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法 整備範囲																																																																																																																																																				
・12以上 ※100 ・	※A種	・葉張りの範囲																																																																																																																																																				
・7超~12未満 ※80 ・	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																																																																																																				
・3超~7以下 ※60 ・	・C種	図示																																																																																																																																																				
・	・D種																																																																																																																																																					
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事	図面名	建築工事特記仕様書(4)	作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-	縮 尺	No Scale	図面番号	A-04	設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号	松戸市 街づくり部 建築保全課																																																																																																																																								

[illegible]

5
建具の修繕工事

● 1 改修工法

●アルミニウム製建具

○樹脂製建具

○鋼製建具

○外部

○内部

●鋼製軽量建具

○ステンレス製建具

○木製建具

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

新規建具周囲の補修工法及び範囲

建具周囲のシーリング

○改修標準仕様書3章7節による

● 2 防火戸

防火戸の指定

●指定する（適用箇所）

●建具表による

○指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

●連動させる（●建具表による）

○連動しない

○ 3 見本の製作等

建具見本の製作

○行う（建具符号：）

○行わない

建具見本制作の目的等（）

○ 4 防犯建物部品

特殊な建具の仮組

○行う（建具符号：）

○行わない

○適用する（○建具表による）

○適用しない

● 5 アルミニウム製建具

性能値等

耐風圧性等級

○（建具符号：○建具表による）

気密性の等級

○（建具符号：○建具表による）

水密性の等級

○（建具符号：○建具表による）

外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
○A種	S-4	A-3	W-4	※図示
●B種	S-5			※図示
○C種	S-6	A-4	W-5	※図示

○防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

○断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

○枠の見込み寸法

○建具表による

○

耐震性能

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○耐震ドア

面内変形追随性の等級（OD-1：1/300 OD-2：1/120 OD-3：1/100）

（建具符号：○建具表による）

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度（KH）

※1.0

○

設計用鉛直震度（KV）

※0.5

○

（建具符号：○建具表による）

材料

アルミニウム材

改修標準仕様書5.2.3(1)による

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

○

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※HL

○

形状及び仕上げ

表面処理

外部に面する建具

種別（改修標準仕様書表5.2.2）

●BB-1

○BB-2（着色

○標準色

○特注色）

屋内の建具

種別（改修標準仕様書表5.2.2）

○BC-1

○BC-2（着色

○標準色

○特注色）

結露水の処理方法

○水貯め式

○排水式

工法

水切り板、ぜん板

※図示

○

○ 6 網戸等

種類	材種	線径	網目
○防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
	○ガラス繊維入り合成樹脂製	○	○
	○ステンレス（SUS316）製		
○防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

○ 7 樹脂製建具

性能値等

耐風圧性の等級

○（建具符号：○建具表による）

気密性の等級

○（建具符号：○建具表による）

水密性の等級

○（建具符号：○建具表による）

外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
○A種	S-4	A-4	W-4	※図示
○B種	S-5		W-5	※図示
○C種	S-6			※図示

○防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（OF-1 OF-2）

（建具符号：○建具表による）

○断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（CH-4 CH-5 CH-6 CH-7 CH-8）

（建具符号：○建具表による）

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

○

枠の見込み寸法

○建具表による

○

材料

樹脂形材

改修標準仕様書5.3.3(1)による

ガラス

※複層ガラス

○

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※HL

○

形状及び仕上げ

表面色

○標準色

○特注色

工法

水切り板、ぜん板

※図示

○

● 8 鋼製建具

性能値等

簡易気密型ドアセット

○適用する（建具符号：○建具表による）

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

OS-4（建具符号：○建具表による）

OS-5（建具符号：○建具表による）

OS-6（建具符号：○建具表による）

○防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

○断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

耐震性能

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○耐震ドア

面内変形追随性の等級（OD-1：1/300 OD-2：1/120 OD-3：1/100）

（建具符号：○建具表による）

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度（KH）

※1.0

○

設計用鉛直震度（KV）

※0.5

○

（建具符号：○建具表による）

材料

鋼板

改修標準仕様書5.4.3(1)による

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

○

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※HL

○

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

※改修標準仕様書表5.4.2による

○mm（使用箇所：）

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による

○

○ 9 鋼製軽量建具

性能値等

簡易気密型ドアセット

○適用する（建具符号：建具表による）

○適用しない

○防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

○断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

耐震性能

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○耐震ドア

面内変形追随性の等級（CD-1：1/300 CD-2：1/120 CD-3：1/100）

（建具符号：○建具表による）

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度（KH）

※1.0

○

設計用鉛直震度（KV）

※0.5

○

（建具符号：○建具表による）

材料

鋼板

●垂鉛めっき鋼板

○ビニル被覆鋼板

○カラー鋼板

○ステンレス鋼板

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

○

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※HL

○

召合せ、縦小包み板の材質

※鋼板

○ステンレス鋼板

○アルミニウム合金

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

※改修標準仕様書表5.5.1による

○mm（使用箇所：）

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による

○

○ 10 ステンレス製建具

性能値等

簡易気密型ドアセット

○適用する（建具符号：○建具表による）

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

OS-4（建具符号：○建具表による）

OS-5（建具符号：○建具表による）

OS-6（建具符号：○建具表による）

○防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

○断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（）

（建具符号：○建具表による）

耐震性能

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

○耐震ドア

面内変形追随性の等級（OD-1：1/300 OD-2：1/120 OD-3：1/100）

（建具符号：○建具表による）

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度（KH）

※1.0

○

設計用鉛直震度（KV）

※0.5

○

（建具符号：○建具表による）

材料

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

○

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※HL

○

形状及び仕上げ

表面仕上げ

※HL

○鏡面仕上げ

○

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※HL程度

○No.2B程度

工法

ステンレス鋼板の曲げ加工

※普通曲げ

○角出し曲げ

○ 11 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率

※A種

○

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

○フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等

※改修標準仕様書5.7.2(2)(i)(a)による

○

● 12 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等

※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による

○

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※改修標準仕様書表5.8.2による

○建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※改修標準仕様書表5.8.3による

○建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※改修標準仕様書表5.8.4による

○建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール

※改修標準仕様書表5.8.5による

○建具表による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置

○建具表による

○

錠前類

シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質性能、試験方法は別表による）

クローザ類（品質性能、試験方法は別表による）

● 13 鍵

マスターキー

○製作する

○製作しない

●既存のマスターキーに合わせる

その他の鍵の製作本数

※各室3本1組（室名札付き）

○

鍵箱

●無し

○有り

○ 14 自動ドア開閉装置

引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目

○建具表による

○

タッチスイッチの種類

○無線式タッチスイッチ

○光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便房スイッチの種類

○大形押しボタンスイッチ

○非接触スイッチ

凍結防止装置

○行う

○行わない

● 15 自閉式上吊り引戸装置

性能値等

※改修標準仕様書表5.10.1による

○以下による

手動開き力（）

手動閉じ力（）

閉じ速度の調整（）

制動区間（）

閉閉繰返し（）

耐衝撃性（）

● 16 重量シャッター

シャッターの種類

○管理用シャッター

○外壁用防火シャッター

●屋内用防火シャッター

●防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（）Pa

開閉方式の種類

※電動式（手動併用）

○手動式

安全装置

電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置（設置箇所●建具表による）

電動式シャッターの障害物感知装置（設置箇所●建具表による）

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置（設置箇所●建具表による）

管理用シャッターのシャッターケース

○設ける

○設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類

○JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

○JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量

※Z12又はF12

○

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

○

○ 17 軽量シャッター

開閉方式の種類

※手動式

○電動式（手動併用）

耐風圧強度（）Pa

安全装置

電動シャッターの障害物感知装置（設置箇所●建具表による）

スラットの材質の種類

○JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量

※Z06又はF06

○

○JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量

※A290

○

スラットの形状

○インターロッキング形

○オーバーラッピング形

○ 18 オーバーヘッドドア

セクション材料による区分

風圧力による強さの区分

開閉方式による区分

収納形式による区分

ガイドレール

の材料

○ 19 ガラス

適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは建具表及び図面による。

○フロート板ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類

○型板ガラス

型板ガラスの厚さによる種類

○建具表による

○

●網入板ガラス及び線入板ガラス

網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類

○建具表による

○

○合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ

○建具表による

○

並びに合わせガラスの合計厚さ

形状による種類

○平面合わせガラス

○曲面合わせガラス

落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類

○Ⅰ類

○Ⅱ-Ⅰ類

○Ⅱ-Ⅱ類

○Ⅲ類

○強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類

による名称

破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類

○Ⅰ類

○Ⅲ類

○熱線吸収板ガラス

板ガラスの種類及び厚さによる種類

性能による種類

○Ⅰ種

○Ⅱ種

○複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ、並びに複層ガラスの厚さ

断熱性による区分

○TⅠ

○TⅡ

○TⅢ

○TⅣ

○TⅤ

○TⅥ

○G

○S

日射取得性及び日射遮蔽性による区分

○空気

○アルゴン

○熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

日射熱遮へい性による区分

○Ⅰ種

○Ⅱ種

○Ⅲ種

耐久性による区分

○A種

○B種

（日射熱遮へい性が2種の場合）

○値強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修工事特記仕様書(4)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	No Scale	図面番号	A-08
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

5

建具改修工事

○20 ガラスブロック

○21 ガラス用フィルム

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類

ガラス留め材

ガラス溝の大きさ(mm)

アルミニウム製

●シーリング材

○グレイジングチャンネル

○

窓建具の製造所の仕様による

○図示

○

鋼製及び鋼製軽量

○シーリング材

○

窓建具の製造所の仕様による

○図示

○

ステンレス製

○シーリング材

○

窓建具の製造所の仕様による

○図示

○

樹脂製

○グレイジングチャンネル

○

窓建具の製造所の仕様による

○図示

○

[5.14.5]

呼び寸法 (mm)

厚さ (mm)

色調

目地幅 (mm)

伸縮調整目地位置 (mm)

防火性能

○160×160

○95

○

○

○

○

○200×200

○95

○

○

○

○

壁用金属枠及び補強材

窓図示

○

力骨 材質

窓ステンレス鋼 (SUS304)

○

寸法

窓径5.5mm

○

形状

窓はしご形状横筋及び単筋

○

○

化粧目地モルタルの色 (○白 ○グレー)

○

シーリングの種類 (○CSR-1 ○PS-1)

○

金属製化粧カバー 材質

○ステンレス製

○アルミニウム製

寸法

○図示

○

形状

○図示

○

目地部の横方骨の納まり

窓ガラスブロック製造所の仕様による

○図示

○

工法 1-4 適用区分による風圧力の (○I ○I.5 ○I.3) 倍の風圧力に対応した工法

6

内装改修工事

●1 改修範囲

●2 既存床の撤去及び下地補修

●3 既存壁の撤去及び下地補修

●4 施工一般

○5 製材

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

窓壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

●図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

窓壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

●図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

窓既存のまま

●図示

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去

窓仕上げ材のみ (接着剤とも)

●下地モルタルとも (●図示の範囲 ○除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法

○機械的除去工法

○目荒し工法

改修後の床の清掃範囲

窓室内の改修箇所

○

[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

窓改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り

○

(全塗厚が25mmを超える場合の処理 窓図示)

[6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による

○

[6.5.2]

○JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所

寸法 (mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

窓2級

○

窓A種

○B種

○

○

窓2級

○

窓A種

○B種

○

○

○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所

寸法 (mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

見え係り面

窓上小節

○

窓A種

○B種

○

○

見え係り面以外

窓小節以上

○

窓A種

○B種

○

○

○JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所

寸法 (mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

窓1級

○

窓10%以下

○A種

○B種

○

○

窓1級

○

窓10%以下

○A種

○B種

○

○

○JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所

寸法 (mm)

材面の品質

防虫処理

含水率

間伐材等の適用

()

○適用する

窓A種

○

造作材の場合 (窓A種 ○B種)

()

○適用する

窓A種

○B種

○

○6 造作用修材

○7 造作用単板積層材

○8 合板等

[6.5.2]

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所

品名

樹種名

寸法 (mm)

見付け材面

見付け材面の品質

間伐材等の適用

窓1等

○2等

○

窓1等

○2等

○

○「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所

品名

樹種名

寸法 (mm)

化粧薄板の厚さ (mm)

見付け材面の材面

見付け材面の品質

間伐材等の適用

窓1等

○2等

○

化粧薄板:

芯材:

窓1等

○2等

○

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所

樹種名

寸法 (mm)

見付け材面の品質

含水率

間伐材等の適用

窓15%以下

○

○

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所

樹種名

寸法 (mm)

化粧薄板の厚さ (mm)

見付け材面の品質

含水率

間伐材等の適用

窓15%以下

○

○

○JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所

品名

寸法 (mm)

表面の品質

防虫処理

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

○

○JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所

寸法 (mm)

表面の品質

含水率

防虫処理

間伐材等の適用

窓14%以下

○

○適用する

○適用しない

○

○JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所

品名

強度等級

種別

接着性能 (使用環境)

樹種名

寸法 (mm)

間伐材等の適用

○

[6.5.2]

○「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

間伐材等の適用

窓5.5

○

窓1類

○2類

広葉樹

窓C-D

以上

○1等

○適用する

○適用しない

○

○「合板の日本農林規格」構造用合板

施工箇所

等級

単板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

強度等級

間伐材等の適用

窓2級

○1級

窓1類

○特類

以上

○

○適用する

○適用しない

○

○「合板の日本農林規格による」化粧ばり構造用合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

防虫処理

間伐材等の適用

○特類

○適用する

○1類

○適用しない

○

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所

厚さ (mm)

化粧板に使用する単板の樹種名

接着の程度

防虫処理の適用

○1類

○2類

○適用する

○適用しない

○

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

化粧加工方法

防虫処理の適用

○1類

○2類

○適用する

○適用しない

○

○パーティクルボード

施工箇所

厚さ (mm)

表裏面の状態

曲げ強さによる区分

耐水性による区分

難燃性による区分

窓15

○

窓13タイプ

○

窓P又はM

○

○JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所

寸法 (mm)

○MDF

施工箇所

厚さ (mm)

表裏面の状態

曲げ強さによる区分

耐水性による区分

難燃性による区分

窓15

○

窓13タイプ

○

窓P又はM

○

○9 接合具等

●10 接着剤

○11 防腐・防蟻処理

○12 内部間仕切軸組及び床組み

●13 窓、出入口その他

●14 軽量鉄骨天井下地

●15 軽量鉄骨壁下地

●16 ビニル床シート

●17 ビニル床タイル

○18 特殊機能床材

●19 ビニル幅木

[6.5.3]

造作材の化粧面の釘打ち

窓隠し釘打ち

○釘頭埋め木

○つぶし頭釘打ち

○釘頭現し

諸金物

窓かすがい、座金、箱金物、短冊金物

表8.20.1のF種程度の垂始めつき

○

(形状:)

寸法:)

材質:)

[6.5.3.4]

接着剤のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆

○

[6.5.5]

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材

保存処理性能区分

○K2

○K3

○K4

○K2

○K3

○K4

○K2

○K3

○K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材

処理の方法

薬剤の種類

窓薬剤の製造所の仕様による

窓JIS K 1571に適合又は同等品

○

○薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理

適用部位 ()

○合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位 ()

[6.5.6]

○間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

窓杉又は松

○

○床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

窓杉又は松

○

[6.5.7]

○窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

窓吊元桝、水掛りの下桝及び数層はひのき、その他は松又は杉

●杉(難燃)

[6.6.2~4] [表6.6.2]

野縁等の種類

屋外 (窓 25 形 ○ 19 形) 屋内 (窓 19 形 ○ 25 形)

屋外の形式及び寸法

野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔

○図示

○

周辺部の端からの間隔

○図示

○

野縁の間隔

○図示

○

既存の埋込インサート

○使用する

○使用しない

あと施工アンカーの施工後の確認試験

○行う

試験箇所数

窓屋内の場合、該当階において3箇所

○ () 箇所

引張試験にて確認する強度

窓つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度

○ () N

●行わない

○つりボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法

窓図示

○

○天井のふところがある場合

補強方法

窓図示

○

○天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所

窓図示

○

補強方法

窓図示

○

[6.7.3.4]

スタッド、ランナーの種類

窓改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

○図示

○

スタッドの高さが5.0mを超える場合

窓図示

○

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

窓標準仕様書 6.7.4(5) による

○

[6.8.2.3]

種類の記号

色 柄

厚さ (mm)

備考

窓F S (複層ビニル床シート)

○

●無地

○マダラ柄

○柄物

窓2.0

○

接合部の処理

窓熱溶接工法

○

[6.8.2]

種類の記号

色柄

寸法 (mm)

厚さ (mm)

備考

窓K T (コンパジット床材)

○無地

●柄物

●300×300

○450×450

○3.0

○T T (単層ビニル床材)

○無地

○柄物

○300×300

○450×450

○2.0

○

○F T (複層ビニル床材)

○無地

○柄物

○300×300

○450×450

○2.0

○2.5

○3.0

○F O A (置敷きビニル床材)

○無地

○柄物

○500×500

○

○4.0

○

○F O B (薄型置敷きビニル床材)

○無地

○柄物

○

○

[6.8.2]

厚さ、寸法、形状

性 能

種 類

○帯電防止床シート

(mm)

○帯電防止床タイル

× (mm)

○視覚障害者用床タイル

(mm)

○耐動荷重性床シート

(mm)

○防滑性床シート

(mm)

○防滑性床タイル

× (mm)

視覚障害者用床タイル

突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による

[6.8.2]

材質の種類

●軟質

○硬質

高さ (mm)

窓60

○75

●100

厚さ (mm)

窓1.5以上

○

○20 ゴム床タイル

●21 カーペット敷き

○22 合成樹脂塗床

●23 フローリング張り

○24 畳敷き

[6.8.2]

種類

○単送品

○積層品

色柄 ()

厚さ (mm)

窓3.0

○4.5

○6.0

○9.0

寸法 (mm) () × ()

[6.9.2.3] [表6.9.1.2]

○織じゅうたん

織り方

バイル形状

○ウェストンカーペット

○カットバイル

○ダブルフェースカーペット

○ルーブバイル

○アキスミンスターカーペット

○カットノループ

色柄

窓模様のない無地

○

バイル糸の繊維種等

窓無地の織りじゅうたんの種別 (種別: ○A種 ○B種 ○C種)

○

帯電性

○適用する

○適用しない

織じゅうたんの接合方式

窓ヒートボンド工法

○つづり縫い

下敷き材

窓反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号

呼び厚さ 8mm

○

○タフテッドカーペット

バイル形状

バイル長さ (mm)

工法

帯電性

備 考

○カットバイル

窓5~7

○全面接着工法

○適用する

○

○カットバイル

窓4~6

○グリップ工法

○適用しない

○カット、ループ併用

○

下敷き材 (グリップ工法の場合)

窓反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号

呼び厚さ 8mm

○

●タイルカーペット

バイル形状

種別

施工箇所

寸法

総厚さ (mm)

備 考

窓ルーブバイル

窓 第一種

○

窓500×500

窓6.5

○

○

○カットバイル

○ 第一種

○

窓500×500

窓6.5

○

○

○カット、ルーブ併用

○ 第一種

○

窓500×500

窓6.5

○

○ 第二種

○

○

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆

○

タイルカーペットの敷き方

平 場

窓市松敷き

○模様流し

○

階段部分

窓模様流し

○市松敷き

○

見切り、押え金物 材質 ()

種別 ()

形状等

窓図示

○

[6.10.2.3] [表6.10.5~7]

種別

施工箇所

工法

仕上げの種類

○厚膜型塗床材

弾性ウレタン樹脂系塗床

窓平滑仕上げ

○防滑仕上げ

○つや消し仕上げ

○厚膜型塗床材

ウレタン樹脂系塗床

○薄膜流しのべ工法

○厚膜流しのべ工法

○防滑仕上げ

○厚膜流しのべ工法

○防滑仕上げ

○薄膜型塗床材

(ウレタン樹脂系塗床)

窓平滑仕上げ

○7mm樹脂塗床 (防塵塗料塗り)

窓製造所の指定による

表面仕上げ

窓平滑

溶剤

窓水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆

○

●23 フローリング張り

[6.11.2~6] [表6.11.1~4]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等

窓改修標準仕様書6.11.2(2)による

○

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量

窓F☆☆☆☆

○

○単層フローリング (フローリングボード1等)

工法

○釘止め工法 (○根太張り ○直張り)

○接着工法

樹種

窓なら

○

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

○単層フローリング (フローリングブロック1等)

樹種

○

厚さ (mm)

○

大きさ

○

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

○複合フローリング

工法

○釘留め工法 (○根太張り ○直張り)

●接着工法

窓なら

○

樹種

窓なら

○

種別

○A種

○B種

○C種

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材

窓合成樹脂発泡シート

○

○現場塗装仕上げ

窓ウレタン樹脂ワニス塗り

○オイルステインの上、ワックス塗り

○生地のままワックス塗り

●フローリングブロック 300×300 塗装品

[6.12.2] [表6.12.1]

種別

○A種

○B種

○C種

○D種 (畳床: OKT-I OKT-II OKT-III OKT-K OKT-N)

下地の種類

○標準仕様書 表12.6.1による床組

○ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)

○

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳 (畳表: OC1 OC2)

工事名

松戸市立東部小学校エレベーター設置工事

図面名

改修工事特記仕様書(5)

作成年月日

令和8年3月13日

変更年月日

—

縮 尺

No Scale

図面番号

A-09

設 計

株式会社 鈴木建築設計事務所

千葉県知事登録 第 1-2311-247 号

鈴木 泰久

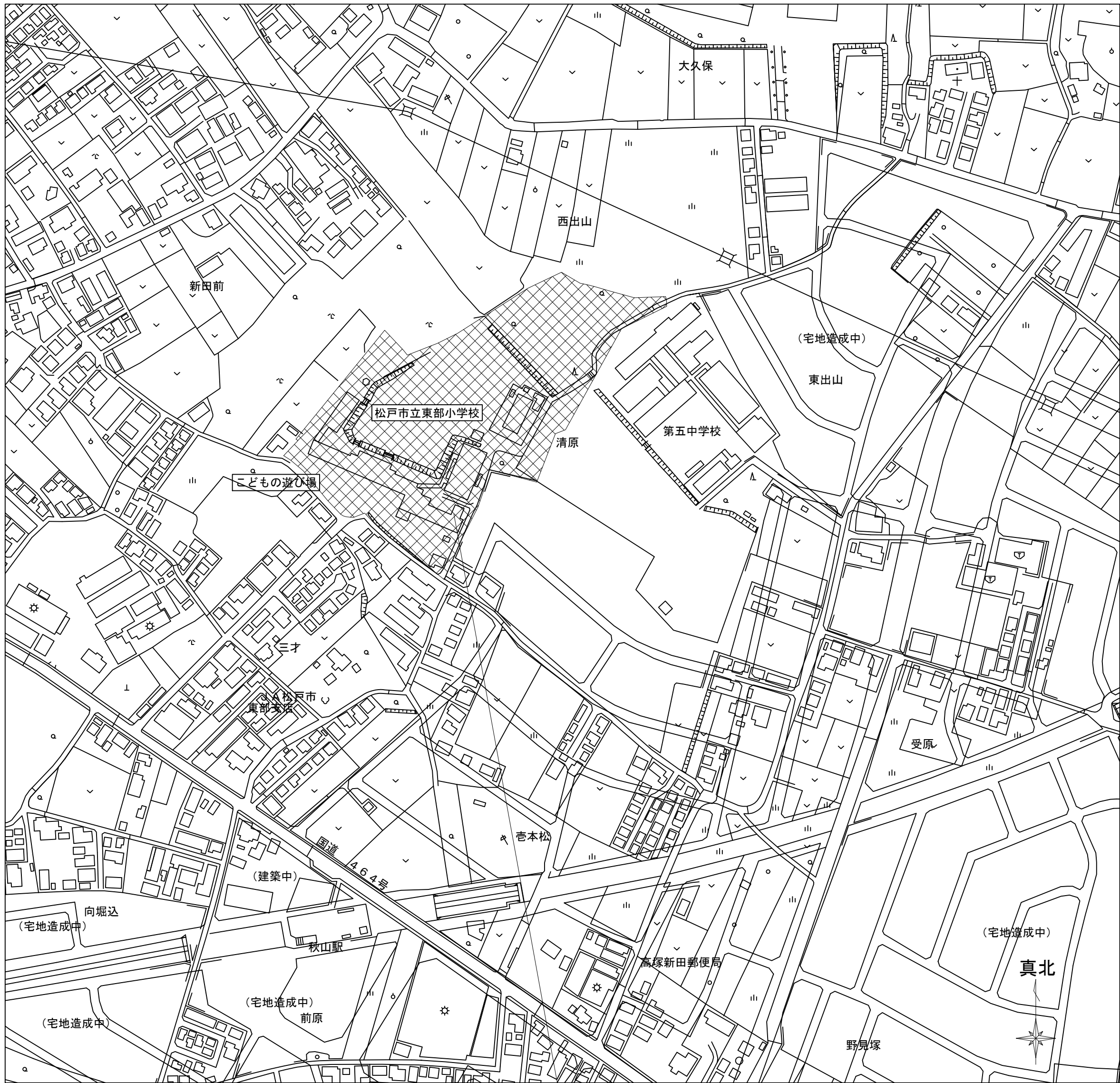
一級建築士 大臣登録 第 233260 号

松戸市 街づくり部 建築保全課

[illegible]

8 環境配慮改修工事		<div>試験</div> <div>路床土の支持力比（CBR）試験 ○行う（ ____箇所） ○行わない</div> <div>路床締固度の試験 ○行う（ ____箇所） ○行わない</div> <div>現場CBR試験 ○行う（ ____箇所） ○行わない</div> <div>六価クロム溶出試験 ○行う（現場説明書による） ○行わない</div> <div>路盤</div> <div>路盤の厚さ ○図示 ○_____</div> <div>路盤材料（改修標準仕様書表9.5.3による種別）</div> <div>○クラッシャーラン ○粒度調整砕石 ○再生クラッシャーラン ☐</div> <div>○再生粒度調整砕石 ☐ ○クラッシャーラン鉄鋼スラグ ☐</div> <div>○粒度調整鉄鋼スラグ ☐ ○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ☐</div> <div>舗装の構成 ○図示 ○_____</div> <div>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○行う ○行わない</div> <div>舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ○_____</div>	○ 2 建設発生土	建設発生土は、 処分場会社名 有限会社 永井興業 処分場住所 千葉県 白井市 白井216-1、 （発生場所からの距離16.2km）に搬出することとする。 工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 片道運搬距離は積算上、代表地点から算出したであり距離であり、 実際の運搬距離と差異が生じる場合においては、設計変更の対象としない。 搬出の際は、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、 計量した結果証明書提出しなければならない。 なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験28項目、含有量試験2項目とする。	(3.2.5)	別 記 2	工 事 区 分 表		施 工 区 分			工 事 内 容		建築	電気	機械	開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	●	●	●	鉄筋補強	●	○	○	スリーブ、型枠（補強筋無し）	○	●	●	スリーブ、型枠（補強筋有り）	●	○	○	埋戻し、穴埋め（補強筋無し）	○	●	●	基礎	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	埋戻し、穴埋め（補強筋有り）	●	○	○	開口補強	●	○	○	切込み（開口補強有り）	●	○	○	切込み（開口補強無し）	○	●	●	躯体と一体のもの	●	○	○	礎	屋内 配電盤、制御盤、ケーブル受水槽、タンク類等	上記以外のもの	●	○	○	躯体と一体のもの	●	○	○	上記以外のもの	●	○	○	鉄筋コンクリート製	●	○	○	無筋コンクリート製、その他	○	●	●	点検口	屋上 テレビアンテナ、避雷針、高架水槽、クーリングタワー消火水槽等	架台、アンカーボルト	○	○	○	床、壁、天井	●	○	○	配管ビット、トレンチビット	●	○	○	機器付属の制御盤（接地とも）	○	○	○	一次側	○	●	○	配管配線	二次側	熱感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管	○	●	○	防火シャッターから熱感知器に至る配管	○	●	○		○	○	○	換気扇取付パネル	○	○	○		○	○	○				○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	仮設足場（参考） 	○ 2 コンクリート ブロック工事	1. 建設発生土の処理 (3.2.5) ●構外搬出適切処理 ○構内指示の場所に敷き均し、 ○構内指示の場所に堆積、○(_____)	1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2～5) ○ブロックの種類： <table><tr><th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さ による区分</th><th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th><th colspan="2">モジュール 呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">化粧の有無</th><th rowspan="2">適用箇所</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○無、○有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○無、○有</td><td></td><td></td></tr></table> <div>モルタル調合（容積比） ：○（セメント（ ____ ）：砂（ ____ ））</div> <div>各部の配筋 ： ※図示、○（ _____ ）</div> <div>モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ：※図示、○（ _____ ）</div>	断面形状及び圧縮強さ による区分	正味厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	○				○無、○有			○				○無、○有			2. コンクリートブロック帳壁及び壁 (8.3.2～4) ○ブロックの種類： <table><tr><th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さ による区分</th><th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th><th colspan="2">モジュール 呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">化粧の有無</th><th rowspan="2">表8.3.1 以外の 適用箇所</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>○空洞ブロックC(16)</td><td></td><td></td><td></td><td>○無、○有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○型枠状ブロック20</td><td></td><td></td><td></td><td>○無、○有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○無、○有</td><td></td><td></td></tr></table> <div>塀の厚さ (mm) ： _____</div> <div>塀の高さが2m以下 ※120、○（ _____ ）</div> <div>塀の高さが2m超え ※150、○（ _____ ）</div> <div>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ： ※図示、○（ _____ ）</div> <div>各部の配筋 ：※図示、○（ _____ ）</div>	断面形状及び圧縮強さ による区分	正味厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法 (mm)		化粧の有無	表8.3.1 以外の 適用箇所	備考	長さ	高さ	○空洞ブロックC(16)				○無、○有			○型枠状ブロック20				○無、○有			○				○無、○有			○ 3 ガラス クリーニング	施 工 ※外壁面に取りつく金属製建具の既存ガラスクリーニング(両面)は本工事とする。	○ 4 既存建具金物調整	○破損及び滅失金物は、交換又は取付、その他の金物は調整する。 調整建具箇所 ○金属製建具 （ ○内外共 ○外部 ○ _____ ） ○木製建具
工 事 区 分 表		施 工 区 分																																																																																																																																																																																																																
工 事 内 容		建築	電気	機械																																																																																																																																																																																																														
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	●	●	●																																																																																																																																																																																																													
		鉄筋補強	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		スリーブ、型枠（補強筋無し）	○	●	●																																																																																																																																																																																																													
		スリーブ、型枠（補強筋有り）	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）	○	●	●																																																																																																																																																																																																													
基礎	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	埋戻し、穴埋め（補強筋有り）	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		開口補強	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		切込み（開口補強有り）	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		切込み（開口補強無し）	○	●	●																																																																																																																																																																																																													
		躯体と一体のもの	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
礎	屋内 配電盤、制御盤、ケーブル受水槽、タンク類等	上記以外のもの	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		躯体と一体のもの	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		上記以外のもの	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		鉄筋コンクリート製	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		無筋コンクリート製、その他	○	●	●																																																																																																																																																																																																													
点検口	屋上 テレビアンテナ、避雷針、高架水槽、クーリングタワー消火水槽等	架台、アンカーボルト	○	○	○																																																																																																																																																																																																													
		床、壁、天井	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		配管ビット、トレンチビット	●	○	○																																																																																																																																																																																																													
		機器付属の制御盤（接地とも）	○	○	○																																																																																																																																																																																																													
		一次側	○	●	○																																																																																																																																																																																																													
配管配線	二次側	熱感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管	○	●	○																																																																																																																																																																																																													
		防火シャッターから熱感知器に至る配管	○	●	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
		換気扇取付パネル	○	○	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
			○	○	○																																																																																																																																																																																																													
断面形状及び圧縮強さ による区分	正味厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																												
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																															
○				○無、○有																																																																																																																																																																																																														
○				○無、○有																																																																																																																																																																																																														
断面形状及び圧縮強さ による区分	正味厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法 (mm)		化粧の有無	表8.3.1 以外の 適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																												
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																															
○空洞ブロックC(16)				○無、○有																																																																																																																																																																																																														
○型枠状ブロック20				○無、○有																																																																																																																																																																																																														
○				○無、○有																																																																																																																																																																																																														
別 記 1	● 1 共通事項	1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、発生処理計画書に含め各1部提出すること。 また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。 ◎作成対象工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。 2) 建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は 処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託 契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調査」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。 3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のE票を提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を提示すること。																																																																																																																																																																																																																

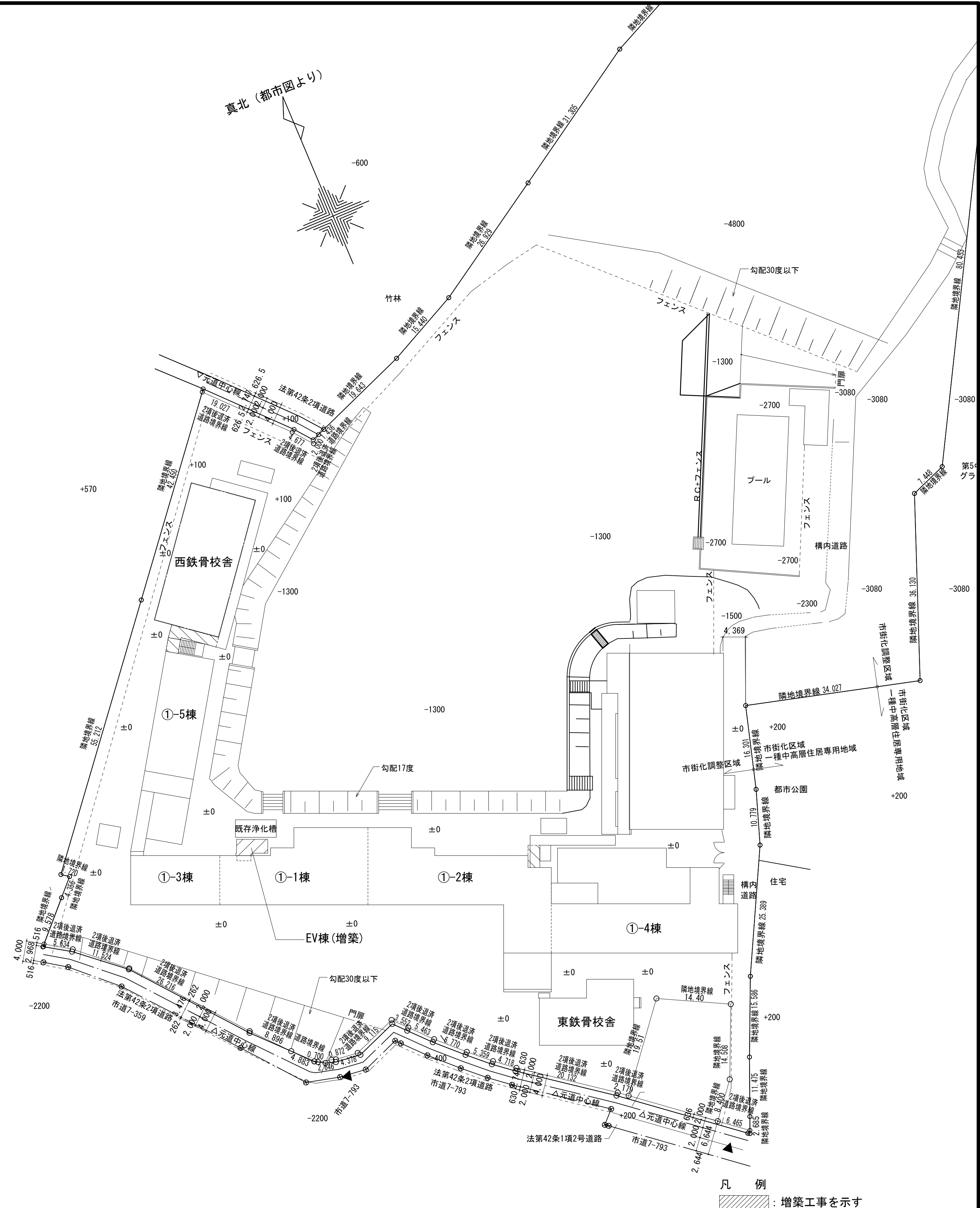
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修工事特記仕様書(8)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	No Scale	図面番号	A-12
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



凡 例
今回工事場所を示す

工事場所：千葉県松戸市高塚新田382番地の1
(松戸市立東部小学校)

案内図 S=1:2500



凡 例
増築工事を示す

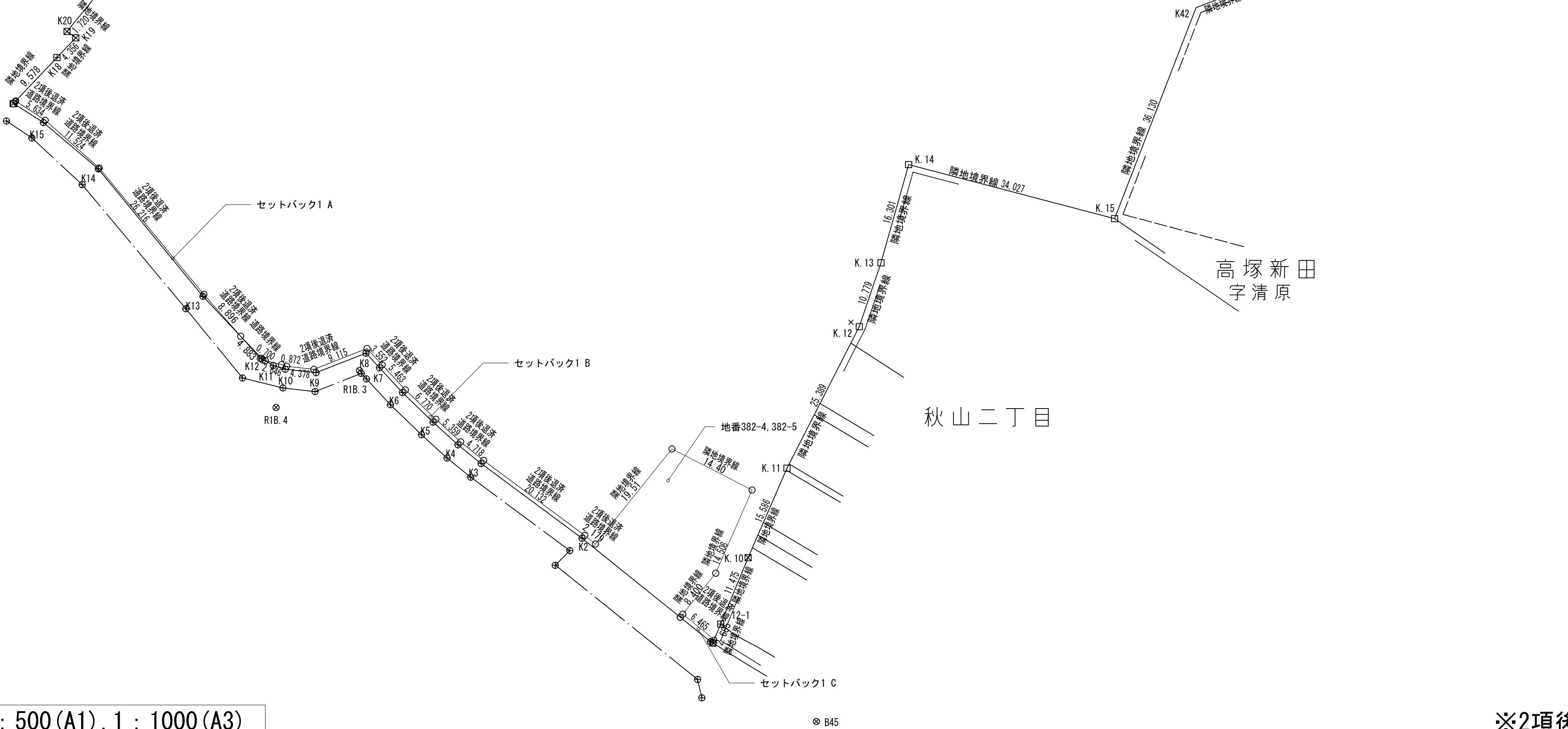
配置図 S=1:500

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:500、1:2500	図面番号	A-13
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

外部仕上表																									
		棟		外壁			巾木			屋根			土間							備考					
				下地・仕上		改修概要	仕上		高さ	改修概要	下地・仕上		改修概要		厚さ						改修概要				
		①-1棟	改修前	モルタル金鍍刷毛引		一部撤去	防水モルタル金鍍		450	一部撤去	露出アスファルト防水3層 均しモルタル t=15 笠木:防水モルタル t=25		一部撤去					一部既存バレーベットのみの箇所は鉄筋切断面防錆塗装の上、複層塗材E。							
			改修後	コンクリート打放(W120の上、増打t25) 補修の上、複層塗材E		新設	—			—	バレーベットの:コンクリート打放(W120)、コンクリート直均し 複層塗材E		新設				既存校舎に新設するバレーベットのコンクリート打放(W120) 塗膜防水とする。								
		①-2棟	改修前	モルタル刷毛引下地 EP 一部複層塗材E吹付		一部撤去	モルタル金鍍		450	既存のまま	露出アスファルト防水3層 笠木:防水モルタル t=25		既存のまま	土間コンクリート金鍍	100	一部撤去		滑落防止の立上り:コンクリート打放 W120(増打ちt20)とし、天端はコンクリート金鍍とする。							
			改修後	—		—	—			—	—		—	土間コンクリート金鍍	t150, t60	新設		スロープ部は増打t0-60とする							
		EV棟(増築)	—																柵:塩ビ製飾柵 堅樋:カーφ100 VP 横引丸φ100レン:鉄製鉄φ100						
			新設	ALC t=100 複層塗材E			基礎巾木仕上塗材		422	—	デッキスラブ t130下地(0-120増打) 硬質ウレタンフォーム t50 ウレタン塗膜防水							Exp. j部の笠木は図面による。							
内部仕上表																									
階	棟	室名	床			巾木			壁			天井			廻縁			備考							
			下地・仕上		FL	改修概要	仕上		高さ	改修概要	下地・仕上		改修概要	下地・仕上		改修概要	CH		仕上	改修概要					
1	①-1棟	廊下	改修前	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 F0		±0	一部撤去	ビニル巾木		100	一部撤去	モルタル金鍍、VP、(倉庫前)LGS(65形)、GB-St12.5、EP-G		一部撤去	ミライト直吹 t=9.0(アーストレベル1)、LGS(19形)、GB-Dt9.5		撤去	2,440		垂壁:LGS(65形)、GB-Ft21+21(認定番号:FPO60NP-0497)					
			改修後	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 塗装品		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 EP-G(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440		下がり天井:GB-Dt9.5 LGS(19形) 見切縁:7㍓見切					
		ホール	改修前	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 F0		±0	一部撤去	モルタル金鍍 VP		100	一部撤去	モルタル金鍍、VP		既存のまま	ミライト直吹 t=9.0(アーストレベル1)、LGS(19形)、GB-Dt9.5		撤去	2,440							
			改修後	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 塗装品		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 EP-G(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440							
		倉庫	改修前	下地調整の上、防汚性硬質塩化ビニル床シート t=2.0		±0	一部撤去	ワイド巾木		60	一部撤去	GB-St12.5、EP-G		一部撤去	LGS 19形、GB-Dt9.5		一部撤去	2,250							
			改修後	モルタル金鍍下地、防汚性硬質塩化ビニル床シート t=2.0		±0	新設	ワイド巾木		60	新設	GB-St12.5、EP-G		新設	LGS 19形、GB-Dt9.5		新設	2,250							
①-2棟	階段室	改修前	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 F0		±0	既存のまま	モルタル金鍍 VP		100	既存のまま	モルタル金鍍、VP		既存のまま	下地調整の上、マステックフローラー塗り		既存のまま	3,060		段裏:下地調整の上、マステックフローラー塗り 踏面:パイル						
		改修後	ブナフローリングブロック 300x300 t=15 F0 サンダー掛けの上、UC		±0	塗替					下地調整の上、EP-G		塗替	下地調整の上、複層塗材E		塗替	3,060		内壁:シャッター(ボックス共)撤去の上、モルタル金鍍t20 EP-G【新設】						
	2	①-1棟	階段室	改修前	モルタル金鍍下地、ビニル床シート		±0	一部撤去	モルタル金鍍 VP		100	一部撤去	モルタル金鍍、VP		既存のまま	下地調整の上、マステックフローラー塗り		既存のまま	2,440						
				改修後	モルタル金鍍下地、ビニル床シート		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 EP-G(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設										
	廊下	改修前	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 F0		±0	一部撤去	モルタル金鍍 VP		100	一部撤去	モルタル金鍍、VP		既存のまま	ミライト直吹 t=9.0(アーストレベル1)、LGS(19形)、GB-Dt9.5		撤去	2,440		垂壁:LGS(65形)、GB-Ft21+21(認定番号:FPO60NP-0497)						
		改修後	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 塗装品		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 EP-G(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440		下がり天井:GB-Dt9.5 LGS(19形) 見切縁:7㍓見切						
校長室	改修前	モルタル金鍍下地、タイルカーペット 500x500		±0	一部撤去	モルタル金鍍 VP		100	一部撤去	7㍓バレーション(見込み70)		撤去	LGS(19形)、GB-Dt9.5		既存のまま	3,000		柱型:モルタル金鍍 VP 梁出隅:コーナー金物							
	改修後	モルタル金鍍下地、タイルカーペット 500x500		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 ビニルクロス貼り(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設													
	①-2棟	階段室	改修前	モルタル金鍍、パイル		±0	既存のまま	モルタル金鍍 VP		100	既存のまま	モルタル金鍍、VP		既存のまま	下地調整の上、マステックフローラー塗り		既存のまま	3,120		側柵:ボレーダーモルタル【一部撤去】下がり天井:ラワン合板 t=4.0、EP【撤去】					
			改修後	モルタル金鍍、パイル		±0	既存のまま					下地調整の上、EP-G		塗替	下地調整の上、複層塗材E		塗替	3,120		内壁:シャッター(ボックス共)撤去の上、モルタル金鍍t20 EP-G【新設】					
	①-5棟	階段室	改修前	合成樹脂塗装		±0	既存のまま	モルタル金鍍 VP		100	既存のまま	モルタル金鍍、VP		既存のまま	下地調整の上、マステックフローラー塗り		既存のまま	3,130							
			改修後									下地調整の上、EP-G		塗替	下地調整の上、EP-G		塗替	3,130							
3	①-1棟	階段室	改修前	モルタル金鍍下地、ビニル床シート																下がり天井:GB-Dt9.5 LGS(19形) 見切縁:7㍓見切					
			改修後	モルタル金鍍下地、ビニル床シート		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 EP-G(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440		垂壁:LGS(65形)、GB-Ft21+21(認定番号:FPO60NP-0497)					
		廊下	改修前	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 F0		±0	一部撤去	モルタル金鍍 VP		100	一部撤去	モルタル金鍍、VP		既存のまま	LGS(19形)、GB-Dt9.5		一部撤去	2,440							
			改修後	モルタル金鍍下地、ブナフローリングブロック 300x300 t=15 塗装品		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Ft12.5+12.5 EP-G(認定番号:FPO60NP-0483(1))		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440							
	①-2棟	階段室	改修前	モルタル金鍍、パイル		±0	既存のまま	モルタル金鍍 VP		100	既存のまま	モルタル金鍍、VP		既存のまま	木下地、GB-Rt9 VP		一部撤去	3,080		段裏:下地調整の上、マステックフローラー塗り 踏面:パイル					
												下地調整の上、EP-G		塗替	LGS(19形)、GB-Rt9 目透張 EP		新設	3,080		内壁:シャッター(ボックス共)撤去の上、モルタル金鍍t20 EP-G【新設】					
1	EV棟(増築)	EVホール(増築)																		コーナーガード:塩ビ製 60x60 L=1000【新設】					
			増築	土間コンクリート t=180、モルタル金鍍下地 t=30、ビニル床シート t=2.0		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Rt12.5、t12.5、EP-G		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440		断熱材:硬質ウレタン吹付 t30					
		昇降機内(増築)																							
			増築	珪酸質系塗膜防水		-1,500	新設					ロックール吹付 t45		新設											
	2	EV棟(増築)	EVホール(増築)																		コーナーガード:塩ビ製 60x60 L=1000【新設】				
				増築	デッキスラブ下地 t=130、モルタル金鍍下地 t=30、ビニル床シート t=2.0		±0	新設	ビニル製巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Rt12.5+t12.5、EP-G		新設	LGS(19形)、GB-Dt9.5		新設	2,440		断熱材:硬質ウレタン吹付 t30				
3	EV棟(増築)	昇降機内(増築)												新設											
			増築									ロックール吹付 t45		新設											
		EVホール(増築)																		コーナーガード:塩ビ製 60x60 L=1000【新設】					
			増築	デッキスラブ下地 t=130、モルタル金鍍下地 t=30、ビニル床シート t=2.0		±0	新設	ビニル巾木		100	新設	LGS(65形)、GB-Rt12.5、t12.5、EP-G		新設	LGS 19形下地、GB-Dt9.5		新設	2,225		断熱材:硬質ウレタン吹付 t30					
		昇降機内(増築)										ロックール吹付 t45		新設											
特記事項																									
「新設および塗装替塗装料については、全て環境配慮型塗装料(F☆☆☆☆)とする」						増築棟Exp. jリスト						F O フロアオイル塗装						GB-D 化粧石膏ボード							
「天井廻り縁は塩ビ製として、すべて見込むこと」						屋根Exp. j(耐火帯・断熱帯):7㍓製(クリアランス W200)【新設】						C L クリヤラッカー塗装						GB-R 石膏ボード							
「建築材料にはアスベスト含有材を使用しない」						外壁・外壁コーナーExp. j(耐火帯・断熱帯):樹脂製(クリアランス W200)【新設】						O P 油性調合ベイント塗装						GB-N C 不燃石膏ボード							
「増築部の鉄骨主要構造部の耐火被覆は以下とすること:耐火被覆(柱) 認定番号[FPO60CN-9460] 耐火被覆(梁) 認定番号[FPO60BM-9408]」						天井Exp. j:7㍓製(クリアランス W200)【新設】						S O P 合成樹脂調合ベイント塗装						GB-F 強化石膏ボード							
「増築部の外巾木はスカー化粧(株)ベースワートと同等品とする」						内壁Exp. j:7㍓製(クリアランス W200)【新設】						V P 塩化ビニル樹脂ベイント塗装						GB-S 耐水石膏ボード							
「床仕上材のタイルカーペットはW500xH500とする」						床Exp. j(耐火帯・断熱帯):7㍓製(クリアランス W200)【新設】						D P 耐水性ベイント塗装						GB-P 吸音用あなき石膏ボード							
												E P 合成樹脂エマルジョンベイント塗装						D R ロックウール化粧吸音板							
												E P-G 合成樹脂エマルジョンベイント塗装(艶あり)						F K ケイ酸カルシウム板							
																		F K-D 化粧ケイ酸カルシウム板							
																		F P C フレキシブルボード							
																		F A S 石綿板							
																		RW-B ロックウール吸音板							
																		工事名		松戸市立東部小学校エレベーター設置工事					
																		図面名		仕上表					
																		作成年月日		令和8年3月13日		変更年月日		—	
																		縮 尺		No Scale		図面番号		A-14	
																		設 計		株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号					
																				松戸市 街づくり部 建築保全課					

座 標 求 積 表

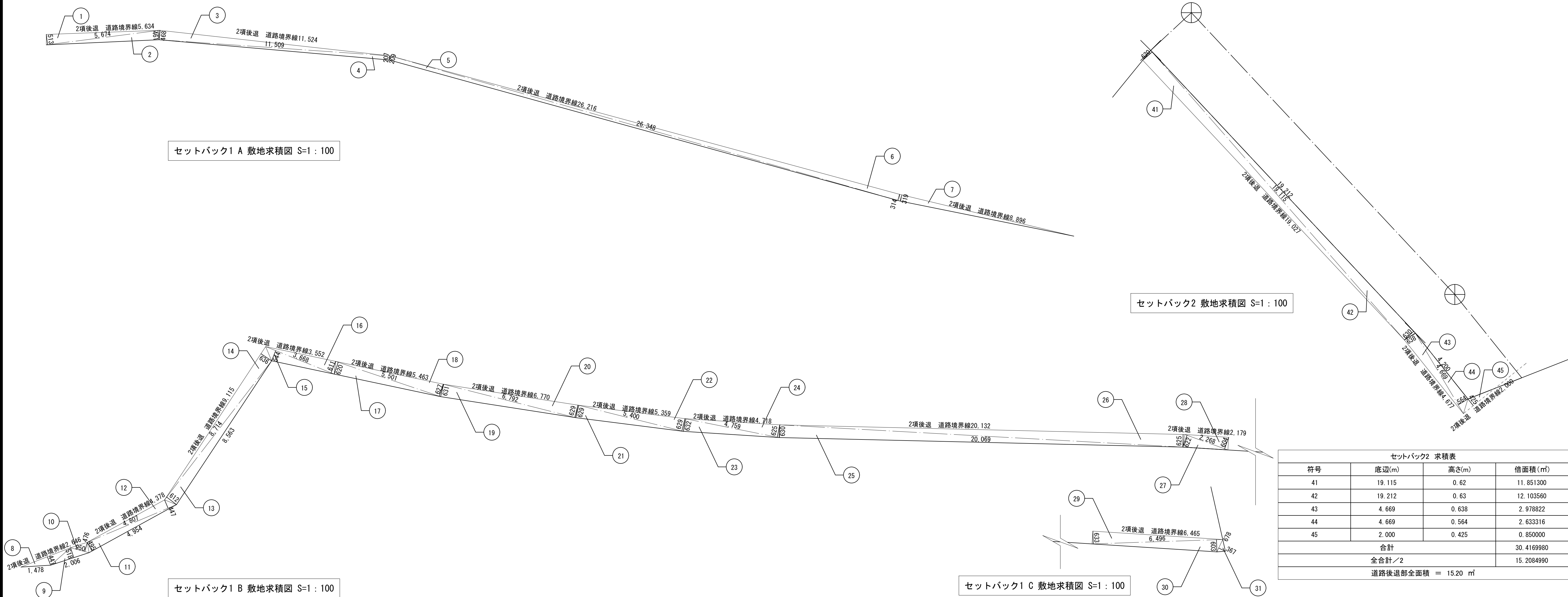
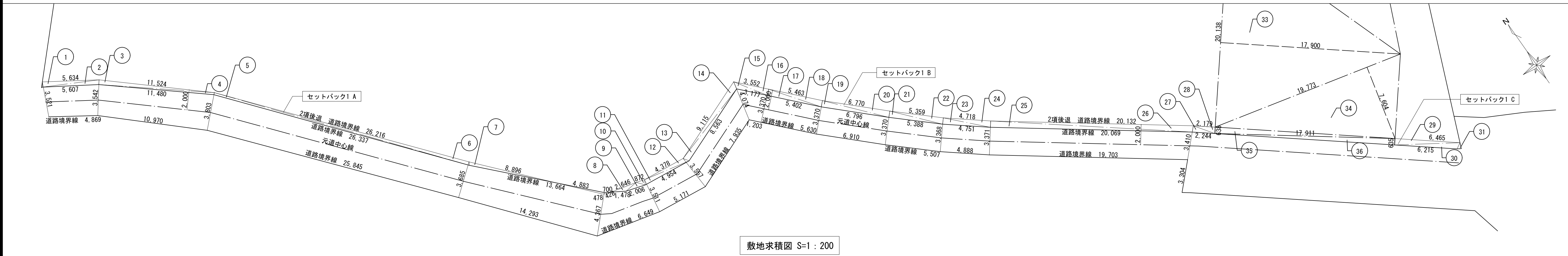
地 番	東部小学校				
測 点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	面 積	
K1	-25794.793	8887.088	148725.417680	26.358	
K2	-25778.275	8866.547	252350.794167	20.069	
K3	-25766.332	8850.418	132101.339068	4.751	
K4	-25763.349	8846.720	58529.899520	5.388	
K5	-25759.716	8842.741	73872.258314	6.795	
K6	-25754.995	8837.853	76712.564040	5.401	
K7	-25751.036	8834.178	55549.311264	3.177	
K8	-25748.707	8832.017	-6915.469311	8.562	
K9	-25751.819	8824.040	-22598.364440	4.953	
K10	-25751.268	8819.117	10089.069848	2.005	
K11	-25750.675	8817.201	15262.574931	2.177	
K12	-25749.537	8815.344	97506.519984	13.664	
K13	-25739.614	8805.950	266582.524350	26.336	
K14	-25719.264	8789.232	243980.291088	11.479	
K15	-25711.855	8780.463	91553.887701	5.606	
K16	-25708.837	8775.738	26529.055974	0.103	
K17	-25708.832	8775.635	64632.551775	10.155	
K18	-25701.472	8782.633	92358.168628	4.356	
K19	-25698.316	8785.636	36627.316484	1.720	
K20	-25697.303	8784.245	384916.831655	55.212	
K21	-25654.497	8819.117	667668.890719	42.450	
K22	-25621.596	8845.942	167029.076844	19.211	
K23	-25635.615	8859.078	-153270.908478	4.200	
K24	-25638.897	8861.699	-19761.588770	2.872	
K25	-25637.845	8864.372	73095.611512	19.643	
K26	-25630.651	8882.651	124943.368966	15.440	
K27	-25623.779	8896.478	189913.115866	26.929	
K28	-25609.304	8919.187	280026.795052	31.305	
K29	-25592.383	8945.526	250734.148254	25.840	
K30	-25581.275	8968.857	31202.653503	15.053	
K31	-25588.904	8981.834	-75043.223070	3.537	
K32	-25589.630	8985.296	-11779.723056	2.656	
K33	-25590.215	8987.887	-15378.274657	4.642	
K34	-25591.341	8992.391	-36608.023761	10.346	
K35	-25594.286	9002.309	-68777.640760	17.798	
K36	-25598.981	9019.477	-35302.232978	21.805	
K37	-25598.200	9041.269	-18037.331655	2.843	
K38	-25600.976	9041.884	-61276.847868	4.003	
K39	-25604.977	9042.026	-176102.498376	34.998	
K40	-25620.452	9010.635	-773400.823320	80.453	
K41	-25680.809	8971.614	-655403.317542	7.448	
K42	-25693.505	8964.670	-326313.988000	36.130	
K.15	-25727.209	8951.653	-224400.037404	34.027	
K.14	-25718.573	8918.740	-62930.629440	16.301	
K.13	-25734.265	8914.325	-220854.274525	10.779	
K.12	-25744.470	8910.854	-292391.852302	25.389	
K.11	-25767.078	8899.299	-328428.629595	15.586	
K.10	-25781.375	8893.092	-221437.990800	11.475	
12-1	-25791.978	8888.704	-121197.479040	3.281	
K.9	-25795.010	8887.450	-25018.171750	0.422	
		倍 面 積	-50135.285711		
		面 積	25067.6428555		
		地 積	25067.64	m	
セットバック1		面 積	58.519463		
セットバック2		面 積	15.208499		
382-4, 382-5		面 積	371.0692975		
合 計			444.7972595		
計算式		25067.6428555-444.7972595=24622.845596			
合 計		地 積	24622.84	m	



敷地求積図 S=1 : 500 (A1) , 1 : 1000 (A3)

※2項後退済み

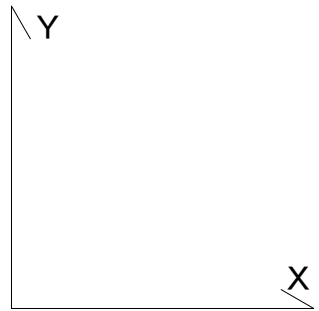
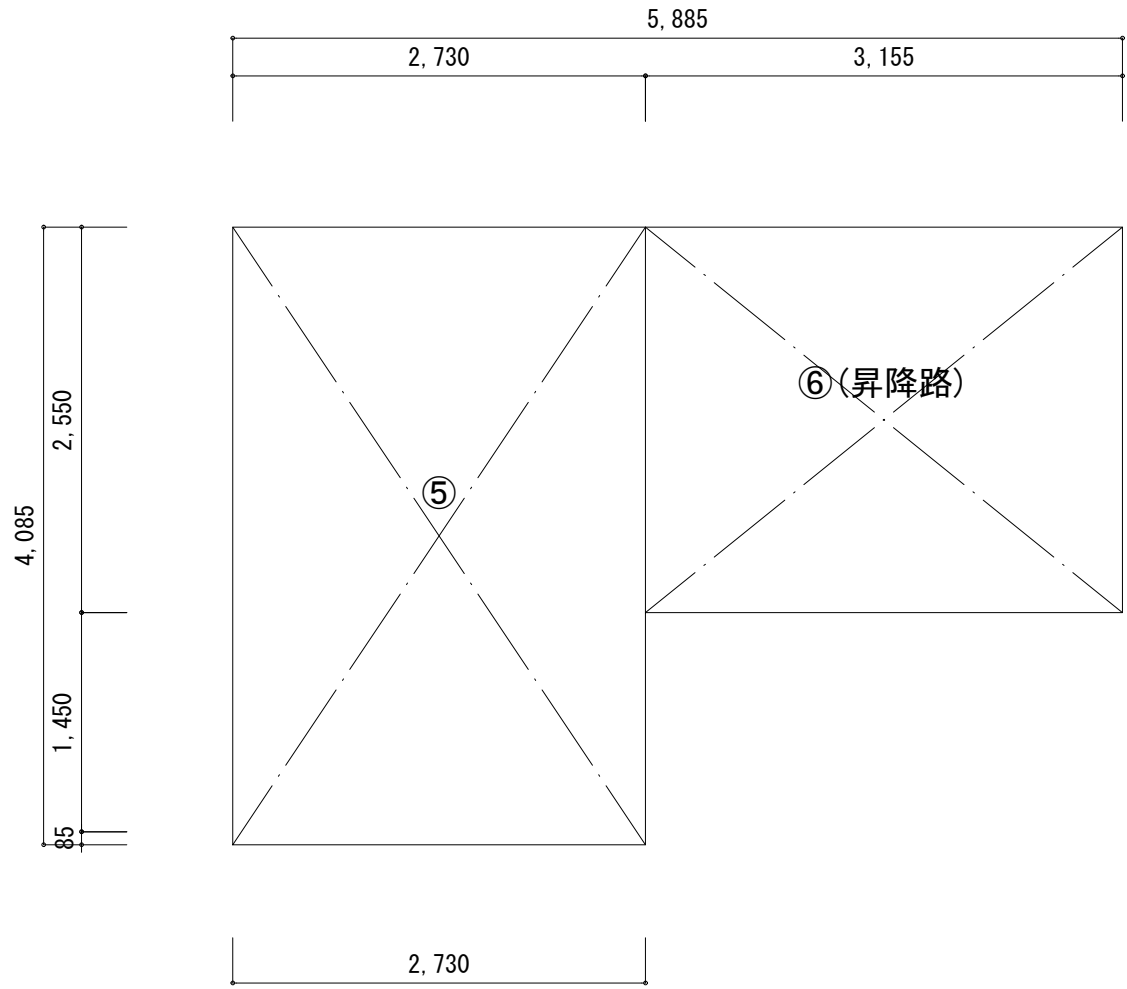
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	敷地求積図-1		
作成年月日	令和7年12月19日	変更年月日	—
縮 尺	1:500	図面番号	A-15
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



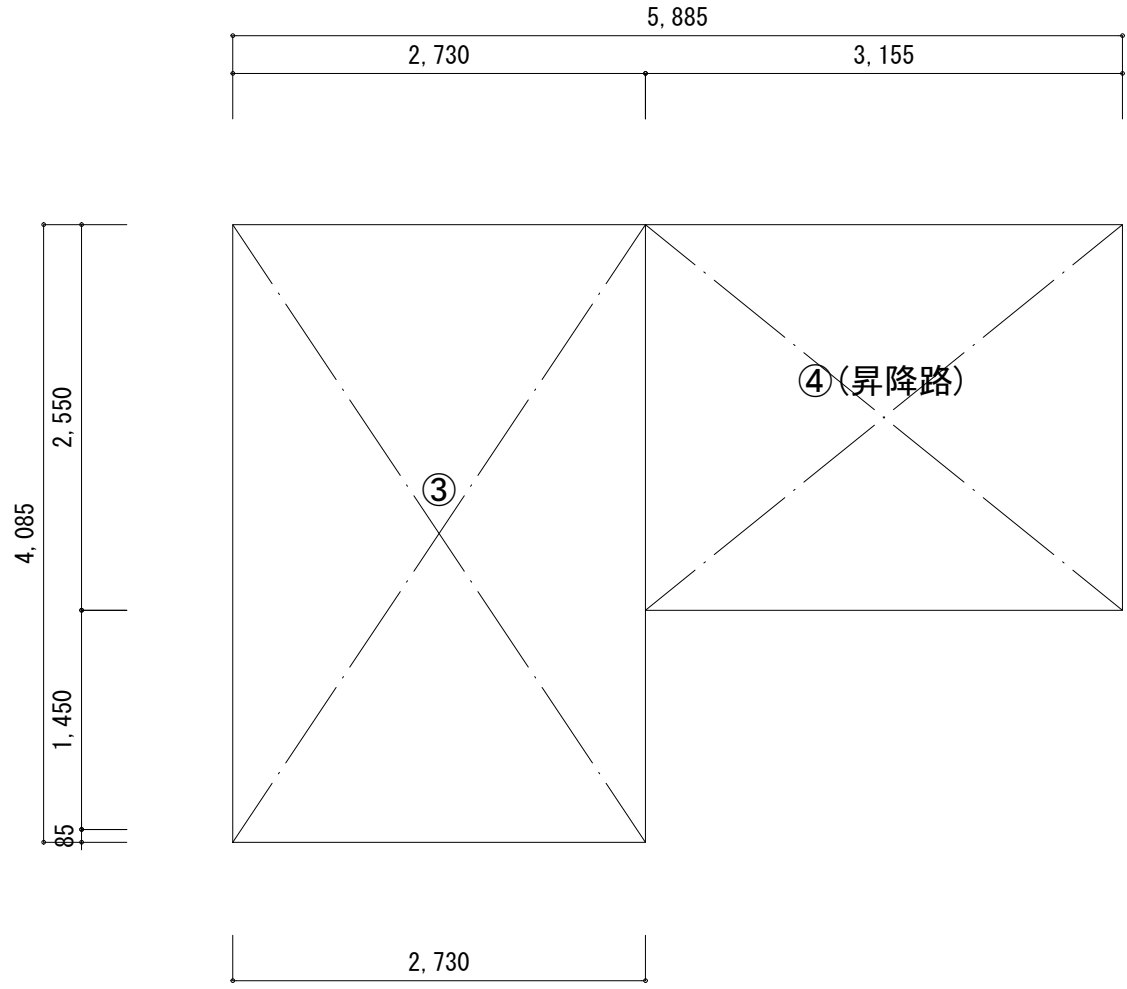
セットバック1 求積表											
符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m ²)	符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m ²)	符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m ²)
1	5.674	0.513	2.910762	11	4.954	0.495	2.452230	21	5.400	0.629	3.396600
2	5.674	0.461	2.615714	12	4.807	0.447	2.148729	22	5.400	0.629	3.396600
3	11.524	0.468	5.393232	13	8.714	0.612	5.332968	23	4.759	0.632	3.007688
4	11.509	0.207	2.382363	14	9.115	0.636	5.797140	24	4.759	0.625	2.974375
5	26.348	0.209	5.506732	15	3.668	0.544	1.995392	25	20.069	0.63	12.643470
6	26.348	0.314	8.273272	16	3.668	0.611	2.241148	26	20.132	0.625	12.582500
7	8.896	0.319	2.837824	17	5.501	0.620	3.410620	27	2.268	0.622	1.410696
8	2.646	0.447	1.182762	18	5.501	0.627	3.449172	28	2.268	0.604	1.369872
9	2.006	0.518	1.039108	19	6.792	0.631	4.285752	29	6.496	0.633	4.111968
10	0.950	0.476	0.452200	20	6.792	0.629	4.272168	30	6.496	0.603	3.917088
合計			32.593969	合計			35.385274	合計			49.059683
								全合計			117.038926
								全合計/2			58.519463
								道路後退部全面積			= 58.51 m ²

地番382-4、382-5 求積表			
符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m ²)
32	21.062	9.9	208.513800
33	20.138	17.9	360.470200
34	19.773	7.604	150.353892
35	17.911	0.638	11.427218
36	17.911	0.635	11.373485
合計			742.1385950
全合計/2			371.0692975
全面積			= 371.06 m ²

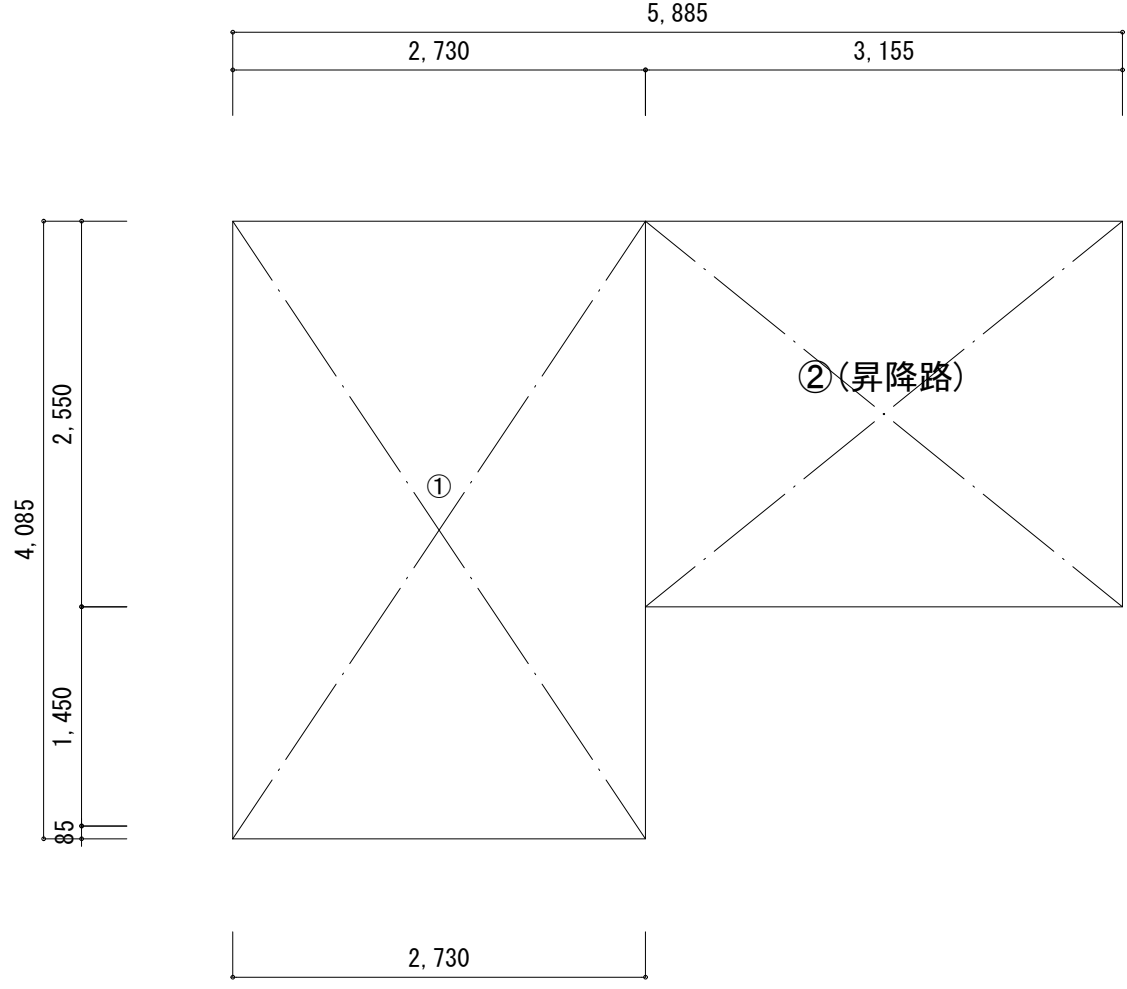
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	敷地求積図 -2		
作成年月日	令和7年12月19日	変更年月日	-
縮尺	1:100, 1:200	図面番号	A-16
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



3階床面積求積図

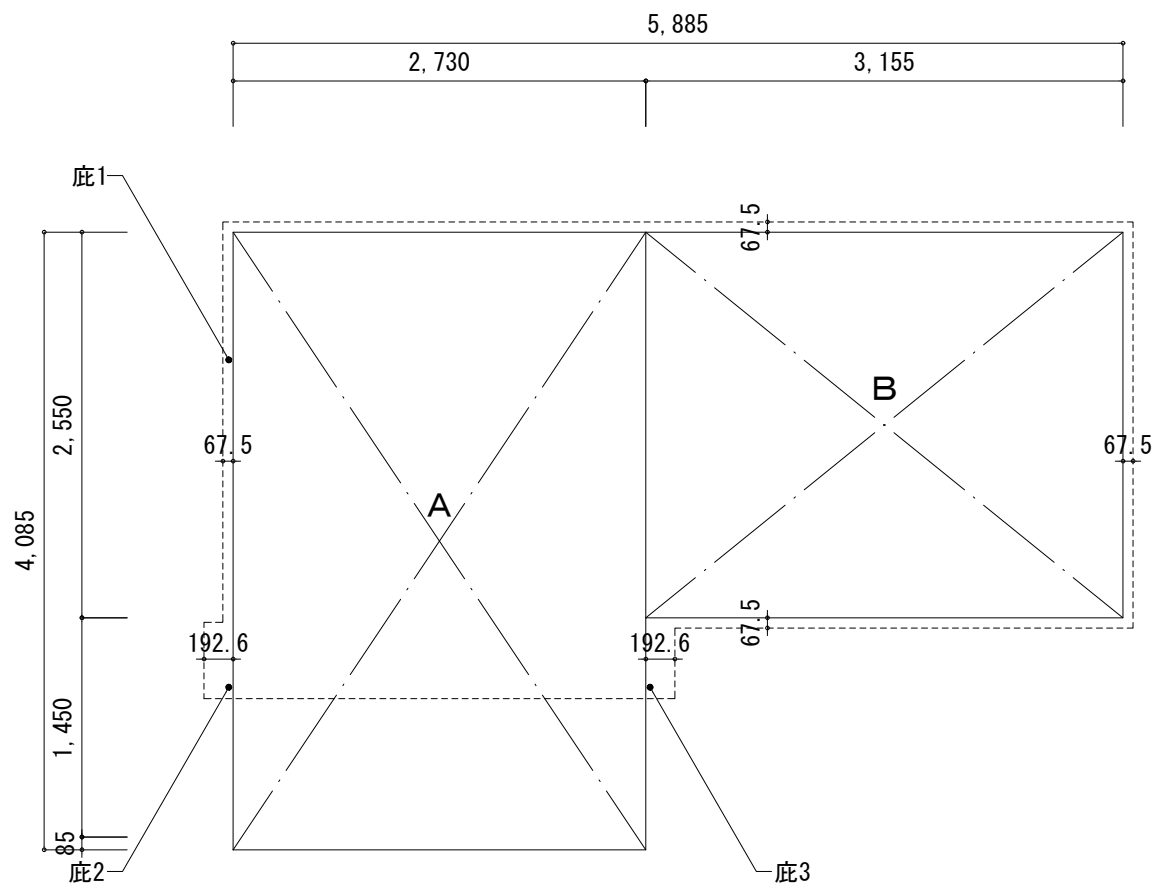


2階床面積求積図



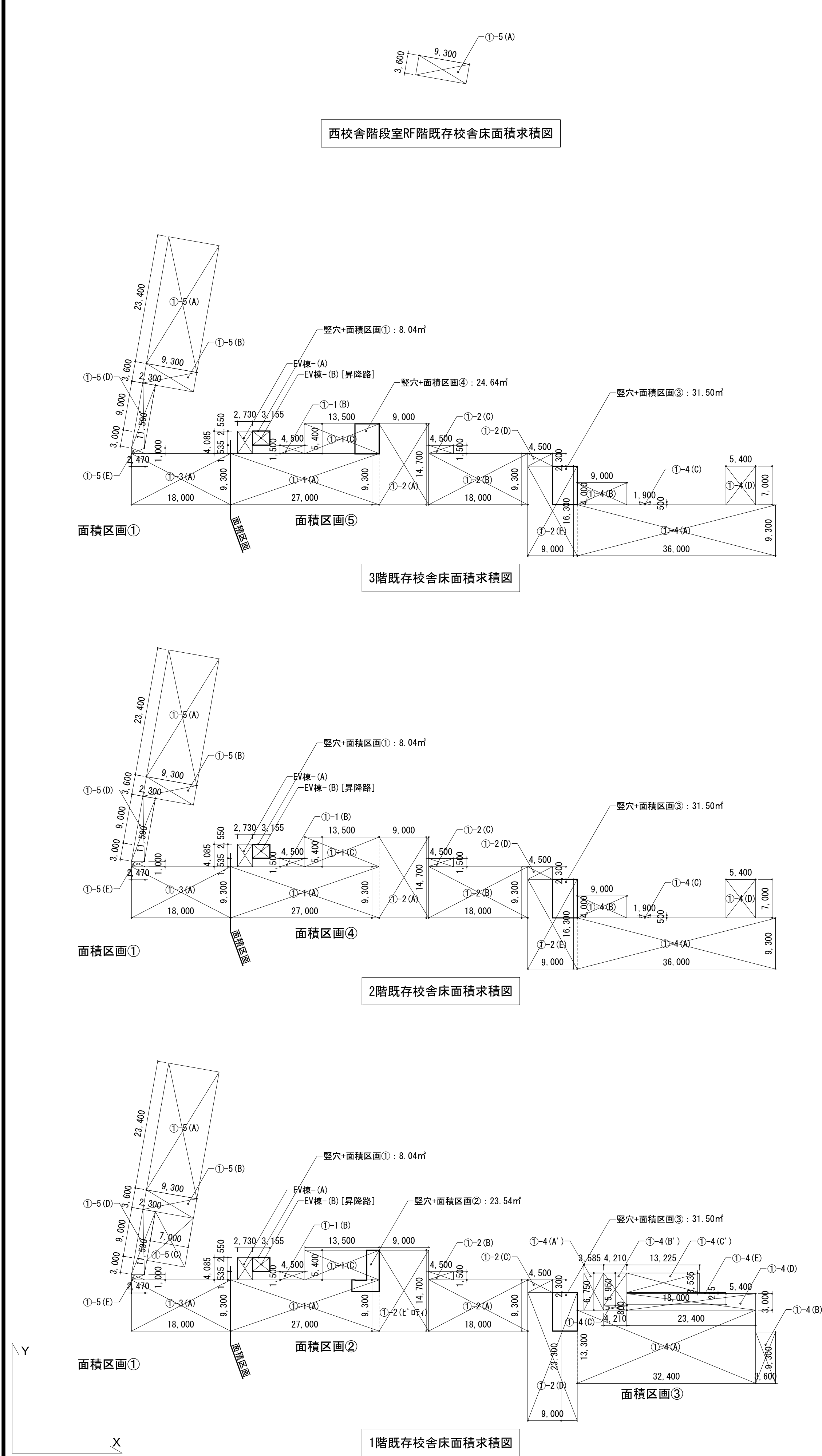
1階床面積求積図

延床面積				
階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)
		X	Y	
1階	①	2,730	4,085	11,1520
	②	3,155	2,550	8,0452
	1階床面積 合計			19,1972≒19,19
2階	③	2,730	4,085	11,1520
	④	3,155	2,550	8,0452
	2階床面積 合計			19,1972≒19,19
3階	⑤	2,730	4,085	11,1520
	⑥	3,155	2,550	8,0452
	2階床面積 合計			19,1972≒19,19
容積率不算入(昇降路) : 8,0452+8,0452+8,0452				24,1356≒24,13
延床面積 : 19,19+19,19+19,19				57,57m2
容積率の基礎となる延床面積 : 57,57-24,13				33,44m2



建築面積			
記号	計算式 (m)		合計 (m2)
	X	Y	
A	2,730	4,085	11,1520
B	3,155	2,550	8,0452
底1	(0,675-1,000)	-	0
底2	(0,1926-1,000)	-	0
底3	(0,1926-1,000)	-	0
建築面積 合計			19,1972≒19,19m2

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	建物求積図・求積表-1		
作成年月日	令和7年12月19日	変更年月日	-
縮尺	1:50	図面番号	A-17
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



延床面積 (①~5棟)			
階数	記号	計算式 (m)	
		X	Y
RF階	(A)	9,300	3,600
	RF階①~5棟床面積	合計	
	(A)	33,480	

延床面積 (中央校舎 (①~1棟))				
階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)
		X	Y	
3階	(A)	27,000	9,300	251,100
	(B)	1,500	4,500	6,750
	(C)	13,500	5,400	72,900
	3階①~1棟床面積 合計			
	(A) + (B) + (C)			330,750≒330.75
延床面積 (中央校舎 (①~2棟))				
3階	(A)	9,000	14,700	132,300
	(B)	18,000	9,300	167,400
	(C)	4,500	1,500	6,750
	(D)	4,500	2,300	10,350
	(E)	9,000	16,300	146,700
	3階①~2棟床面積 合計			
(A) + (B) + (C) + (D) + (E)			463,500≒463.50	
延床面積 (中央校舎 (①~3棟))				
3階	(A)	18,000	9,300	167,400
	3階①~3棟床面積 合計			
	(A)			167,400≒167.40

面積区画⑤			
棟	3階 : ①~1棟+①~2棟+①~4棟+EV棟 (A)	(-) 壁穴+面積区画 : ①+④+③	
	330.75+463.50+409.55+11.15	8.04+24.64+31.50	
合計	1,214.95	64.18	
		1,214.95-64.18	
総合計		1,150.77	

延床面積 (中央校舎 (①~1棟))				
階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)
		X	Y	
2階	(A)	27,000	9,300	251,100
	(B)	1,500	4,500	6,750
	(C)	13,500	5,400	72,900
	2階①~1棟床面積 合計			330,750≒330.75
	(A)+(B)+(C)			
延床面積 (中央校舎 (①~2棟))				
2階	(A)	9,000	14,700	132,300
	(B)	18,000	9,300	167,400
	(C)	4,500	1,500	6,750
	(D)	4,500	2,300	10,350
	(E)	9,000	16,300	146,700
	2階①~2棟床面積 合計			463,500≒463.50
(A)+(B)+(C)+(D)+(E)				
延床面積 (中央校舎 (①~3棟))				
2階	(A)	18,000	9,300	167,400
	2階①~3棟床面積 合計			167,400≒167.40
	(A)			

面積区画④			
棟	2階 : ①~1棟+①~2棟+①~4棟+EV棟 (A)	(+) 壁穴+面積区画 : ②+④	(-) 壁穴+面積区画 : ①+③
	330.75+463.50+409.55+11.15	23.54+24.64	8.04+31.50
合計	1,214.95	48.18	39.54
		1,214.95+48.18-39.54	
総合計		1,223.59	

延床面積 (中央校舎 (①~1棟))				
階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)
		X	Y	
1階	(A)	27,000	9,300	251,100
	(B)	1,500	4,500	6,750
	(C)	13,500	5,400	72,900
	1階①~1棟床面積 合計			
	(A) + (B) + (C)		330,750 ≒ 330.75	
延床面積 (中央校舎 (①~2棟))				
1階	(A)	18,000	9,300	167,400
	(B)	4,500	1,500	6,750
	(C)	4,500	2,300	10,350
	(D)	9,000	23,300	209,700
	1階①~2棟床面積 合計			
(A) + (B) + (C) + (D)		394,200 ≒ 394.20		
延床面積 (中央校舎 (①~3棟))				
1階	(A)	18,000	9,300	167,400
	1階①~3棟床面積 合計			
	(A)		167,400 ≒ 167.40	

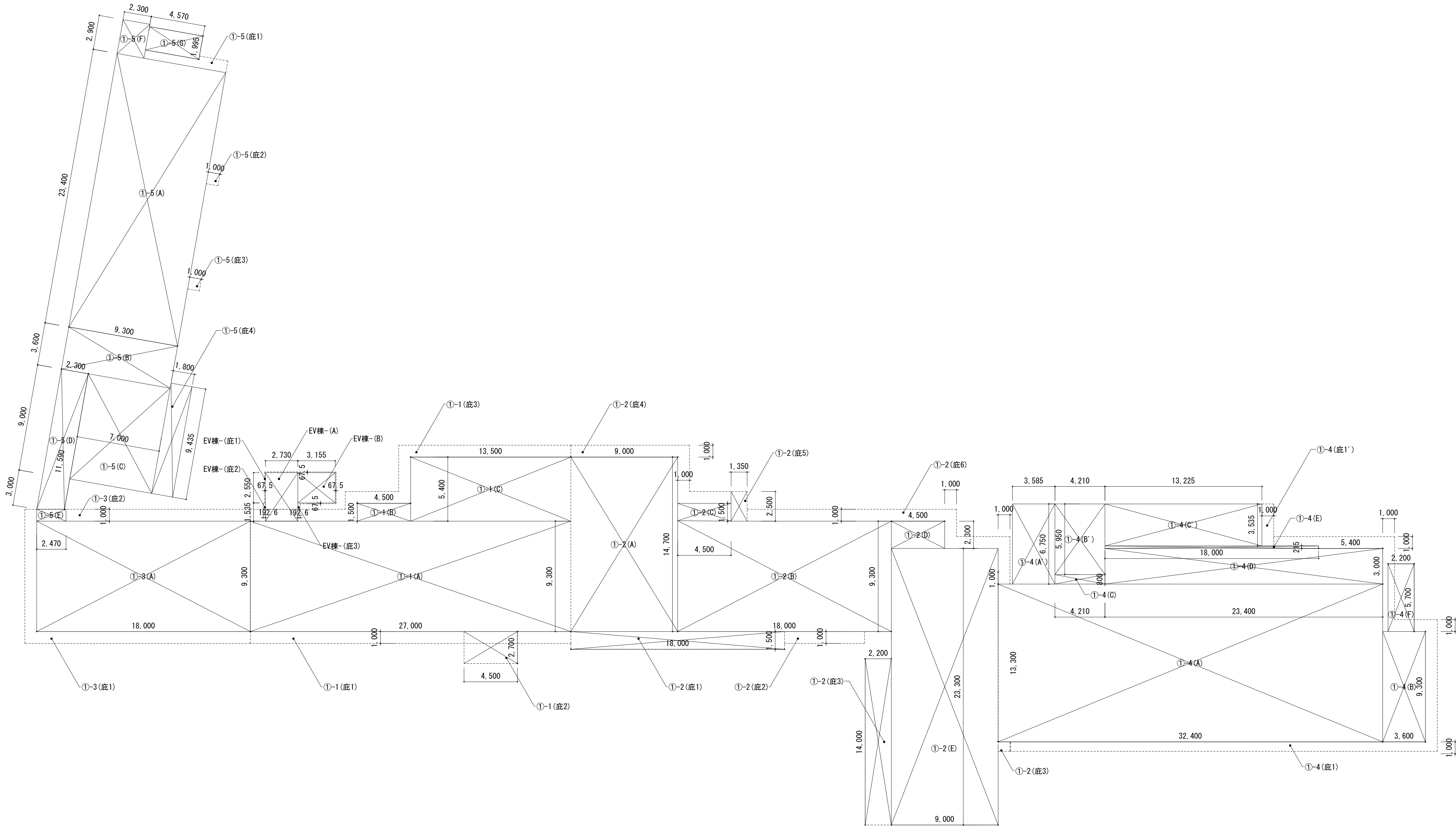
面積区画①			
棟	1階 : ①~3棟+①~5棟	2・3階 : ①~3棟+①~5棟	RF階 (①~5棟)
	167.40+343.70	167.40+280.70+167.40+280.70	33.48
合計	511.10	896.20	33.48
		511.10+896.20+33.48	
総合計		1,440.78	

面積区画②			
棟	1階 : ①~1棟+EV棟	(-) 壁穴+面積区画 : ①+②	1階 : ①~2棟+①~4棟
	330.75+19.19	31.50	1,032.03
合計	349.94	31.50	31.50
		349.94+31.58	
総合計		318.36	

面積区画③			
棟	1階 : ①~2棟+①~4棟	(-) 壁穴+面積区画 : ③	1階 : ①~2棟+①~4棟
	394.20+637.83	31.50	1,032.03
合計	1,032.03	31.50	31.50
		1,032.03+31.50	
総合計		1,000.53	

延床面積総合計				
階数	1階 (①~1, 2, 3, 4, 5棟)	2階 (①~1, 2, 3, 4, 5棟)	3階 (①~1, 2, 3, 4, 5棟)	RF階 (①~5棟)
既存合計	1,873.88	1,651.90	1,651.90	33.48
総計	1,893.07 (申請建物 : 19.19)	1,671.09 (申請建物 : 19.19)	1,671.09 (申請建物 : 19.19)	33.48 (申請建物 : 57.57)

延床面積 (東校舎 (①~4棟))				
階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)
		X	Y	
3階	(A)	36,000	9,300	334,800
	(B)	9,000	4,000	36,000
	(C)	1,900	0,500	0,950
	(D)	5,400	7,000	37,800
	3階①~4棟床面積 総合計			
	(A) + (B) + (C) + (D)			409,550 ≒ 409,55



既存校舎建築面積求積図

建築面積（中央校舎（①-1棟））					建築面積（中央校舎（①-2棟））					建築面積（中央校舎（①-3棟））					建築面積（東校舎（①-4棟））					建築面積（西校舎（①-5棟））					建築面積（EV棟（申請建物））				
棟	記号	計算式 (m)		合計 (m2)	棟	記号	計算式 (m)		合計 (m2)	棟	記号	計算式 (m)		合計 (m2)	階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)	階数	記号	計算式 (m)		合計 (m2)	記号	計算式 (m)		合計 (m2)	
		X	Y				X	Y				X	Y				X	Y				X	Y			X	Y		
①-1棟	(A)	27.000	9.300	251.100	①-2棟	(A)	9.000	14.700	132.300	①-3棟	(A)	18.000	9.300	167.400	①-4棟	(A')	3.585	6.750	24.198	①-5棟	(A)	9.300	23.400	217.620	EV棟	(A)	2.730	4.085	11.1520
	(B)	1.500	4.500	6.750		(B)	18.000	9.300	167.400		底1	1.000-1.000	-	0		(B')	4.210	5.950	25.049		(B)	9.300	3.600	33.480		(B)	3.155	2.550	8.0452
	(C)	13.500	5.400	72.900		(C)	4.500	1.500	6.750		底2	1.000-1.000	-	0		(C')	13.225	3.535	46.750		(C)	7.000	9.000	63.000		底1	0.675-1.000	-	0
	底1	1.000-1.000	-	0		(D)	4.500	2.300	10.350		①-3棟建築面積 合計	-	0	底1')		1.000-1.000	-	0	(D)		2.300	12.000	-	0					
	底2	2.700-1.000	4.500	7.650		(E)	9.000	23.300	209.700		(A)	167.400≒167.40	①-4棟（増築部）建築面積 合計	-		0	底2	0.1926-1.000	-		0								
	底3	1.000-1.000	-	0		底1	1.500-1.000	18.000	9.000		(A')	95.997≒95.99	(A)	12.000		11.590	27.129	底3	0.1926-1.000		-	0							
	①-1棟建築面積 合計	-	-	-		底2	1.000-1.000	-	0		(B)	32.400	13.300	430.92		(E)	2.470	1.000	2.470		建築面積 合計		19.1972≒19.19m2						
	(A)+(B)+(C)+底2	338.400≒338.40	底3	2.200-1.000		14.000	16.800	(C)	3.600		9.300	33.480	(F)	2.300		2.900	6.670												
				底4		1.000-1.000	-	0	(D)		4.210	0.800	3.368	(G)		1.995	4.570	9.117											
				底5		1.350-1.000	2.500-1.000	0.525	(E)		23.400	3.000	70.200	底1		1.000-1.000	-	0											
				底6		1.000-1.000	-	0	(F)		18.000	0.215	3.870	底2		1.000-1.000	-	0											
				①-2棟建築面積 総合計		-	-	-	①-4棟建築面積 総合計		-	-	-	底3		1.000-1.000	-	0											
			(A)+(B)+(C)+(D)+(E)+底1+底3+底5	552.825≒552.83				底1	1.000-1.000	-	0	底4	1.800-1.000	9.435	7.548														

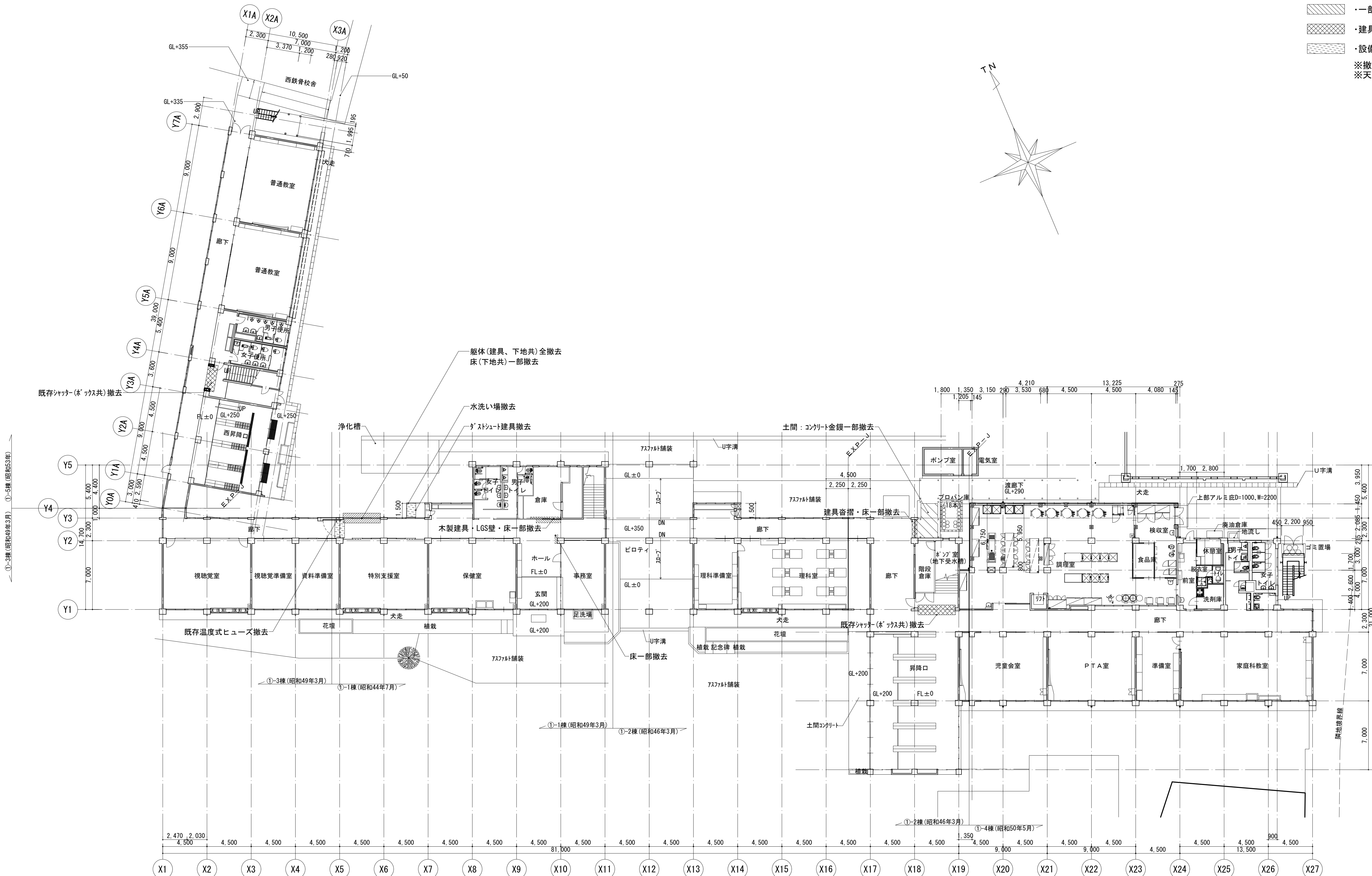
建築面積総合計								
棟	①-1棟	①-2棟	①-3棟	①-4棟	①-5棟	EV棟（申請建物）	建築面積（既存） ①-1+2+3+4+5	建築面積（既存） +EV棟（申請建物）
合計	338.40	552.83	167.40	650.37	367.03	19.19	2,076.03	2,095.22

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	建物求積図・求積表-3		
作成年月日	令和7年12月19日	変更年月日	—
縮尺	1:200	図面番号	A-19
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

特記無き限り下記による

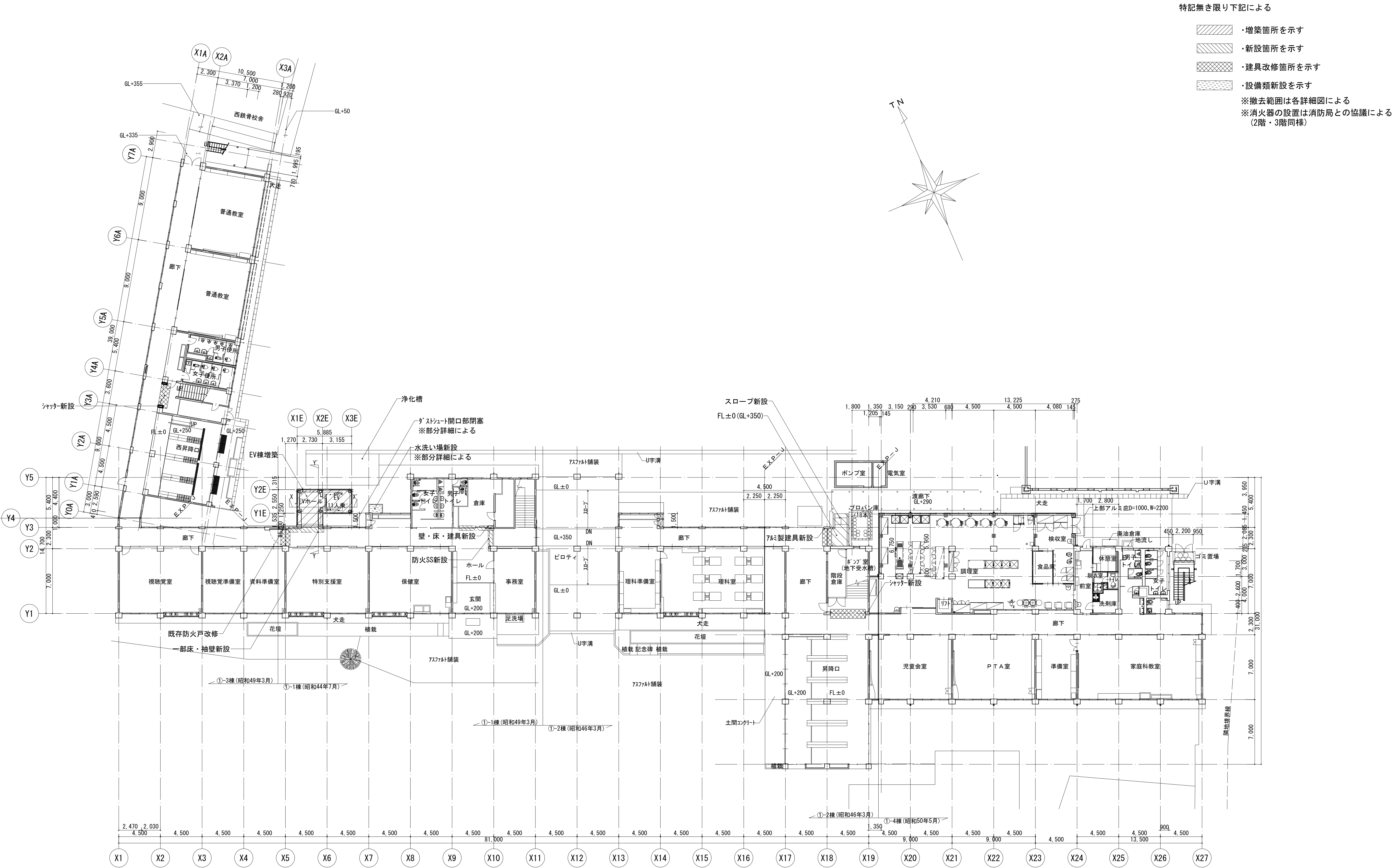
- ・躯体(下地、建具共)全撤去を示す
- ・一部撤去を示す
- ・建具撤去を示す
- ・設備類撤去・移設を示す

※撤去範囲は各詳細図による
※天井撤去範囲は天井伏図による



改修前 1階平面図 S=1:200

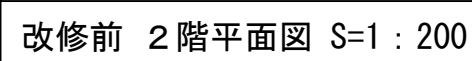
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 1階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-20
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



改修後 1階平面図 S=1:200

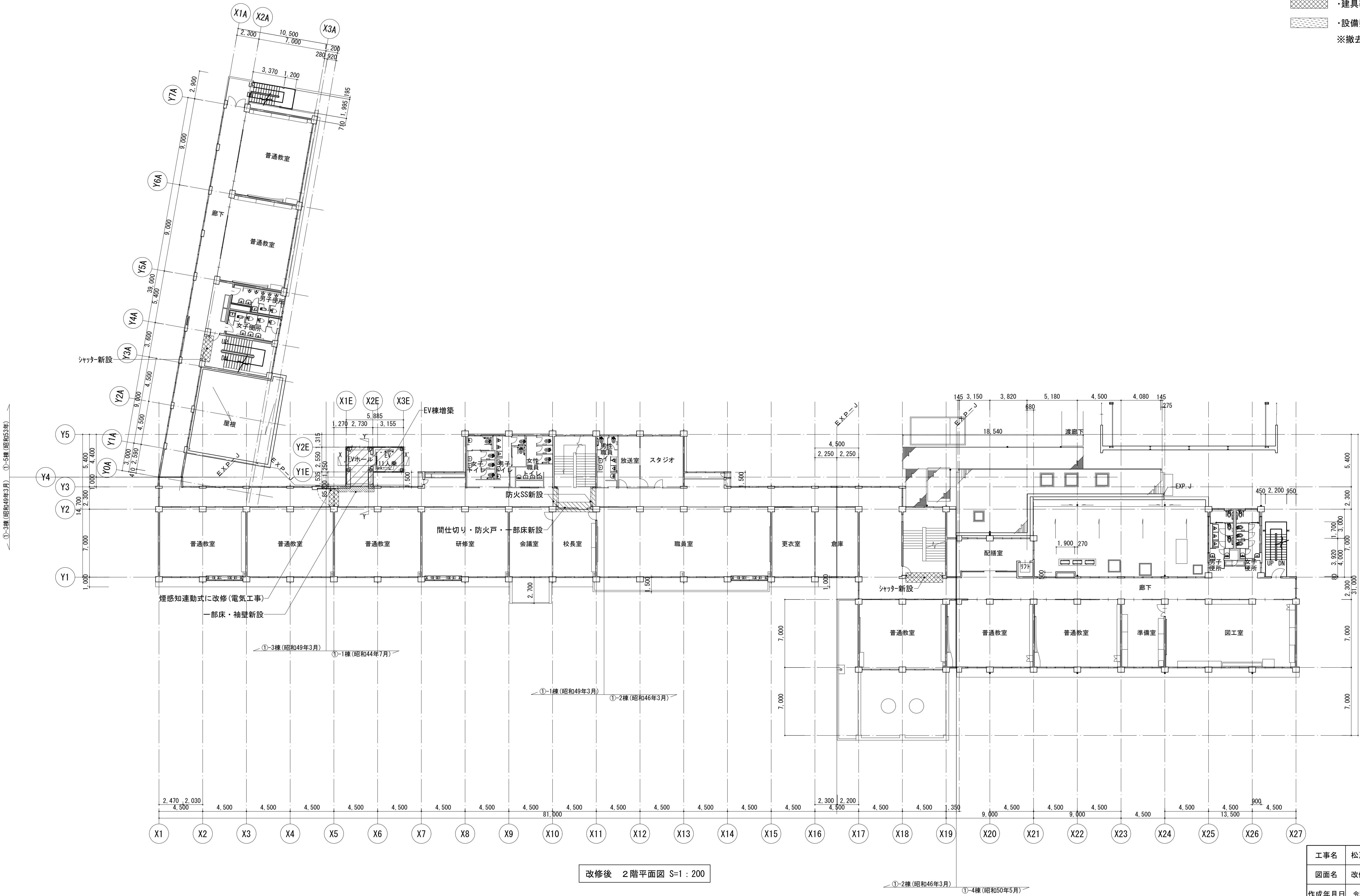
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 1階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-21
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

 ・躯体(下地、建具共)全撤去を示す
 ・一部撤去を示す
 ・建具撤去を示す
 ・設備類撤去・移設を示す
 ※撤去範囲は各詳細図による



工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 2階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:200	図面番号	A-22
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

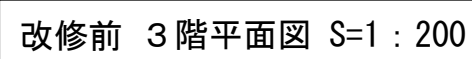
- 特記無き限り下記による
- ・増築箇所を示す
 - ・新設箇所を示す
 - ・建具改修箇所を示す
 - ・設備類新設を示す
- ※撤去範囲は各詳細図による



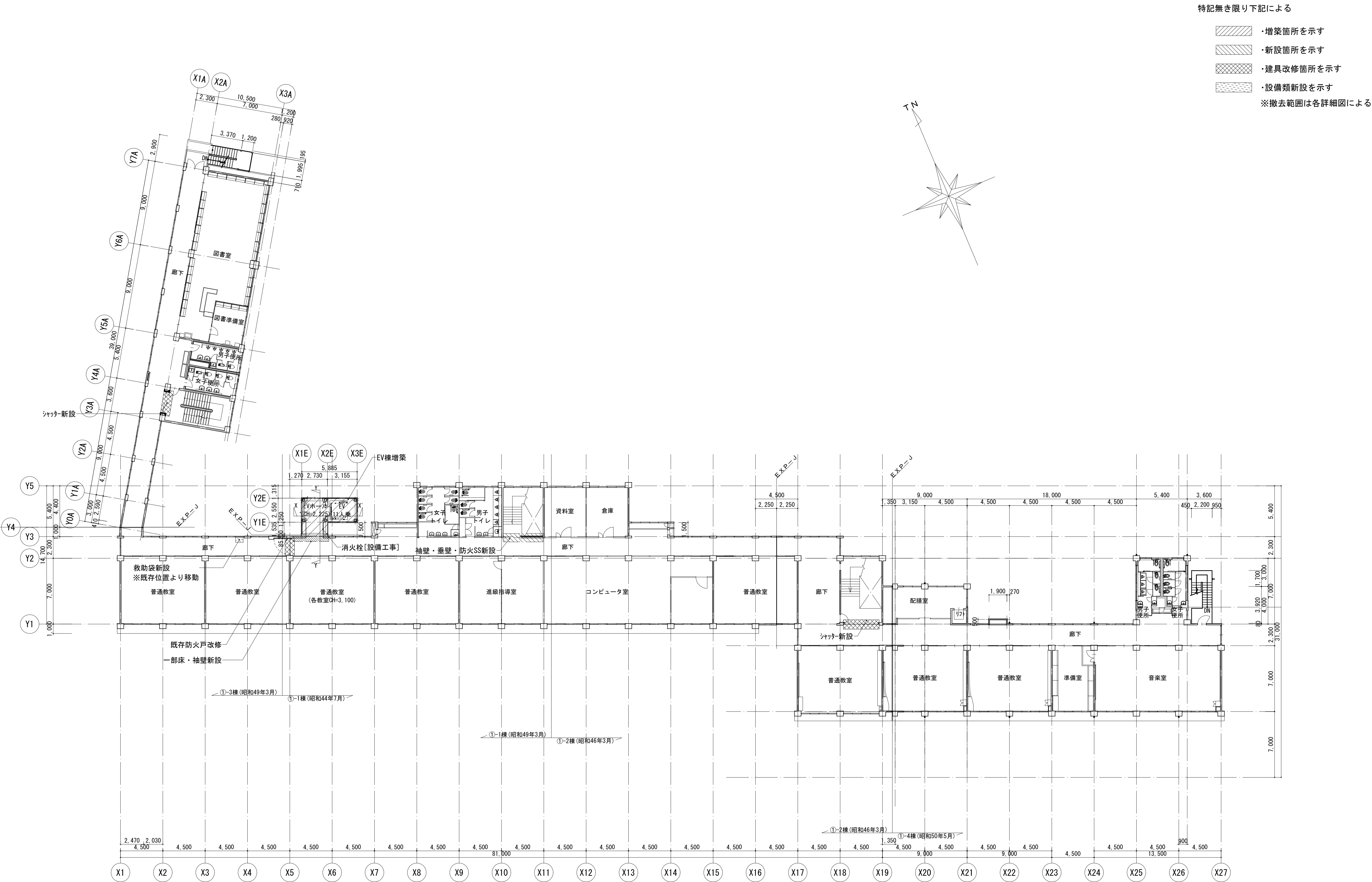
改修後 2階平面図 S=1:200

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 2階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-23
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

 ・躯体(下地、建具共)全撤去を示す
 ・一部撤去を示す
 ・建具撤去を示す
 ・設備類撤去・移設を示す
 ※撤去範囲は各詳細図による



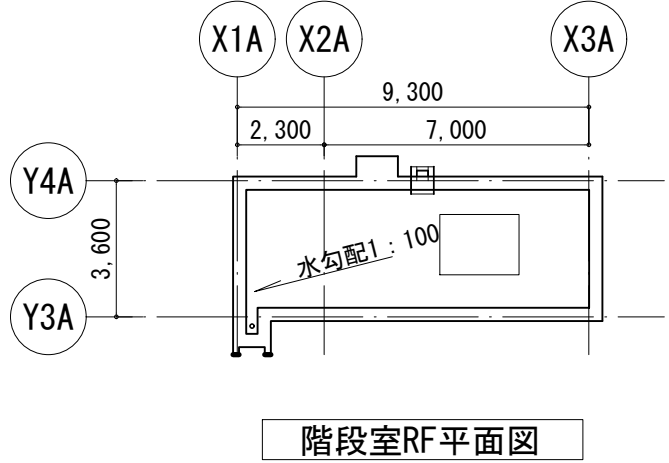
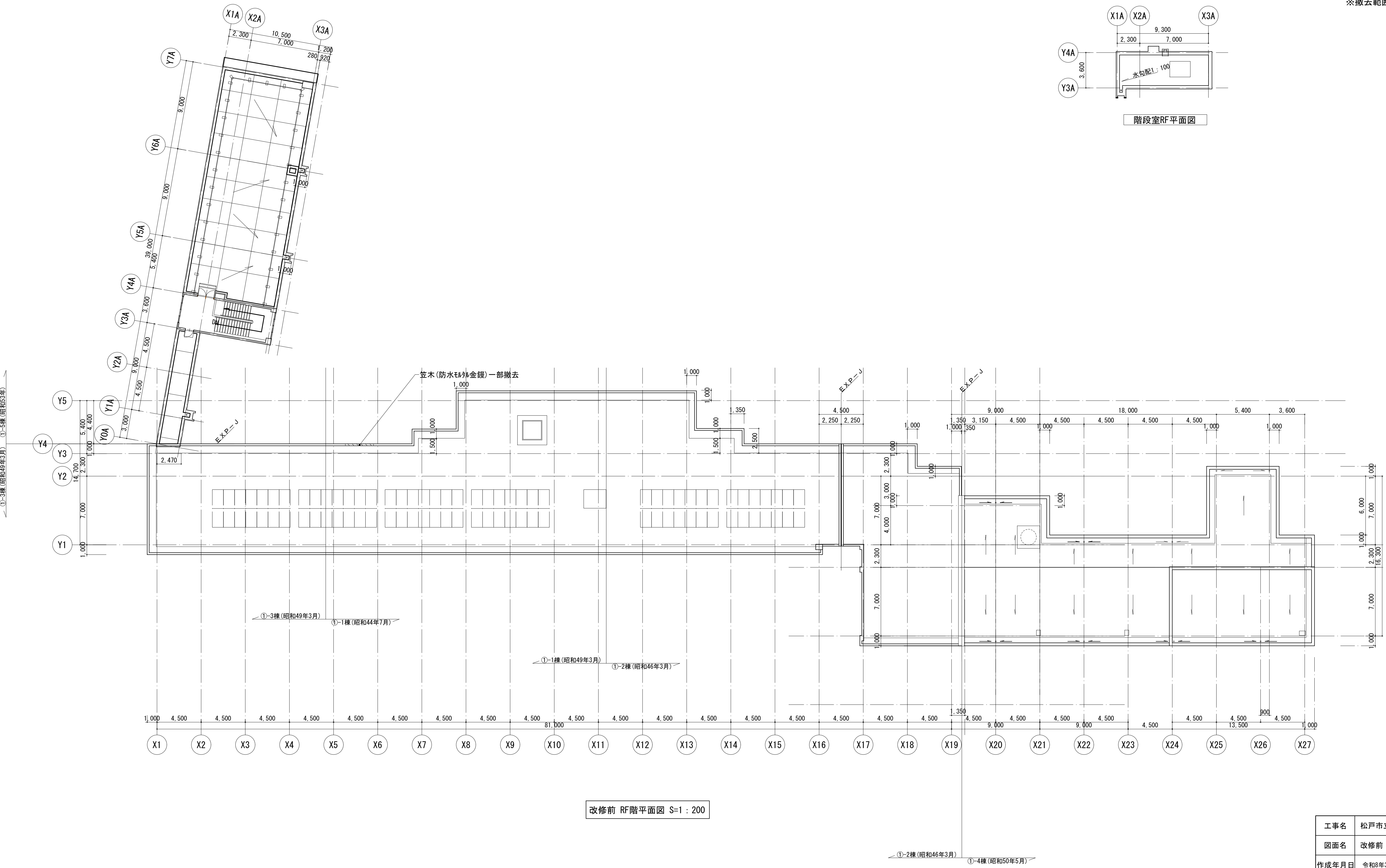
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 3階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:200	図面番号	A-24
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



改修後 3階平面図 S=1 : 200

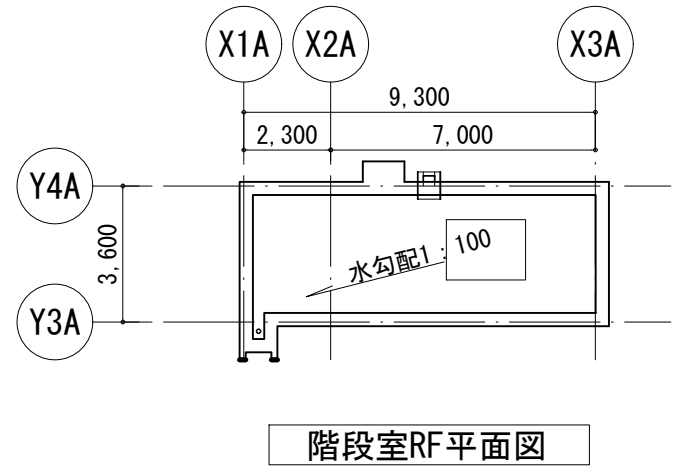
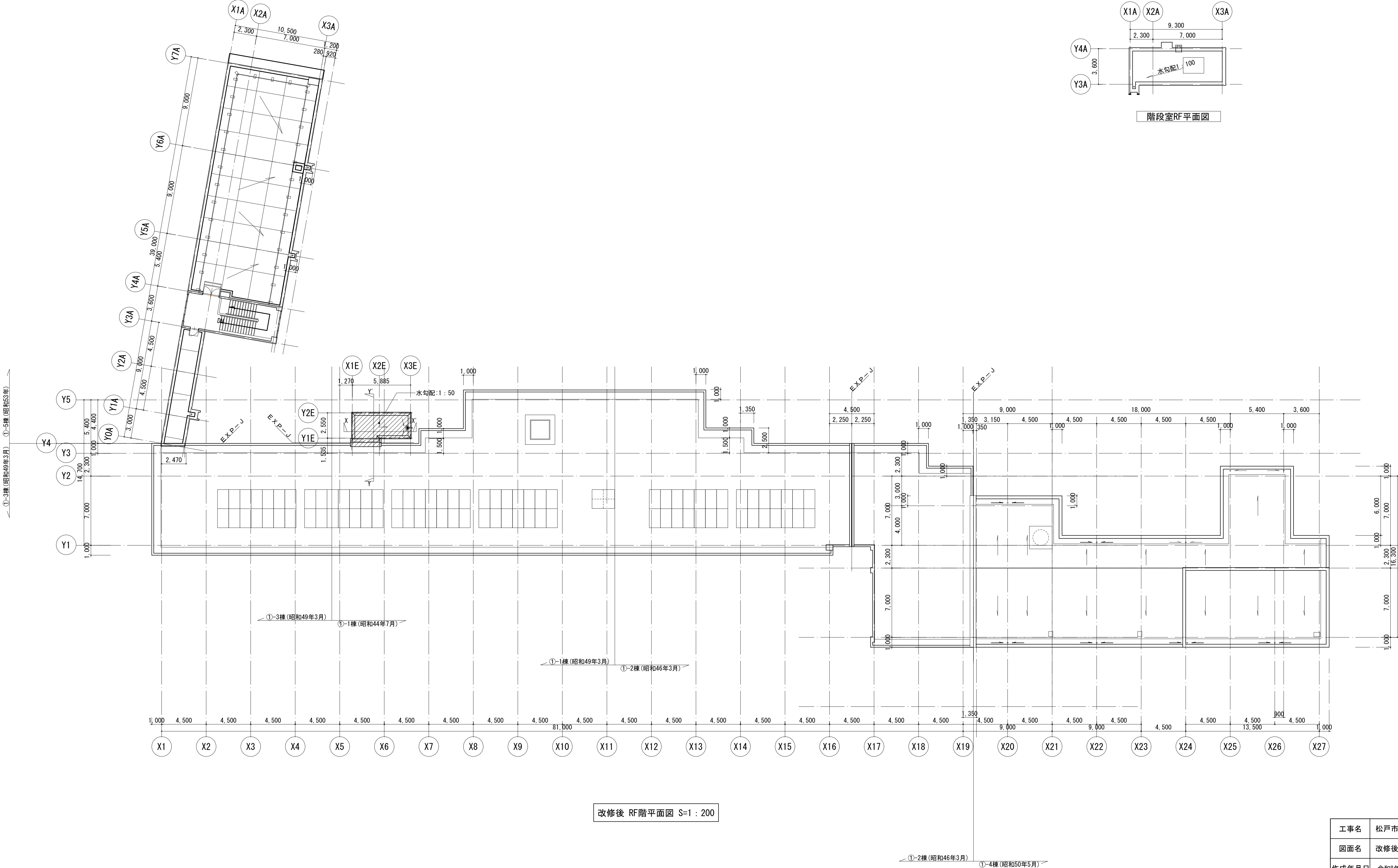
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 3階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-25
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

- 特記無き限り下記による
- ・躯体(下地、建具共)全撤去を示す
 - ・一部撤去を示す
 - ・建具撤去を示す
 - ・設備類撤去・移設を示す
- ※撤去範囲は各詳細図による

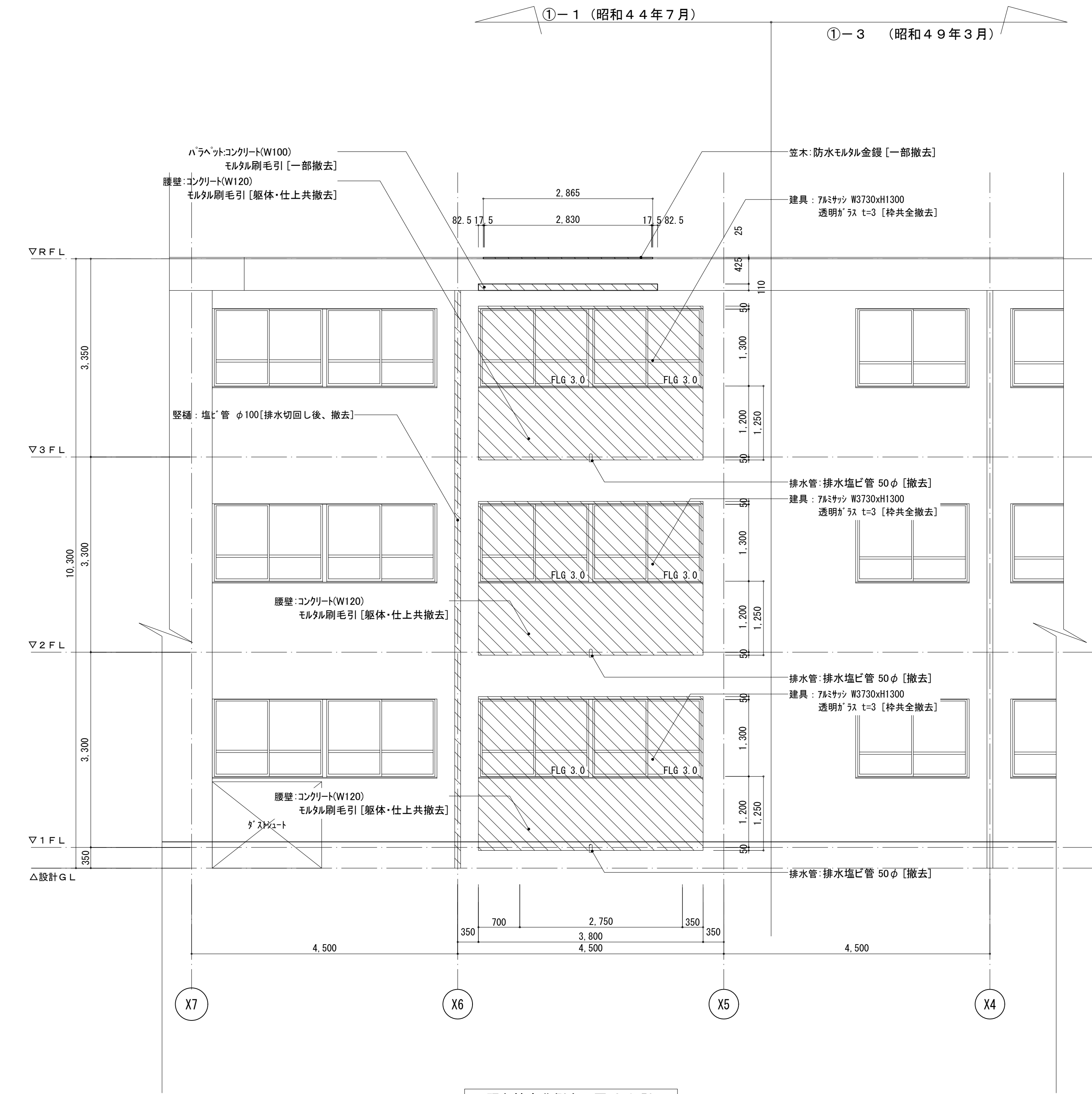


工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 RF階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-26
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

- 特記無き限り下記による
- ・増築箇所を示す
 - ・新設箇所を示す



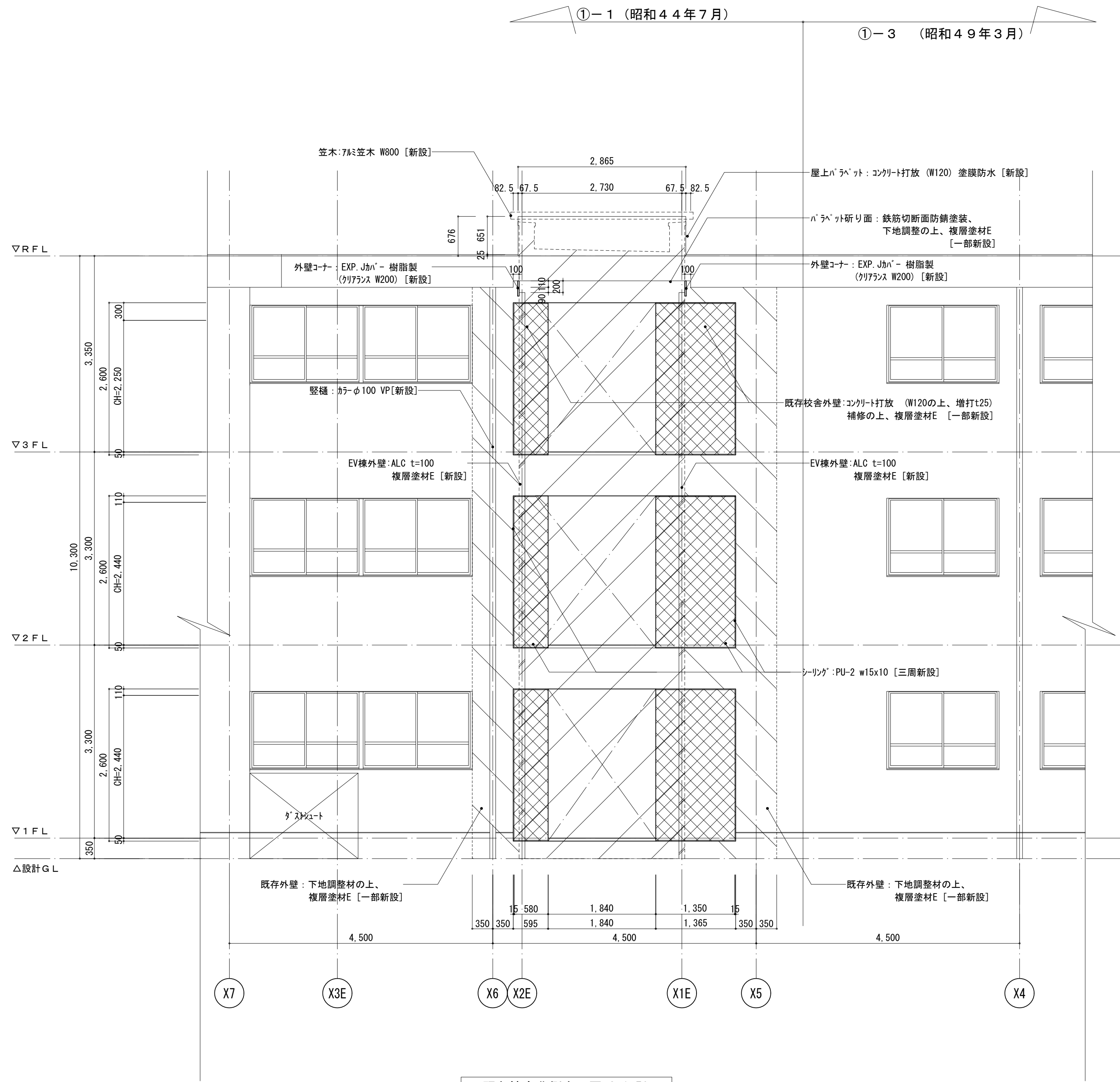
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 RF階平面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-27
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



既存校舎北側立面図 S=1:50

特記無き限り下記による

：建具・躯体共全撤去範囲を示す

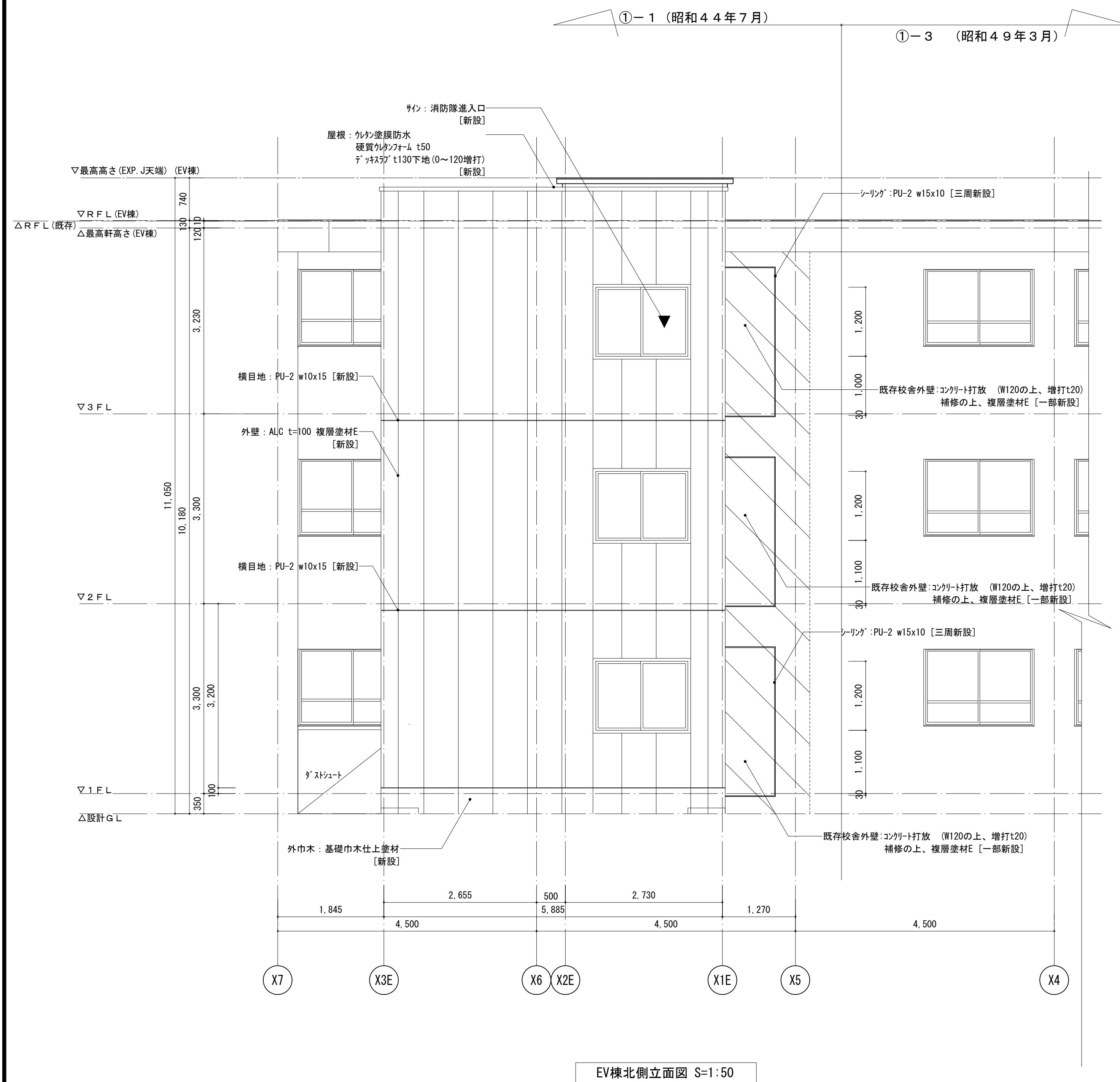
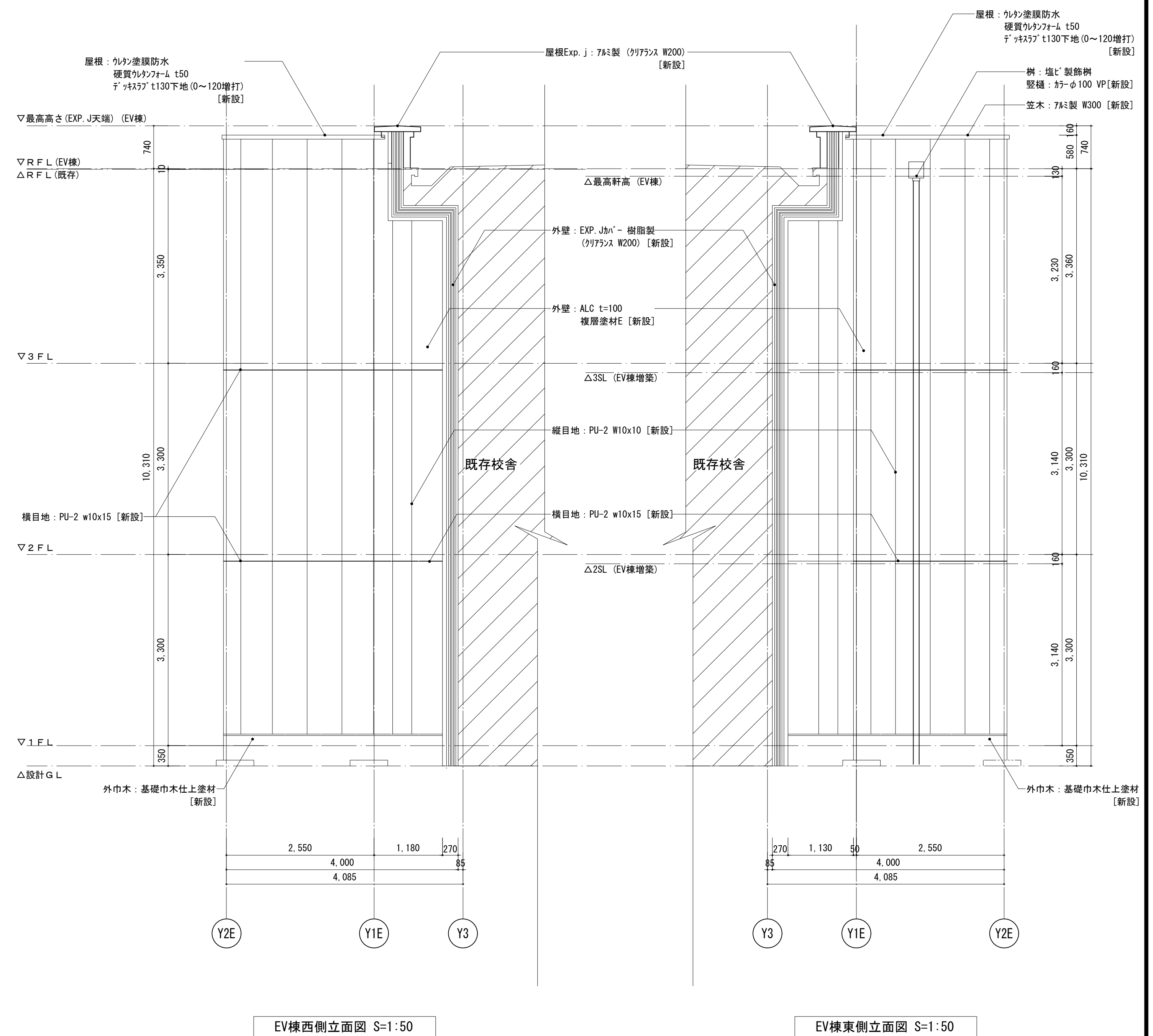
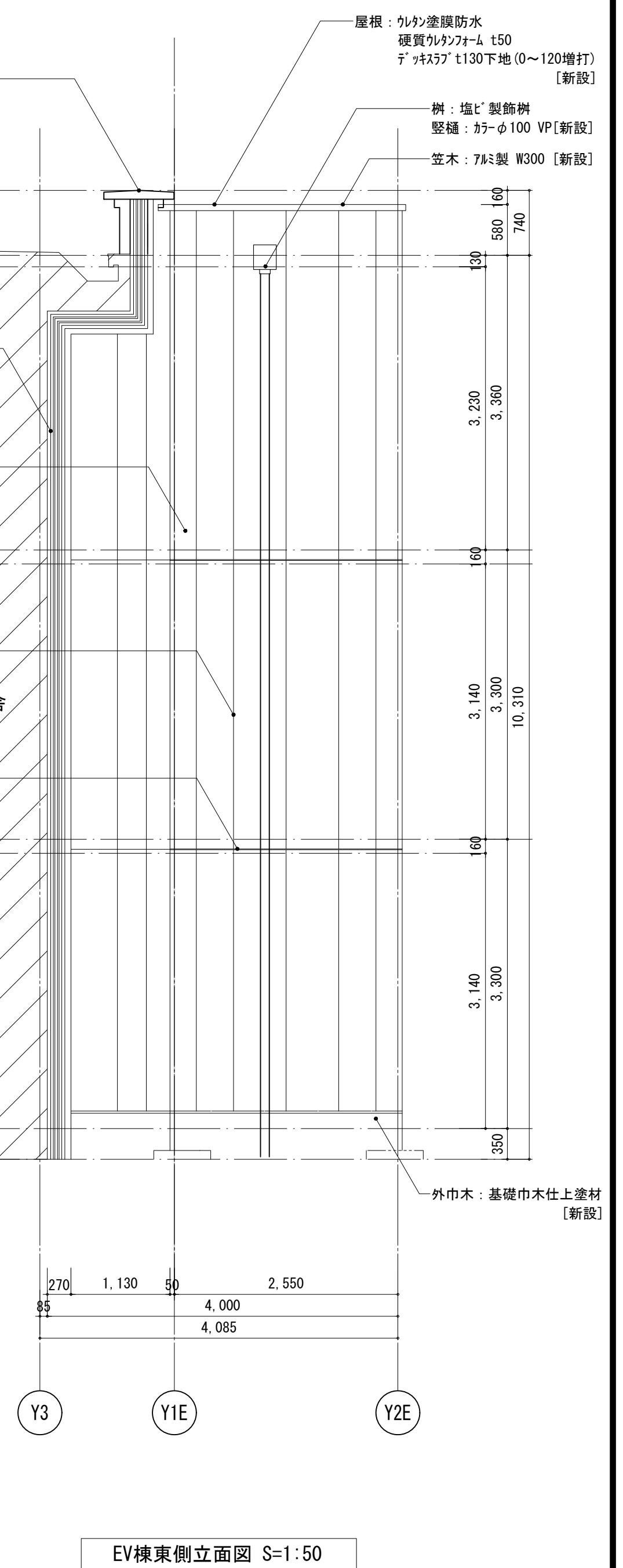


既存校舎北側立面図 S=1:50

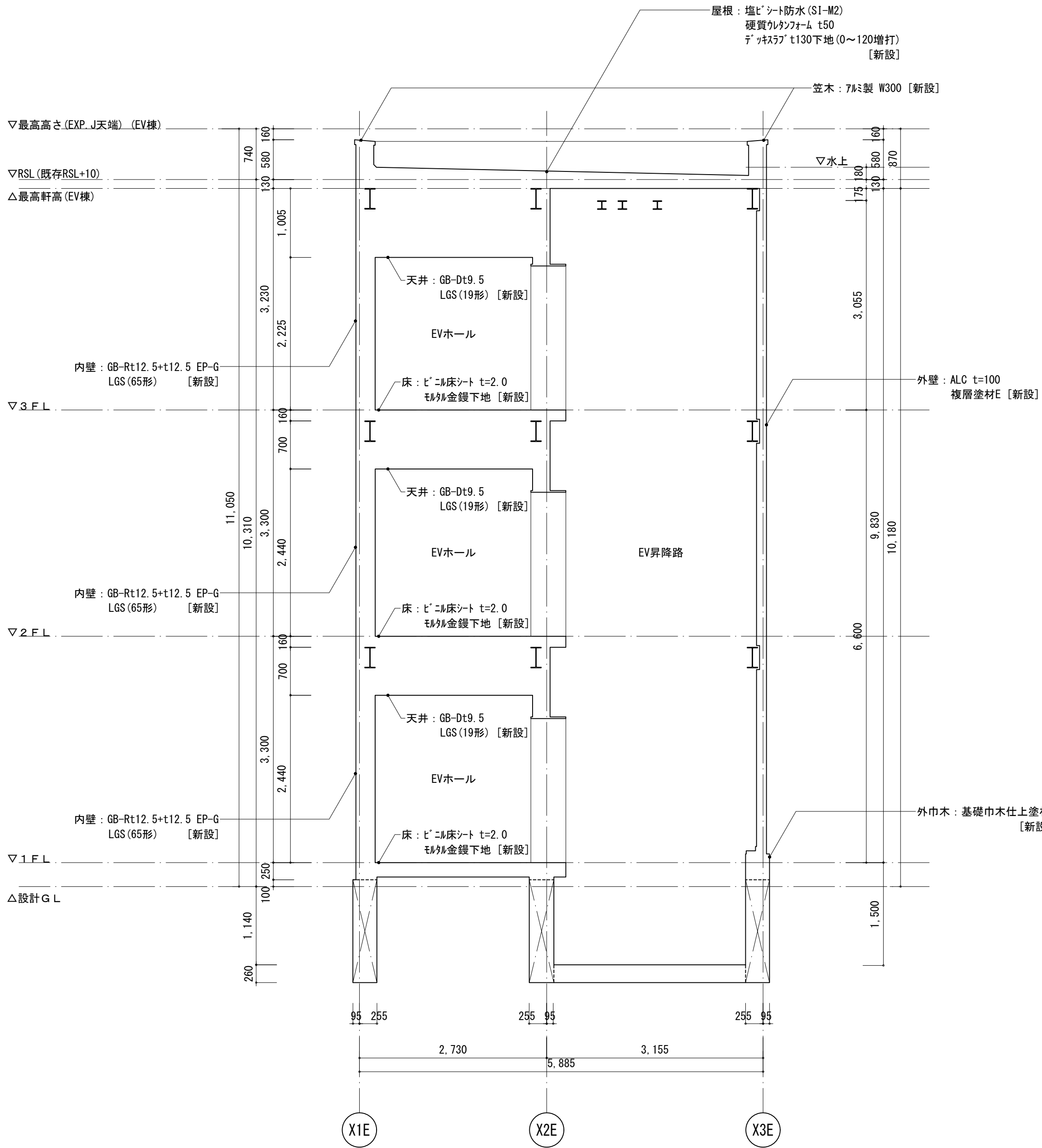
特記無き限り下記による

：増築するEV棟を示す
：既存校舎新設箇所を示す
：既存校舎塗替箇所を示す

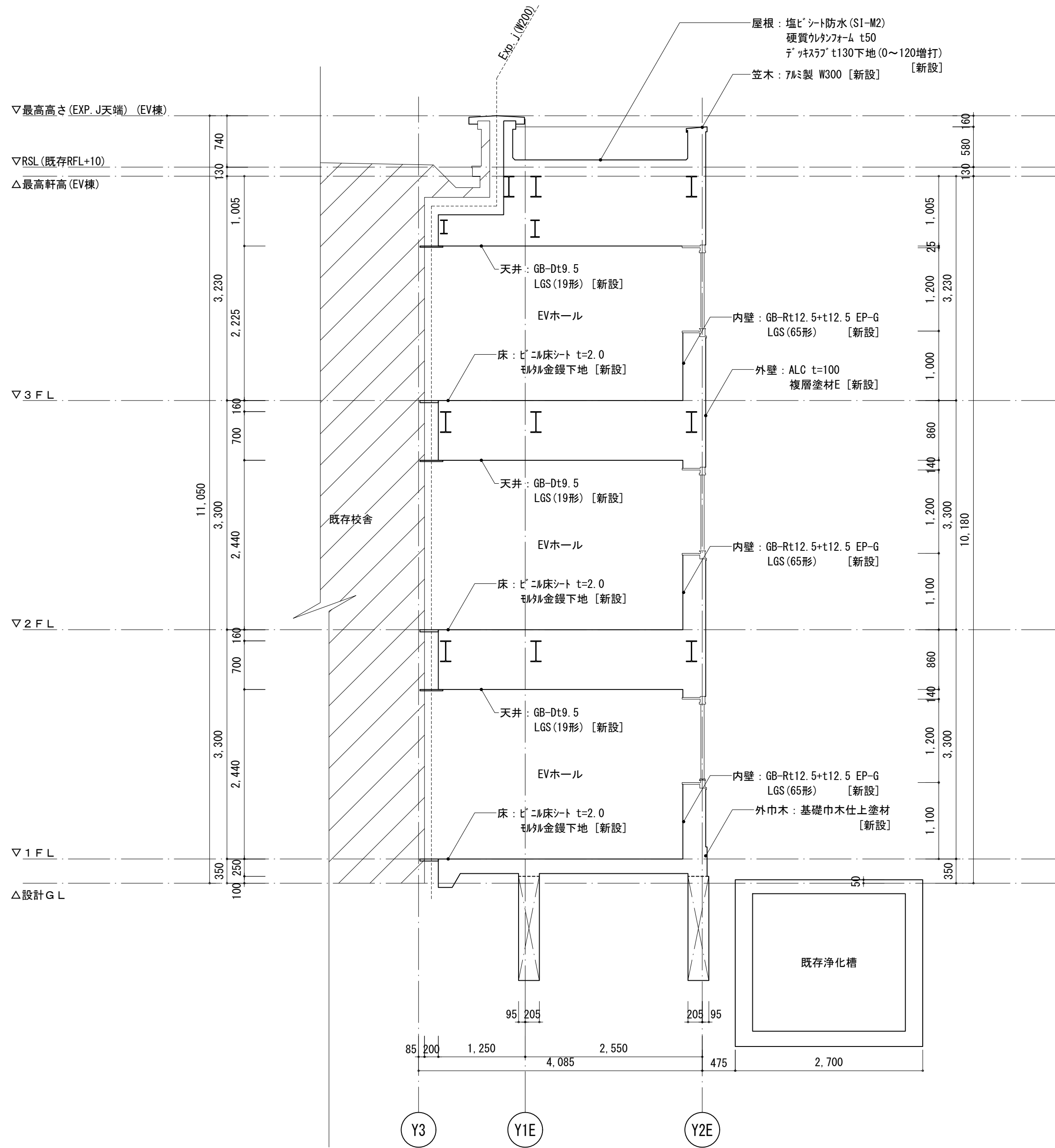
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	撤去 立面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:50	図面番号	A-28
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	EV棟 立面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:50	図面番号	A-29
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

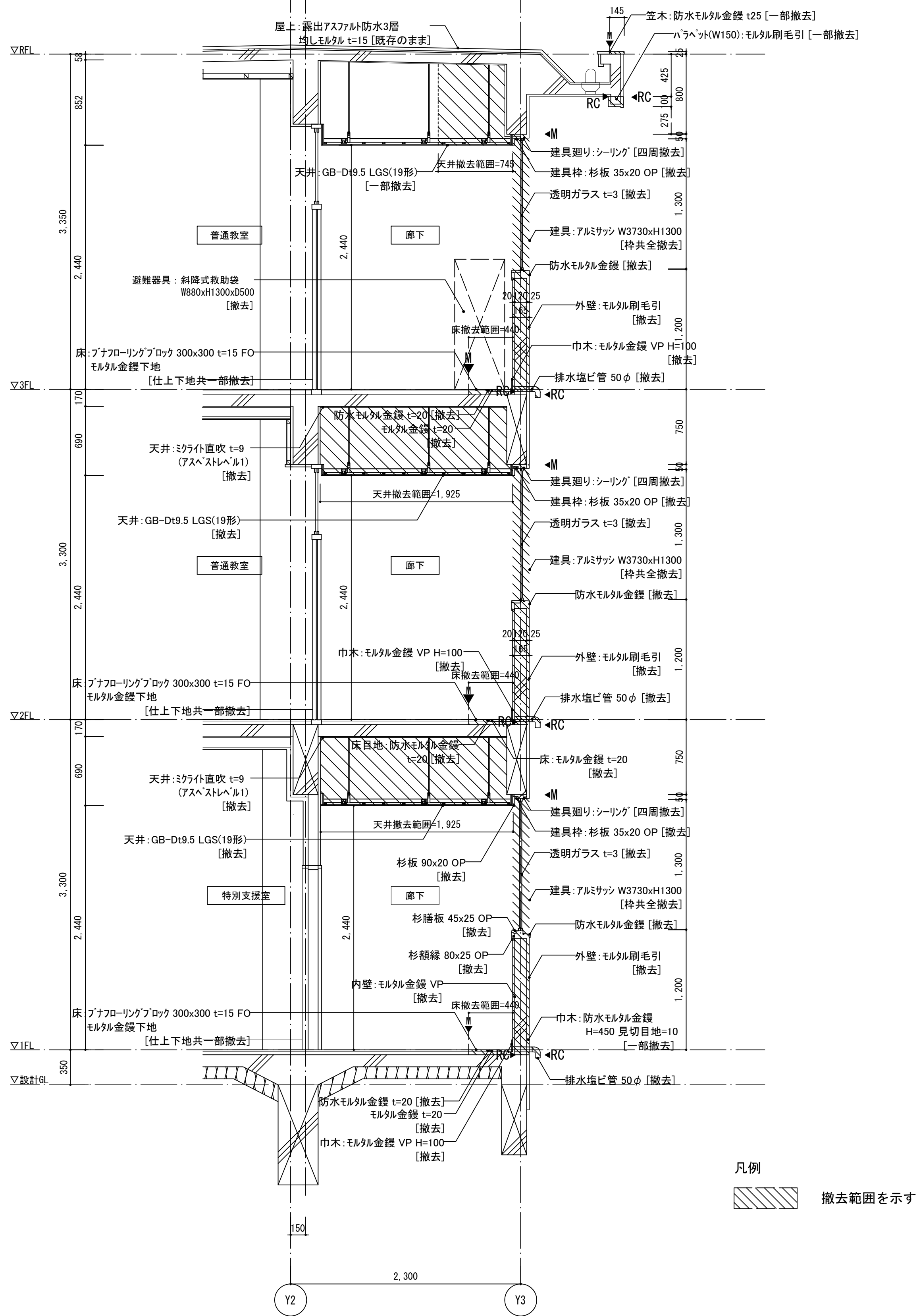


X-X' EV棟断面図 S=1:50

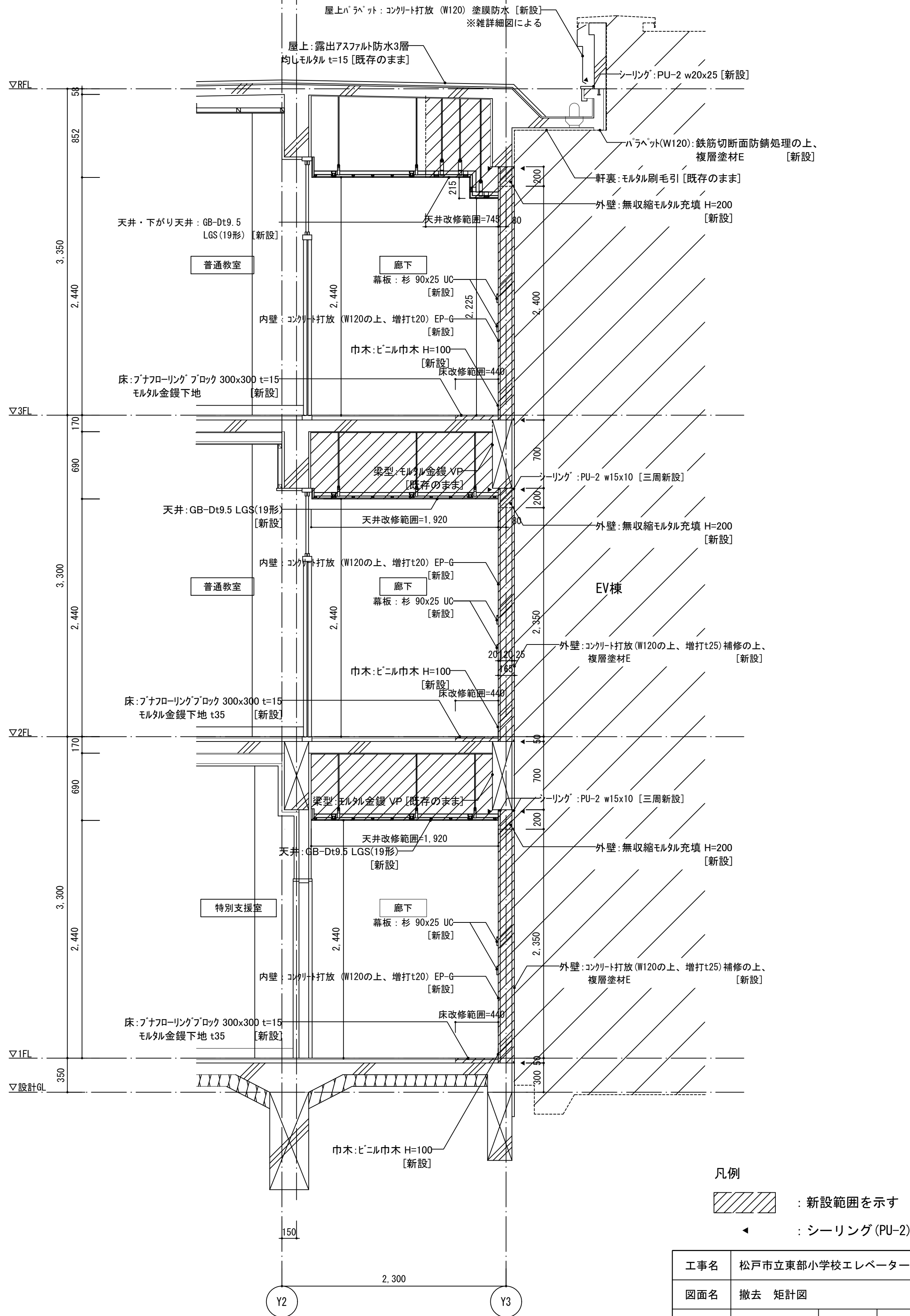


Y-Y' EV棟断面図 S=1:50

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	EV棟 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:50	図面番号	A-30
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

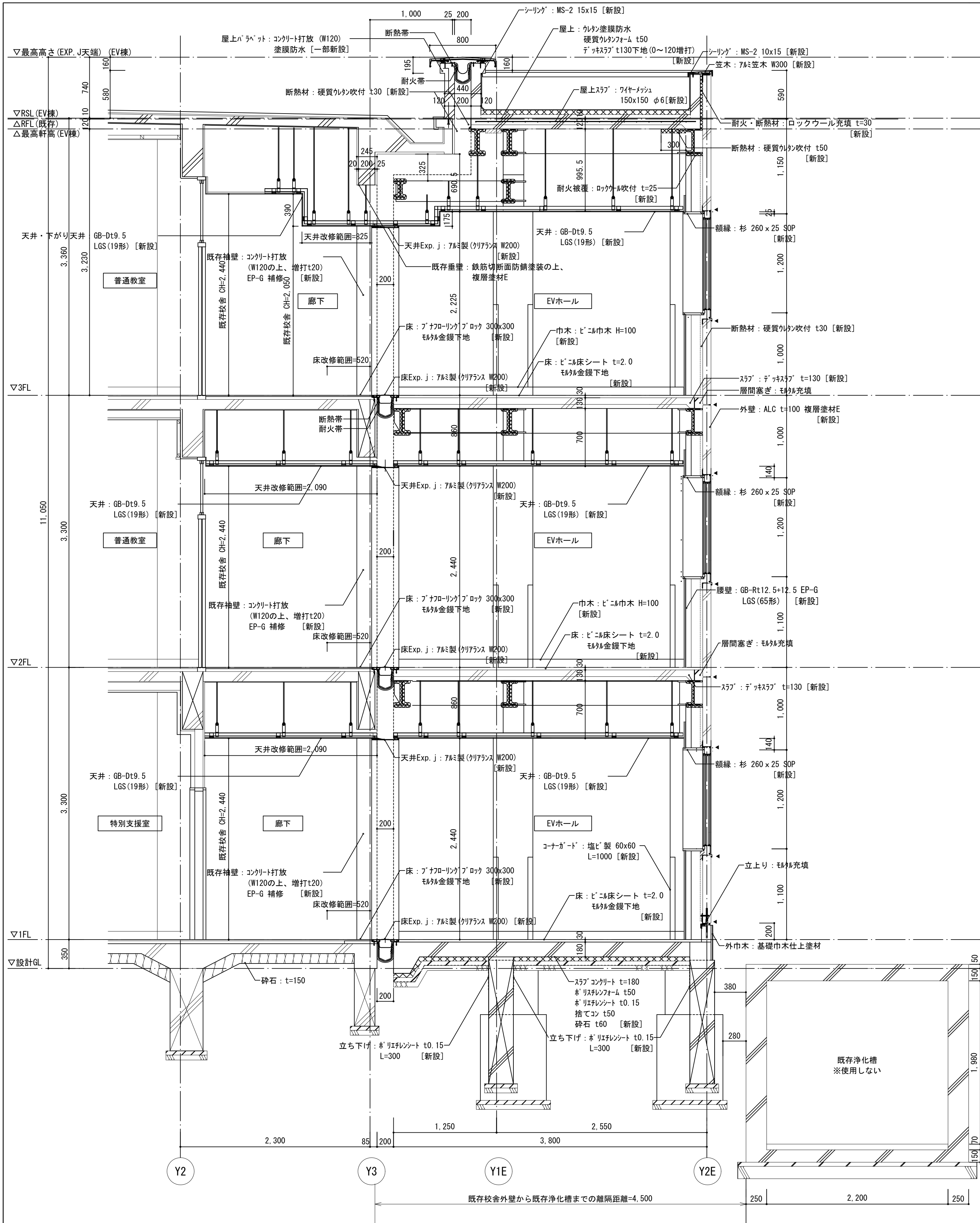


改修前 A-A' EV棟断面図 S=1 : 30

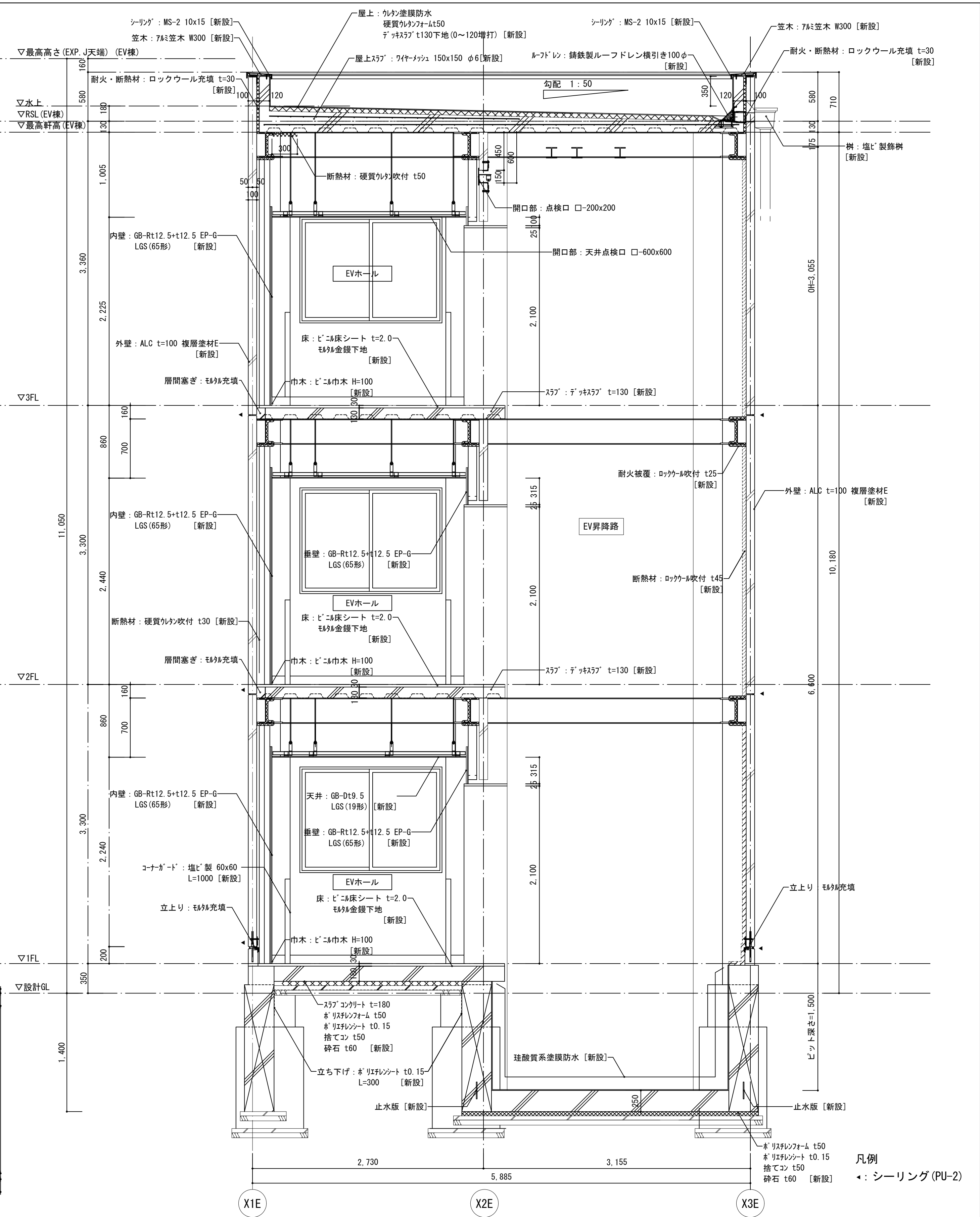


改修後 A-A' EV棟断面図 S=1 : 30

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	撤去 矩計図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:30	図面番号	A-31
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

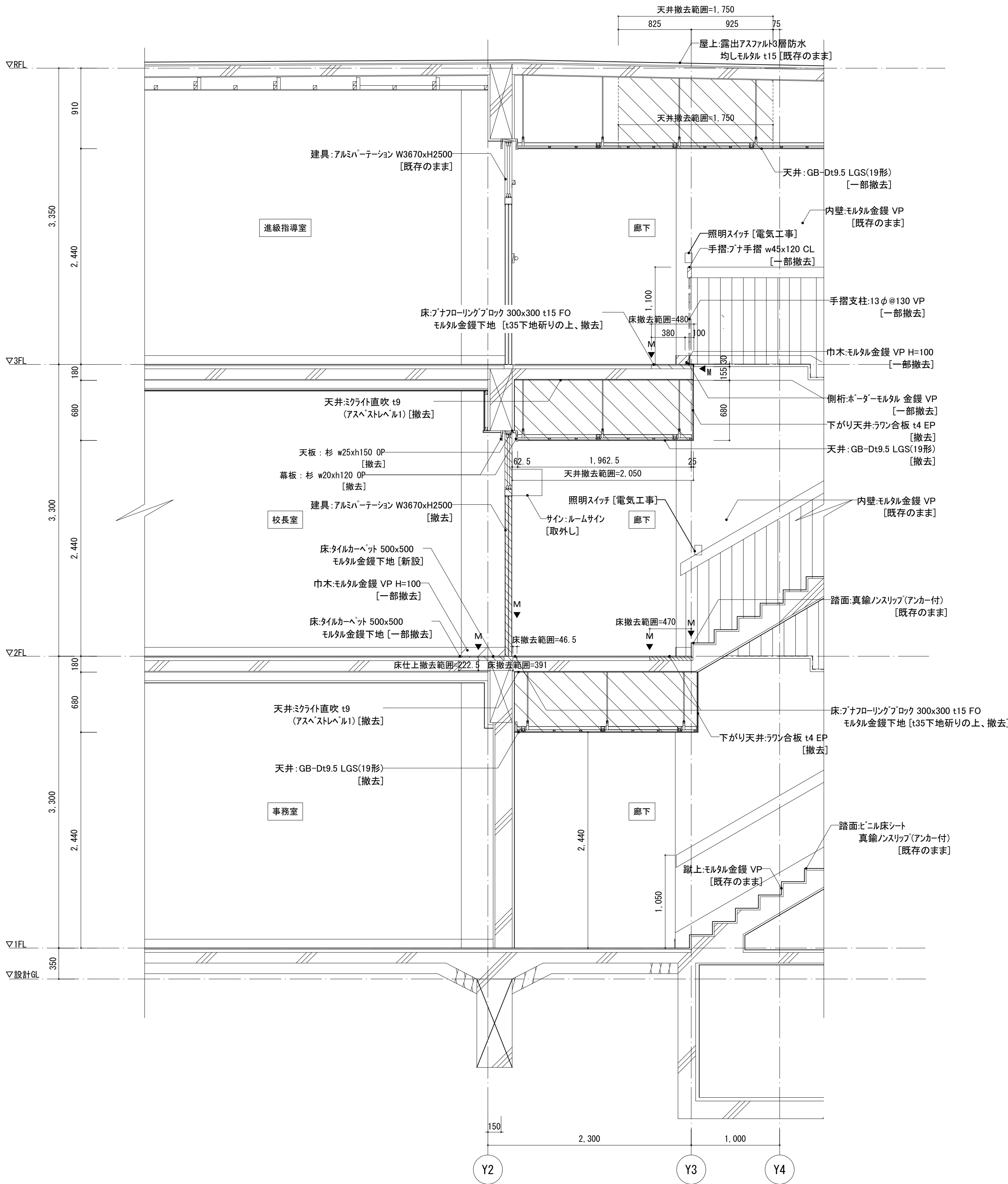


改修後 Y-Y' EV棟矩計図 S=1 : 30



改修後 X-X' EV棟矩計図 S=1 : 30

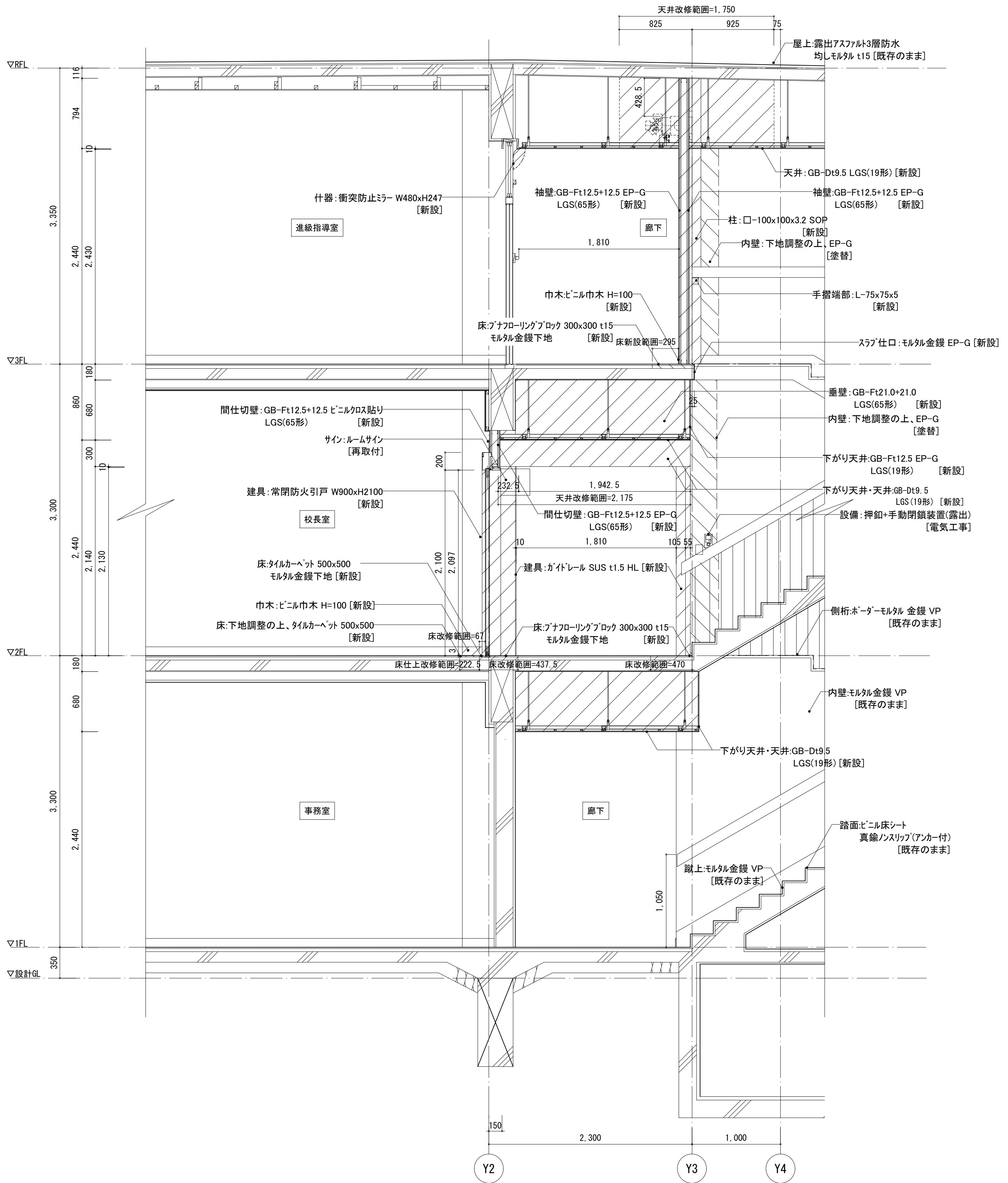
工事名	松戸市立東部小学校エ レベーター設置工事		
図面名	EV棟 矩計図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:30	図面番号	A-32
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



改修前 ①-1棟階段室矩計図-1 S=1:30

特記無き限り下記による

- 撤去範囲(下地共)を示す
- 撤去範囲(下地共)を示す
- 撤去範囲(下地共)を示す

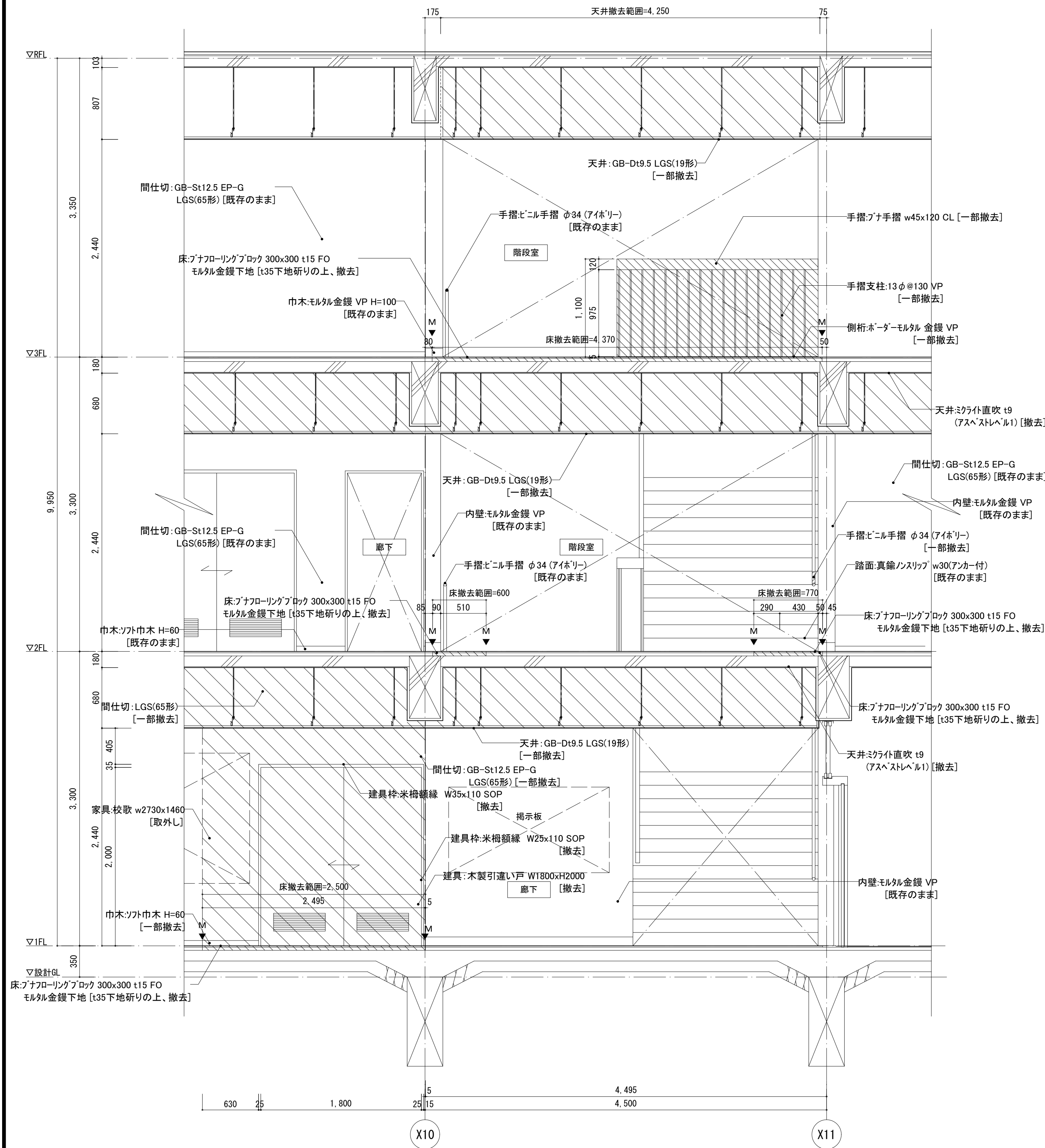


改修後 ①-1棟階段室矩計図-1 S=1:30

特記無き限り下記による

- 新設範囲を示す
- 塗替・張替範囲を示す

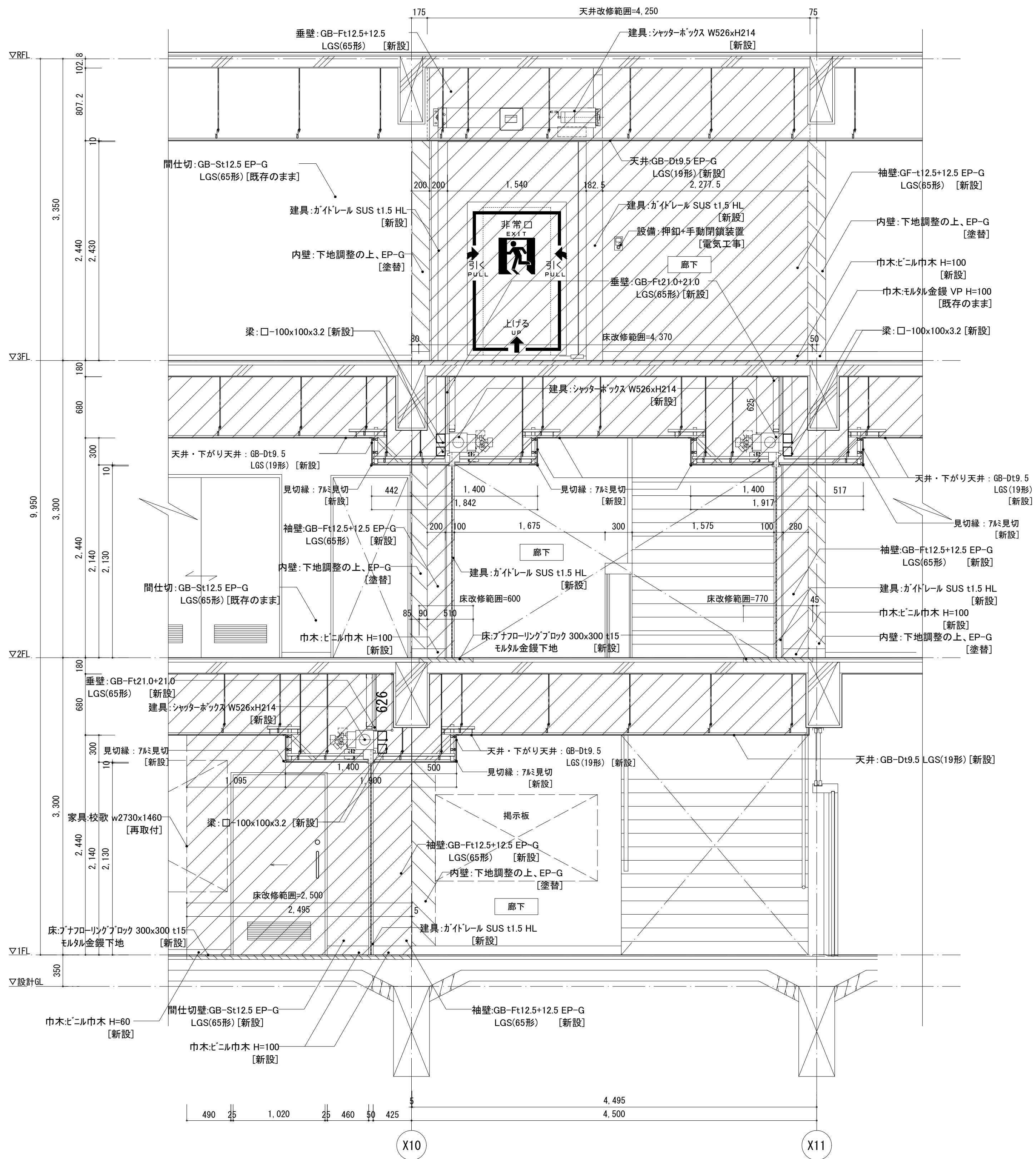
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-1棟階段室矩計図-1		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:30	図面番号	A-33
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



改修前 ①-1棟階段室矩計図-2 S=1:30

特記無き限り下記による

- 撤去範囲(下地共)を示す
- カッター入れを示す

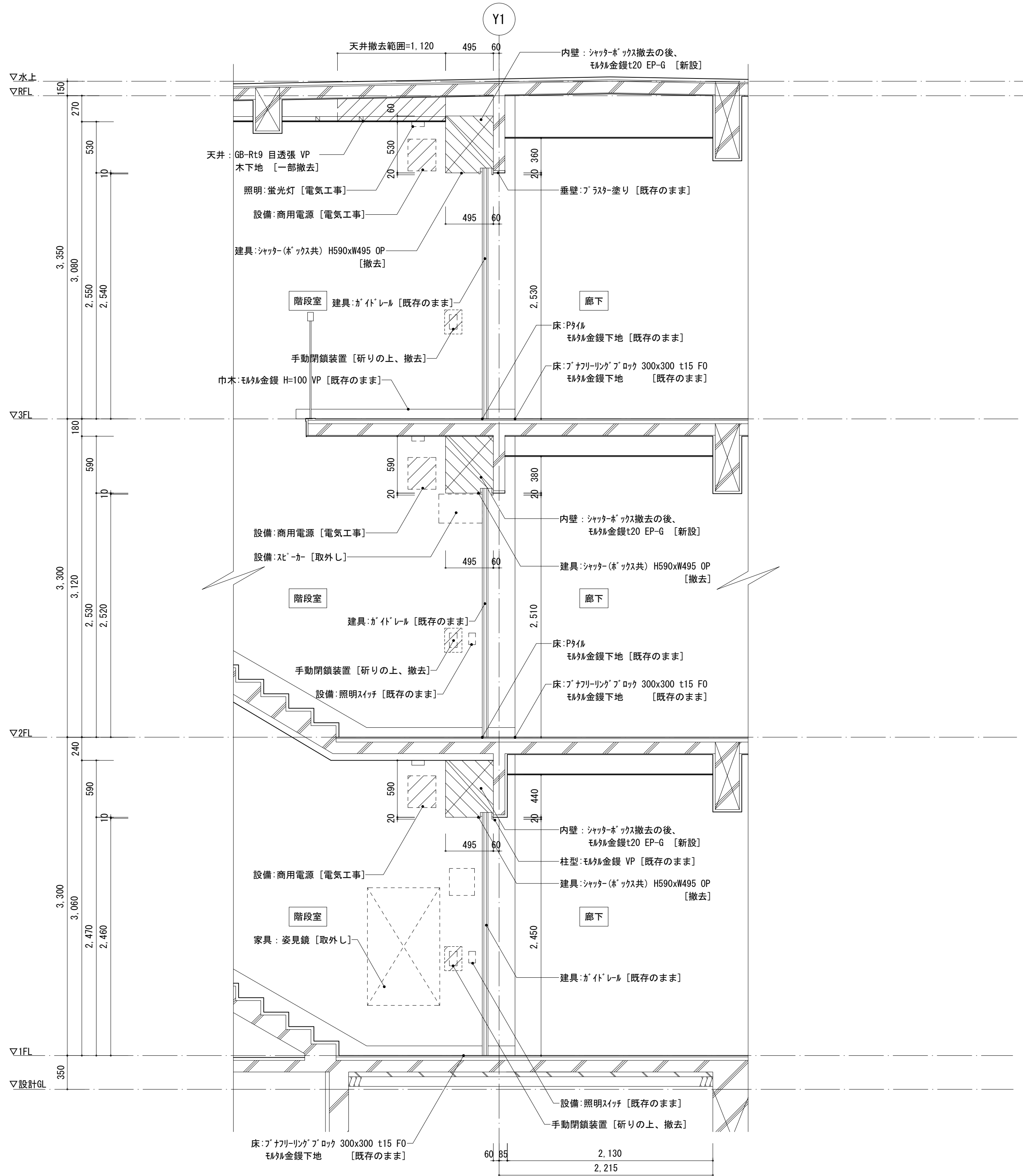


改修後 ①-1棟階段室矩計図-2 S=1:30

特記無き限り下記による

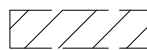
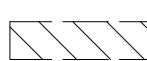
- 新設範囲を示す
- 塗替・張替範囲を示す

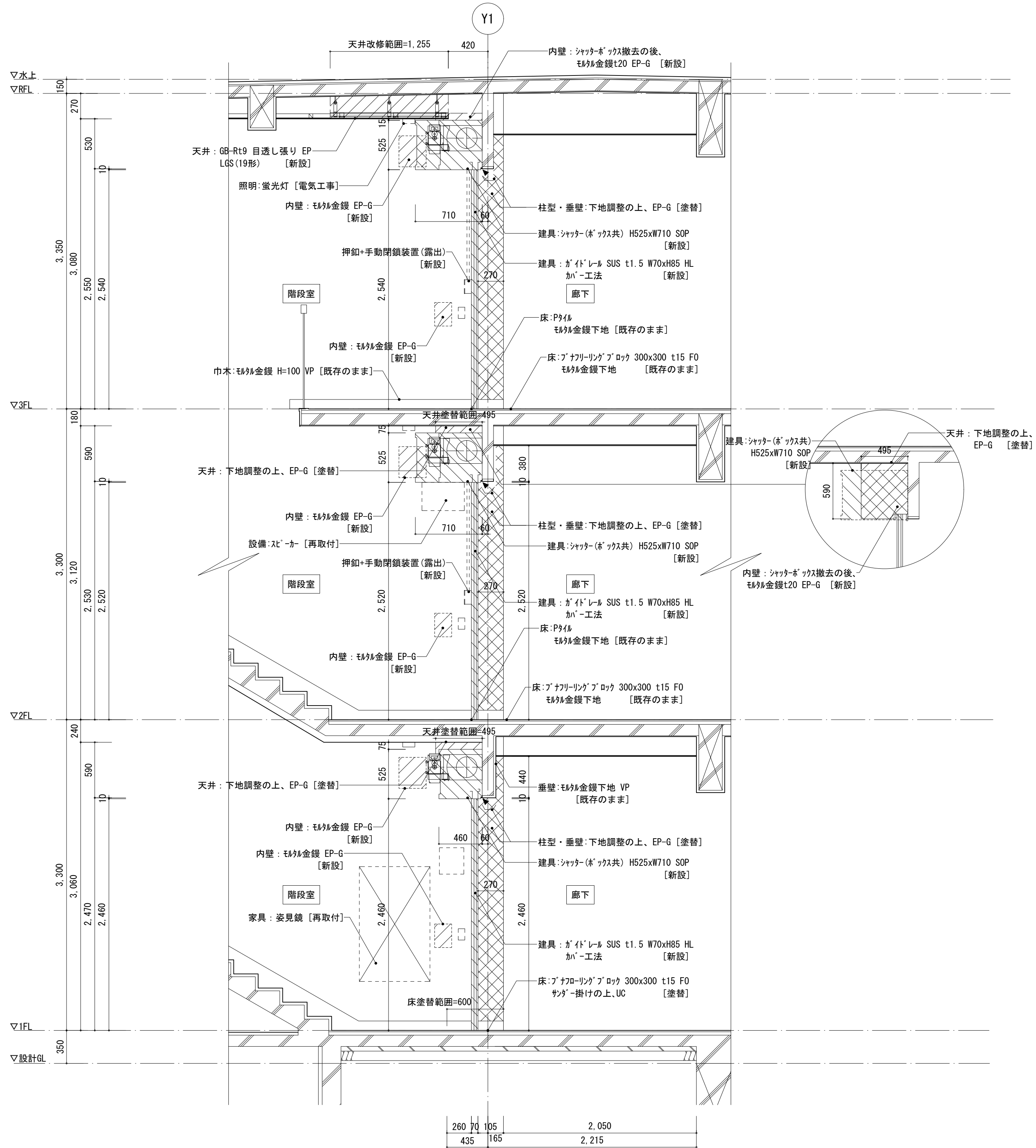
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-1棟階段室矩計図-2		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:30	図面番号	A-34
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



改修前 ①-2棟階段室矩計図 S=1:30

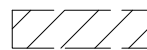
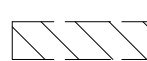
特記なき限り下記による

-  :撤去範囲を示す
-  :建具撤去範囲を示す

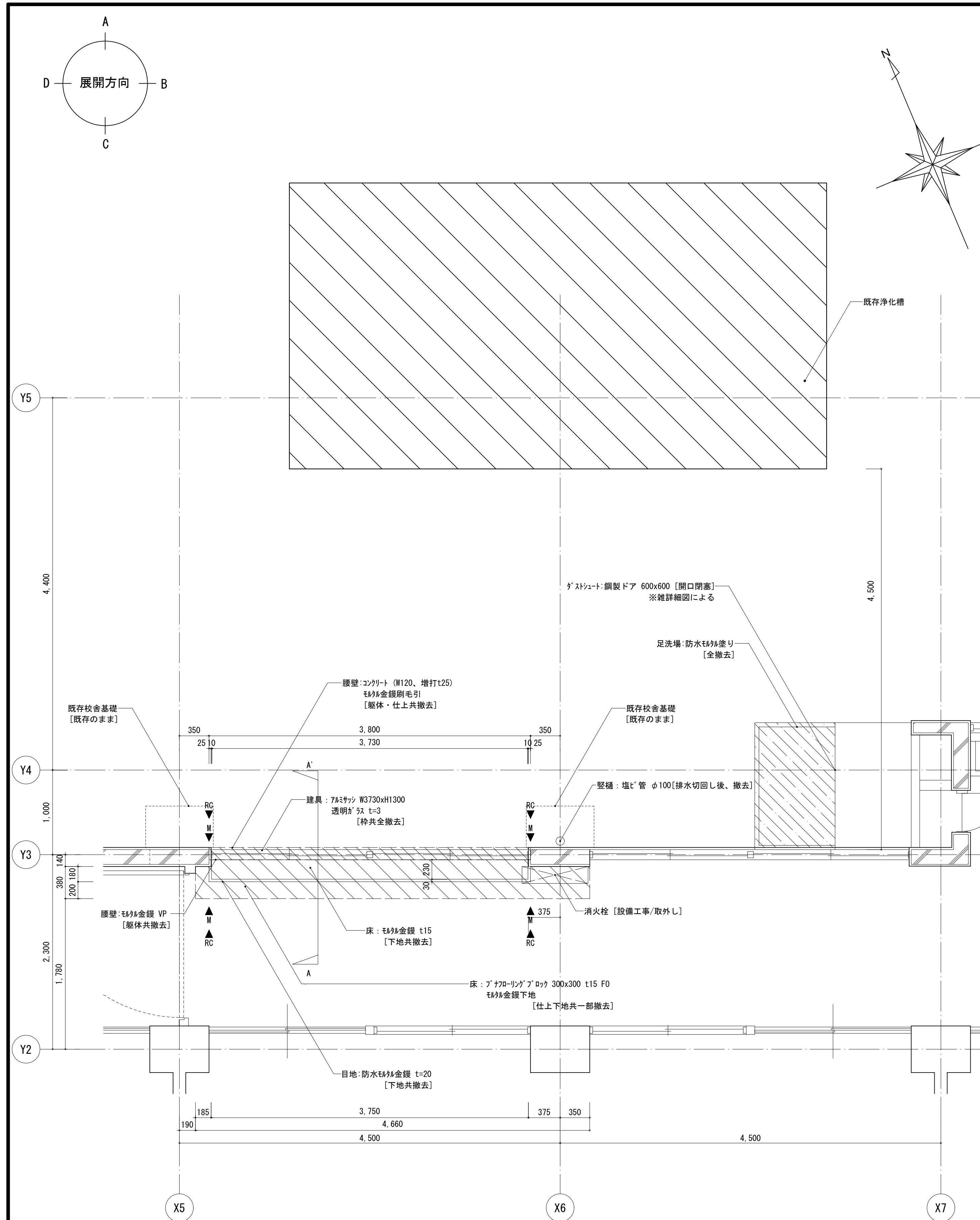


改修後 ①-2棟階段室矩計図 S=1:30

特記なき限り下記による

-  :新設範囲を示す
-  :建具新設範囲を示す
-  :塗替範囲を示す
-  :シーリングを示す (PU-2 w15x10)

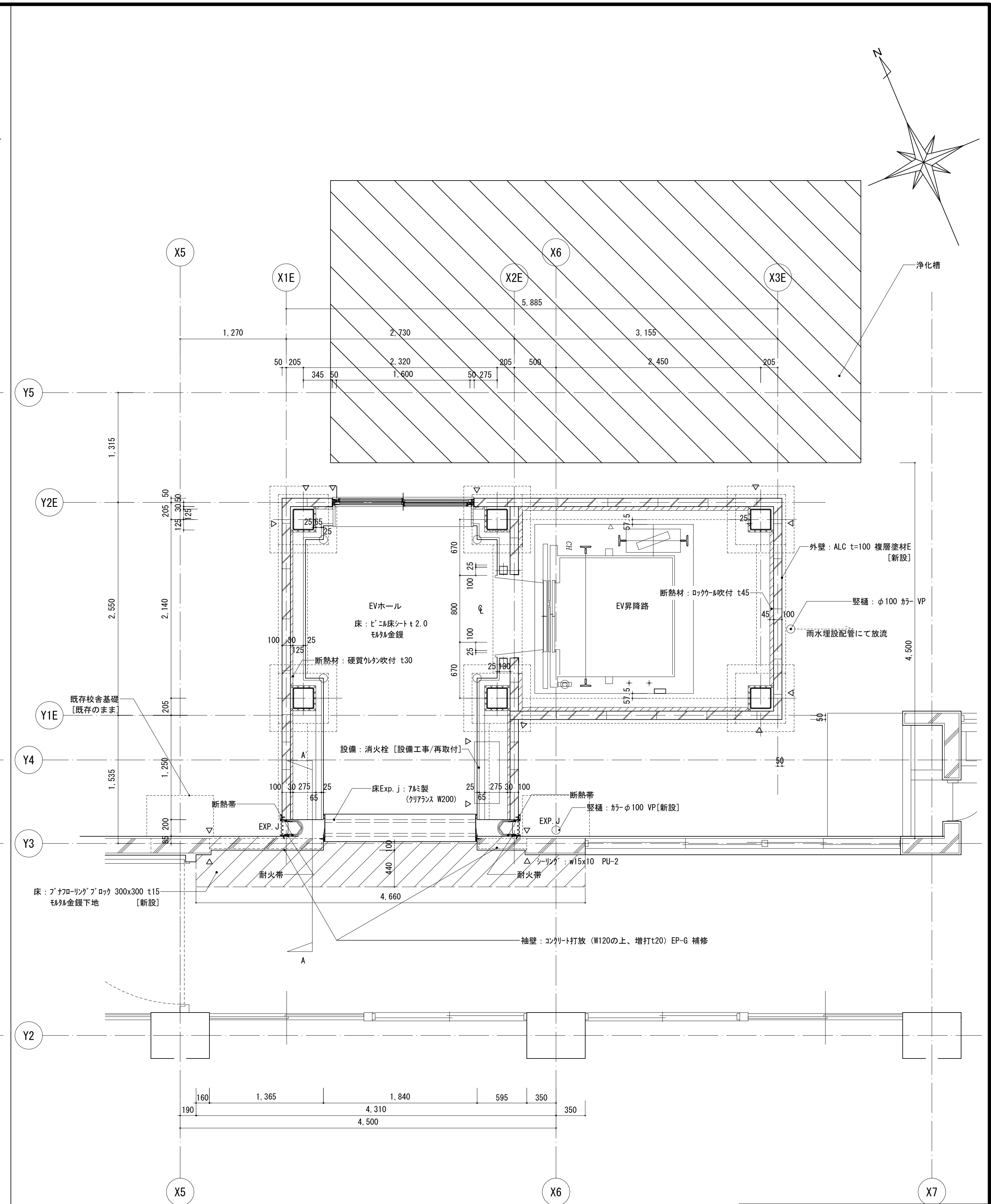
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-2棟階段室矩計図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:30	図面番号	A-35
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



改修前 1階平面詳細図 S=1 : 30

▼ : カッター入れを示す

 : 既存部分新設箇所を示す

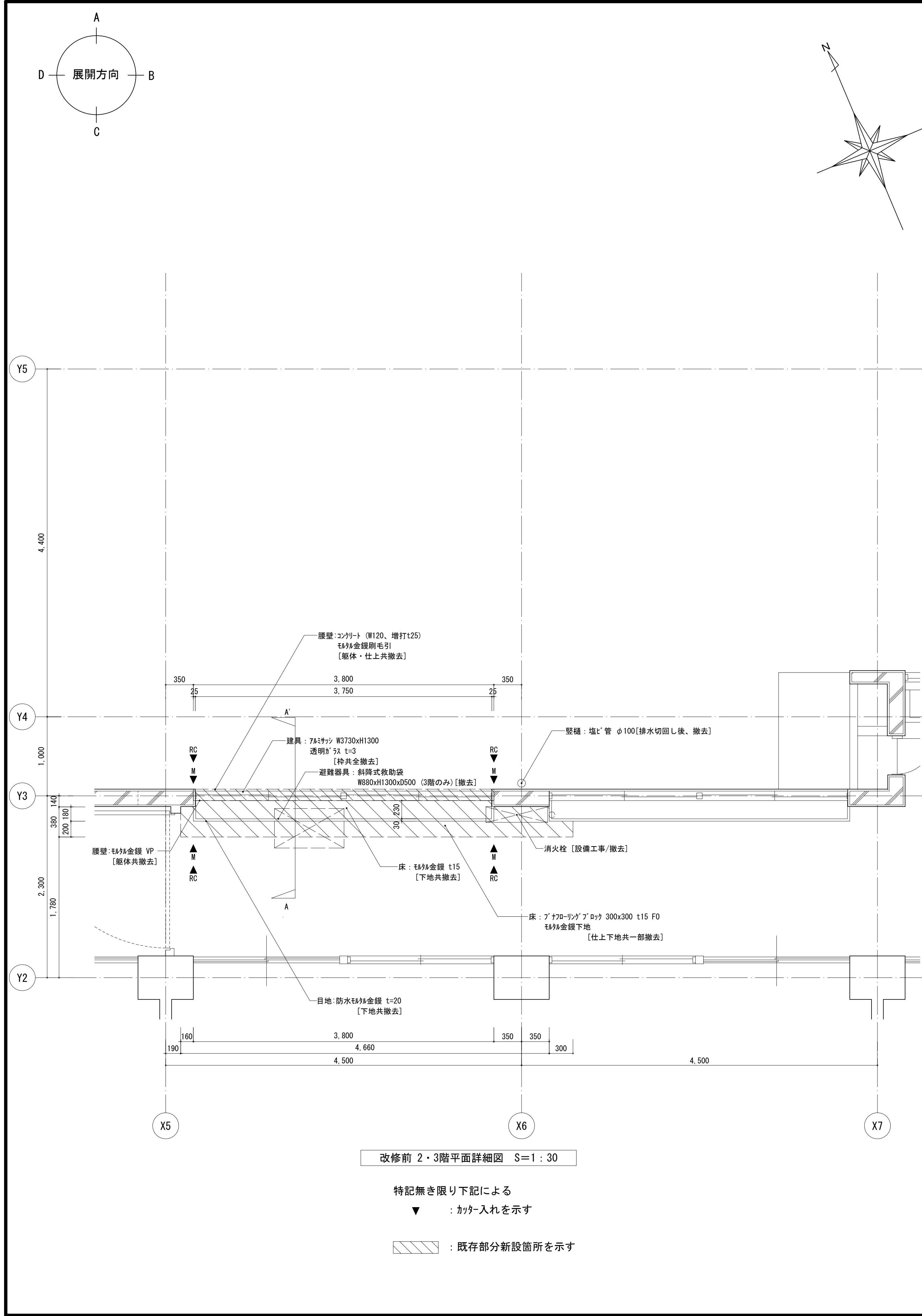
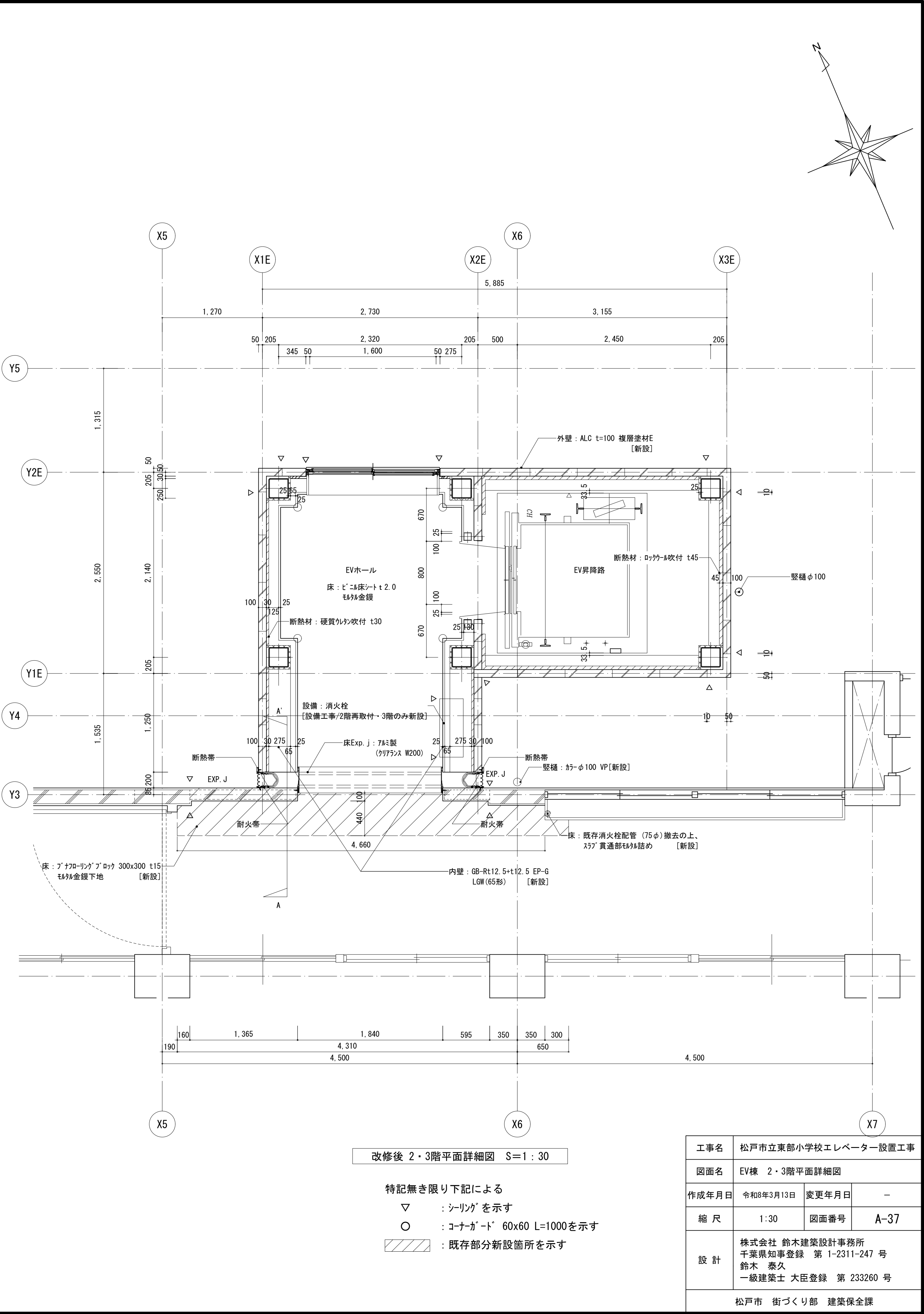


改修後 1階平面詳細図 S=1 : 30

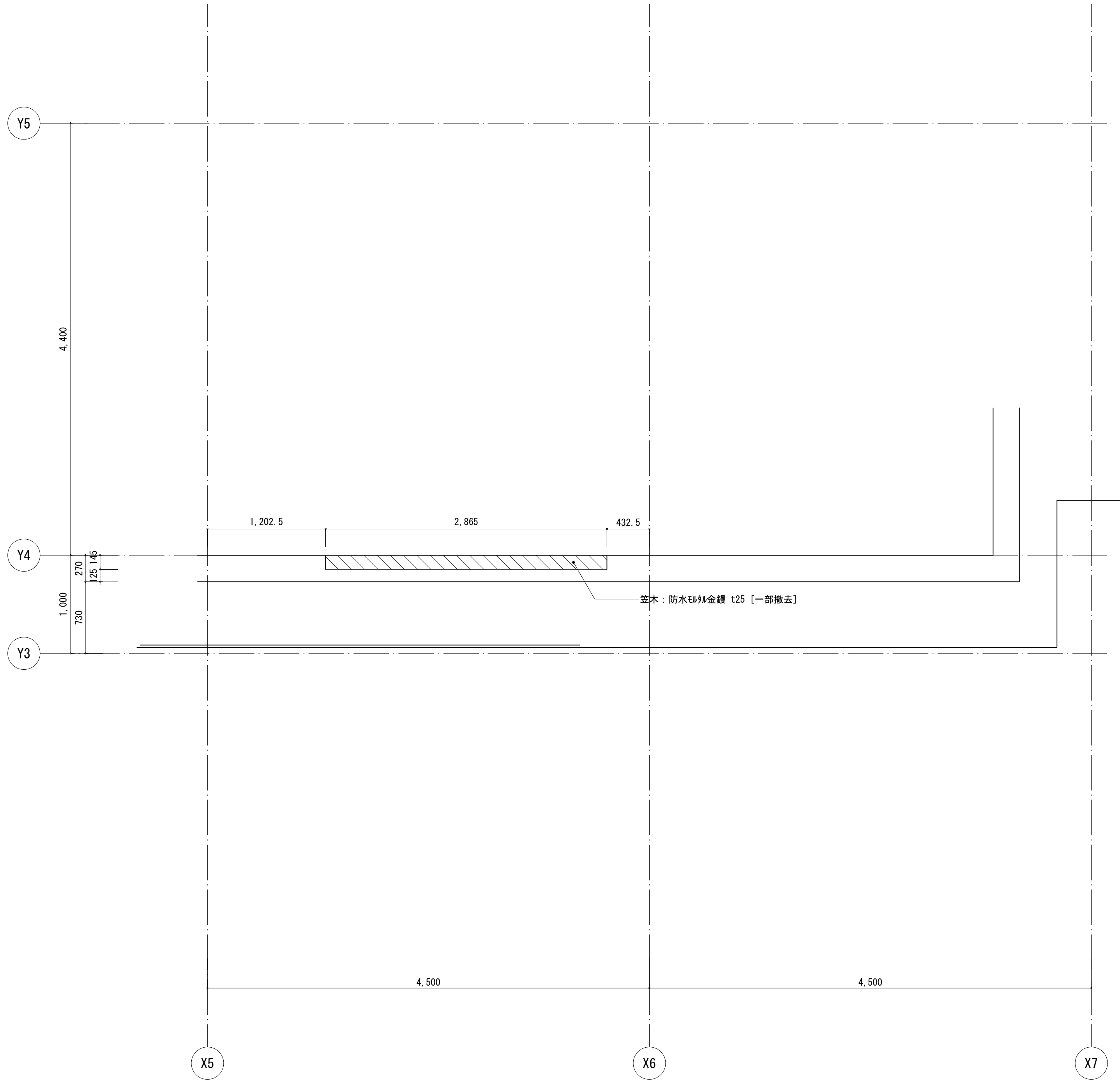
特記無き限り下記による

▽	: シーリング* を示す
○	: ユナ-ガ-ド* 60x60 L=1000を示す
	: 既存部分新設箇所を示す

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	EV棟 1階平面詳細図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:30	図面番号	A-36
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 232360 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

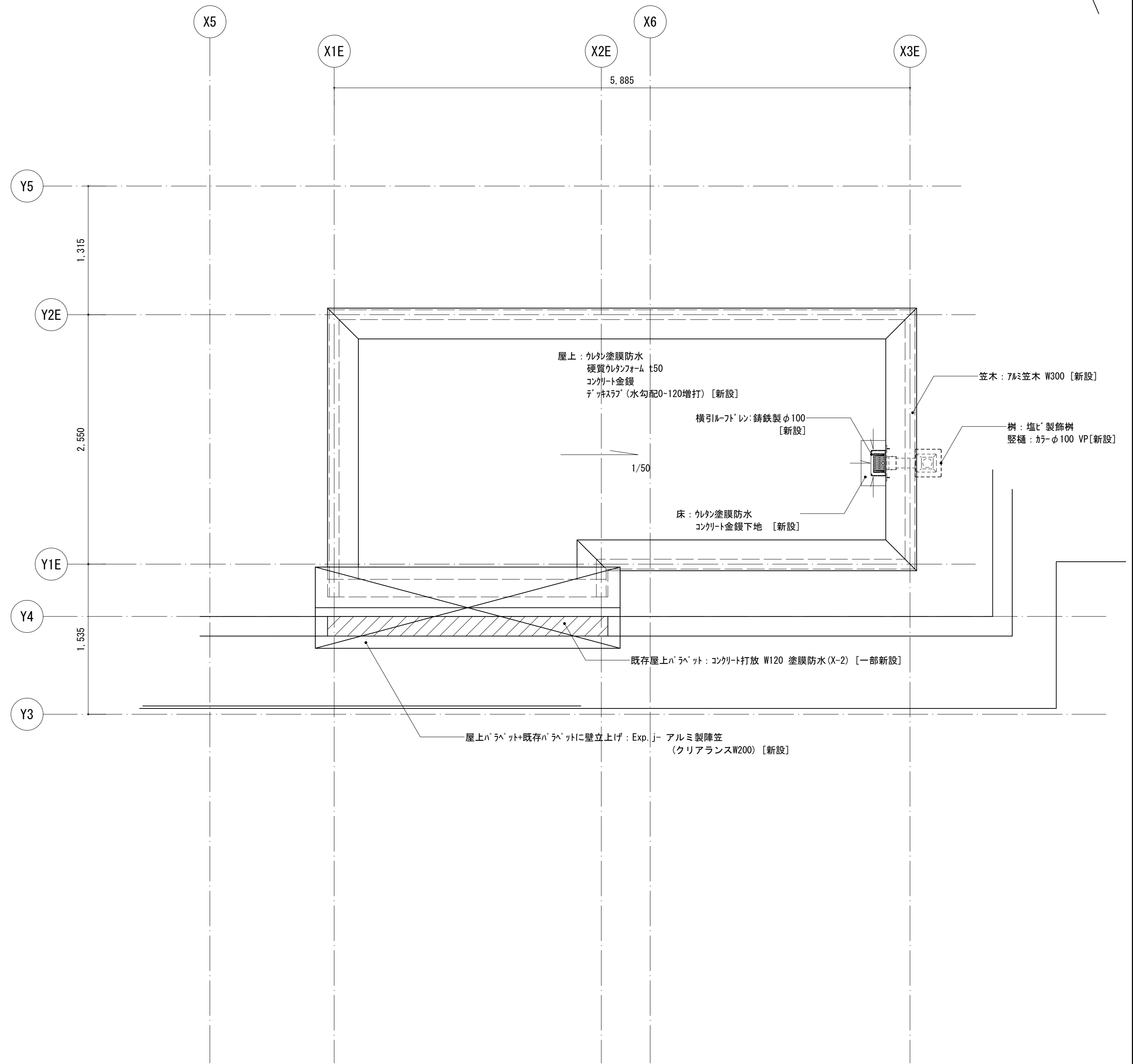


工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	EV棟 2・3階平面詳細図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:30	図面番号	A-37
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



特記無き限り下記による

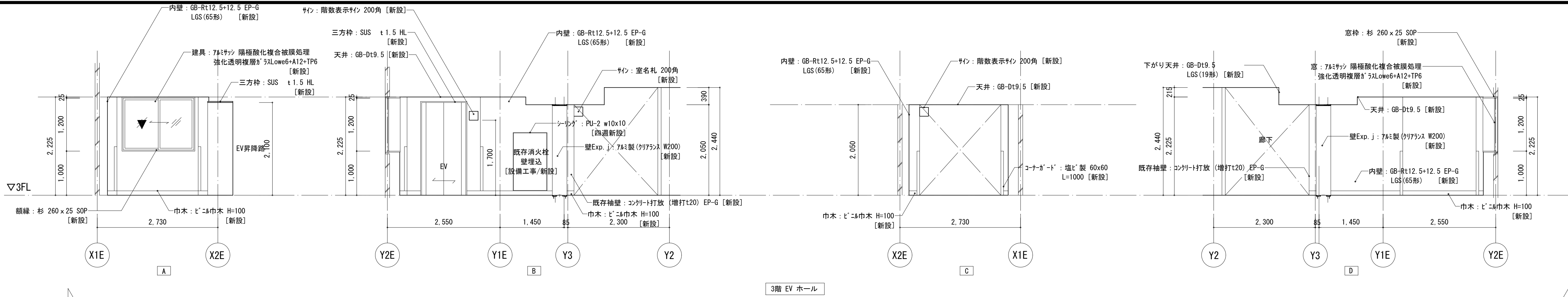
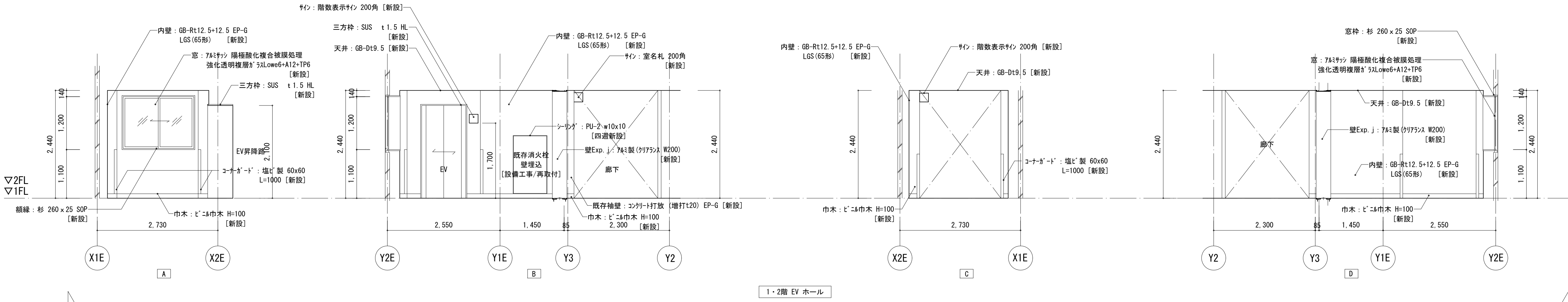
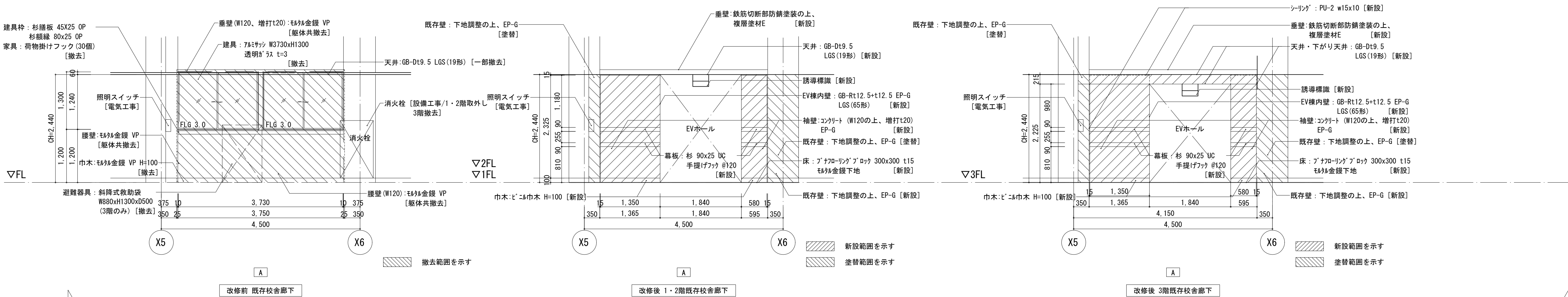
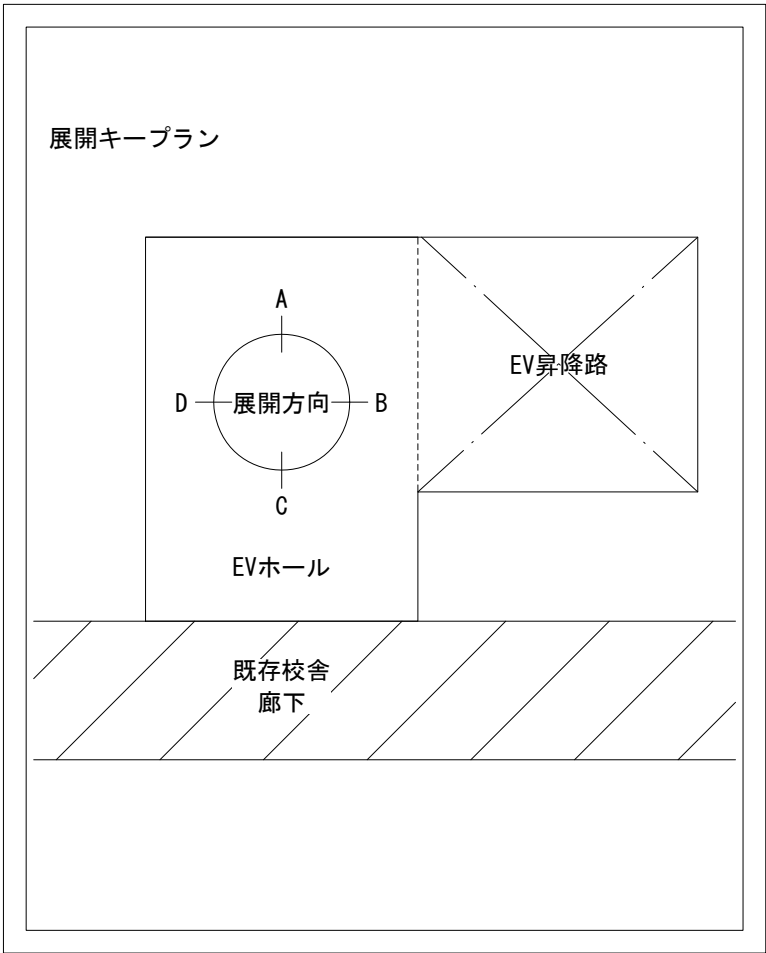
 : 撤去箇所(カッター入れ共)を示す



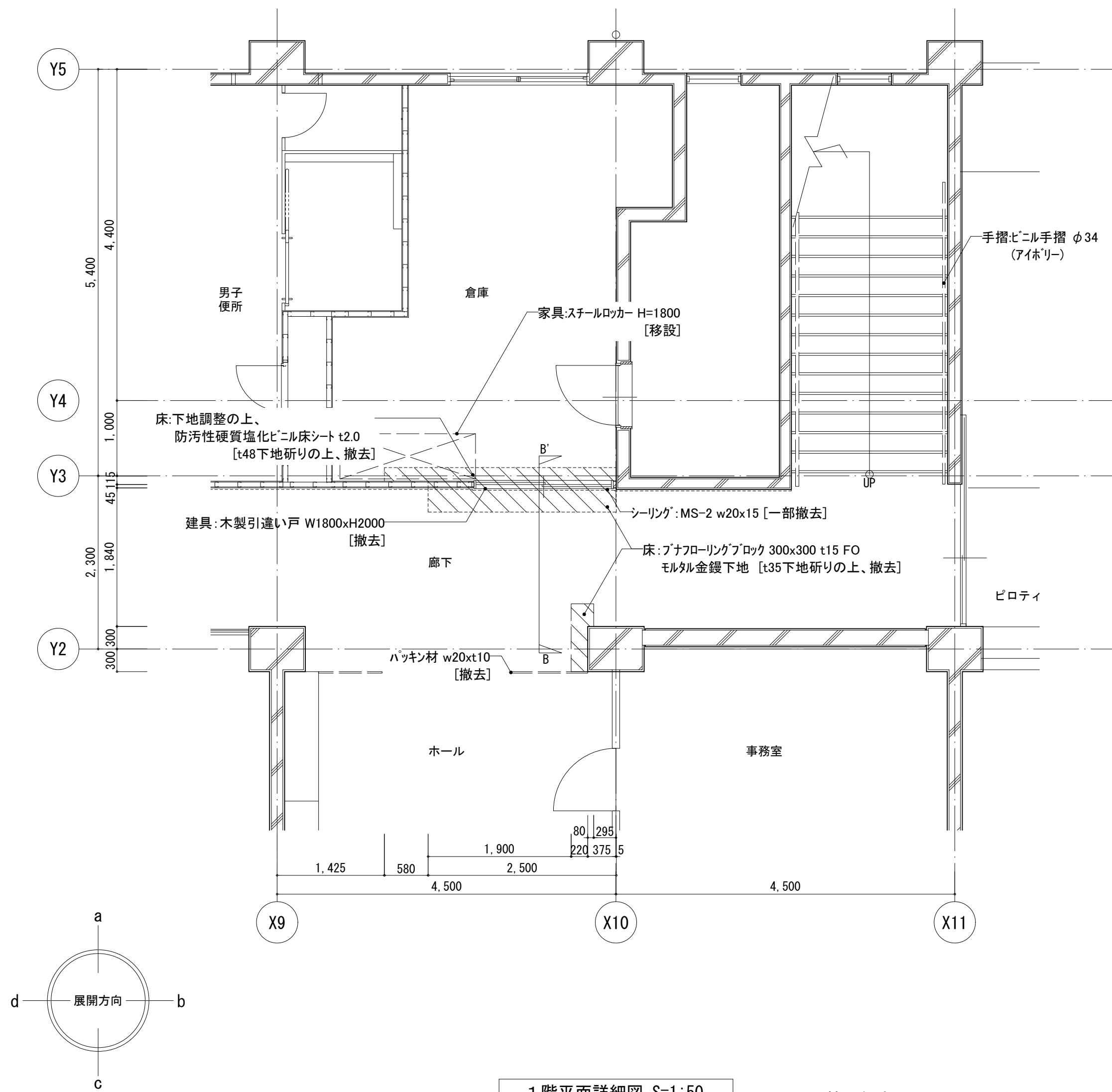
特記無き限り下記による

 : 既存部分新設箇所を示す

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	RF階平面詳細図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:30	図面番号	A-38
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

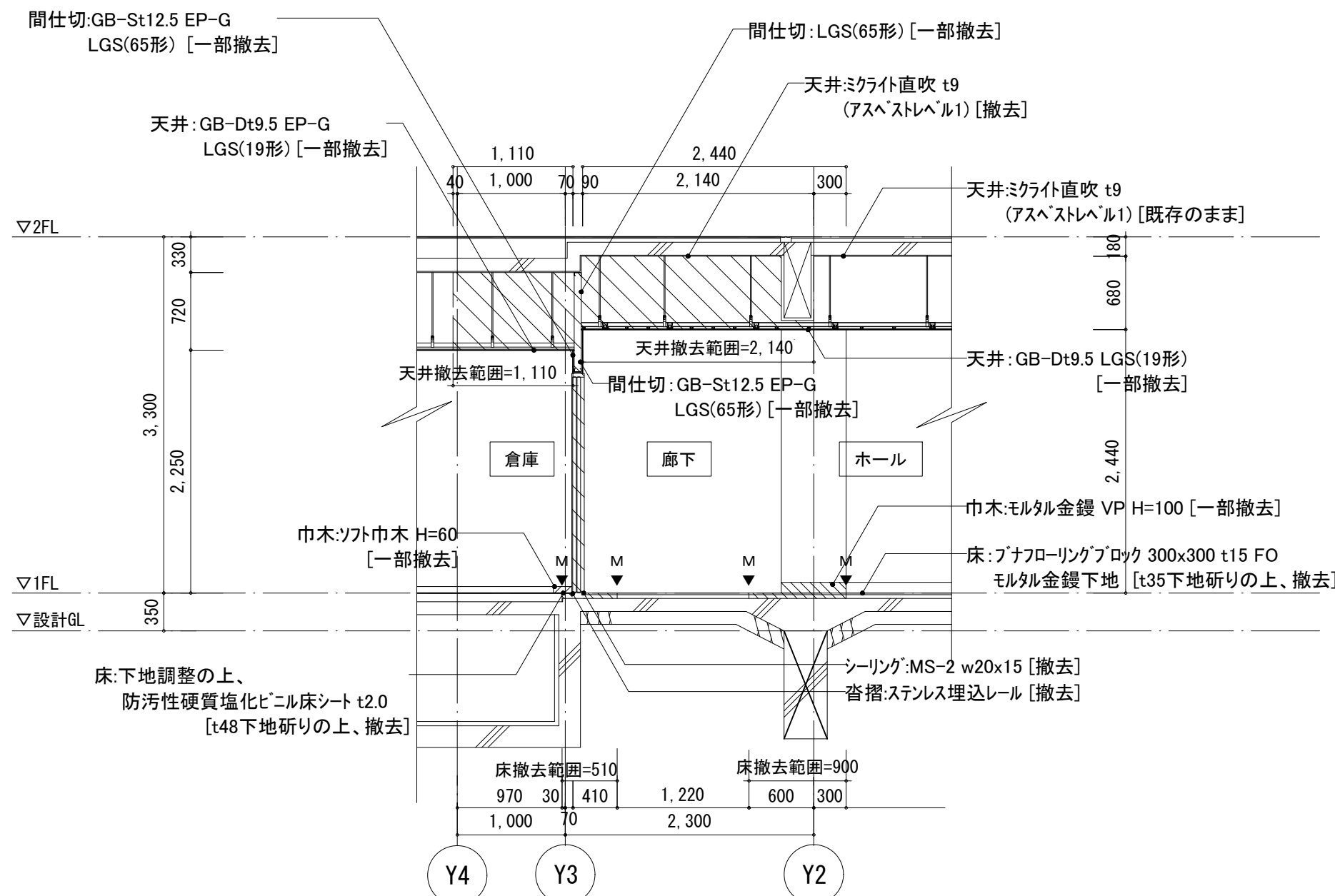


工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	EV棟 展開図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-39
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

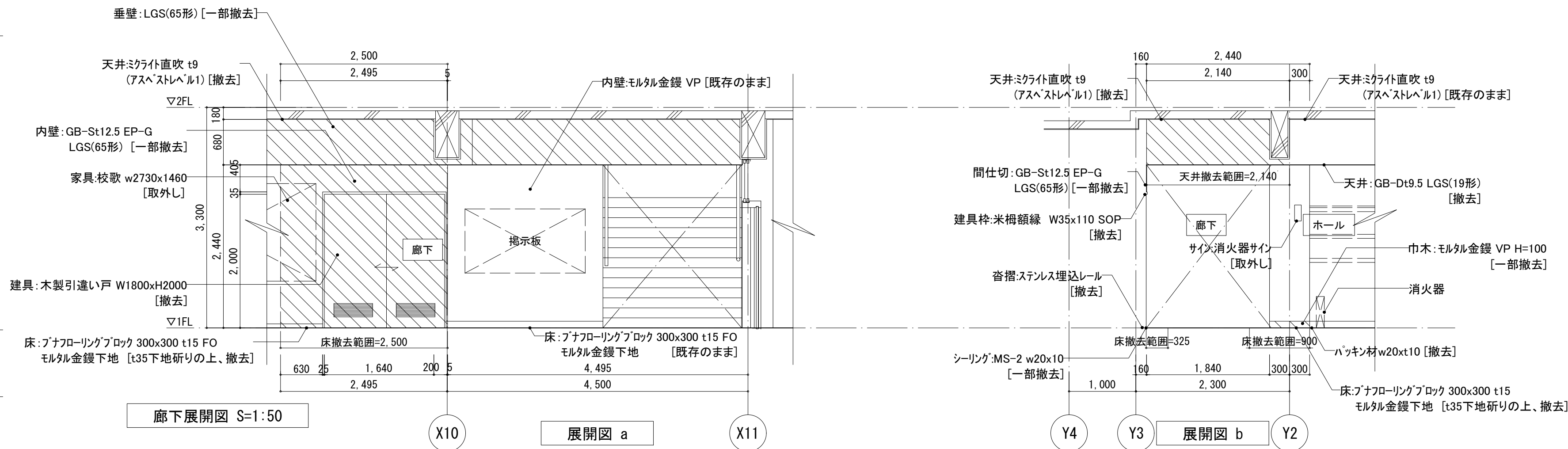
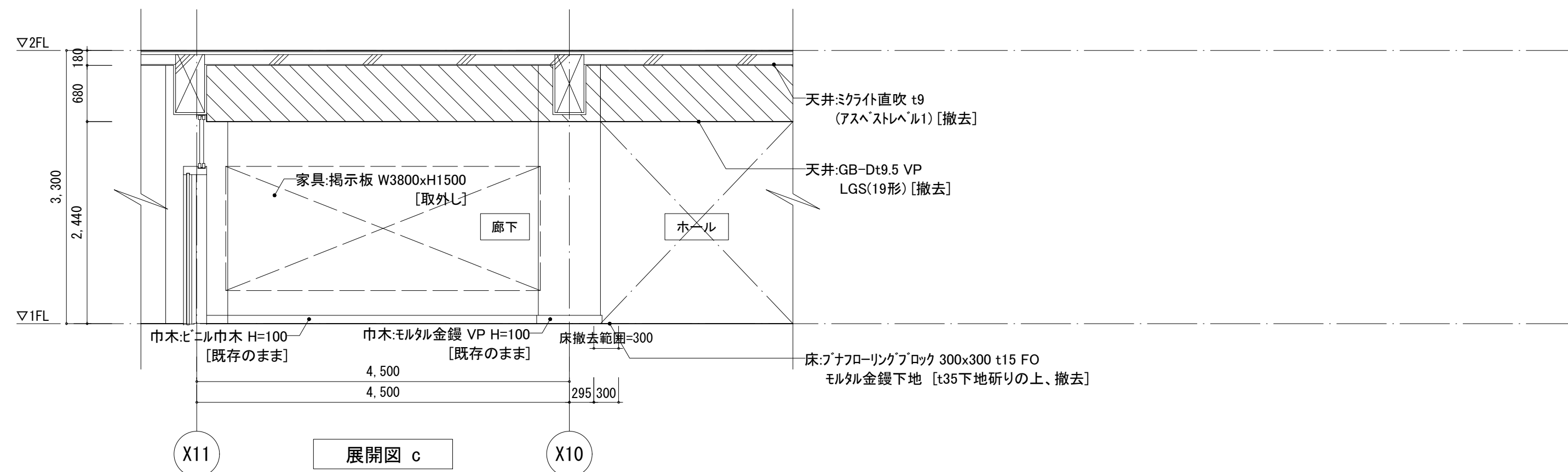
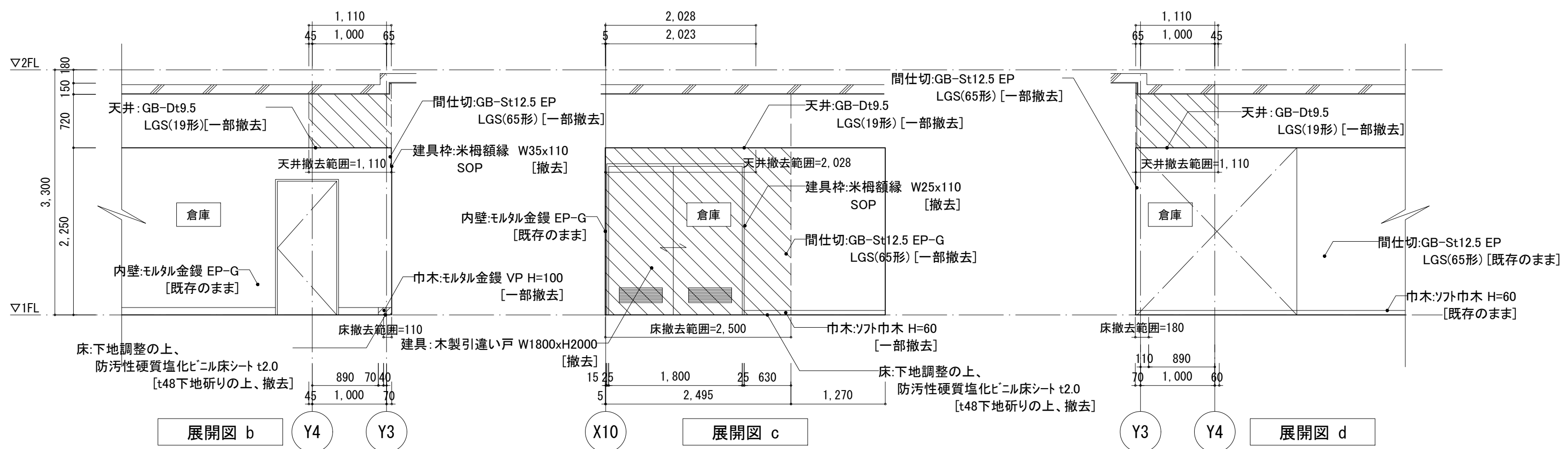


1階平面詳細図 S=1:50

- 特記無き限り下記による
- 仕上撤去範囲を示す
 - 撤去範囲(下地・カッター入れ共)を示す
 - カッター入れを示す
※移設は監督職員との協議による

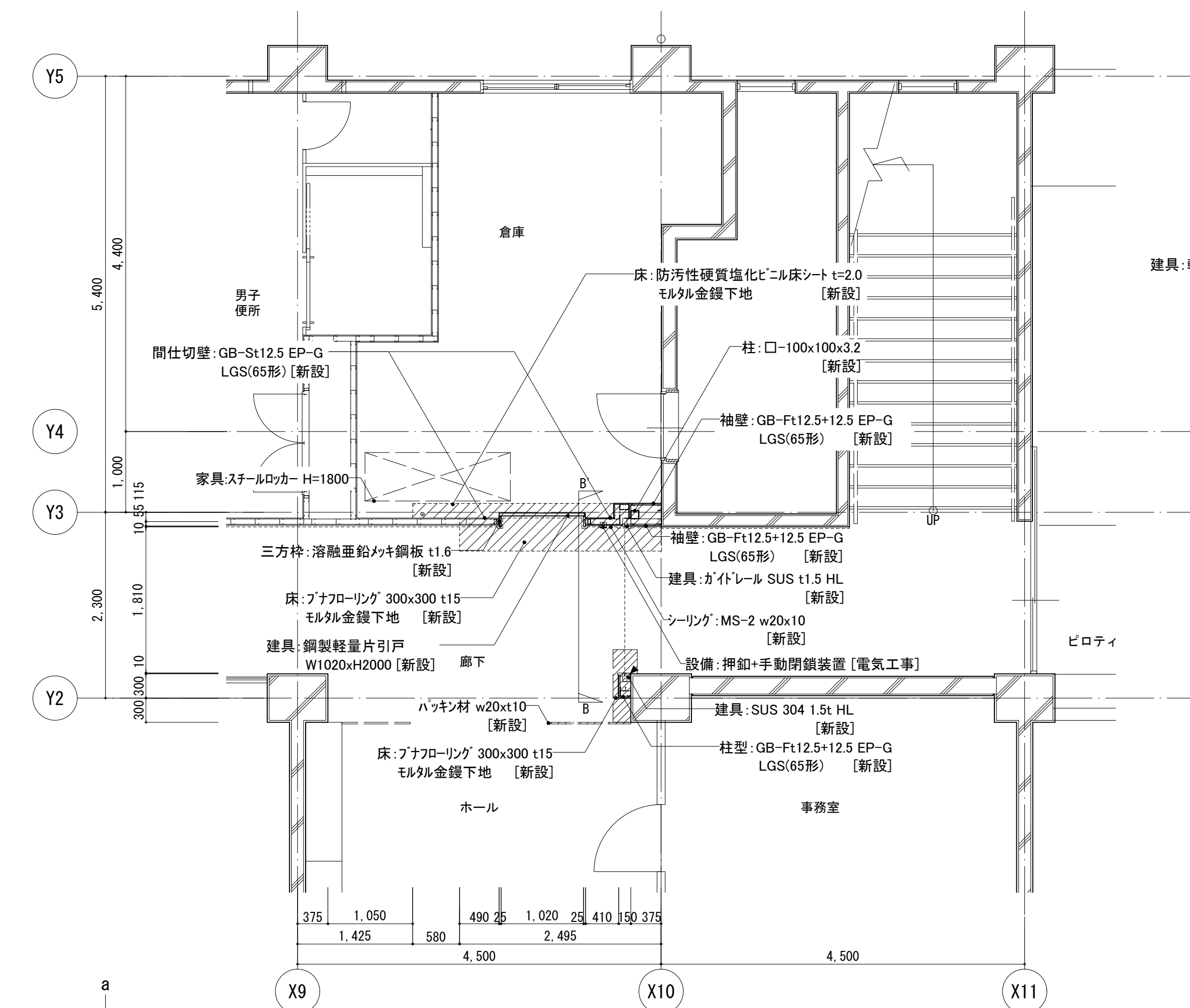
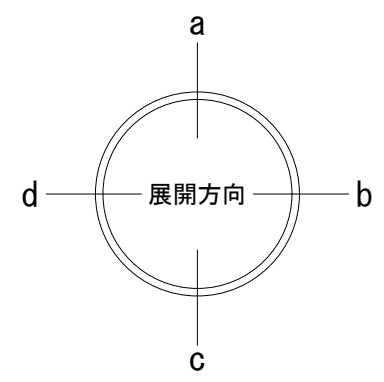


B-B'断面図 S=1:50



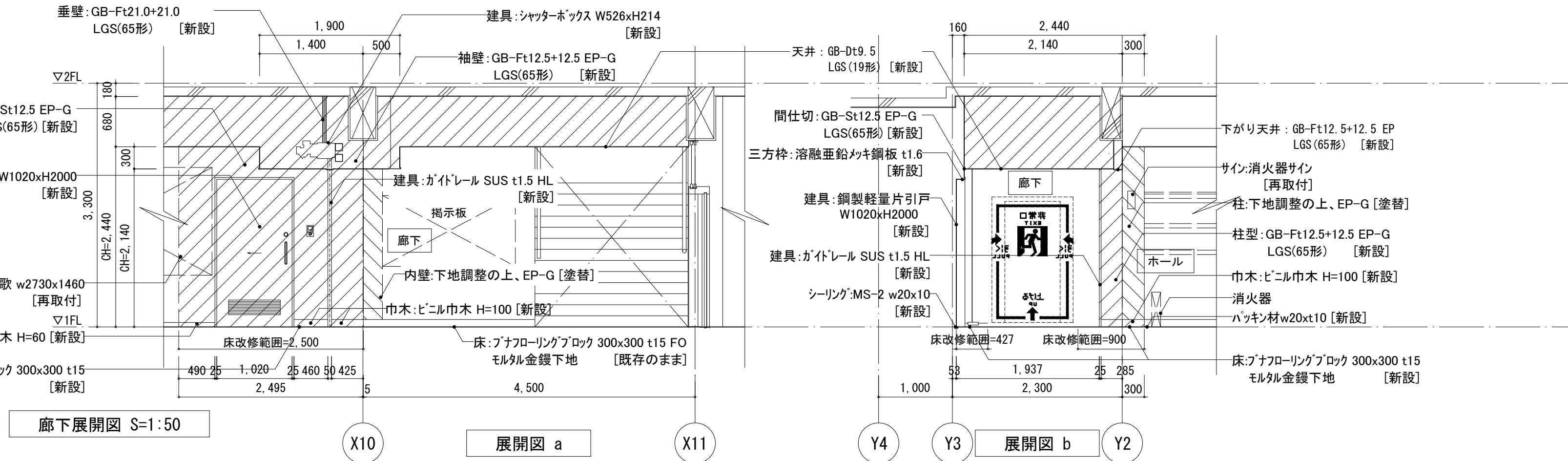
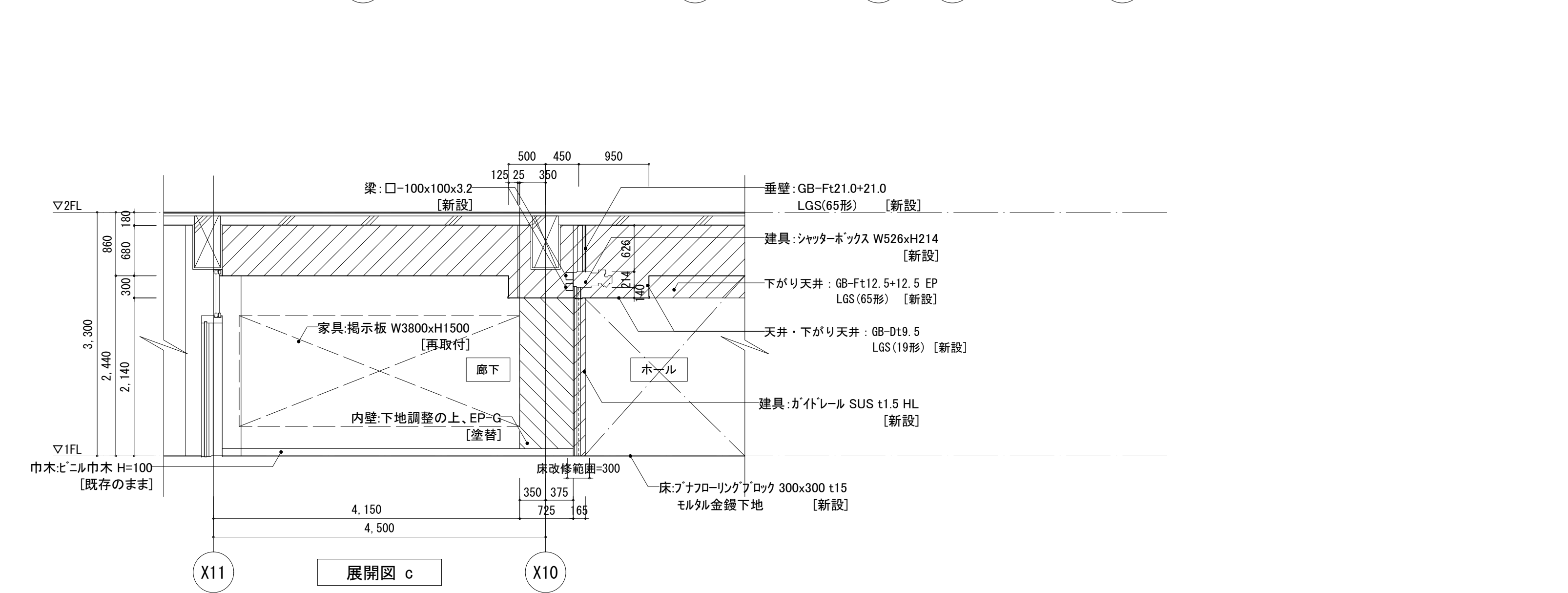
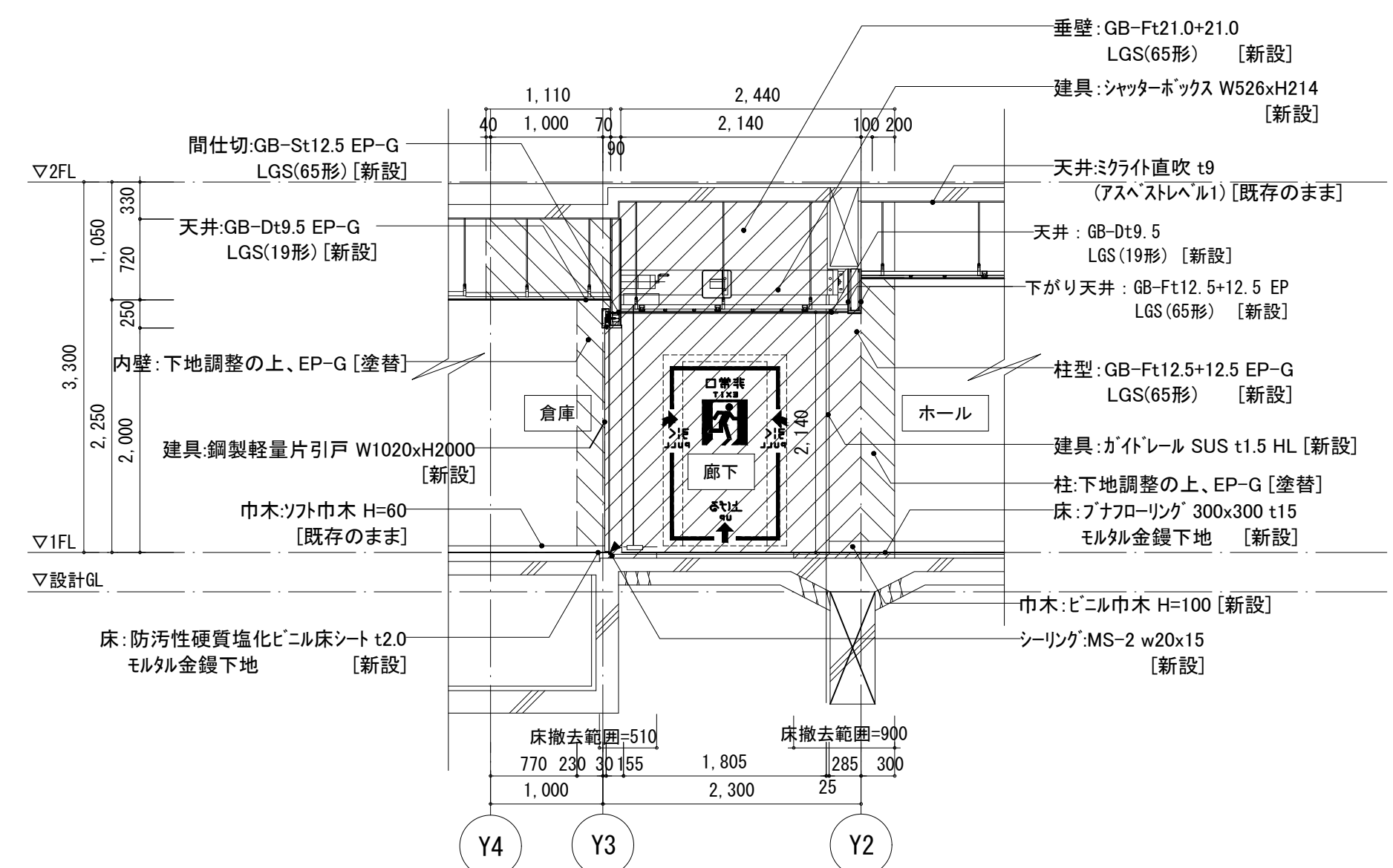
倉庫展開図 S=1:50

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 1階廊下・倉庫 平面詳細図 展開図 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:50	図面番号	A-40
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

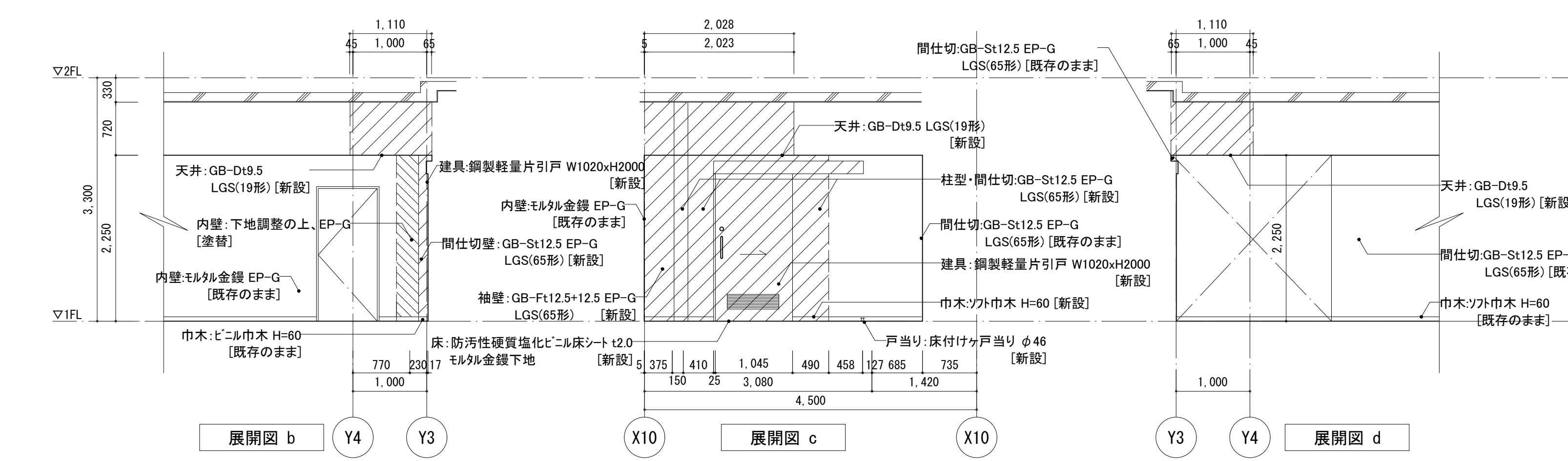


1階平面詳細図 S=1:50

- 特記無き限り下記による
- 新設範囲を示す
 - 塗替範囲を示す
 - ▶ シーリングを示す (PU-2 w15x10)

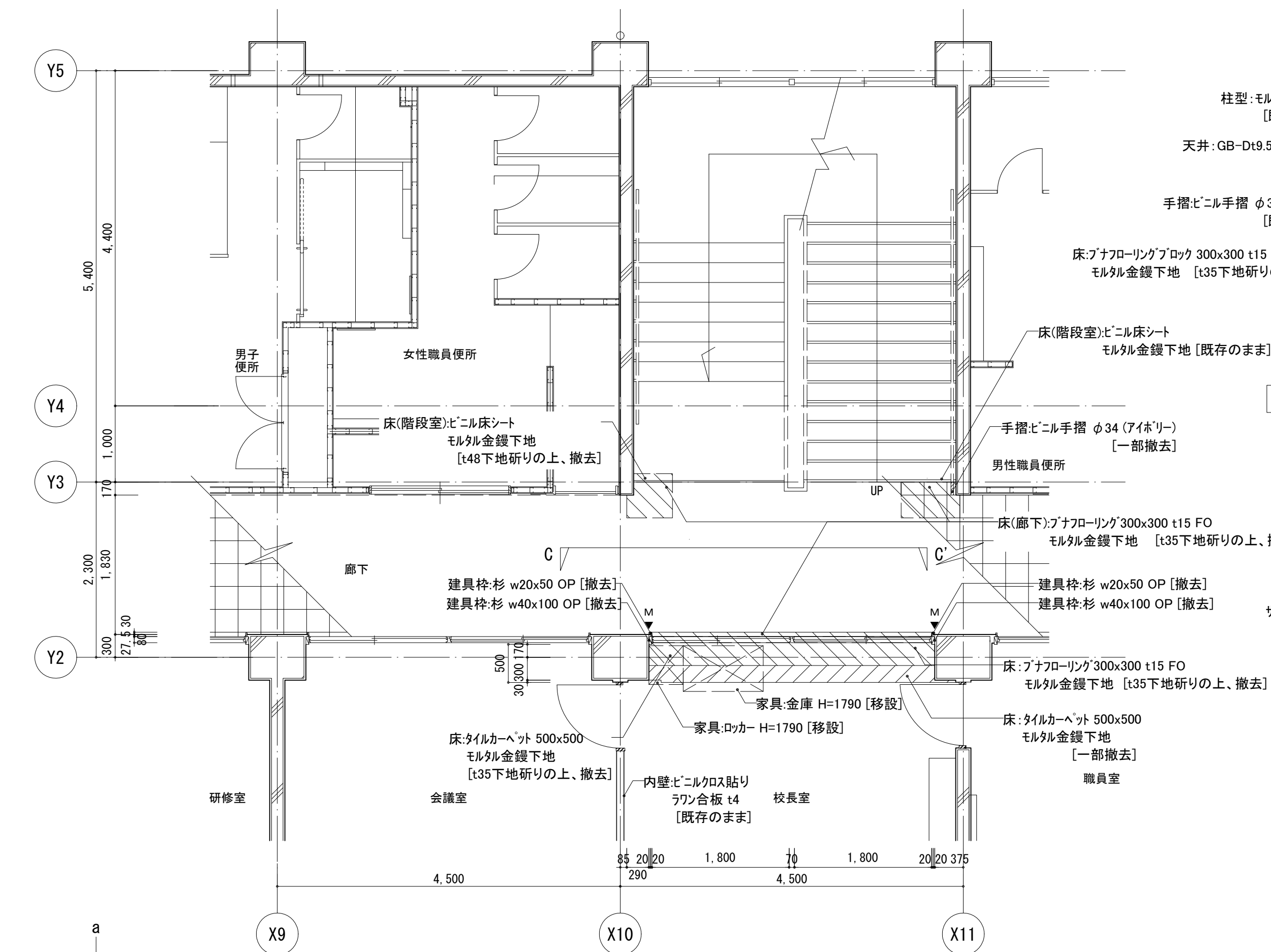


B-B' 断面図 S=1:50



倉庫展開図 S=1:50

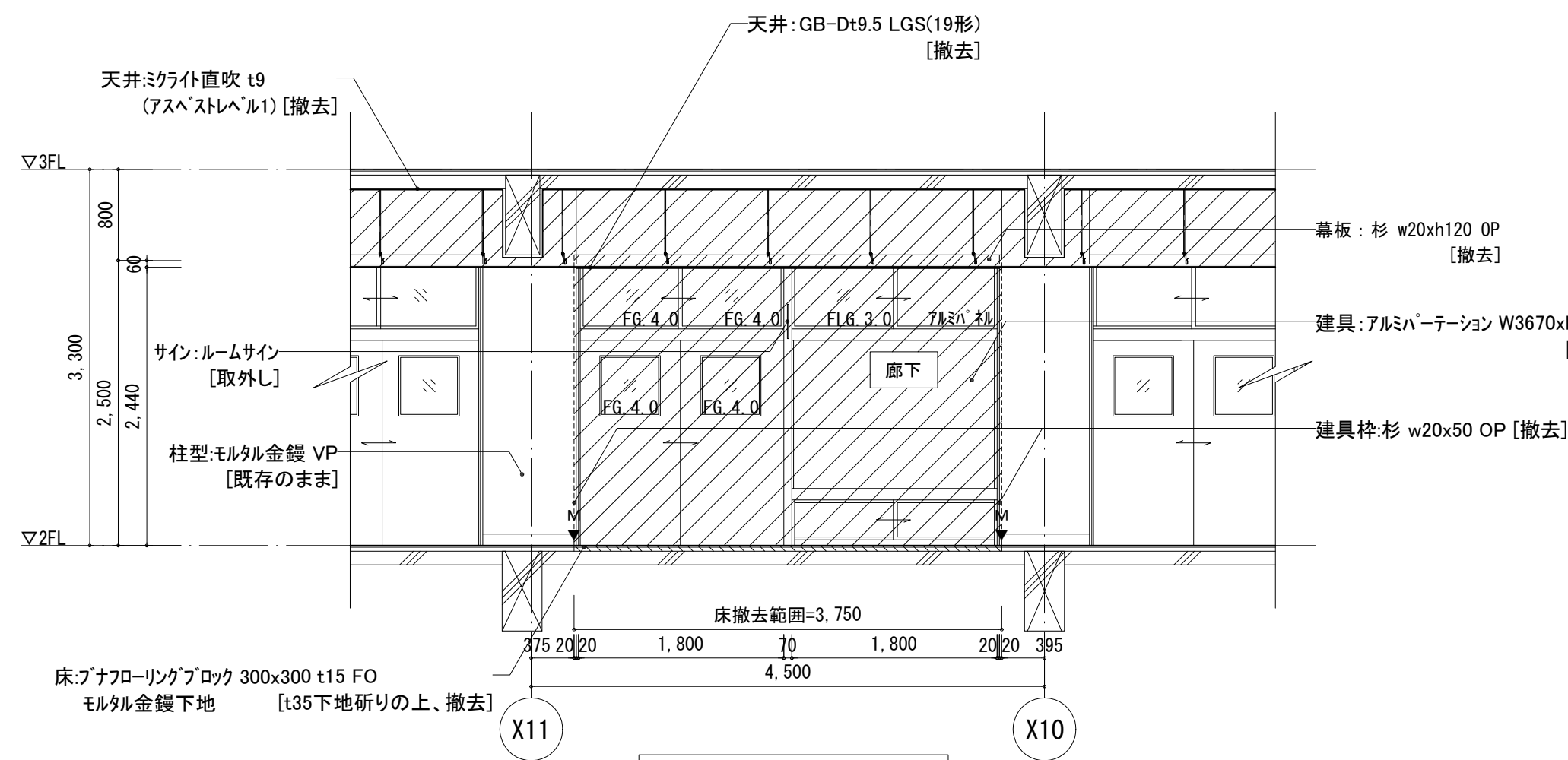
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 1階廊下・倉庫 平面詳細図 展開図 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-41
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



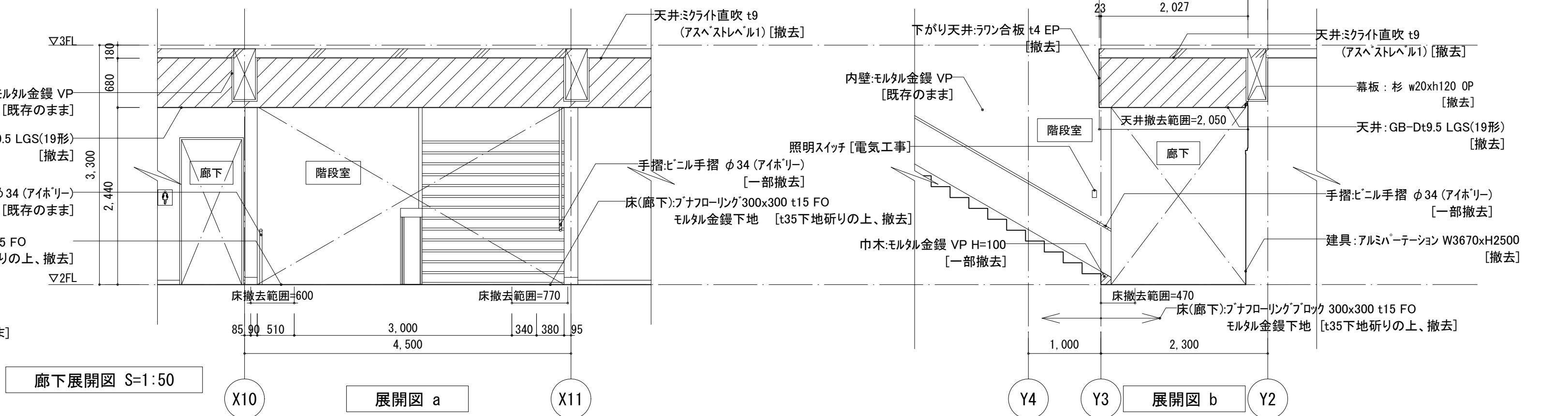
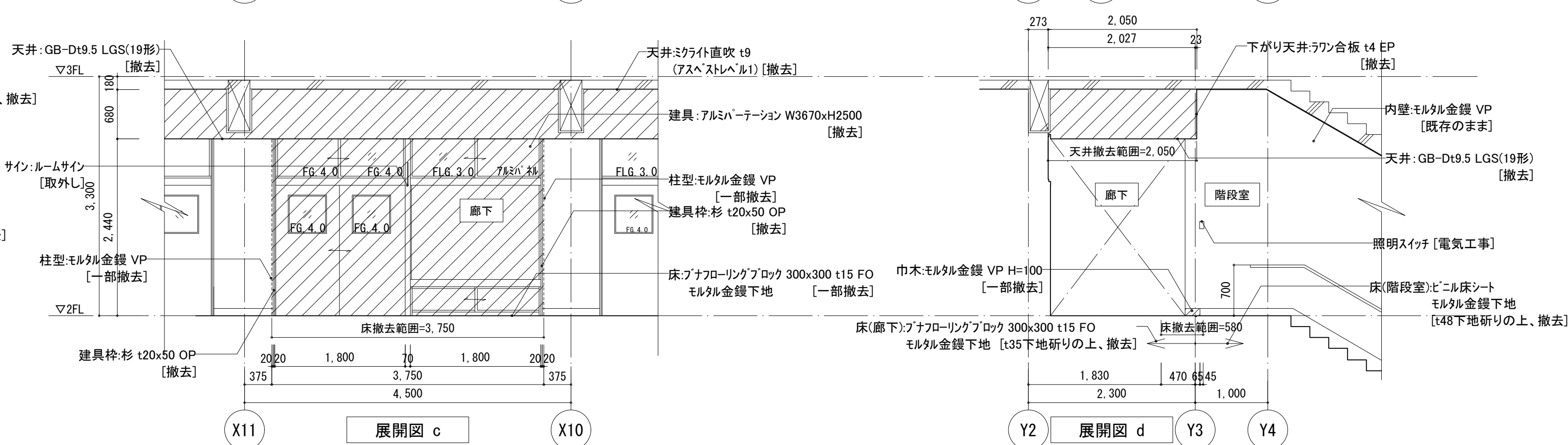
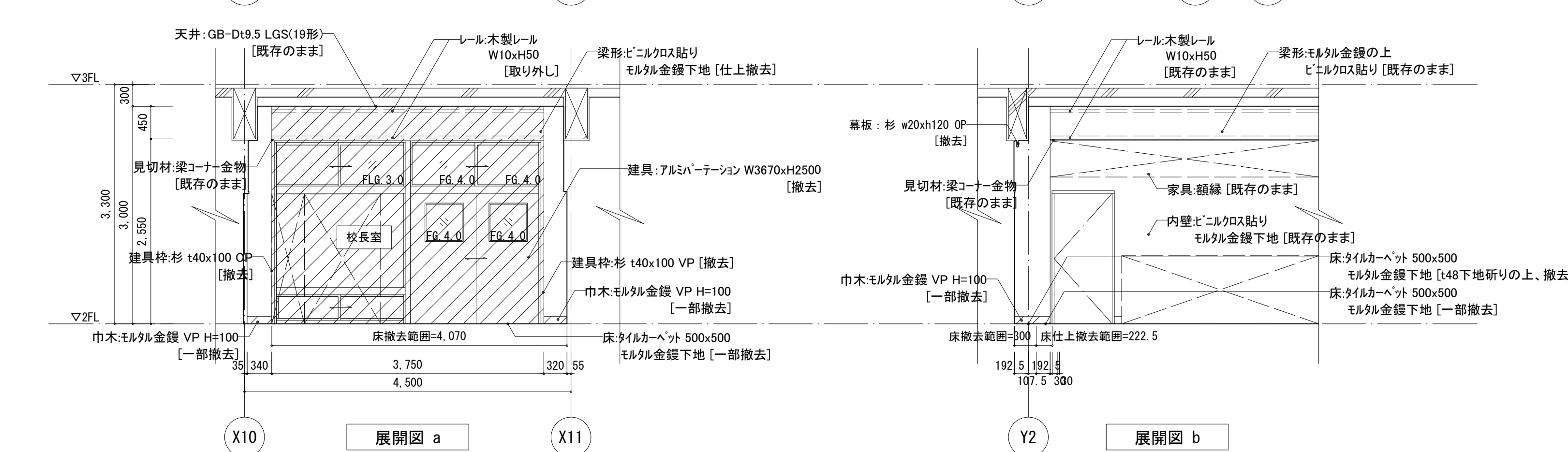
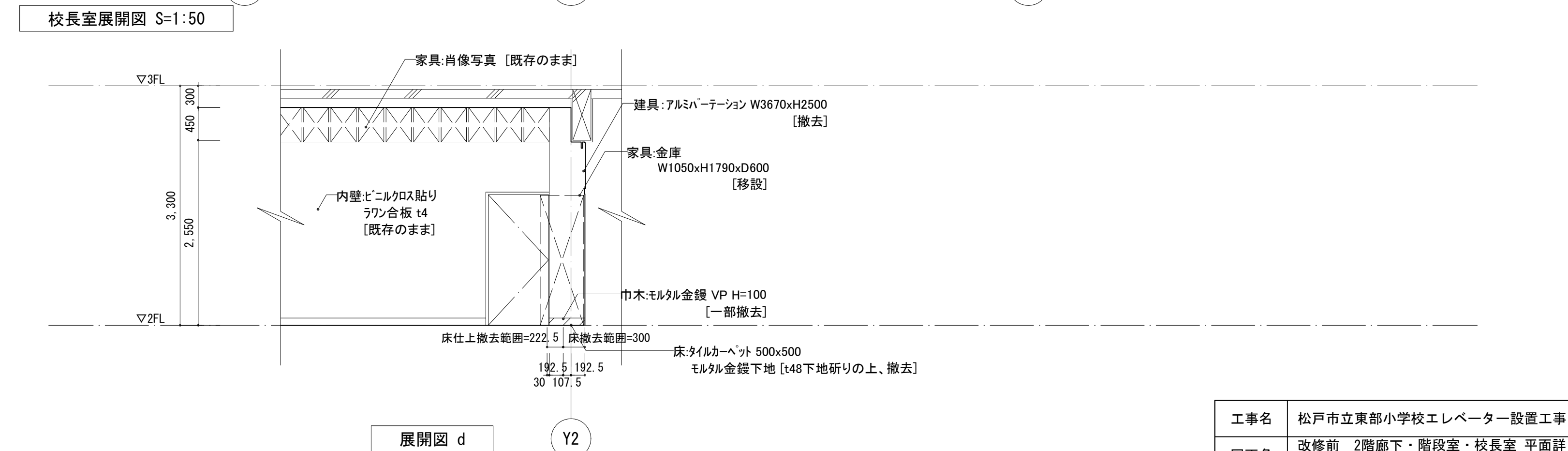
2階平面詳細図 S=1:50

特記無き限り下記による

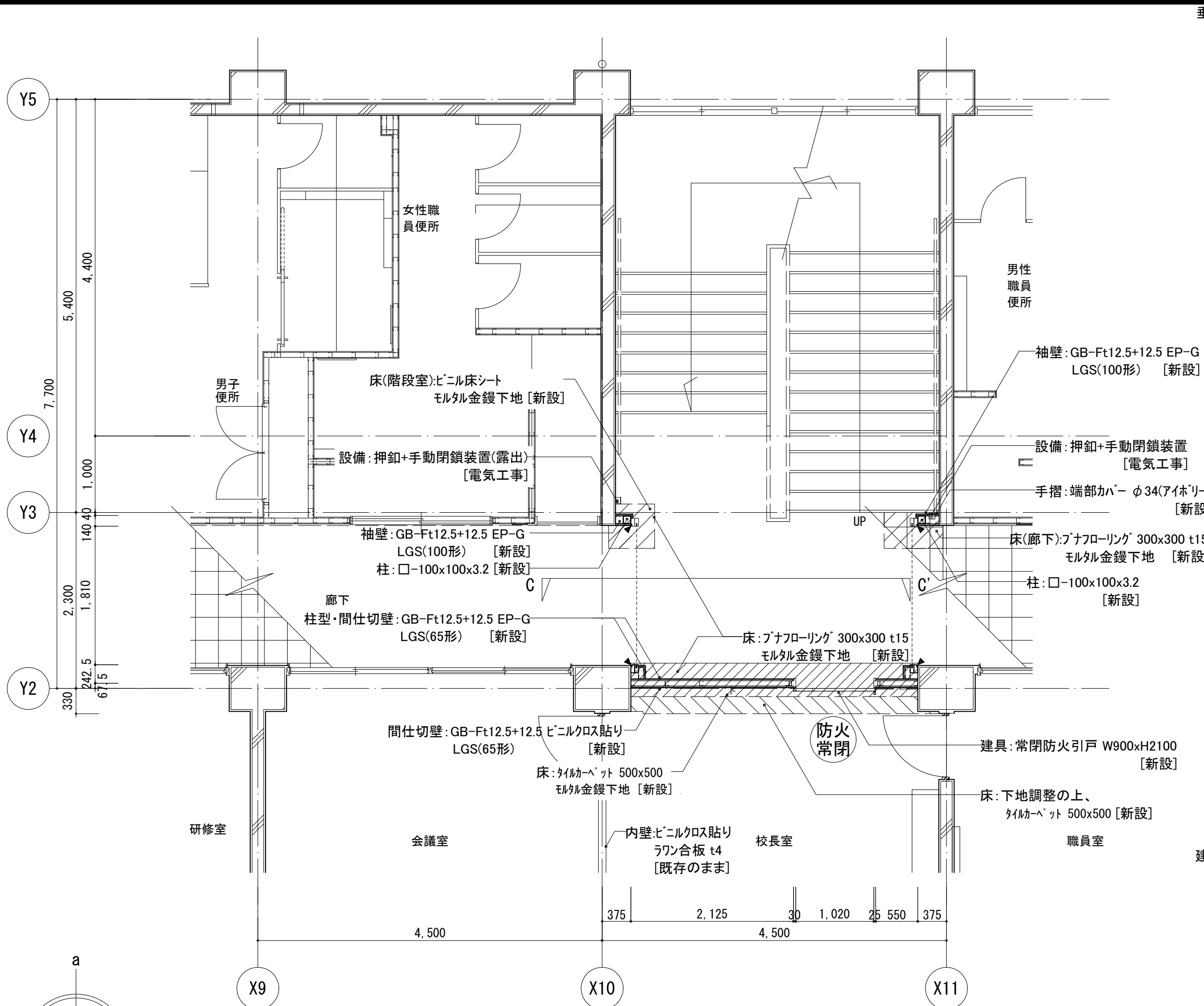
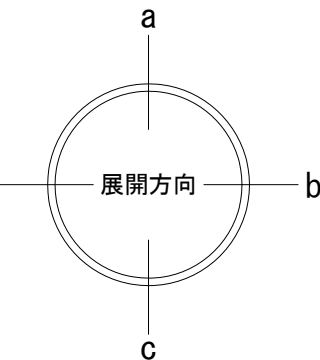
- 仕上撤去範囲を示す
- 撤去範囲(下地・カッター入れ共)を示す
- カッター入れを示す
- ※移設は監督職員との協議による



C-C'断面図 S=1:50

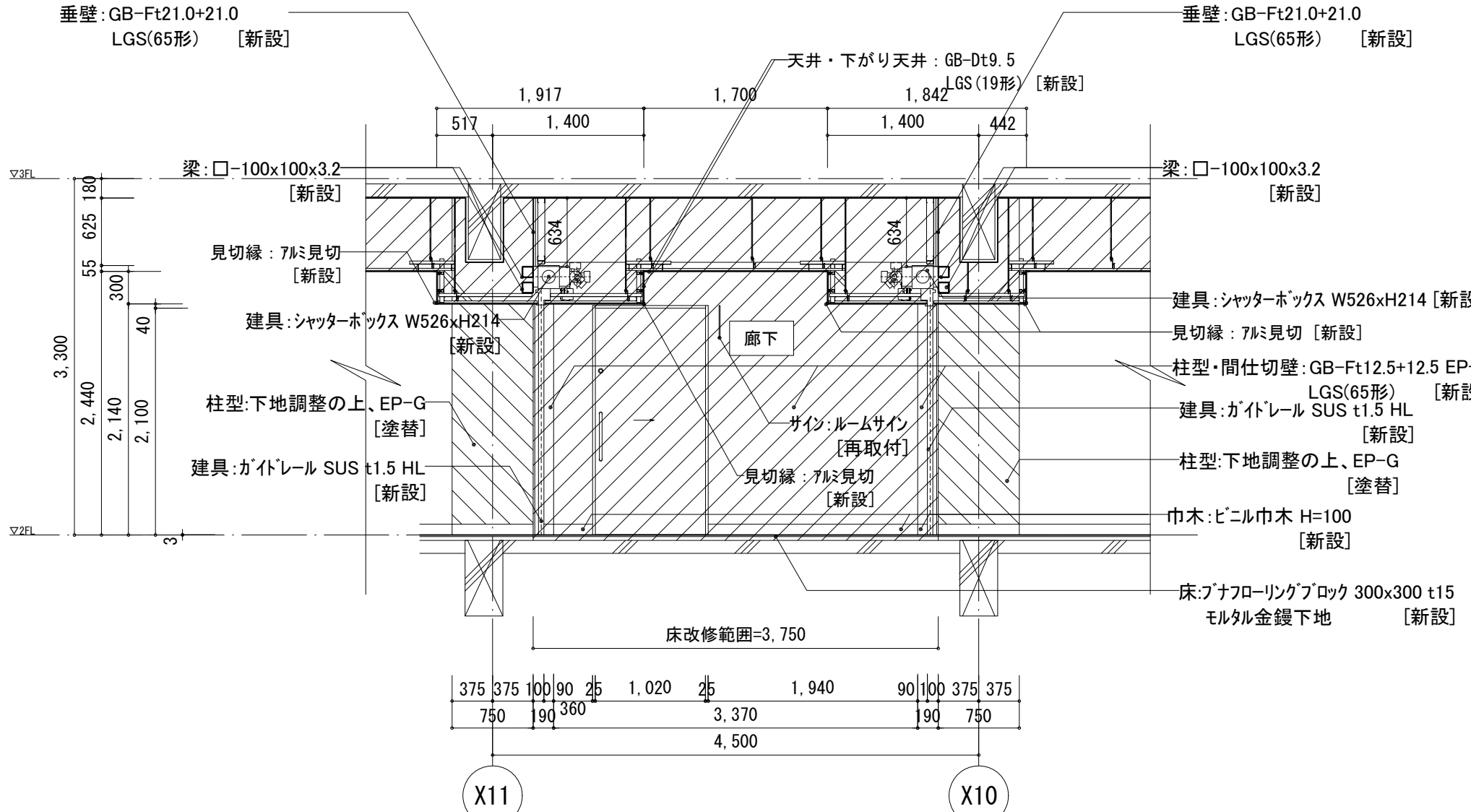


工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 2階廊下・階段室・校長室 平面詳細図 展開図 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:50	図面番号	A-42
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

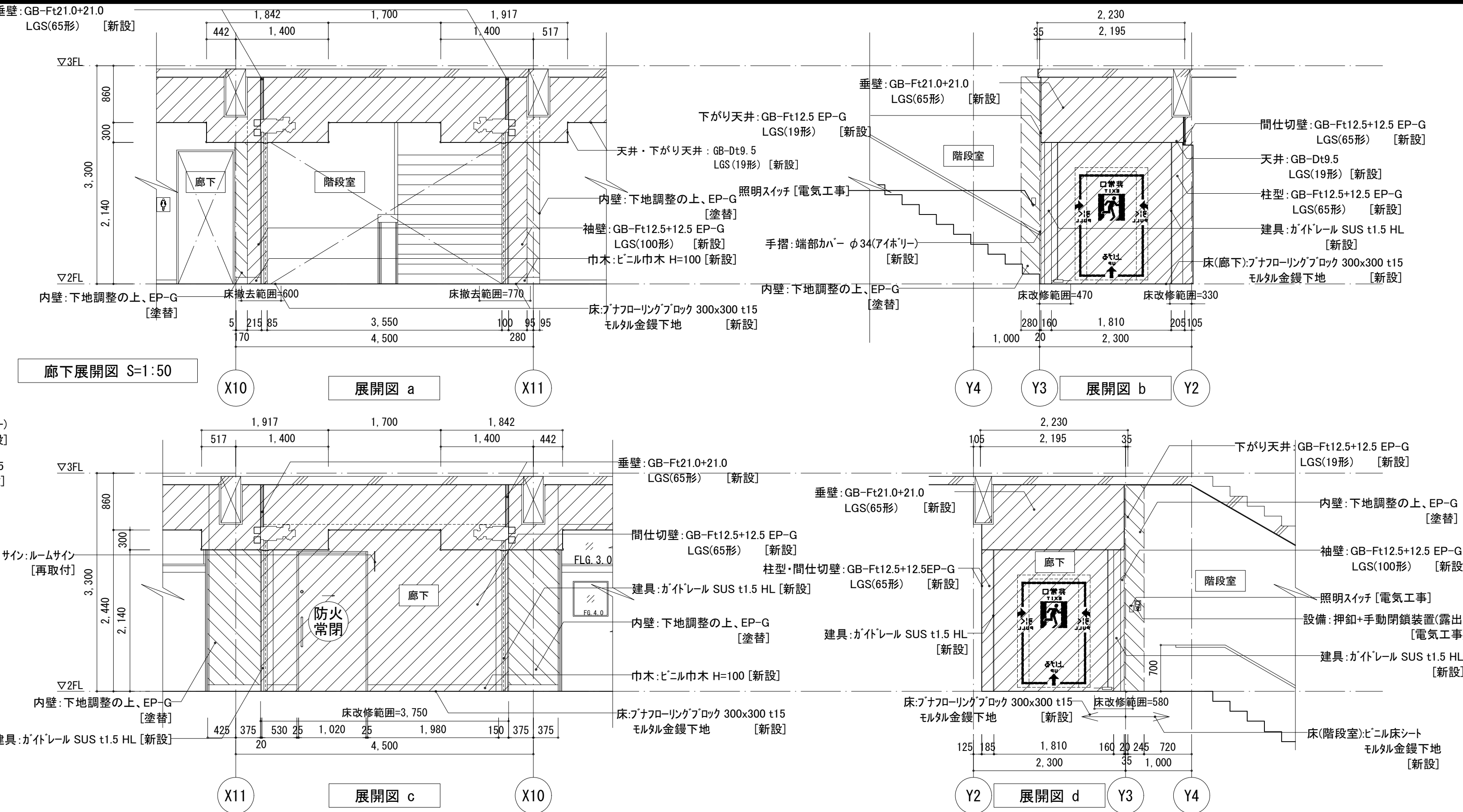
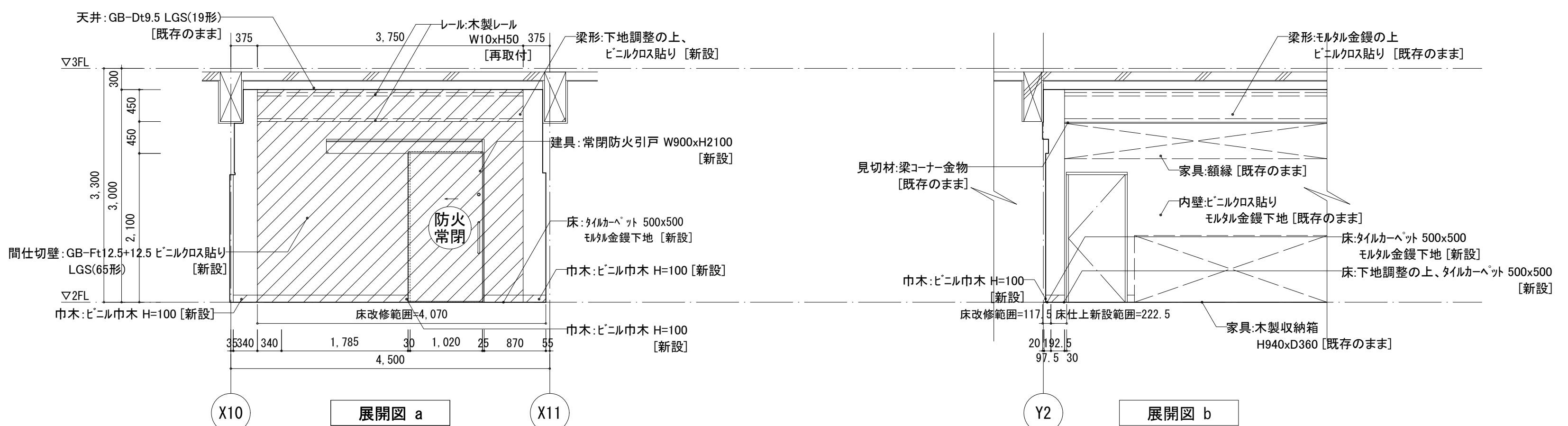
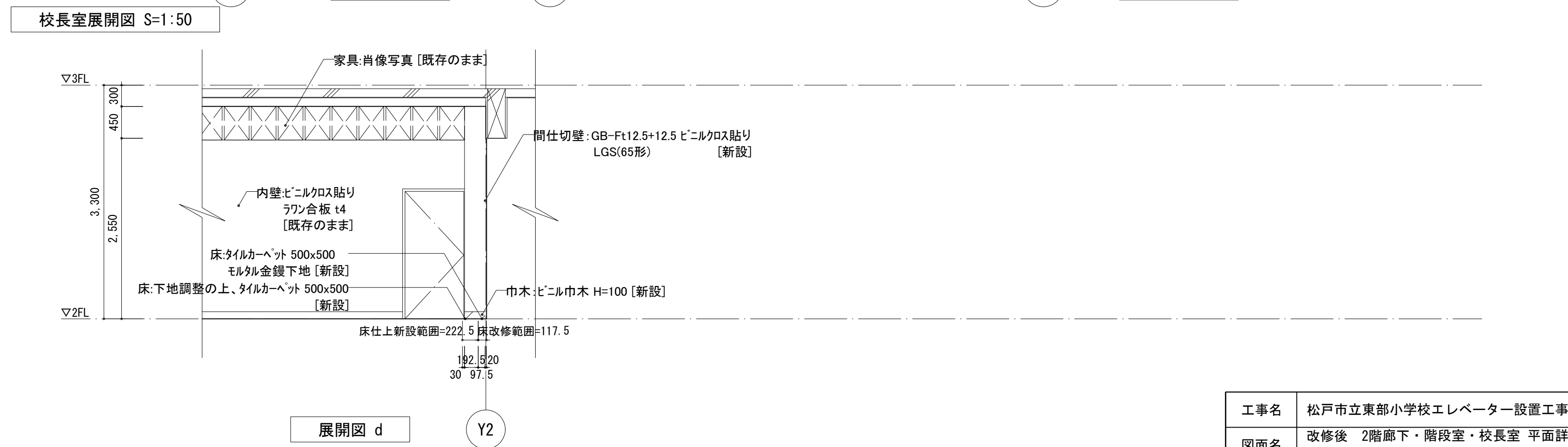


2階平面詳細図 S=1:50

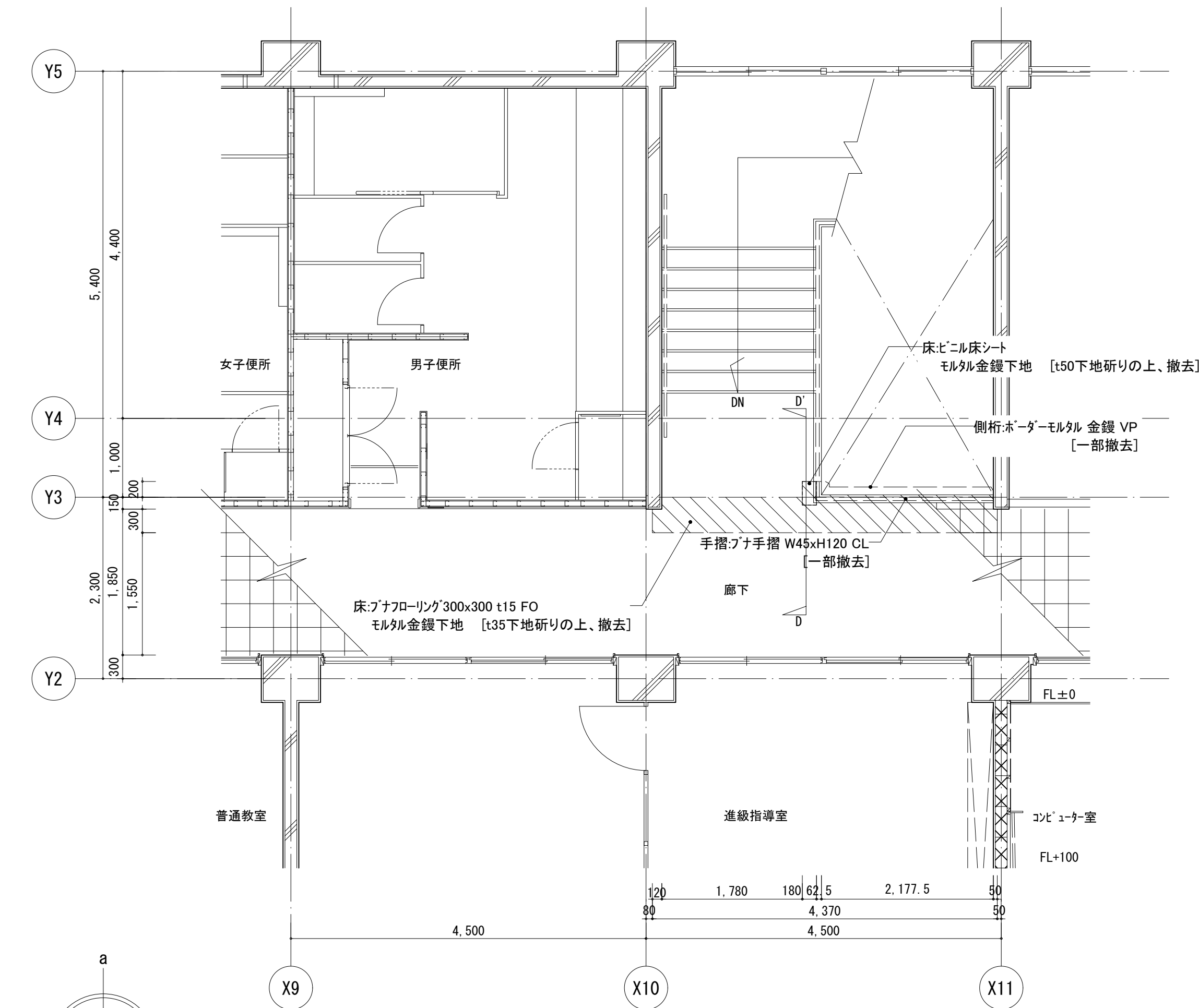
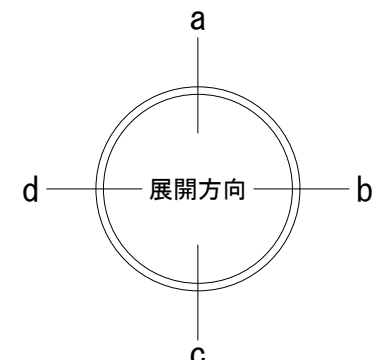
- 特記無き限り下記による
- 新設範囲を示す
 - 塗替・張替範囲を示す
 - シーリングを示す (PU-2 w15x10)



C-C' 断面図 S=1:50

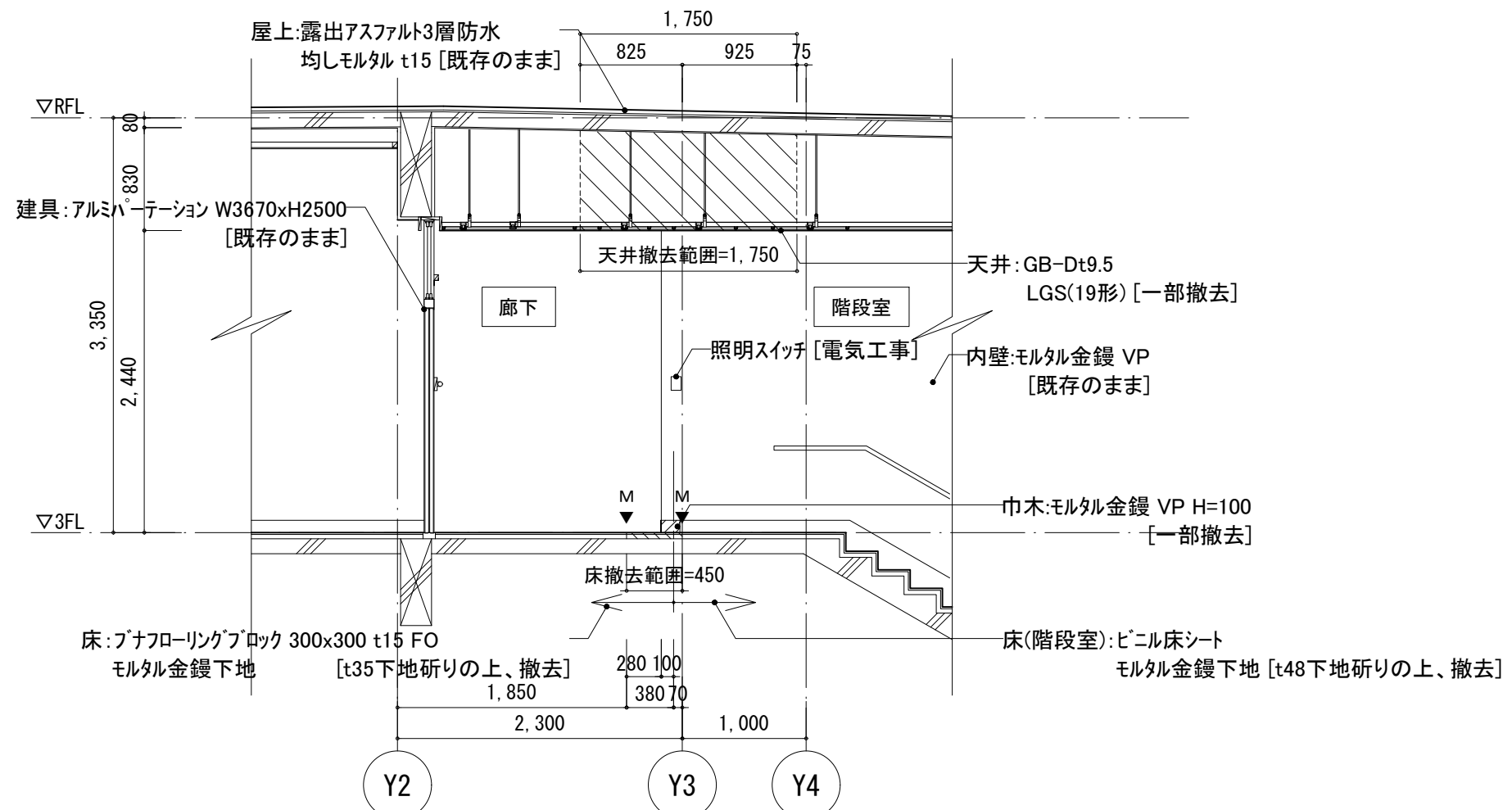


工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 2階廊下・階段室・校長室 平面詳細図 展開図 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:50	図面番号	A-43
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

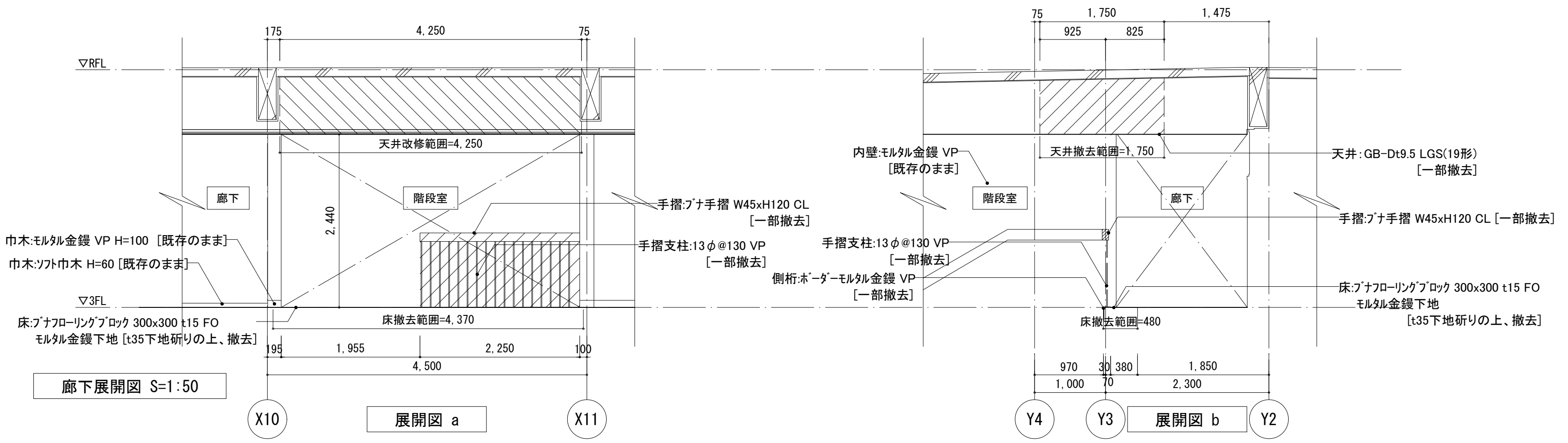


3階平面詳細図 S=1:50

特記無き限り下記による
撤去範囲(下地・カッター入れ共)を示す
▼ カッター入れを示す
※移設は監督職員との協議による

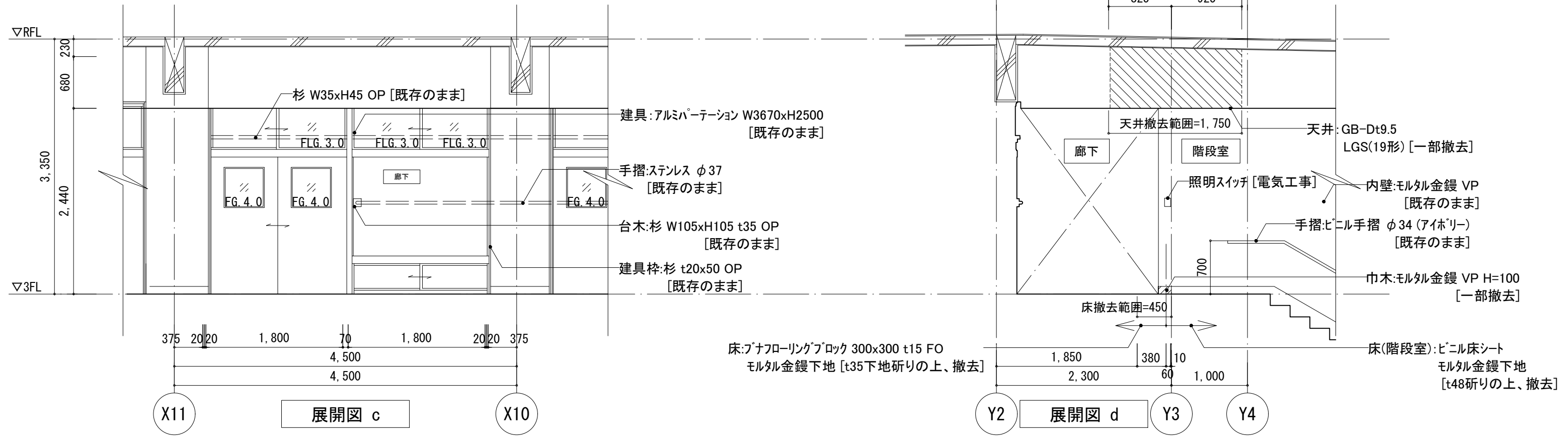


D-D' 断面図 S=1:50



展開図 a

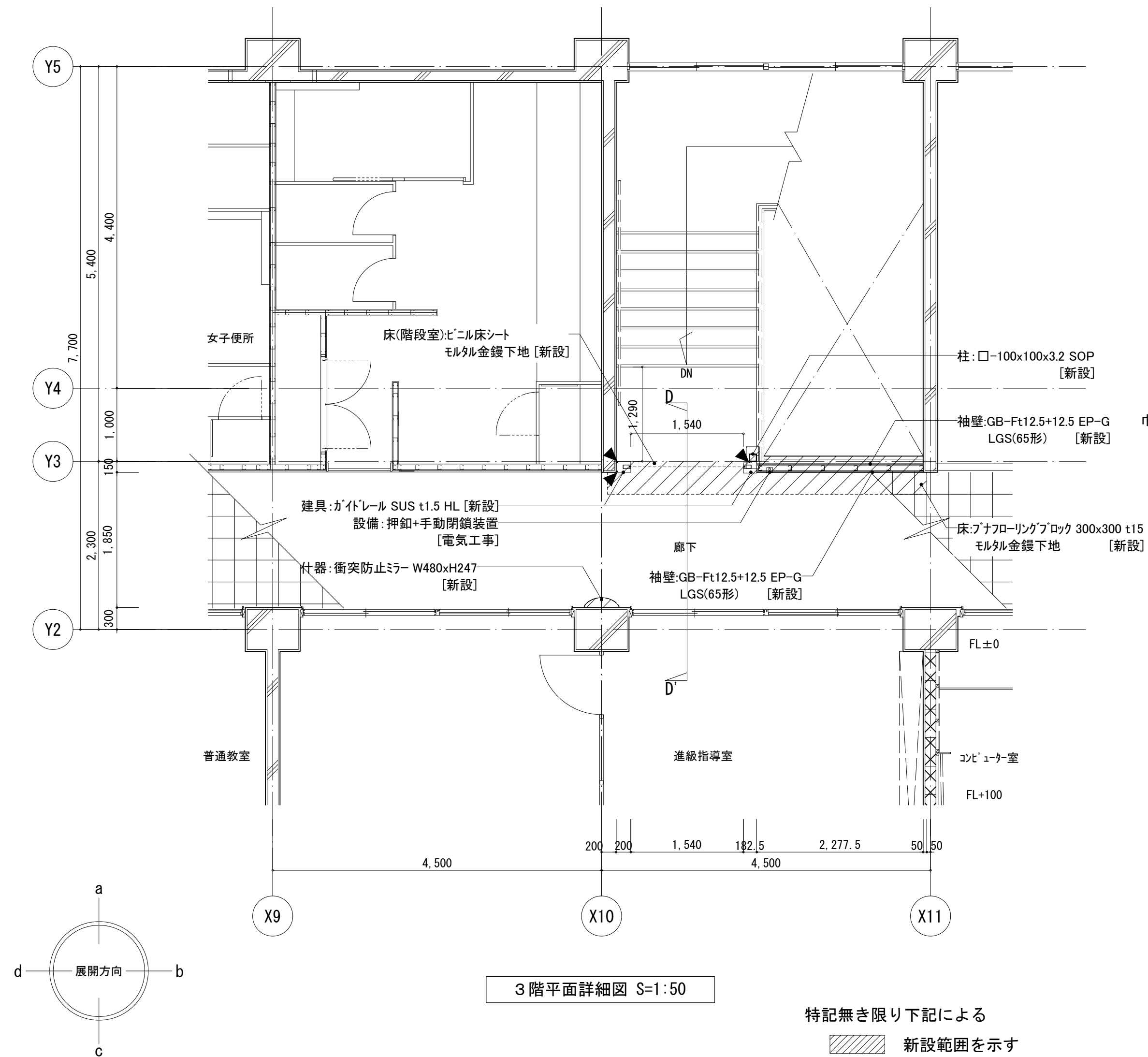
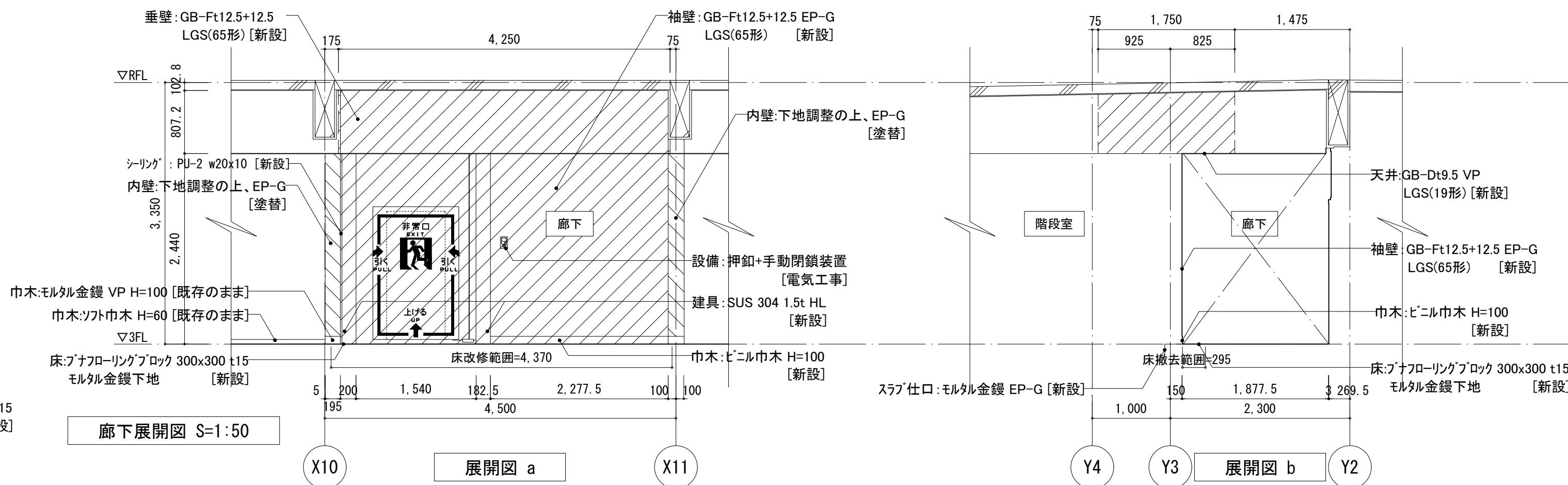
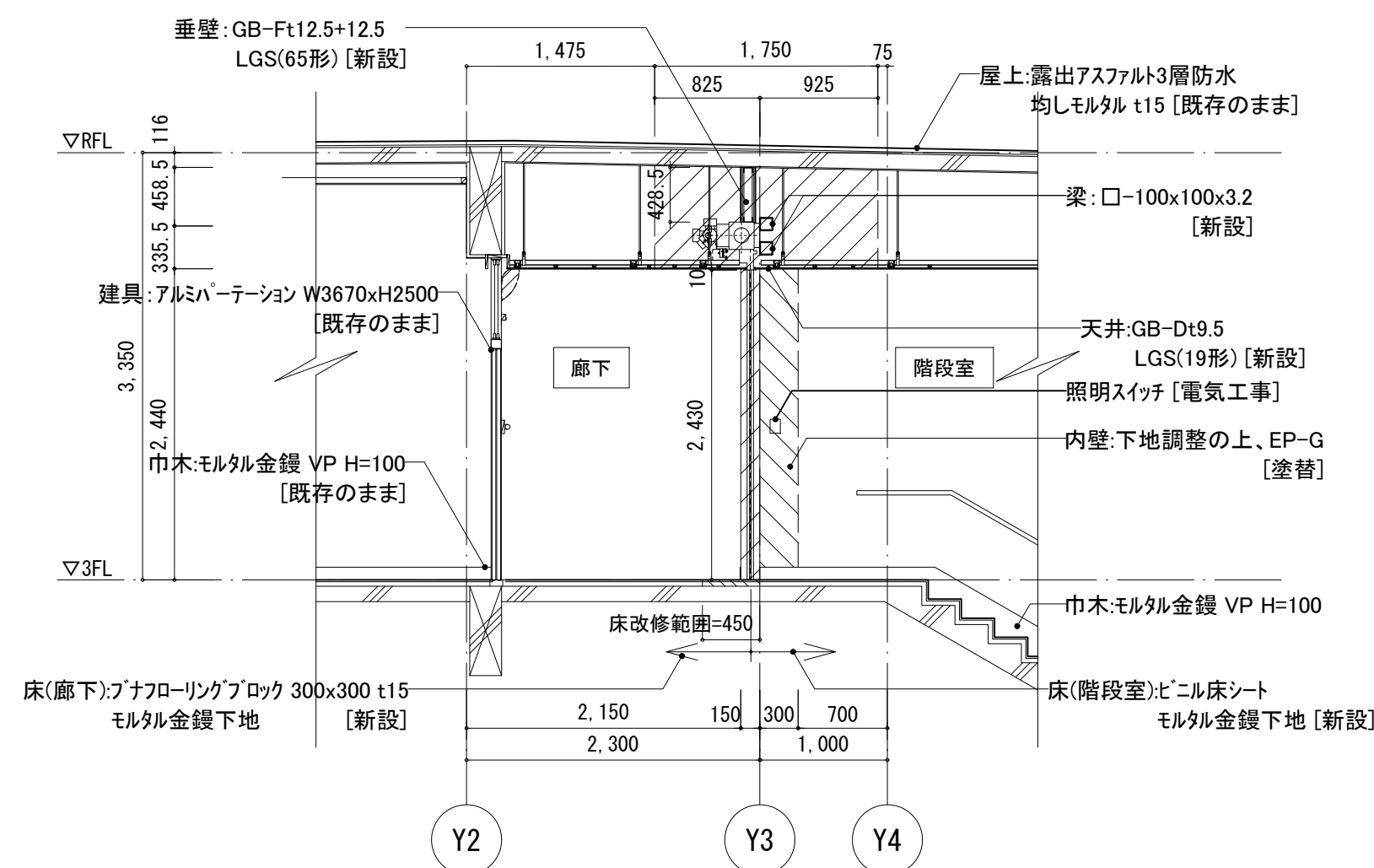
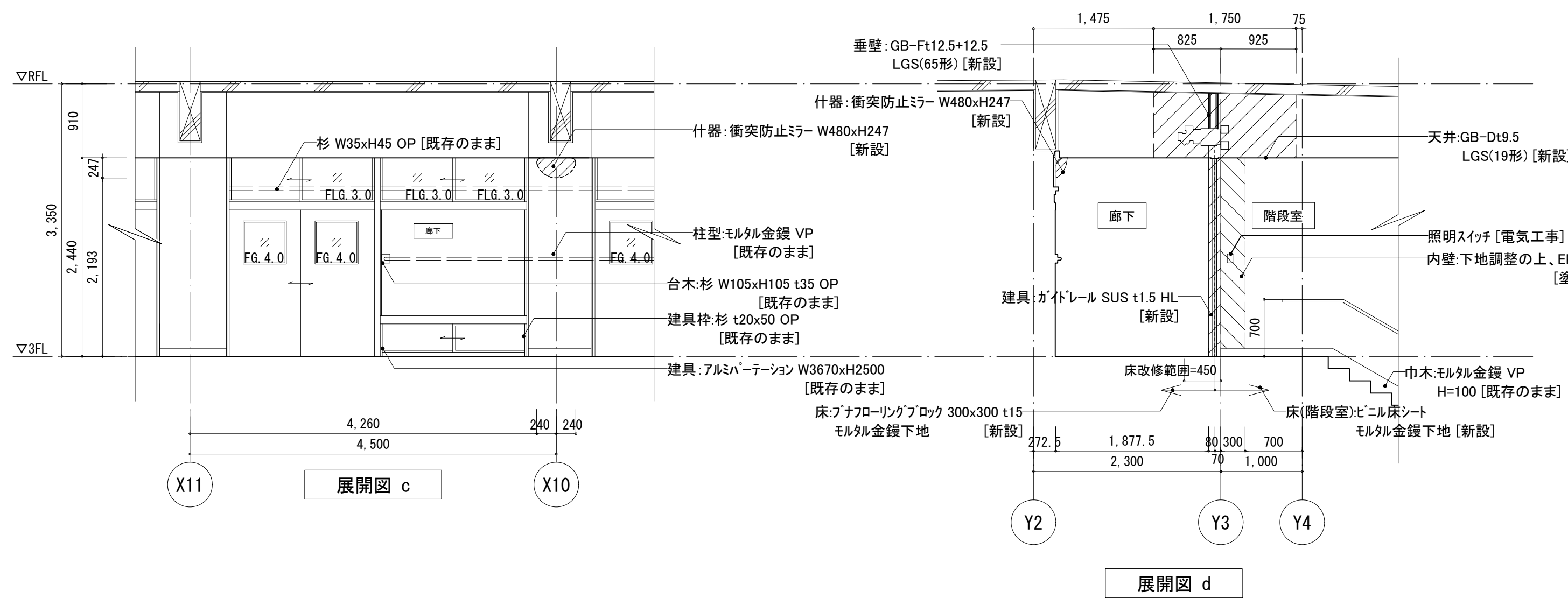
展開図 b



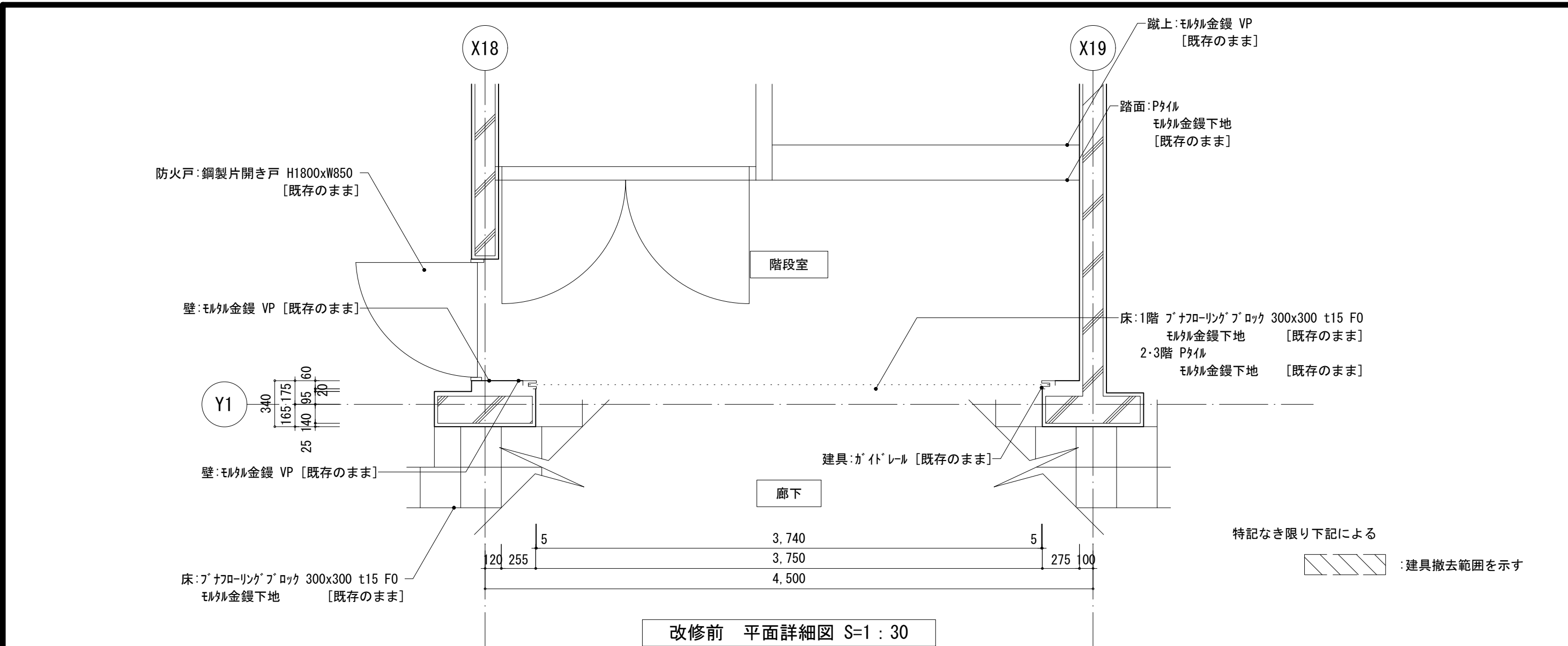
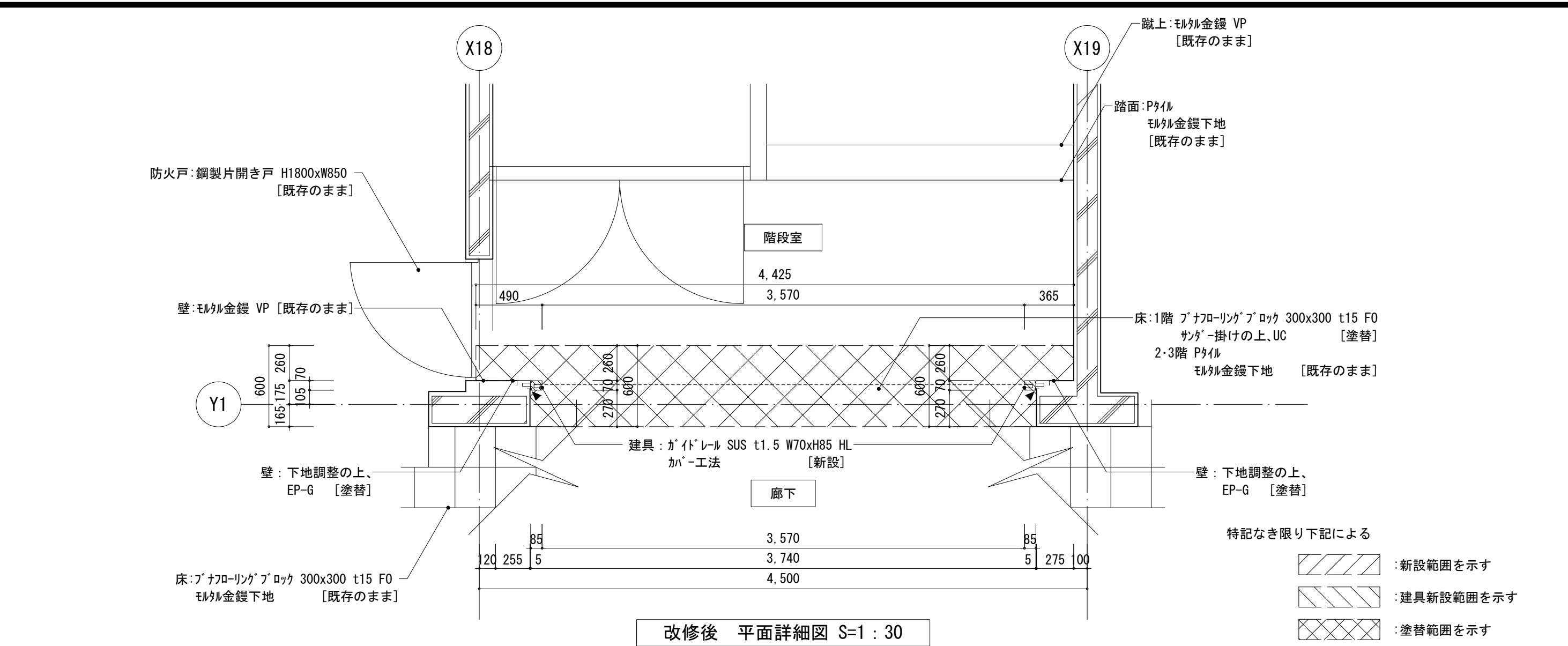
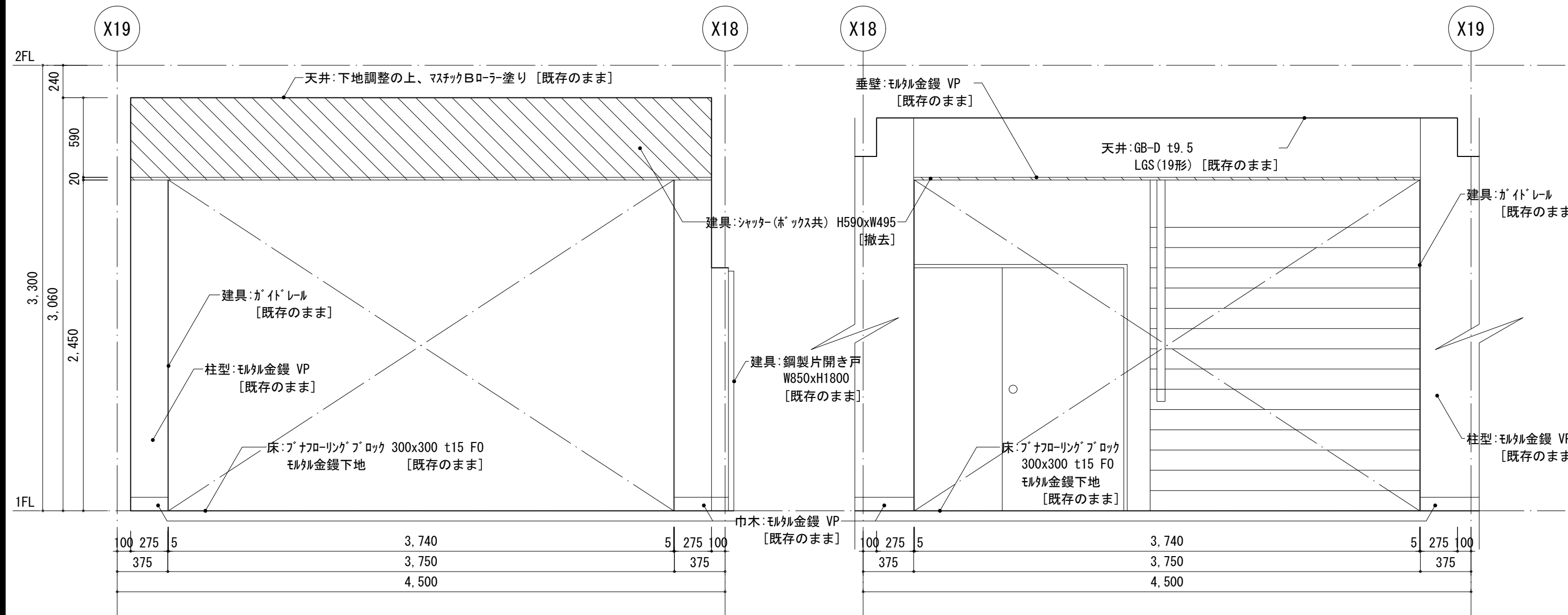
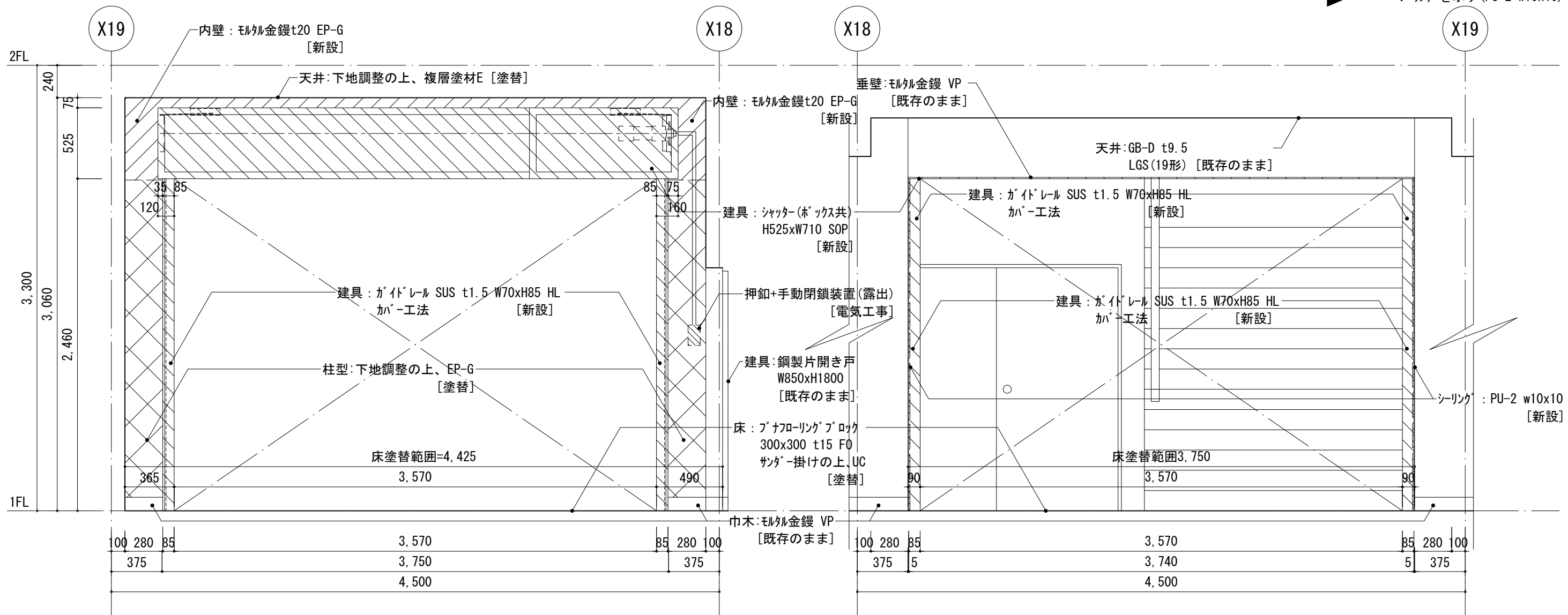
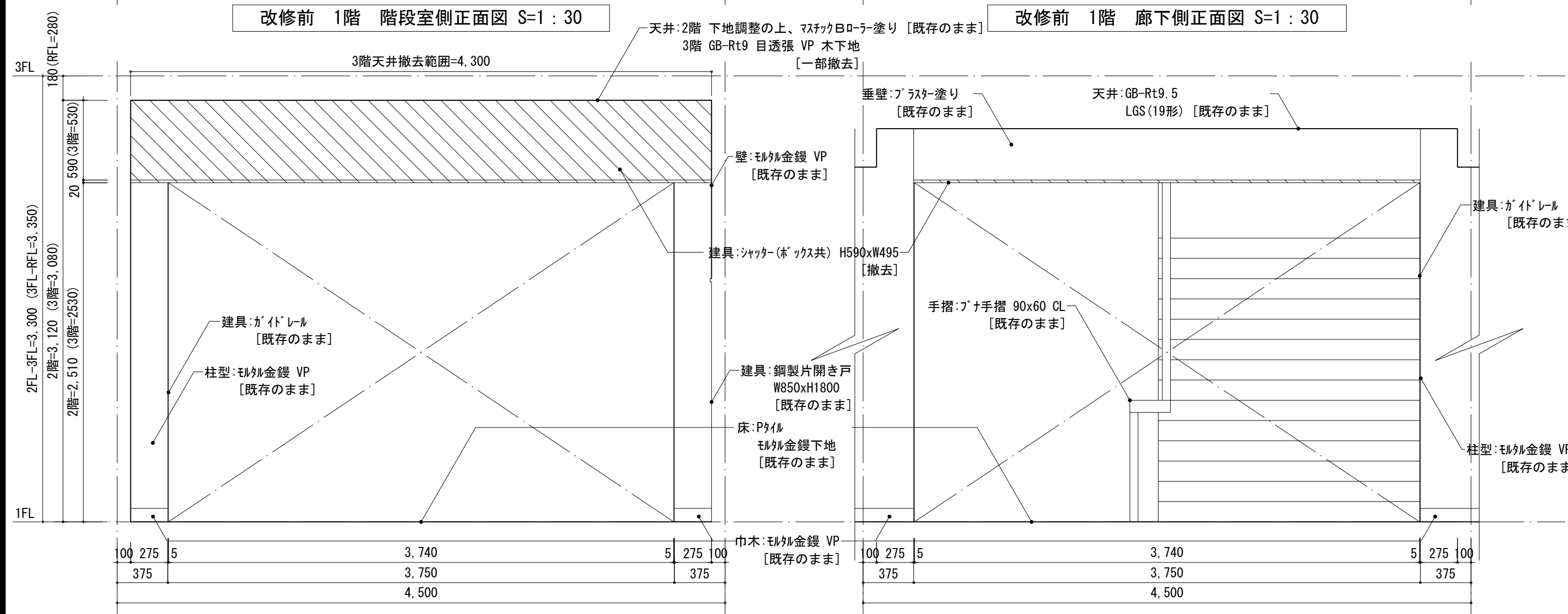
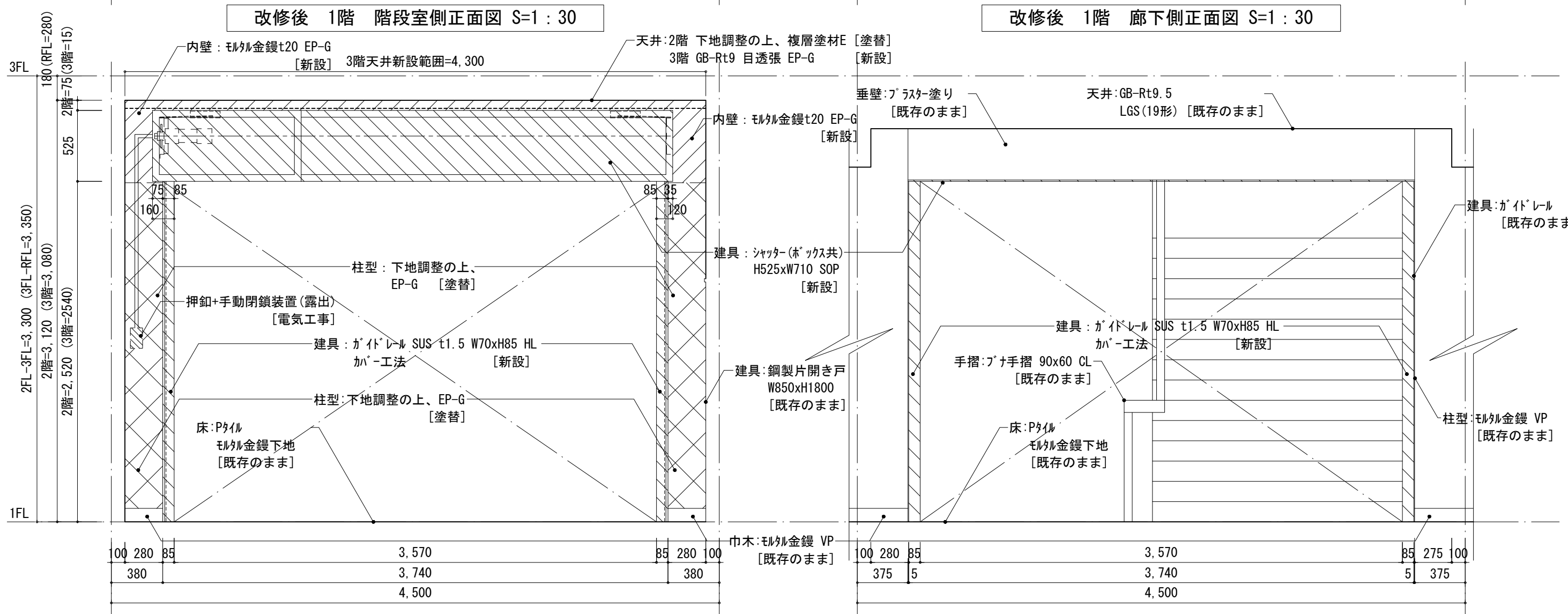
展開図 c

展開図 d

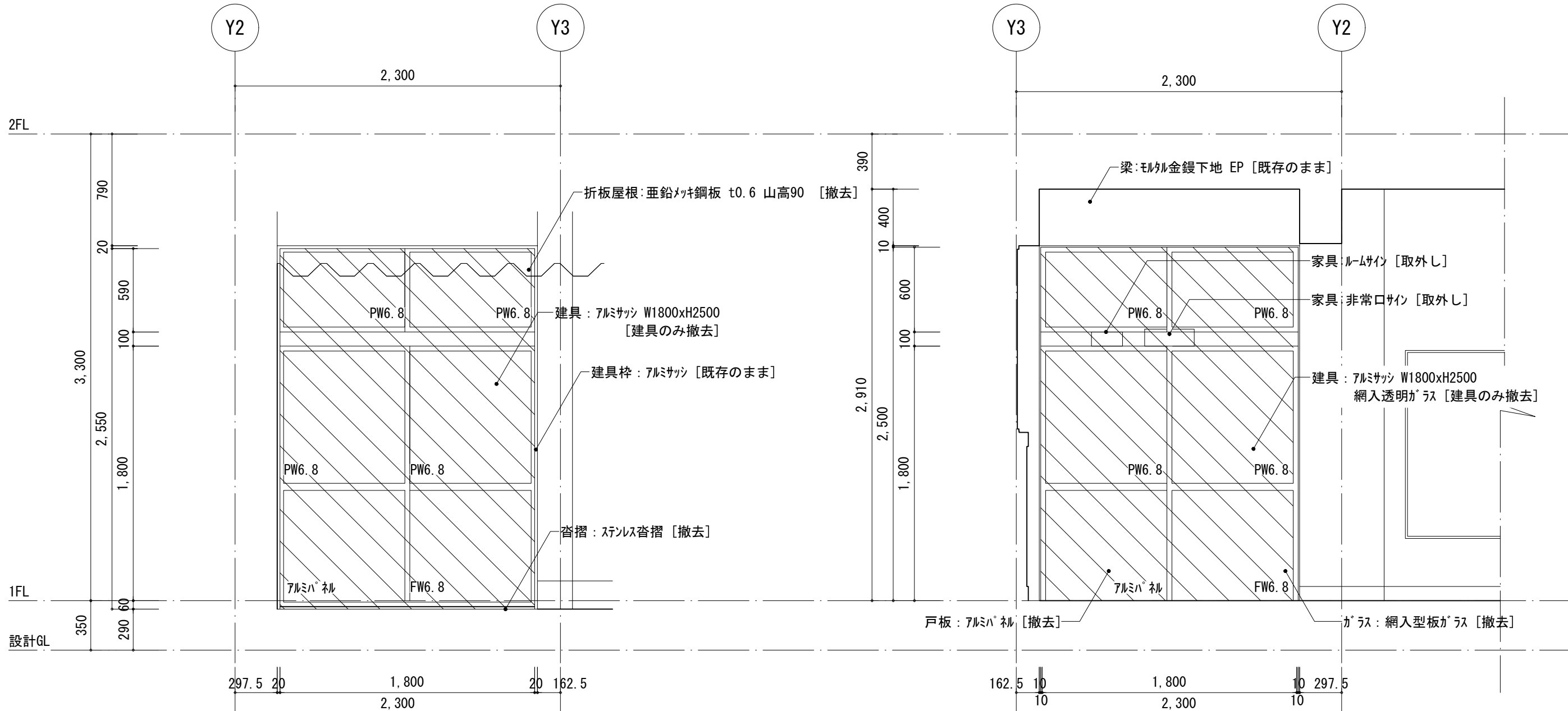
工 事 名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図 面 名	改修前 3階廊下・階段室 平面詳細図 展開図 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-44
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工 事 名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 3階廊下・階段室 平面詳細図 展 開図 断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:50	図面番号	A-45
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

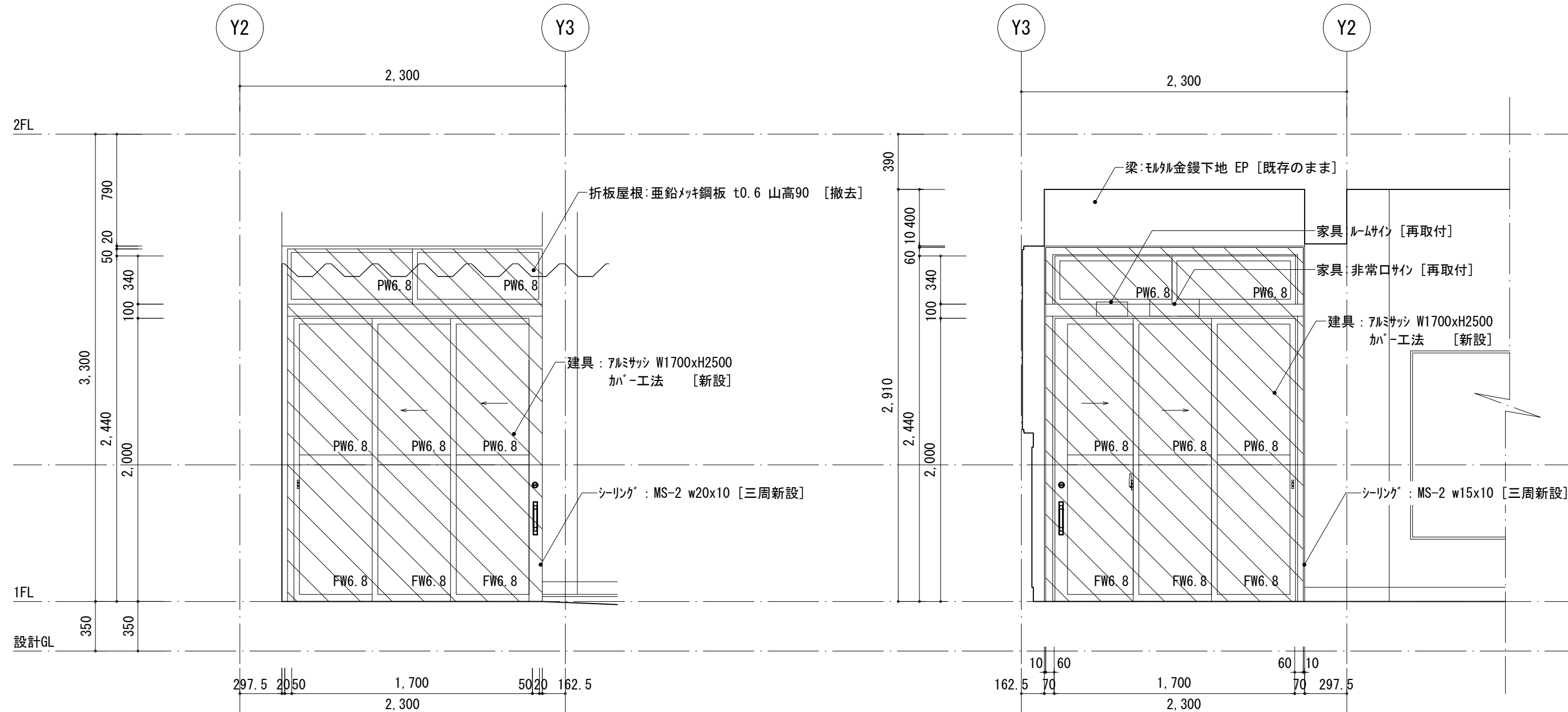


工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-2棟 階段室・廊下 平面詳細図・展開図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:30	図面番号	A-46
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



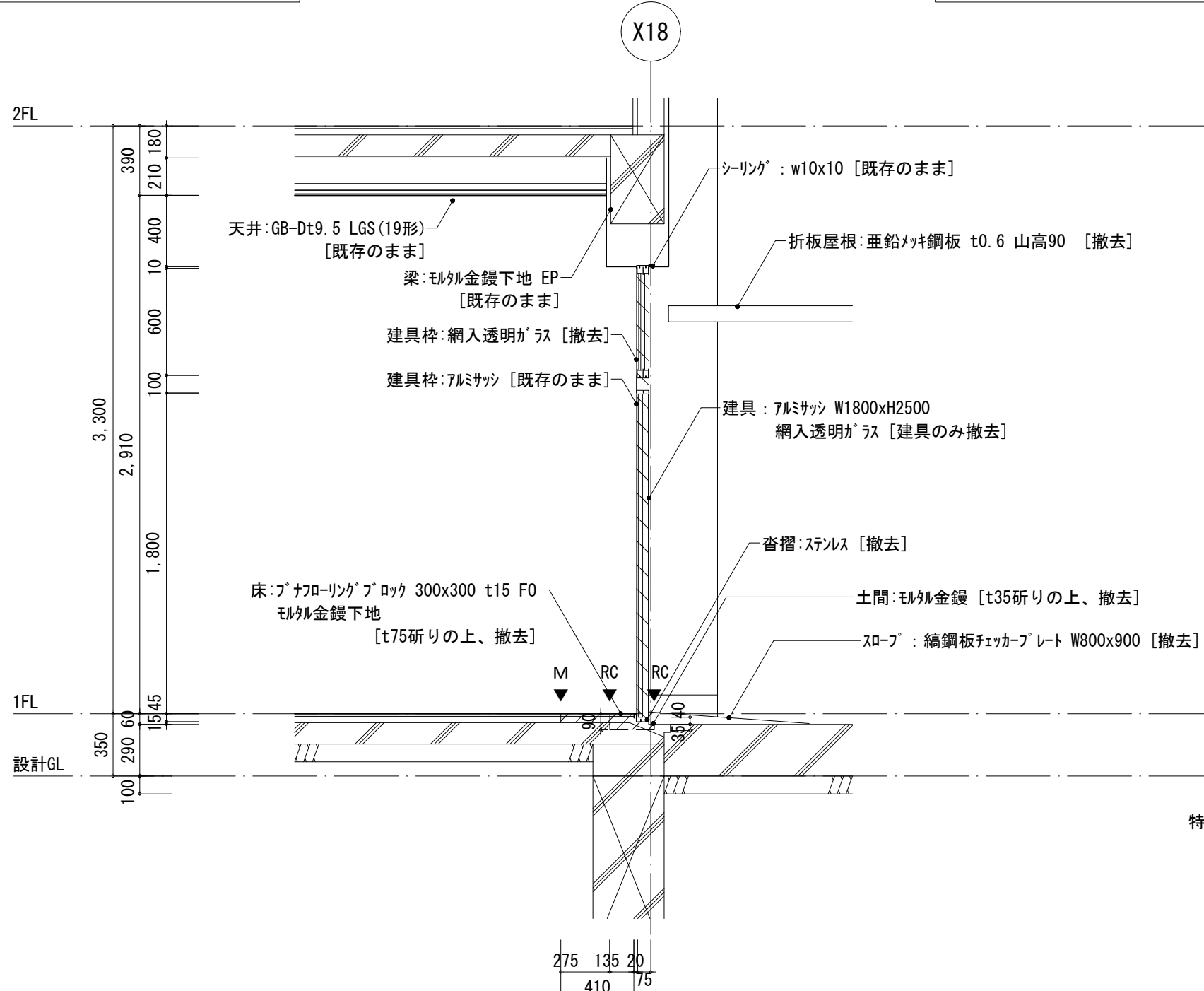
改修前 外部正面図 S=1:30

改修前 内部正面図 S=1:30

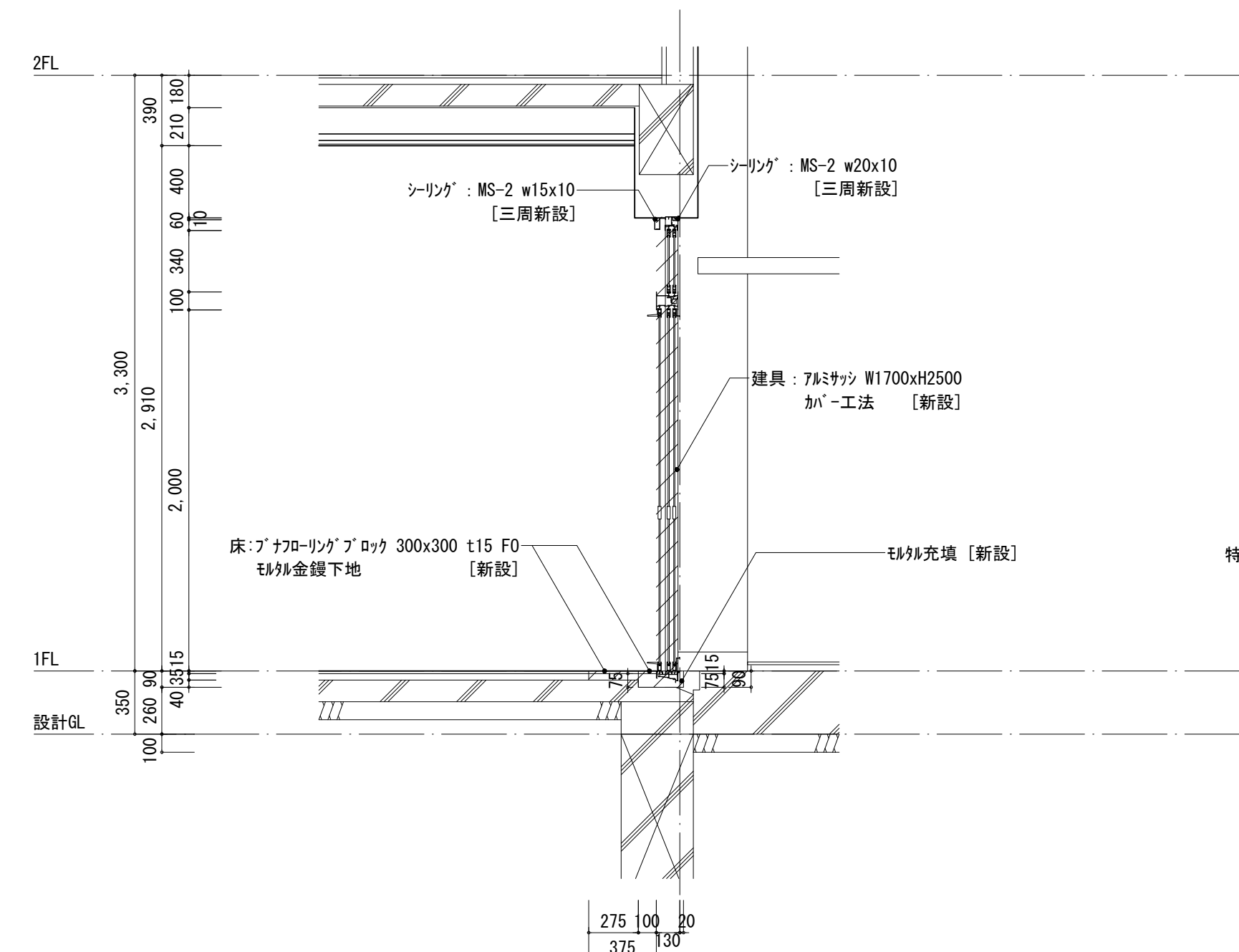


改修後 外部正面図 S=1:30

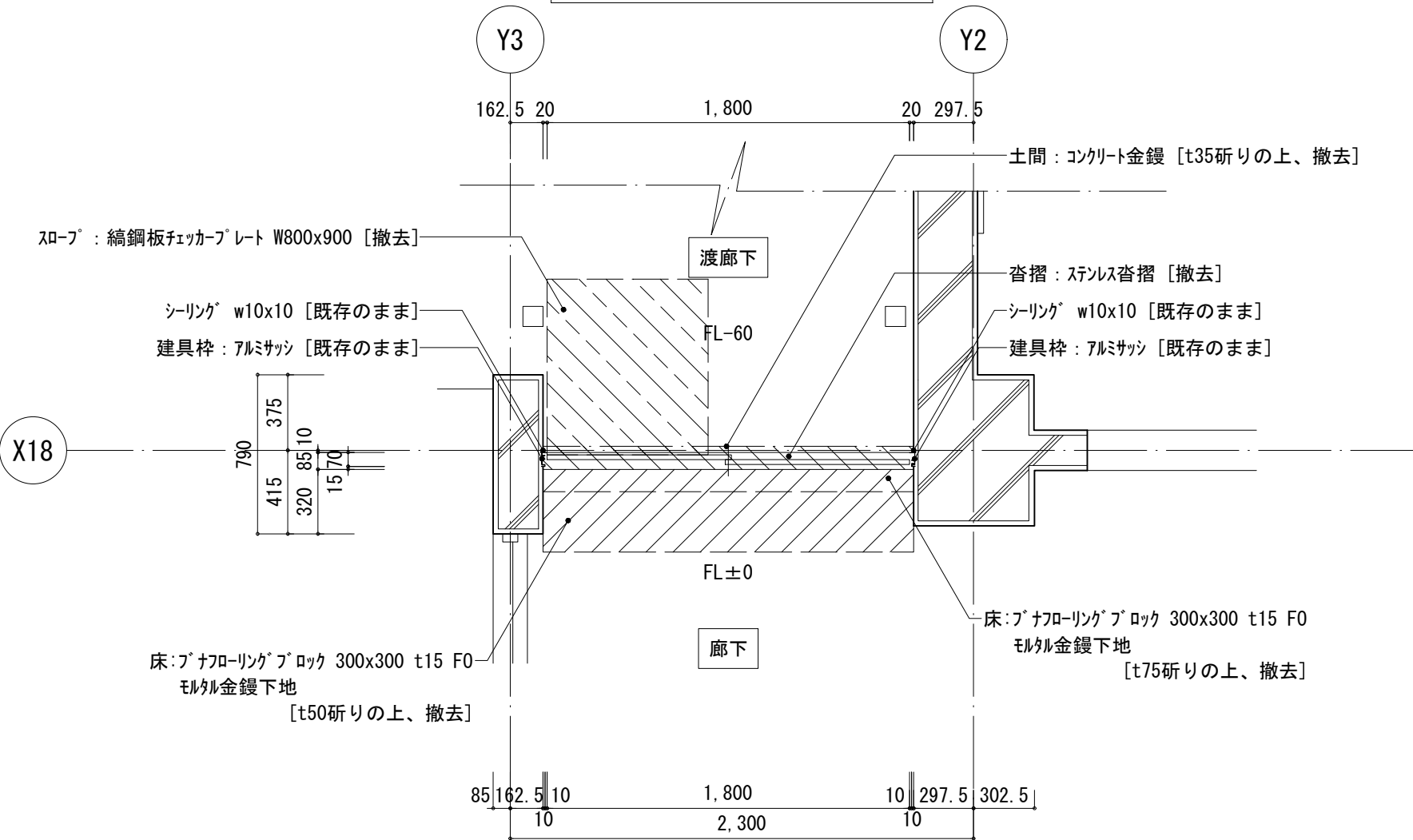
改修後 内部正面図 S=1:30



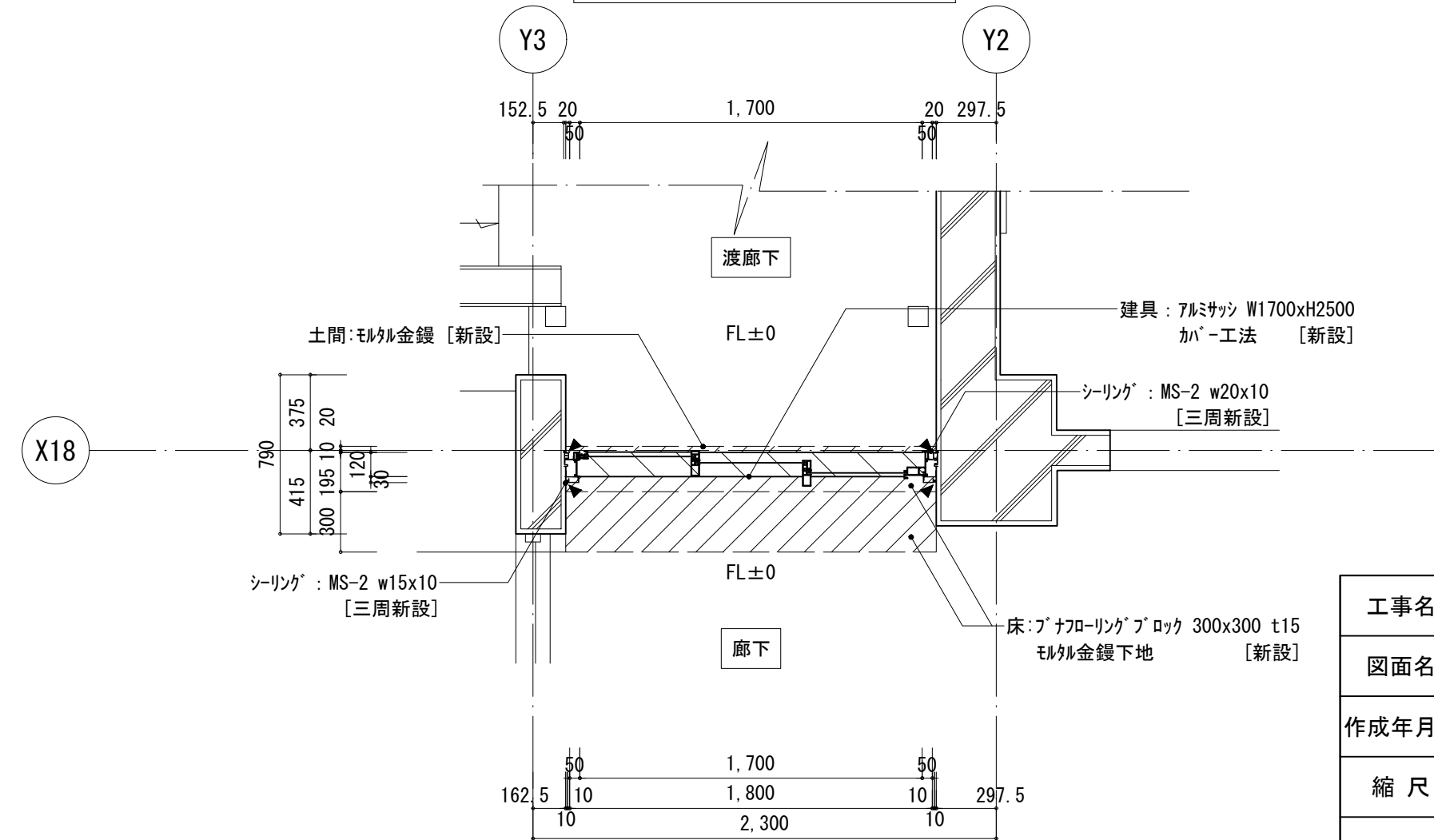
改修前 断面図 S=1:30



改修後 断面図 S=1:30

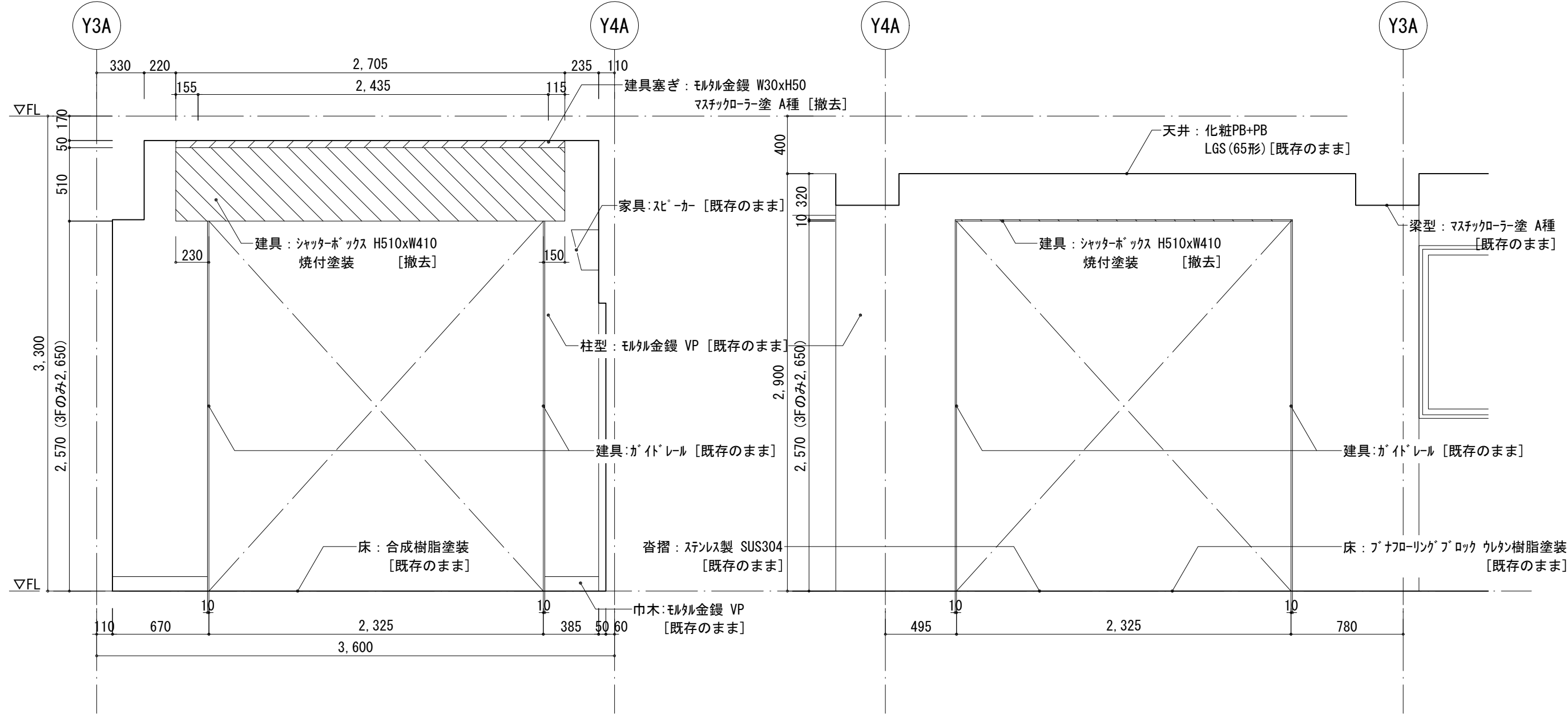


改修前 平面詳細図 S=1:30



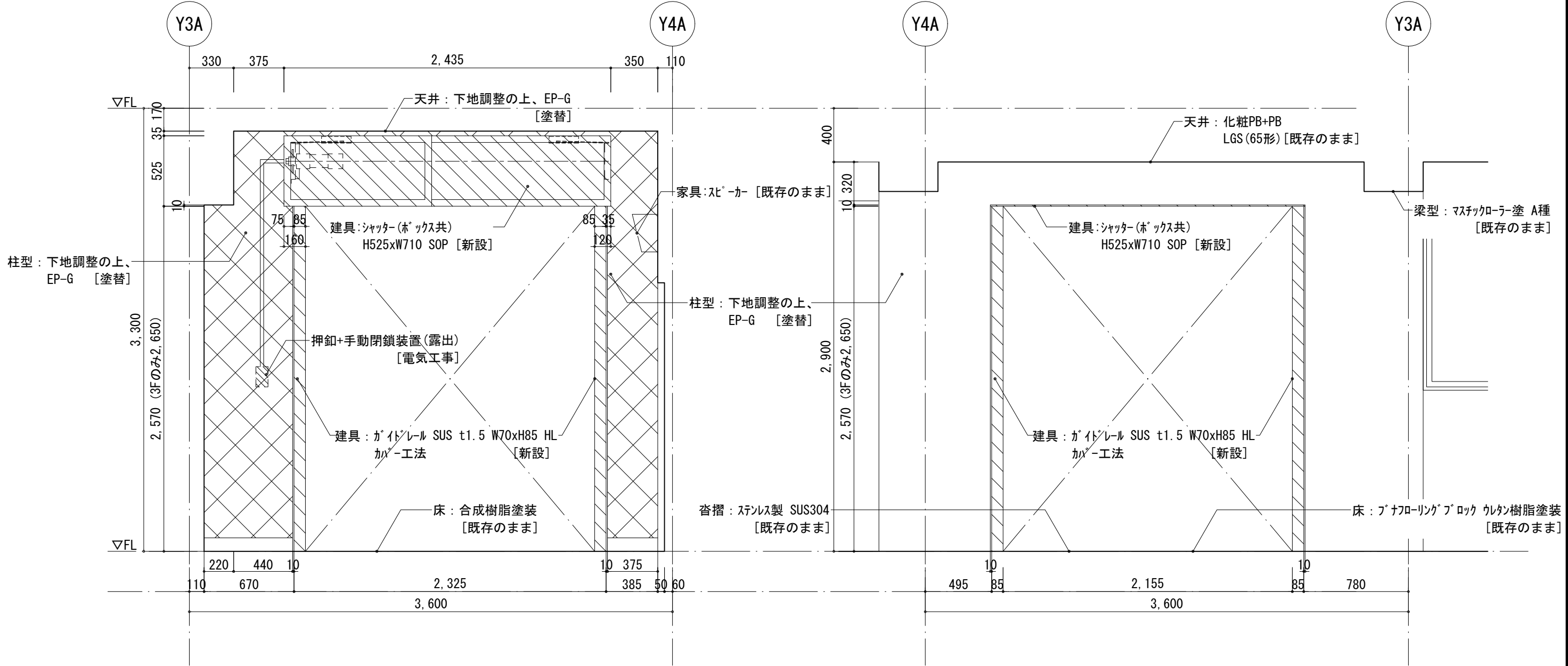
改修後 平面詳細図 S=1:30

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-2棟 廊下・渡廊下 平面詳細図・立面図・断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:30	図面番号	A-47
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



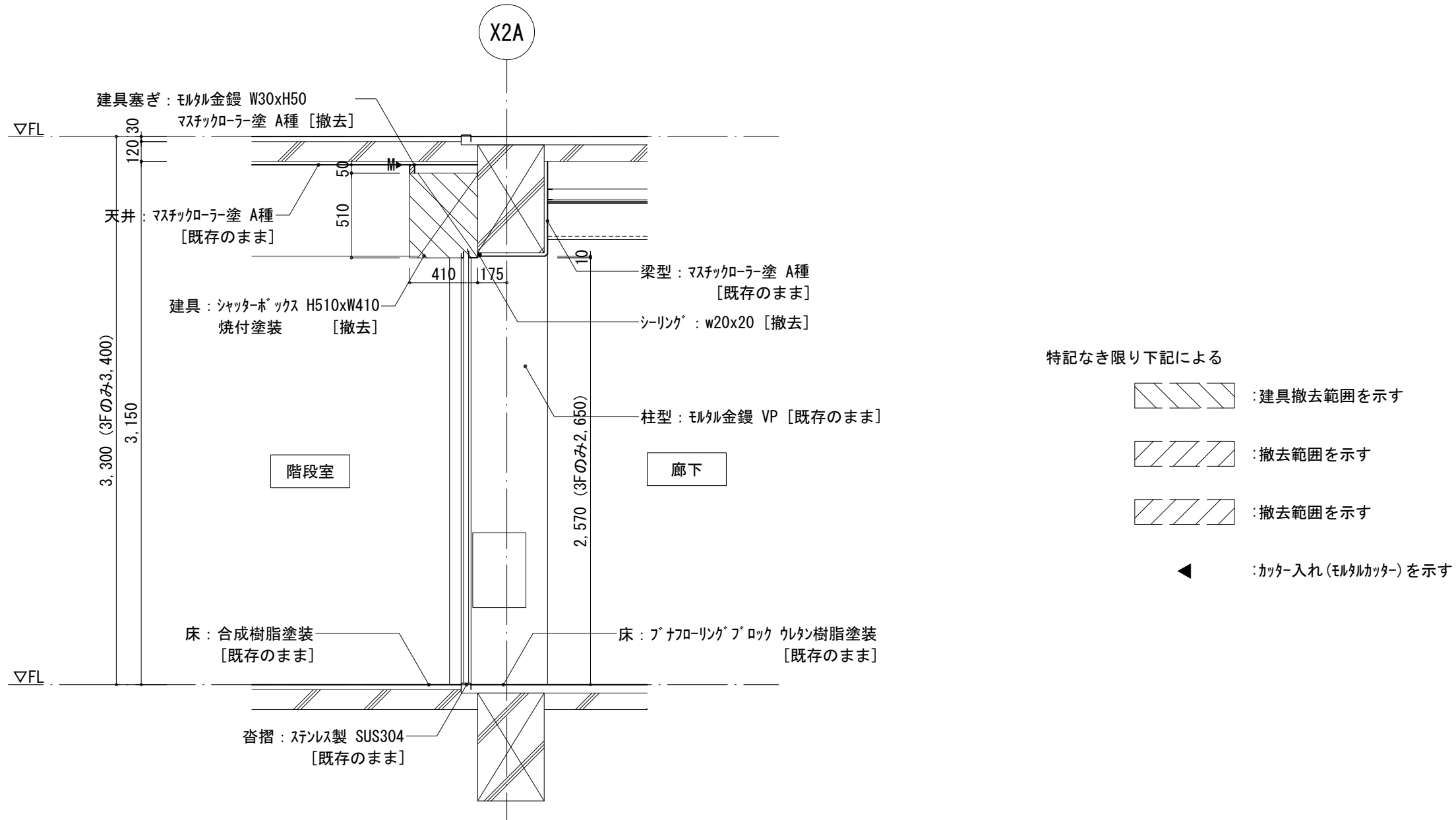
改修前 各階階段室側正面図 S=1 : 30

改修前 各階廊下側正面図 S=1 : 30

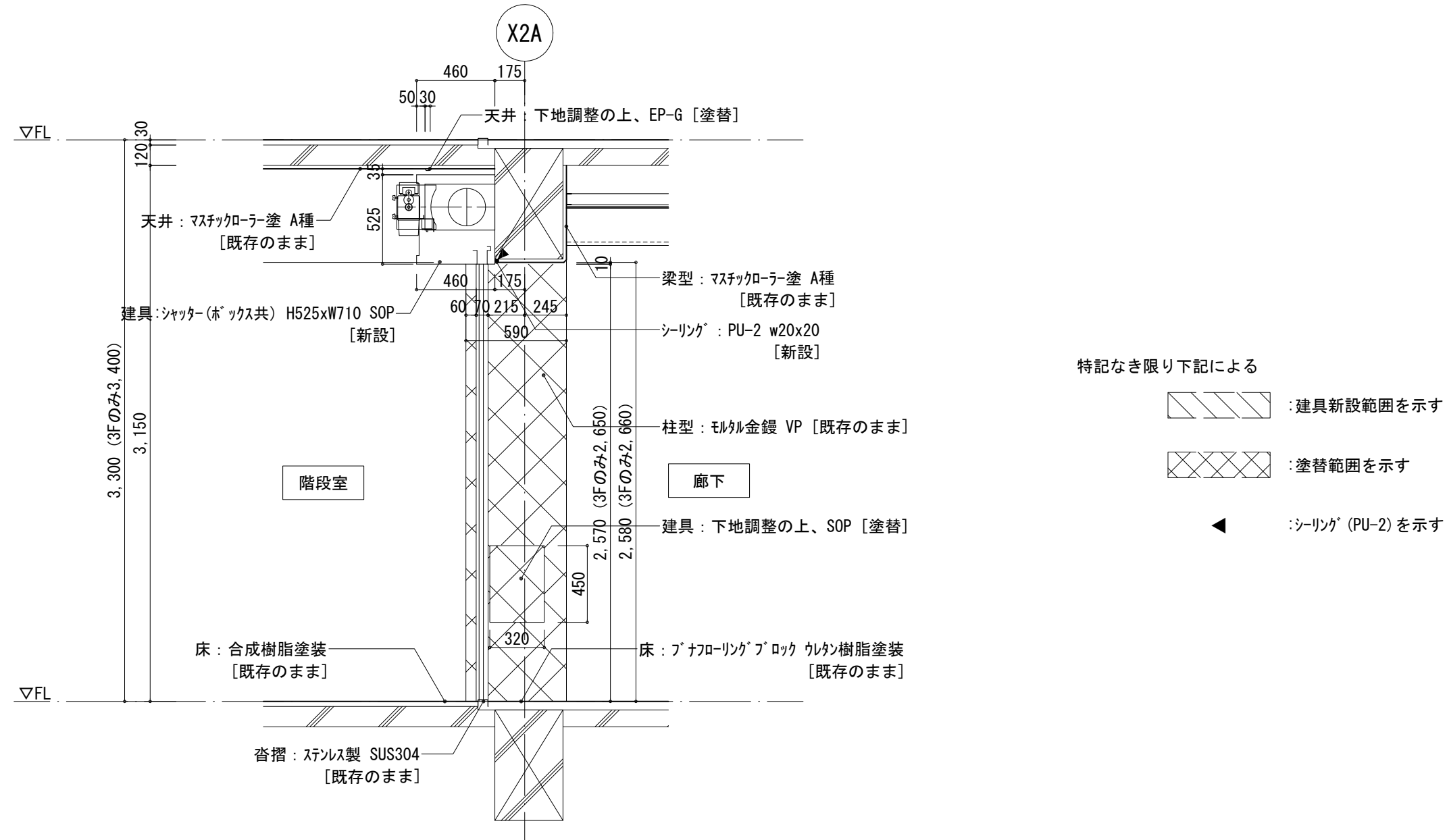


改修後 各階階段室側正面図 S=1 : 30

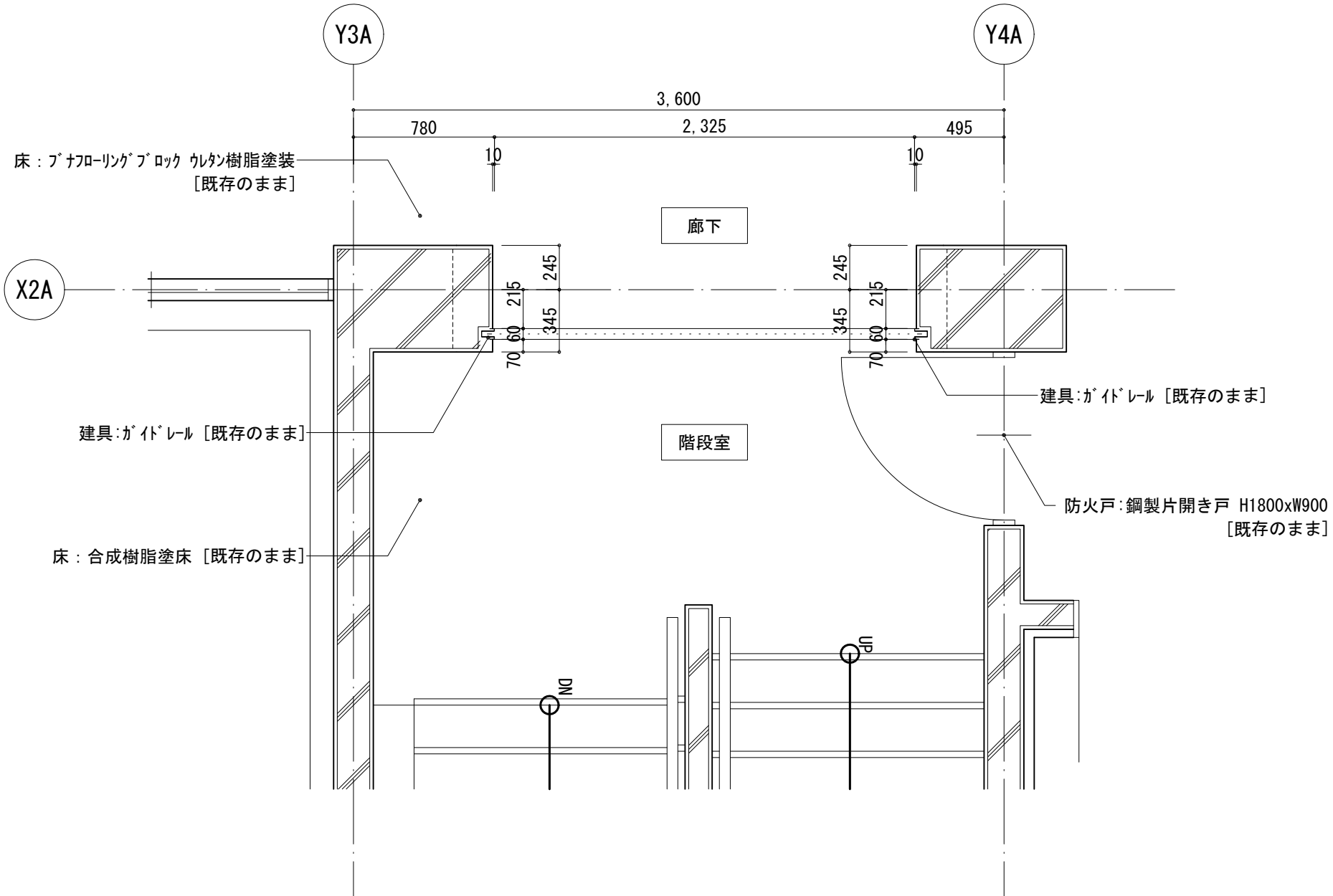
改修後 各階廊下側正面図 S=1 : 30



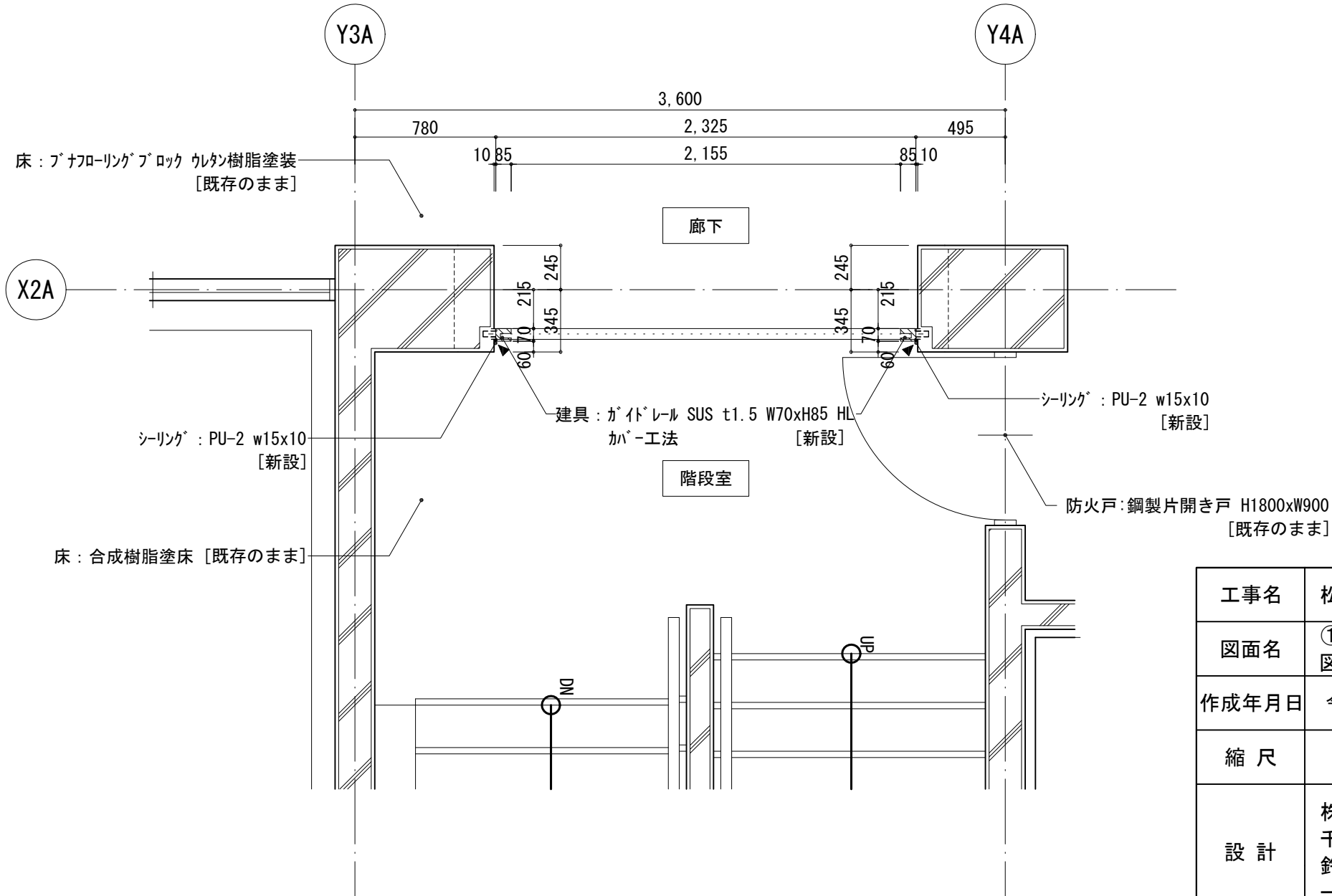
改修前 各階断面図 S=1 : 30



改修後 各階断面図 S=1 : 30

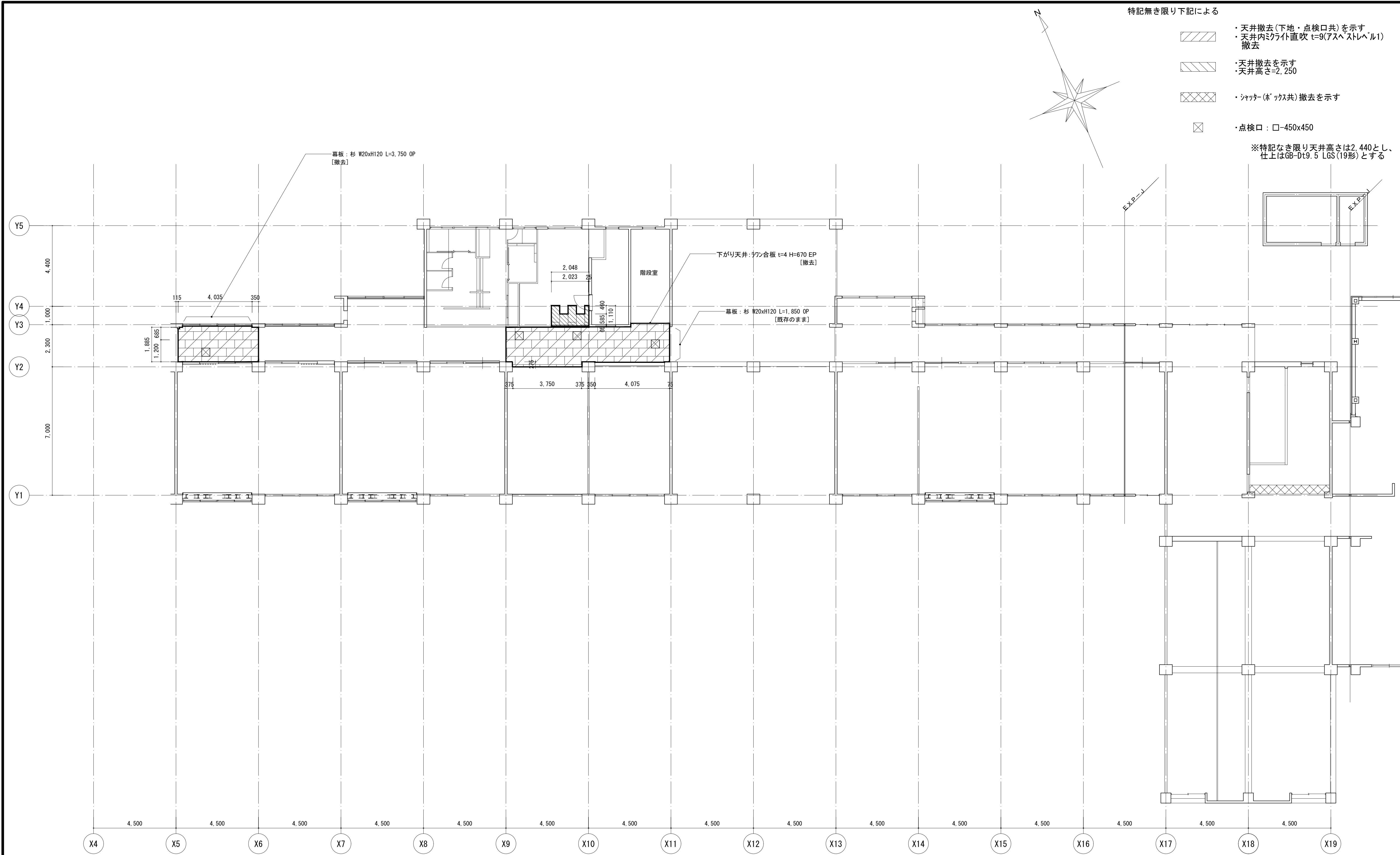


改修前 各階平面詳細図 S=1 : 30



改修後 各階平面詳細図 S=1 : 30

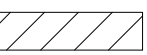
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-5棟 階段室・廊下 平面詳細図・展開図・断面図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:30	図面番号	A-48
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



改修前 1階天井伏図 S=1 : 100

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 1階天井伏図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:100	図面番号	A-49
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

特記無き限り下記による



・天井撤去(下地・点検口共)を示す
・天井内ミライト直吹 t=9(アスベストレベル1) 撤去

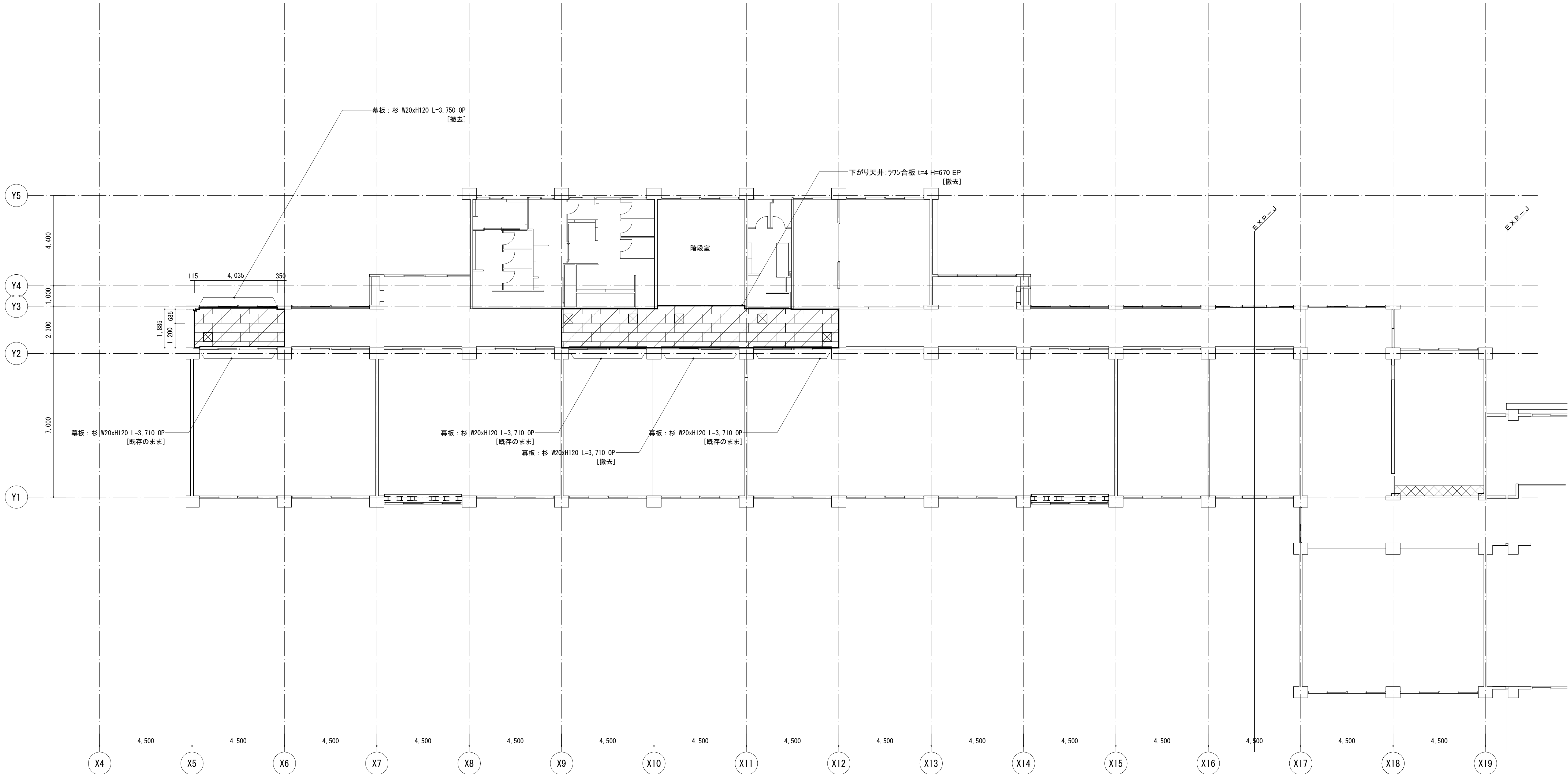


・シャッター(ボックス共)撤去を示す



・点検口：□-450x450

※特記なき限り天井高さは2,440とし、
仕上はGB-Dt9.5 LGS(19形)とする



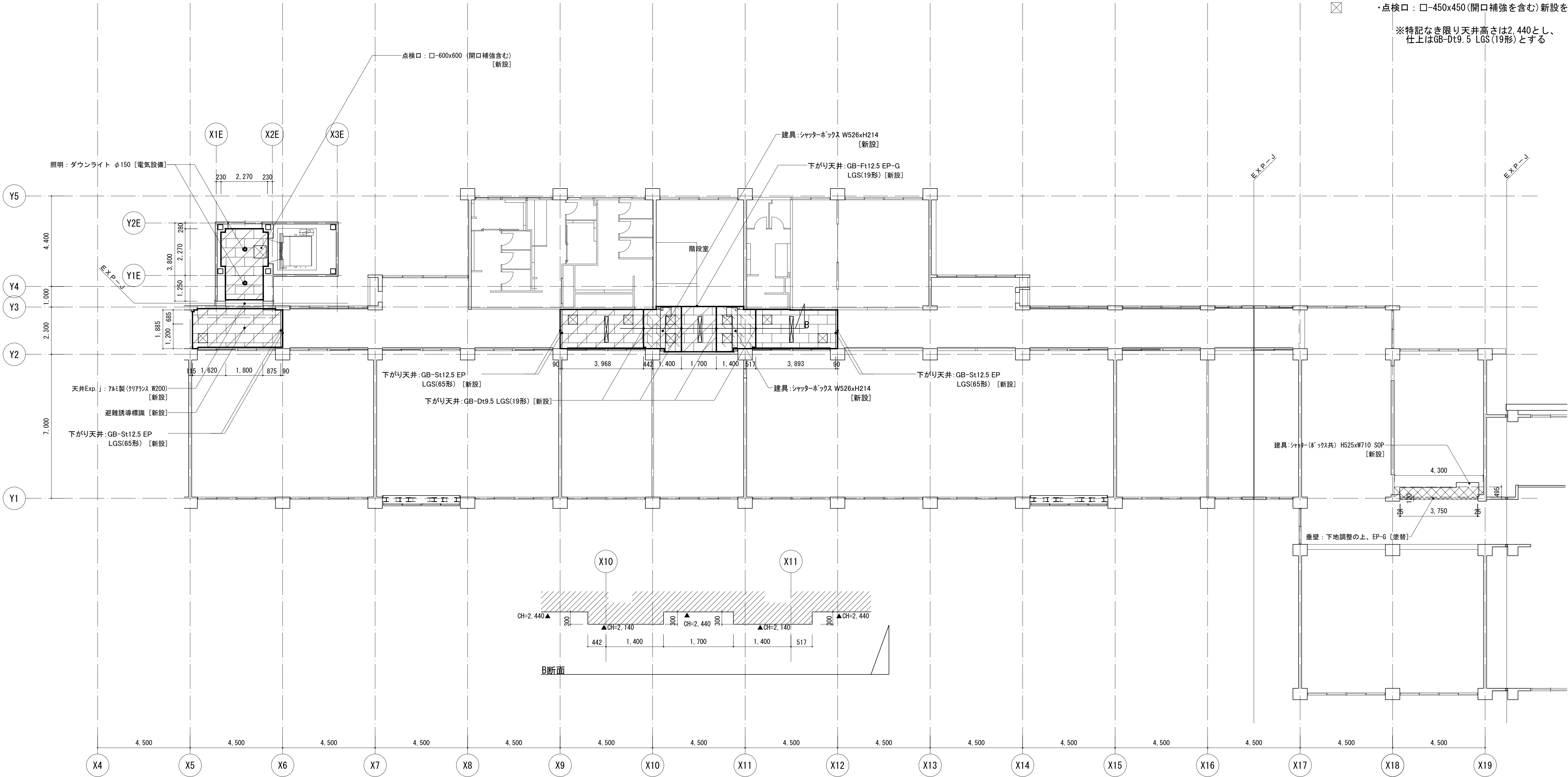
改修前 2階天井伏図 S=1 : 100

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 2階天井伏図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:100	図面番号	A-51
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

特記無き限り下記による

- ・天井新設(下地・点検口共)を示す
- ・天井新設(下地・点検口共)を示す
・天井高さ=2,140
- ・下地調整の上、複層塗材E[塗替]を示す
・天井高さ=3,120
- ・埋込の照明器具(開口補強)W190xD1250を示す
- ・ダウンライト(開口補強)φ150を示す
- ・点検口：□-450x450(開口補強を含む)新設を示す

※特記なき限り天井高さは2,440とし、
仕上はGB-Dt9.5 LGS(19形)とする



改修後 2階天井伏図 S=1 : 100

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 2階天井伏図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:100	図面番号	A-52
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

- 
 - ・天井撤去(下地・点検口共)を示す
- 
 - ・天井撤去を示す
 - ・仕上はGB-Rt9 VP 木下地
 - ・天井高さ=3.080
- 
 - ・シャッター(床)ツクス共)撤去を示す
- 
 - ・点検口：□=450x450

Architectural floor plan of a building section, showing a long corridor with rooms on both sides. The plan includes a grid system (X4 to X19, Y1 to Y5) and various dimensions.

Key features and dimensions:

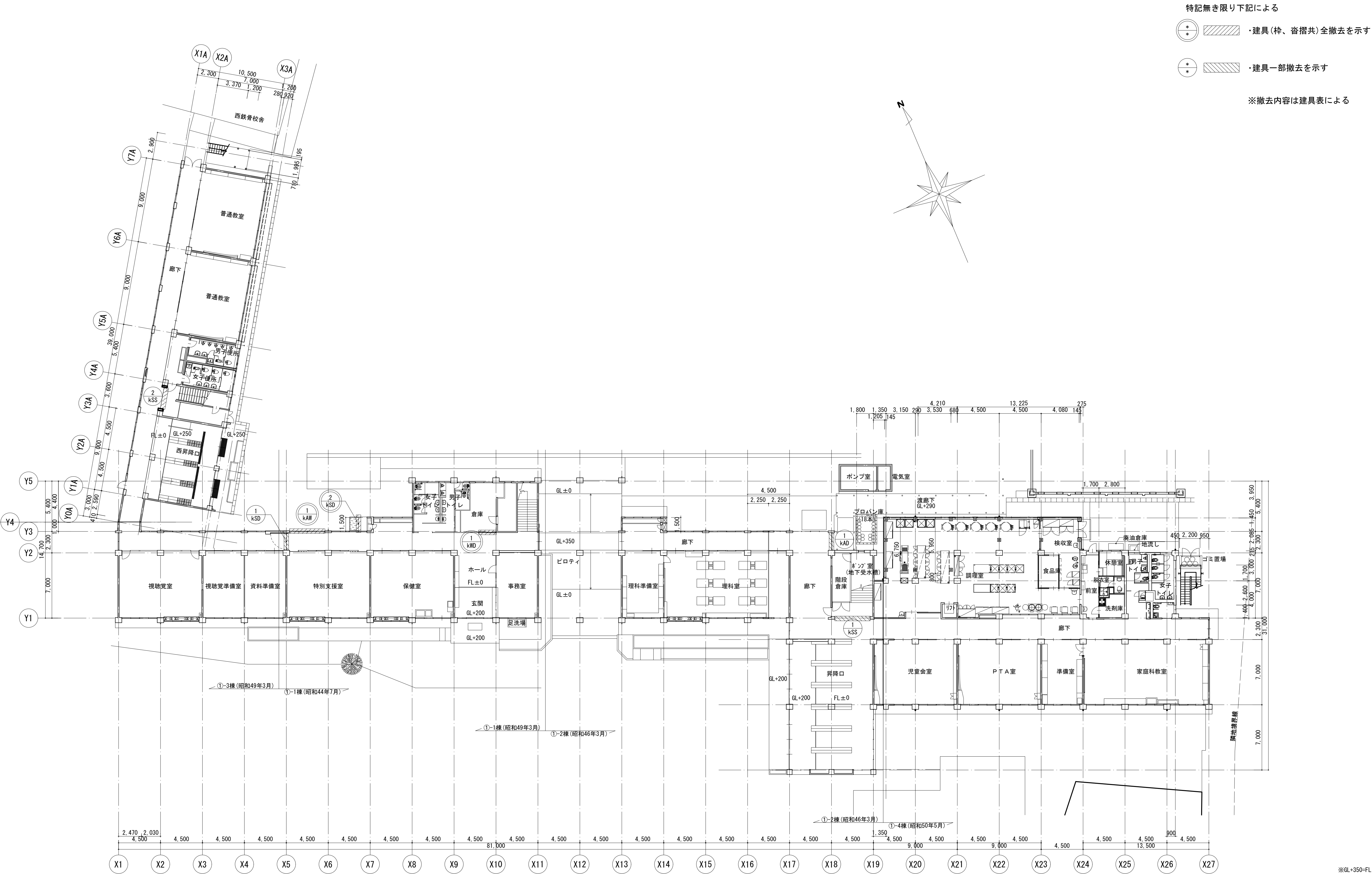
- Grid System:** X4 to X19 (horizontal), Y1 to Y5 (vertical).
- Dimensions:**
 - Horizontal: 4,500 (between grid lines X4 to X19).
 - Vertical: 7,000 (between Y1 and Y5), 2,300 (between Y2 and Y5), 1,000 (between Y3 and Y4), 4,400 (between Y4 and Y5).
- Rooms and Features:**
 - 幕板: 杉 W20xH120 L=3,750 0P [撤去]** (Curtain board: Cedar W20xH120 L=3,750 0P [Removed]).
 - 階段室** (Staircase room).
 - EXP-J** (Section cut).
- Structural Elements:** Columns, beams, and walls are shown in detail.

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 3階天井伏図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:100	図面番号	A-53
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 素久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

	・天井新設(下地・点検口共)を示す
	・天井新設を示す(天井高さ=2,225)
	・天井新設を示す(天井高さ=2,050)
	・天井新設を示す(天井高さ=3,080)
	・仕上はGB-Rt9 目透張 EP LGS(19形)とする
	・ダウライト(開口補強)φ150を示す
	・点検口: □-450x450(開口補強を含む)新設を示す

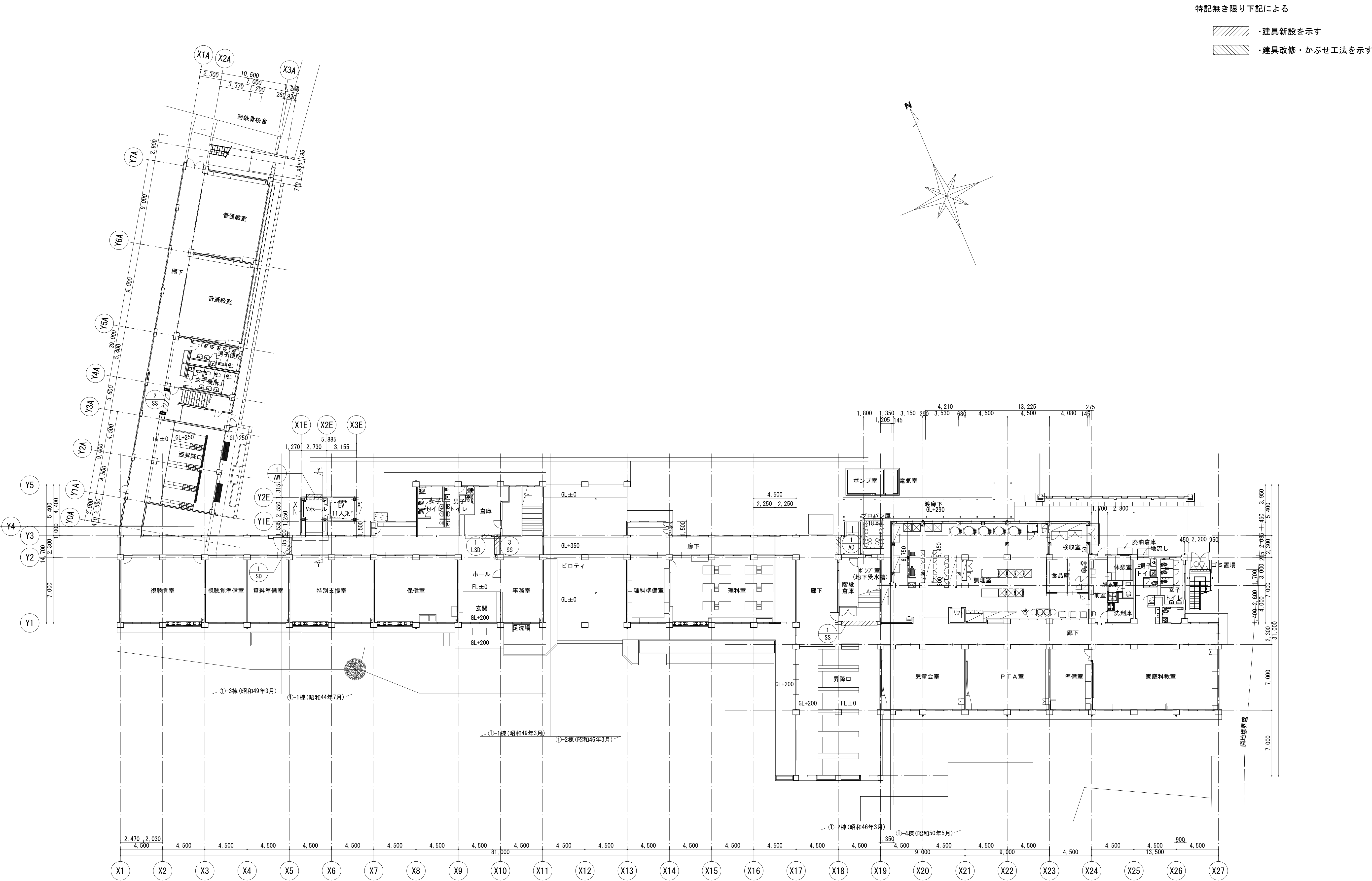
[illegible]

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 3階天井伏図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:100	図面番号	A-54
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



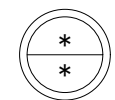
改修前 1階建具キープラン S=1:200

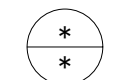
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 1階建具キープラン		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:200	図面番号	A-55
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



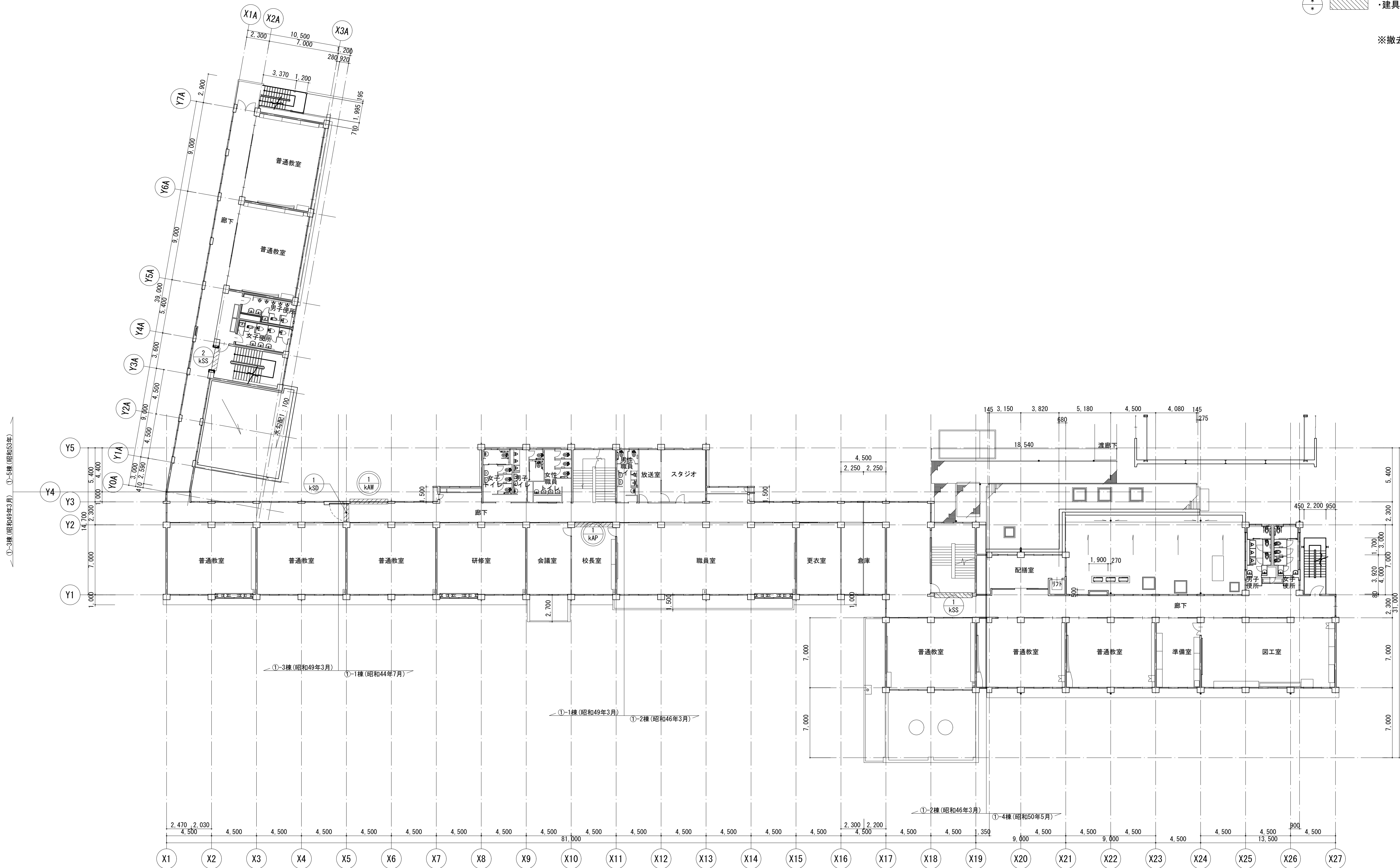
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 1階建具キープラン		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-56
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

特記無き限り下記による

 建具(枠、沓摺共)全撤去を示す

 建具一部撤去を示す

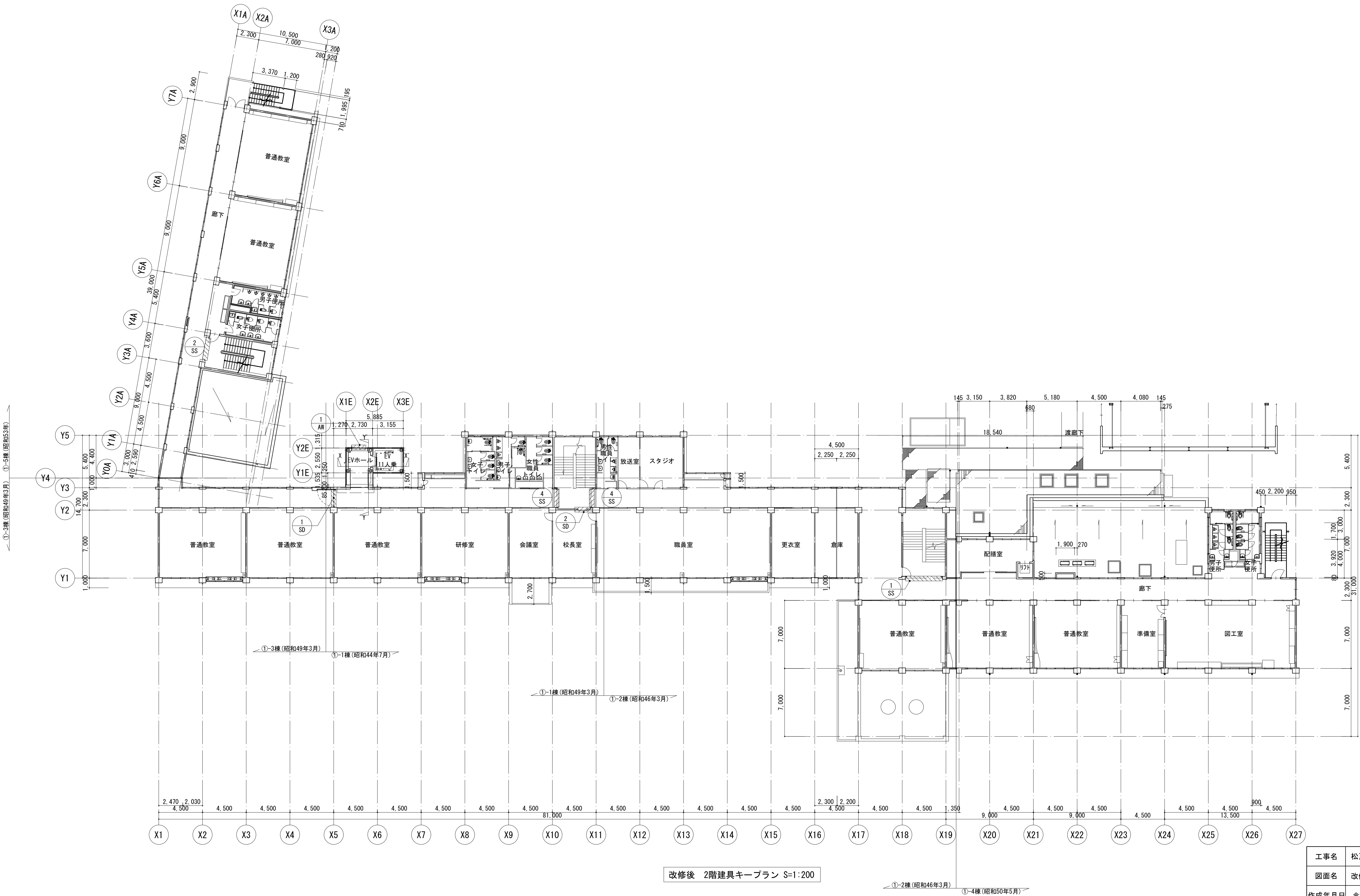
※撤去内容は建具表による



改修前 2階建具キープラン S=1:200

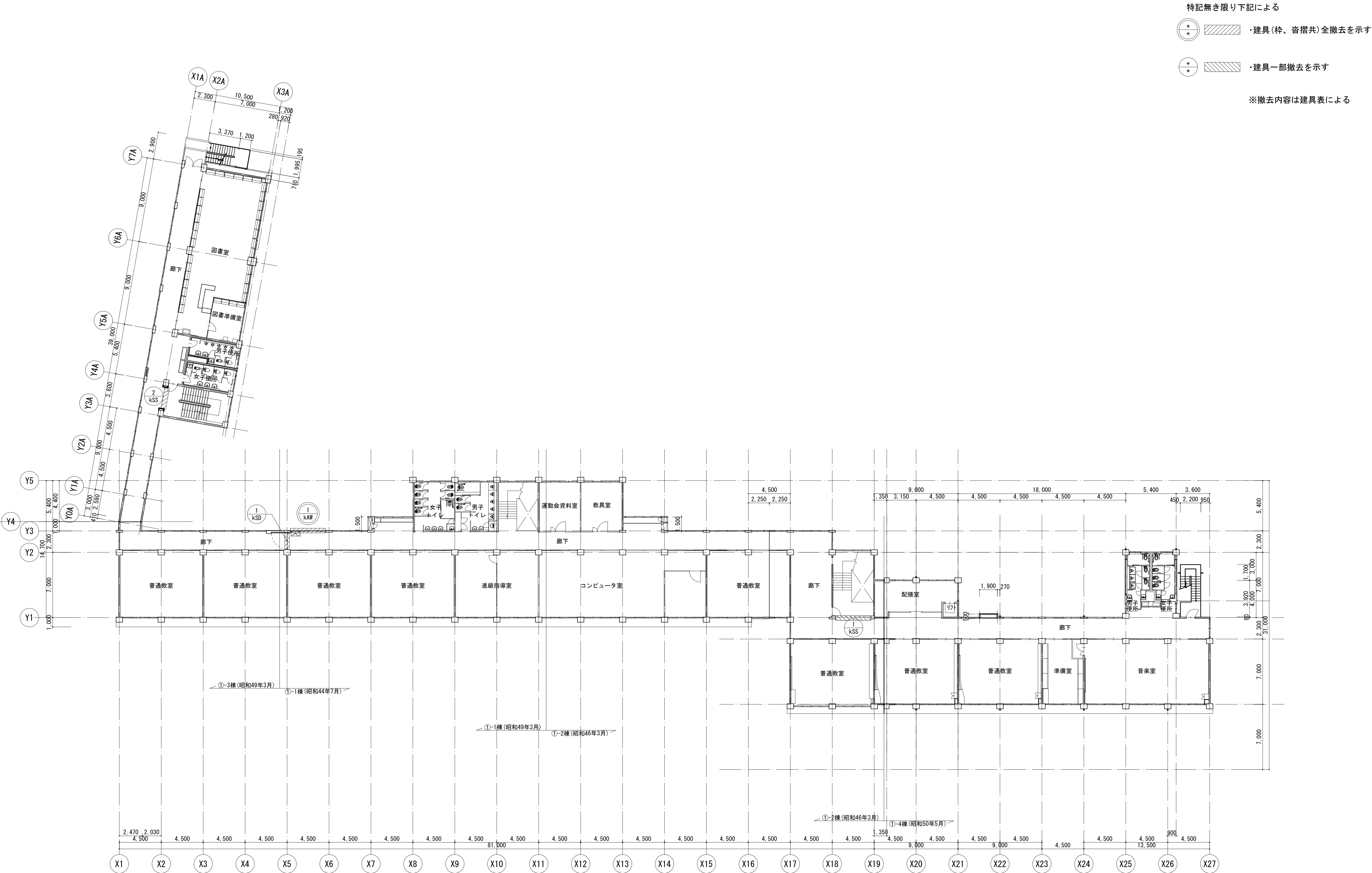
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 2階建具キープラン		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-57
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

- 特記無き限り下記による
- ・建具新設を示す
 - ・建具改修・かぶせ工法を示す



改修後 2階建具キープラン S=1:200

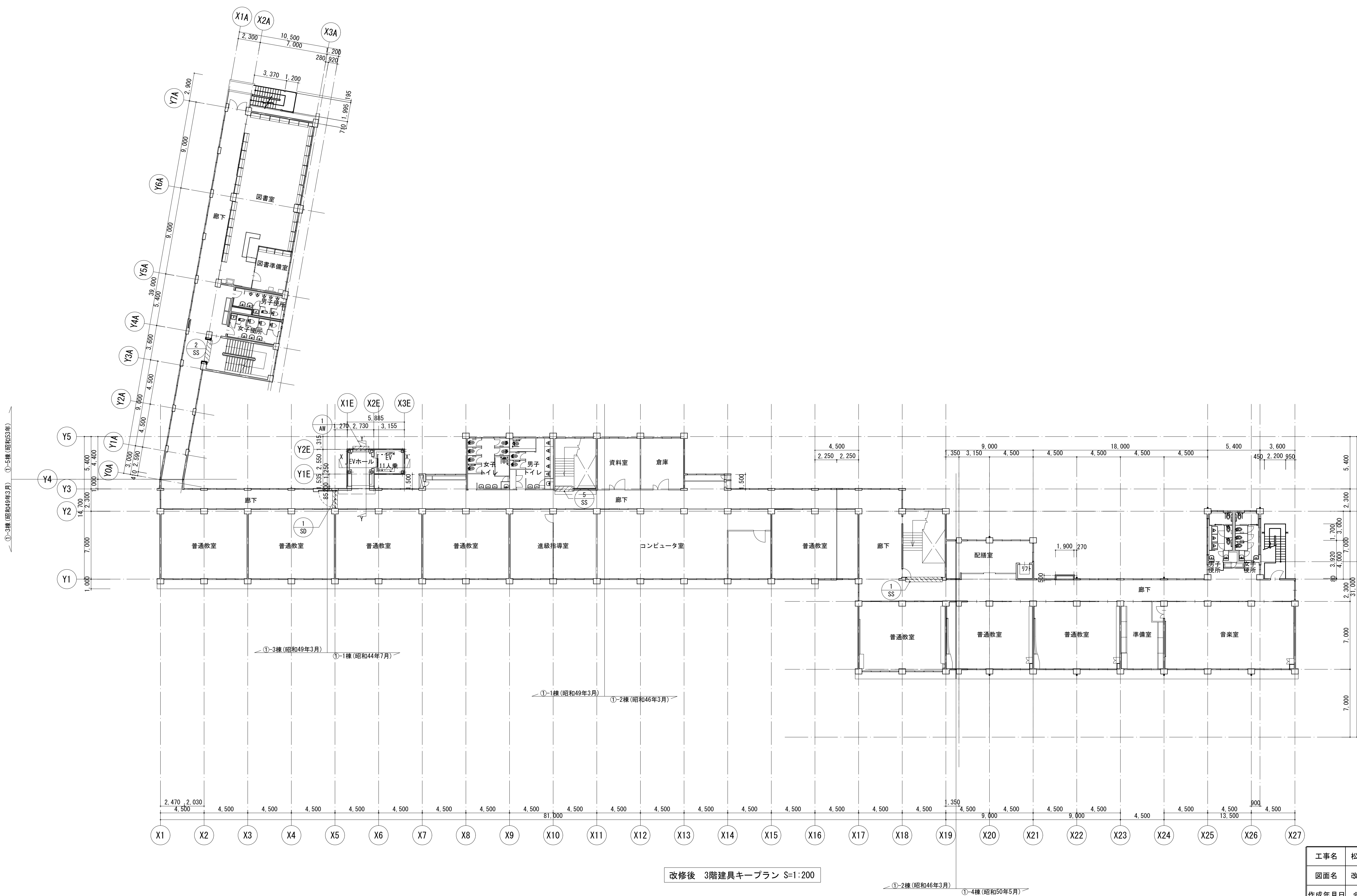
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 2階建具キープラン		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-58
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



改修前 3階建具キープラン S=1:200

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修前 3階建具キープラン		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-59
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

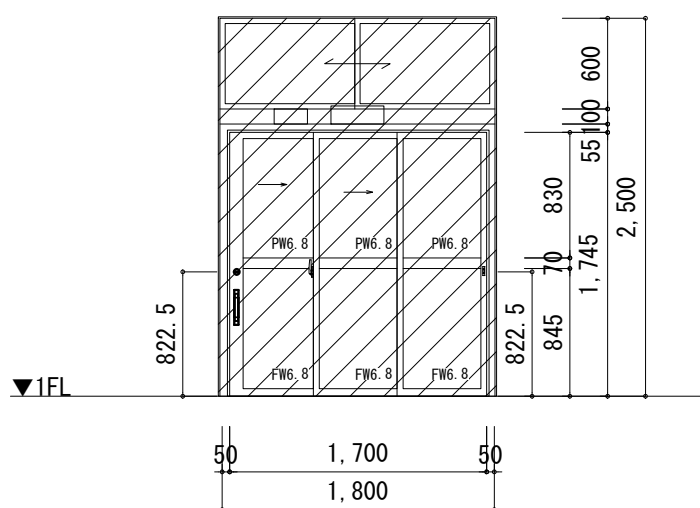
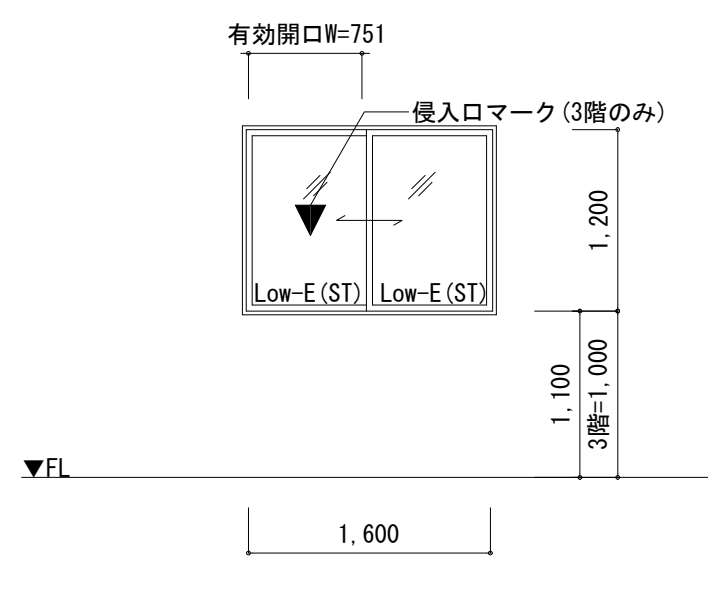
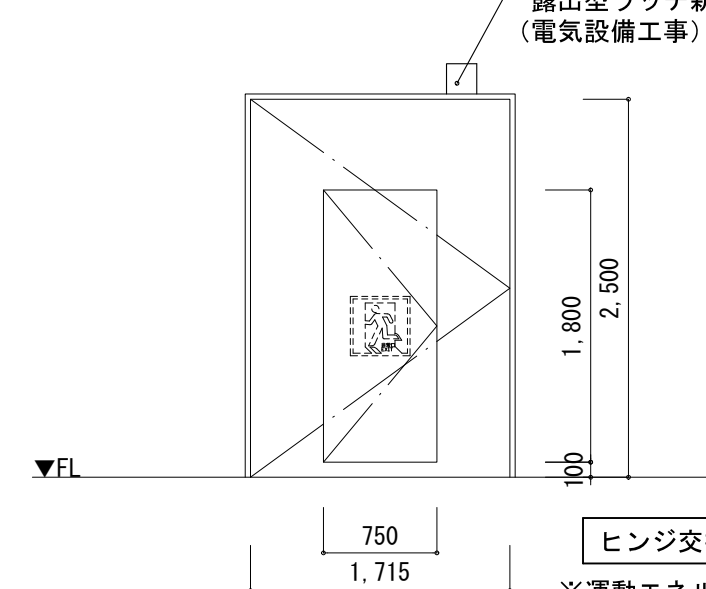
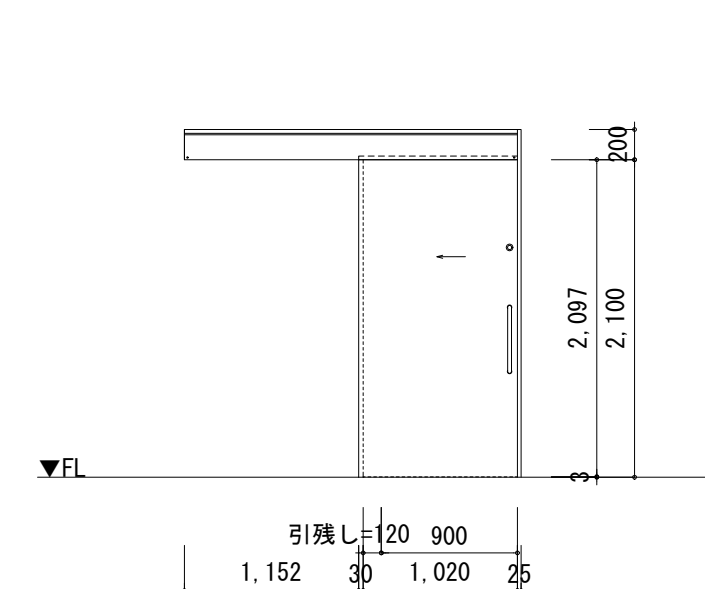
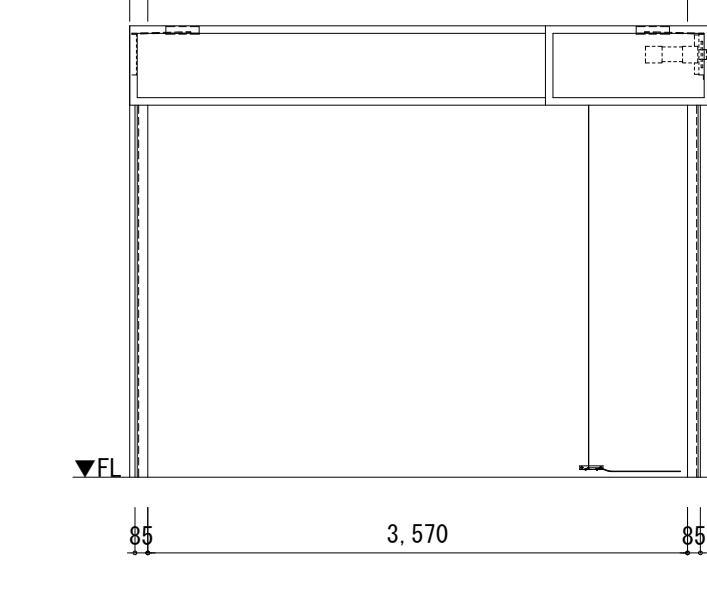
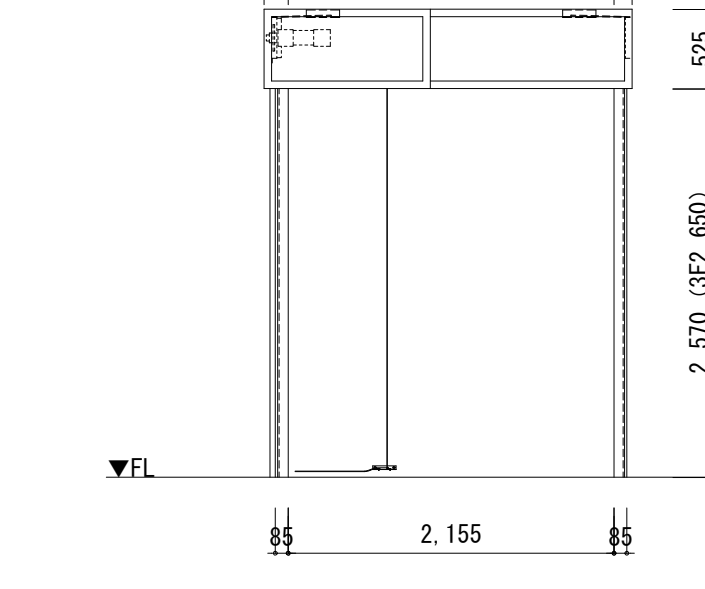
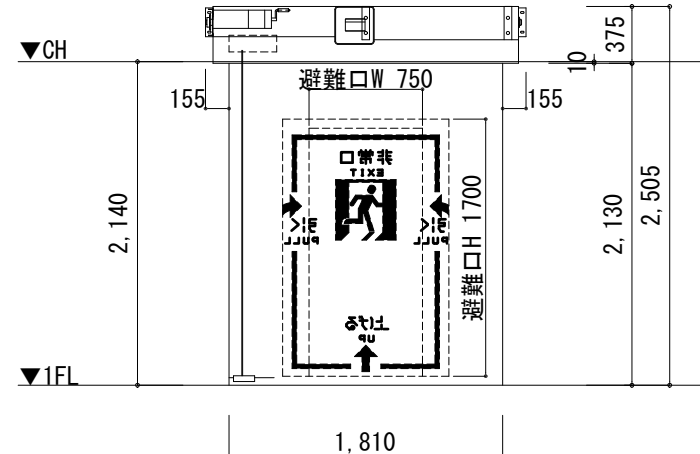
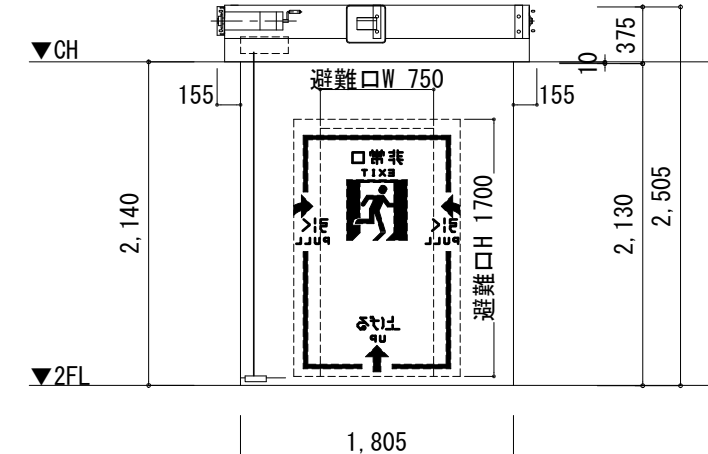
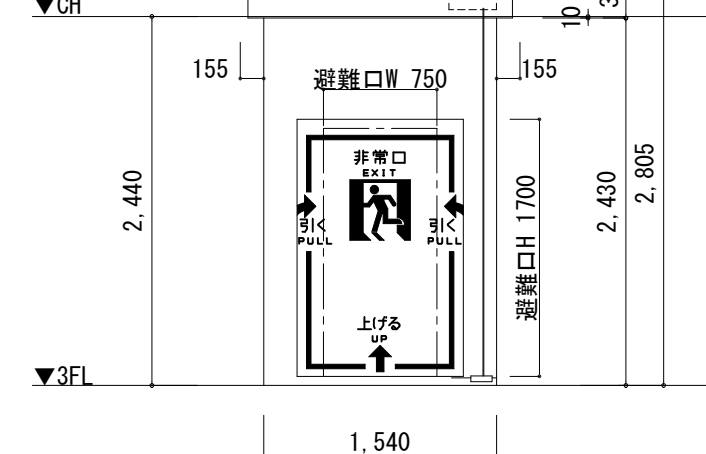
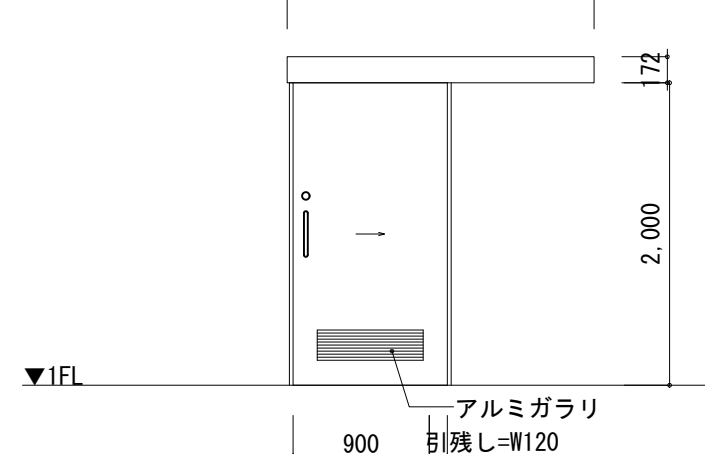
- 特記無き限り下記による
- ・建具新設を示す
 - ・建具改修・かぶせ工法を示す



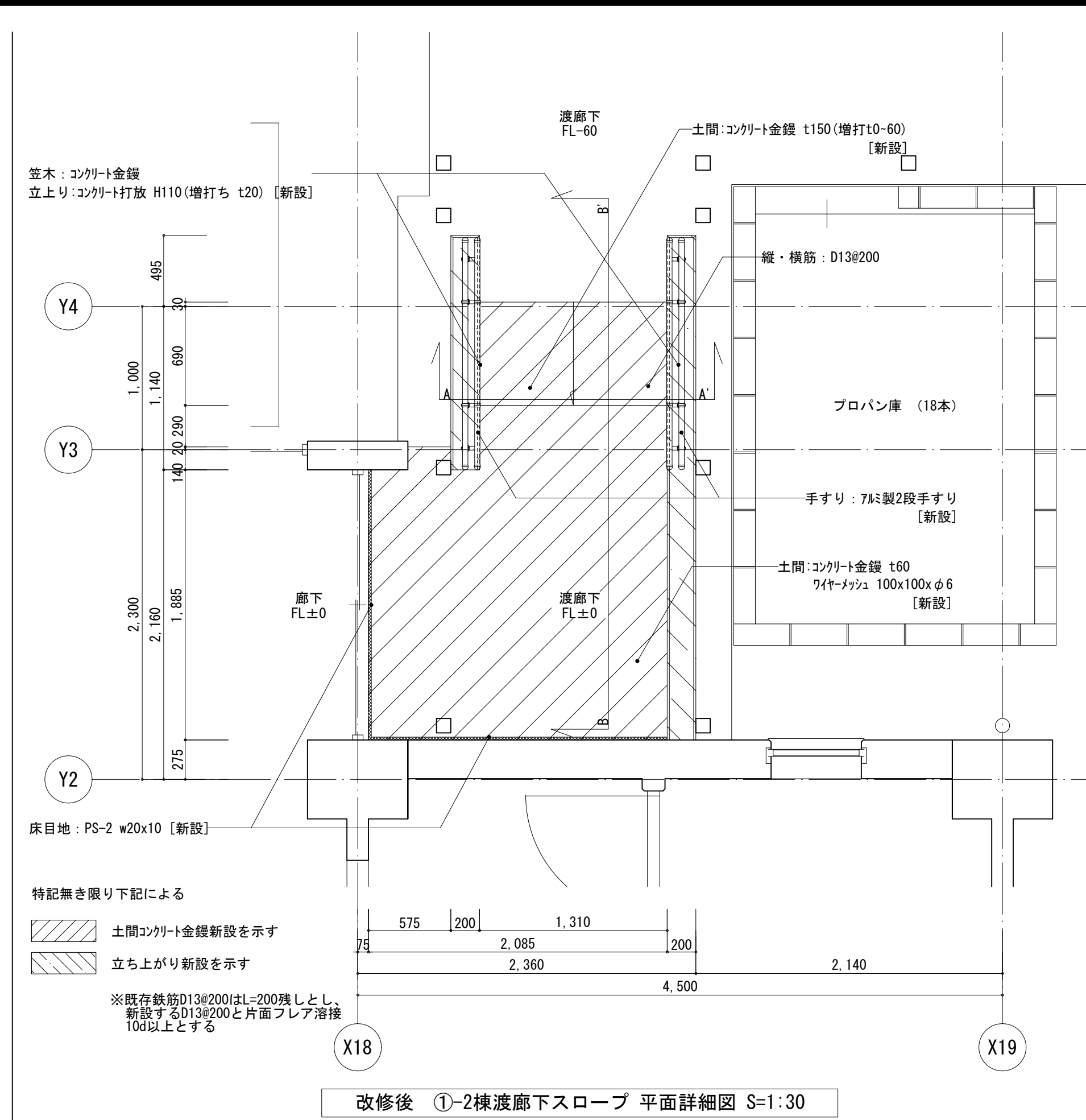
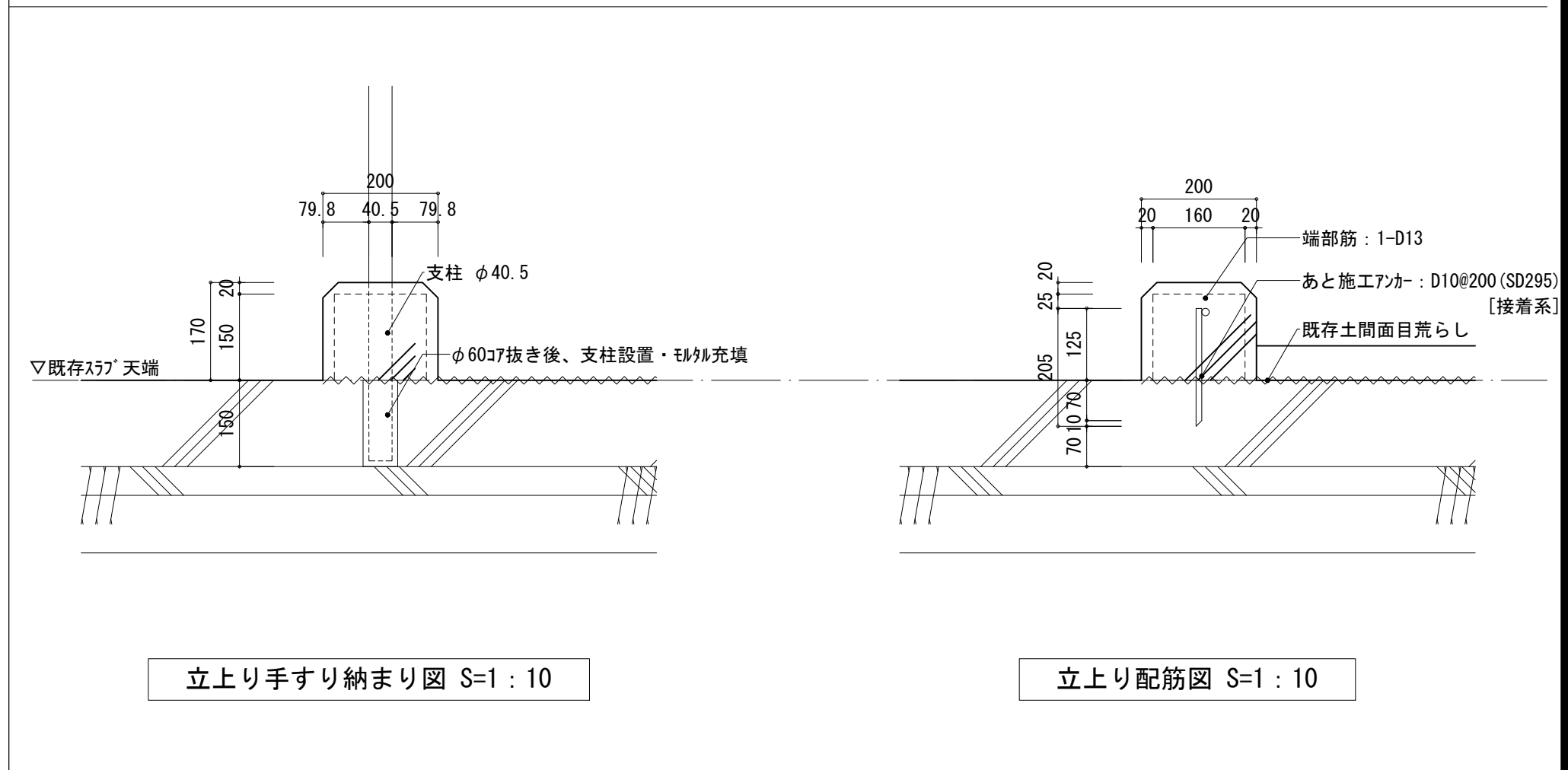
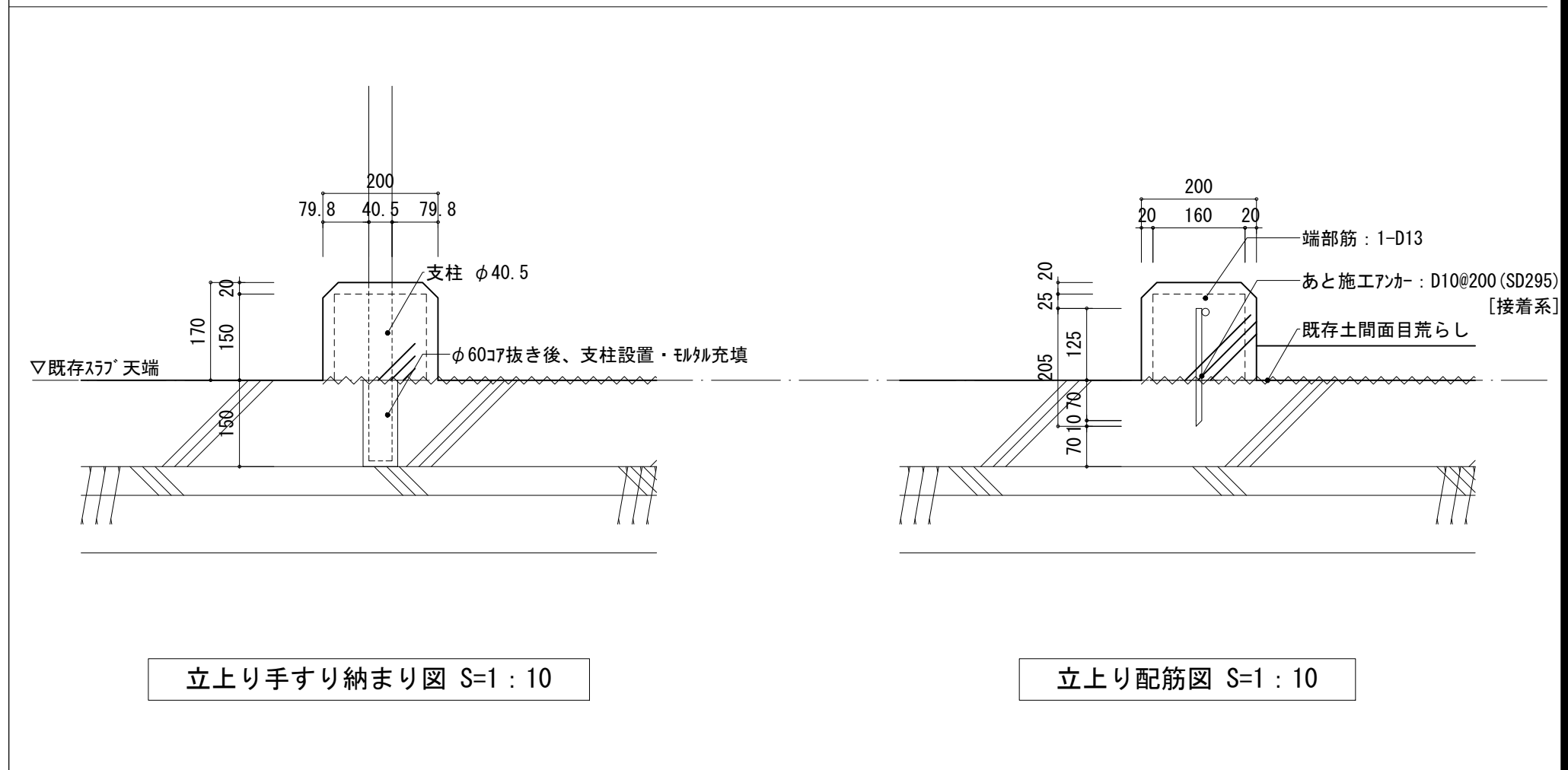
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後 3階建具キープラン		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-60
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

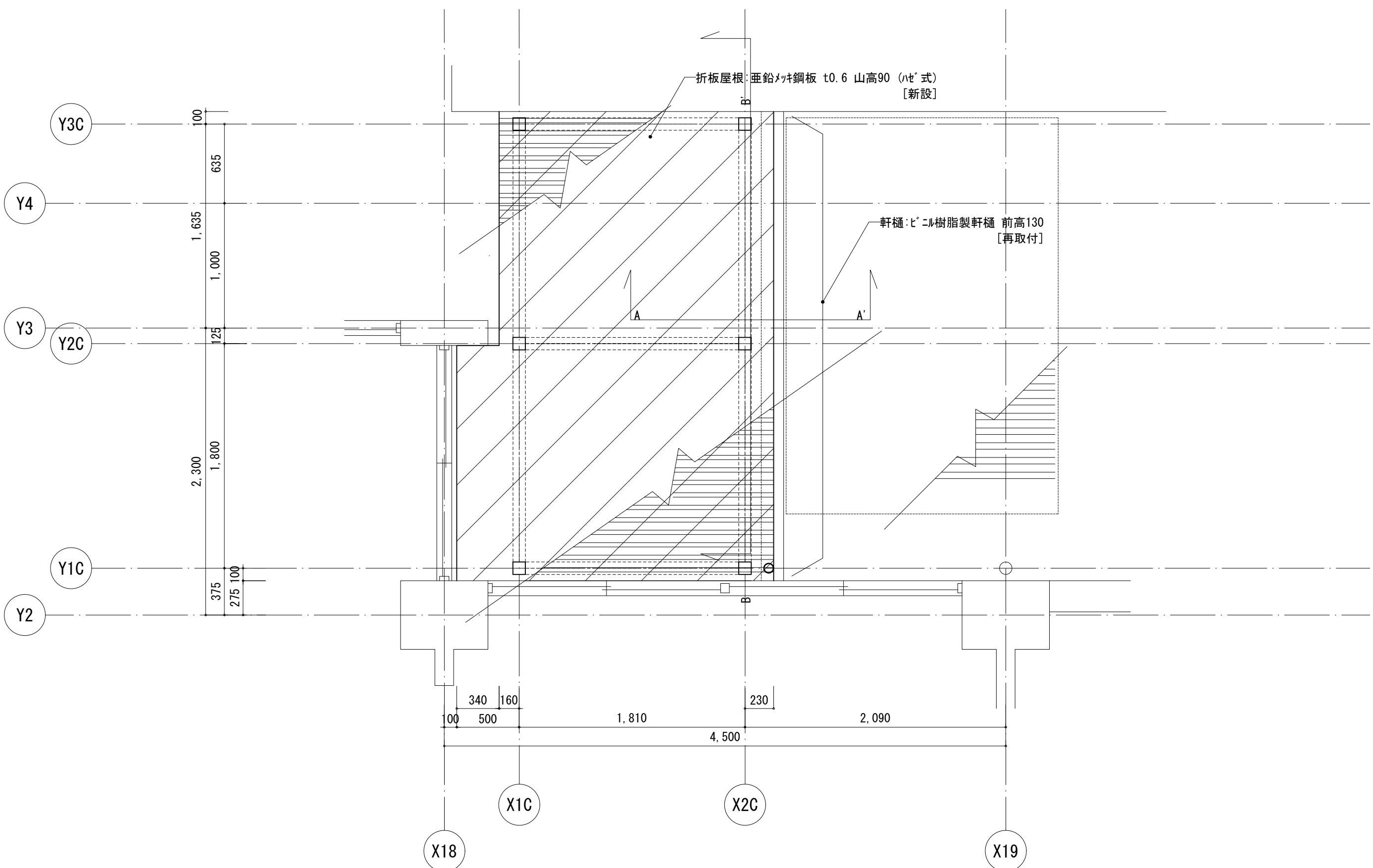
改修前							
符号・数量		① KAD 廊下 数量 1	① KAW 廊下 数量 3	① KAP 廊下(校長室) 数量 1	① KSD 廊下 数量 3	② KSD ①-1棟(外部) ダクトシュート 数量 1	① KSS ①-2棟 階段室 数量 3
姿 図							
形 式		引違い窓 リラ付	引違い窓	7&min-ーション 引違い戸 引違い窓付	常時開放式防火戸 くぐり戸	鋼製片開き戸	スチール電動シャッター
材質・仕上		枠見込：70 アルミ	枠見込：70 アルミ	枠見込：80 アルミパネル	枠見込：100 スチール OP	枠 L-30x30x3 OP、戸 PL-1.6 シンカボートロック OP	スラット PL-1.6 OP
硝 子		網入透明ガラスt=6.8 一部：網入型板ガラスt=6.8 アルミパネル（姿図参照）	透明ガラスt=3.0	型板ガラスt=4.0 一部：透明ガラスt=3.0	-	-	-
付属金物		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	くぐり戸 内掛鍵 ケースロック フォアヒンジ（ヒール付）	南京錠、T字型蝶番2枚	付属金物一式
撤去内容		建具撤去、窓摺撤去、非常口サイン[取外し] ルーザイン[取外し] 枠[既存のまま]	枠共全撤去	枠共全撤去（周囲木製枠は緩枠のみ撤去し、ルーザインは取外し・再取付とする）	ヒューズ撤去 建具[既存のまま]	枠共全撤去	シャッター（ボックス共）撤去 ガイドレール[既存のまま]
符号・数量		② KSS ①-5棟 階段室 数量 3	① KWD ①-1棟 1階：倉庫 数量 1				
姿 図							
形 式		防煙防火重量シャッター	木製引違い戸				
材質・仕上		シャッターボックス：焼付塗装	額縁見込：110 額縁見附：25（上枠のみ35） 扉厚：33 ミリスタル化粧合板 SOP				
硝 子		-	-				
付属金物		付属金物一式、特定防火設備（既存甲種防火戸）、煙感知器連動式	付属品一式 振込戸引手（ステン製）、戸車、M型埋込レール（SUS製）、戸当りゴム、引違い戸鍵、換気グリル				
撤去内容		シャッター（ボックス共）撤去、ガイドレール[既存のまま]	枠共全撤去				
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
凡例							
	FL	透明ガラス	Low-E	Low-Eガラス			
	F	型板ガラス					
	PW	網入透明ガラス					
	FW	網入型板ガラス					
	TP	強化ガラス					
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕上							
硝 子							
付属金物							
撤去内容							
符号・数量							
姿 図							
形 式							
材質・仕							

改修後

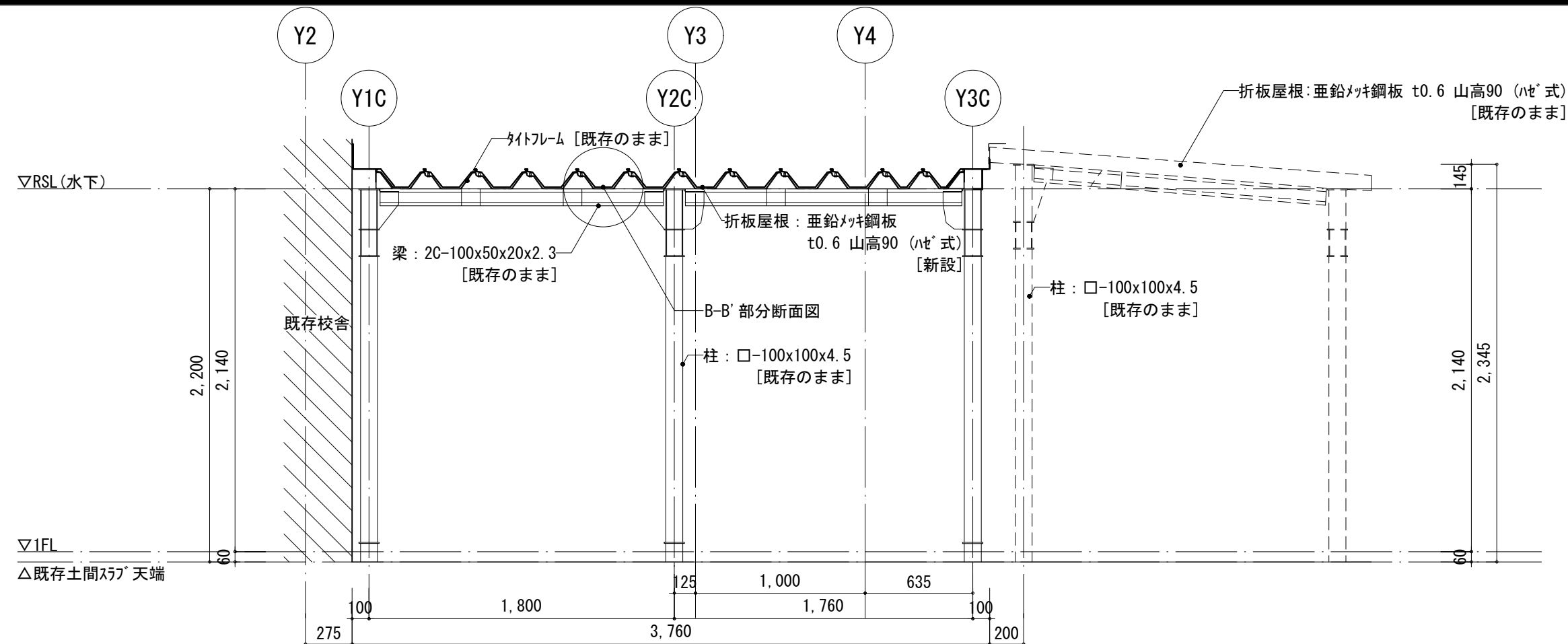
符号・数量		① AD 廊下 【①-2棟】		数量	1	① AW EV棟 【①-1棟】		数量	3	① SD 廊下 【①-2棟】		数量	3	② SD 2階：校長室 【①-1棟】		数量	1	① SS 階段室 【①-2棟】		数量	3	② SS 階段室 【①-5棟】		数量	3
姿 図																									
形 式		引違い戸（運動式）				引違い窓（ALCサッシ）				随時閉鎖式防火戸　くぐり戸（既存のまま）				常時閉鎖式防火引戸　〔認定番号：CAS-1109〕				電動式防煙重量シャッター 〔告示番号：H12年1369号第一の五、六〕、〔告示番号：S48年2564号第一〕				電動式防煙重量シャッター 〔告示番号：H12年1369号第一の五、六〕、〔告示番号：S48年2564号第一〕			
材質・仕上		見込 120　アルミサッシ　BB-I				見込100　アルミサッシ　BB-I				枠見込：100　スチール SGP				枠見込：130　枠：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6　扉：化粧鋼板　扉厚：36				スラット St1.6　SGP				スラット St1.6　SGP			
硝　子		網入遮きガラスt=6.8、網入型板ガラスt=6.8				強化透明複層ガラス（Low-E(ST4)+A12+ST4）				-				-				-				-			
付属金物		引戸鍵（戸先用）、戸先ロック、付属金物一式				クレセント、血板、戸車、米柑集成材 SOP（W260）、付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式、錠前（影込錠錠）				非常時安全装置、障害物感知装置、連動中継器、自動閉鎖装置、押釦・手動閉鎖装置				非常時安全装置、障害物感知装置、連動中継器、自動閉鎖装置、押釦・手動閉鎖装置			
備　考		[ｶｰﾍﾞｰ工法] 欄間[撤去] 非常口サイン[再取付] アルミサイン[再取付]				消防隊侵入口（3階のみ）〔新設〕				特定防火設備（既存甲種防火戸）、〔煙感知連動に改修〕 ヒンジ交換、くぐり戸に誘導標識設置、SGP塗替え				防火引戸（遮煙、煙感知、常時閉鎖式防火戸）				[ｶｰﾍﾞｰ工法] ガイドレール〔既存のまま〕 特定防火設備（煙感知、随時閉鎖式防火戸、遮炎性能、遮煙性能）				[ｶｰﾍﾞｰ工法] ガイドレール〔既存のまま〕 特定防火設備（煙感知、随時閉鎖式防火戸、遮炎性能、遮煙性能）			
符号・数量		③ SS 廊下 【①-1棟】		数量	1	④ SS 廊下 【①-1棟】		数量	2	⑤ SS 廊下 【①-1棟】		数量	1	① LSD 1階：倉庫 【①-1棟】		数量	1								
姿 図																									
形 式		電動式シートシャッター　〔認定番号：CAS-0461〕				電動式シートシャッター　〔認定番号：CAS-0461〕				電動式シートシャッター　〔認定番号：CAS-0461〕				ハンガー片引戸											
材質・仕上		ｽﾗｯﾄ：樹脂コーティングシリカクロス　t0.7　枠：SUS 304 1.5t HL				樹脂コーティングシリカクロス　t0.7　枠：SUS 304 1.5t HL				樹脂コーティングシリカクロス　t0.7　枠：SUS 304 1.5t HL				枠見込：110　枠：溶融亜鉛めっき鋼板　扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.6　扉厚：36											
硝　子		-				-				-				-											
付属金物		電動式手動閉鎖装置、危害防止用連動中継器、瞬時復帰型自動閉鎖装置 電動開閉装置、付属金物一式				電動式手動閉鎖装置、危害防止用連動中継器、瞬時復帰型自動閉鎖装置 電動開閉装置、付属金物一式				電動式手動閉鎖装置、危害防止用連動中継器、瞬時復帰型自動閉鎖装置 電動開閉装置、付属金物一式				付属金物一式、戸当りゴム、引戸鍵、換気グリル											
備　考		特定防火設備（煙感知、随時閉鎖式防火戸、遮炎性能、遮煙性能）				特定防火設備（煙感知、随時閉鎖式防火戸、遮炎性能、遮煙性能）				特定防火設備（煙感知、随時閉鎖式防火戸、遮炎性能、遮煙性能）															
符号・数量																									
姿 図																						<div>○</div> 一部新設を示す <div>●</div> 新設を示す			
形 式																									
材質・仕上																									
硝　子																									
付属金物																									
備　考																									
凡例	FL	透明ガラス			Low-E(ST)			学校用Low-e強化ガラス			特記事項			引違い窓は室内側からのみ取付・取外し可能、若しくは落下防止措置をとること。											
	F	型板ガラス			ST			学校用透明強化ガラス						くぐり戸における誘導標識の設置位置は消防局との協議による											
	PW	網入ガラス																							
	FW	網入型板ガラス																							
	TP	強化ガラス																							

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	改修後　建具表		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮　尺	1：50	図面番号	A-62
設　計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録　第 1-2311-247 号 鈴木　泰久 一級建築士 大臣登録　第 233260 号		
松戸市　街づくり部　建築保全課			

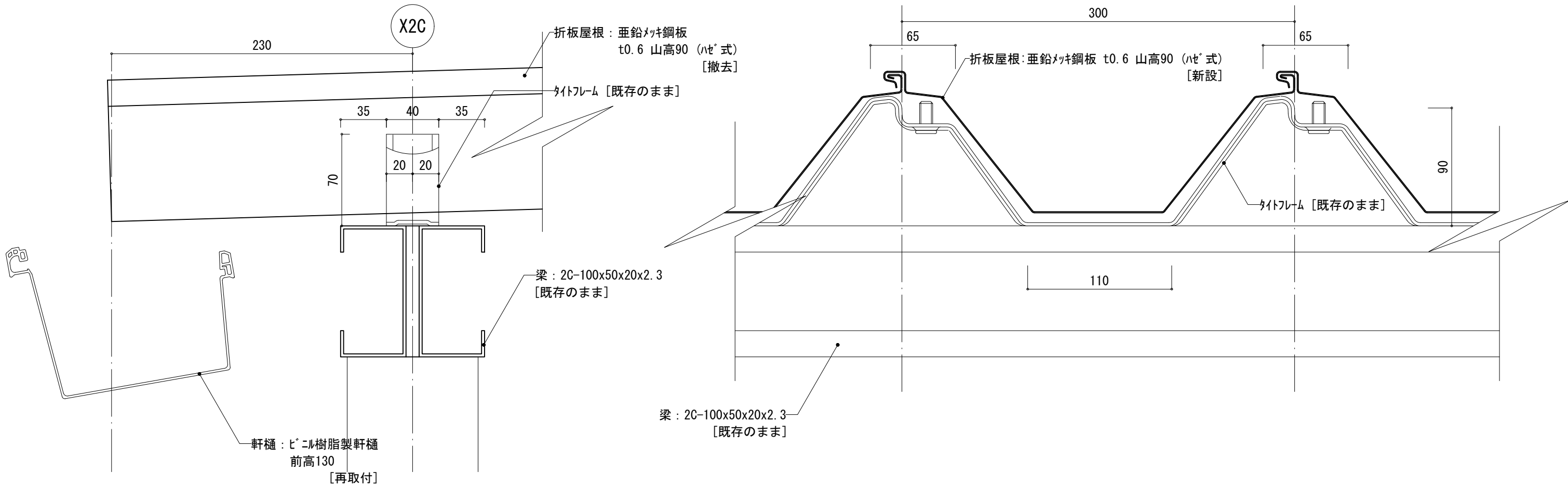




改修後 渡廊下スロープ屋根伏図 S=1:30

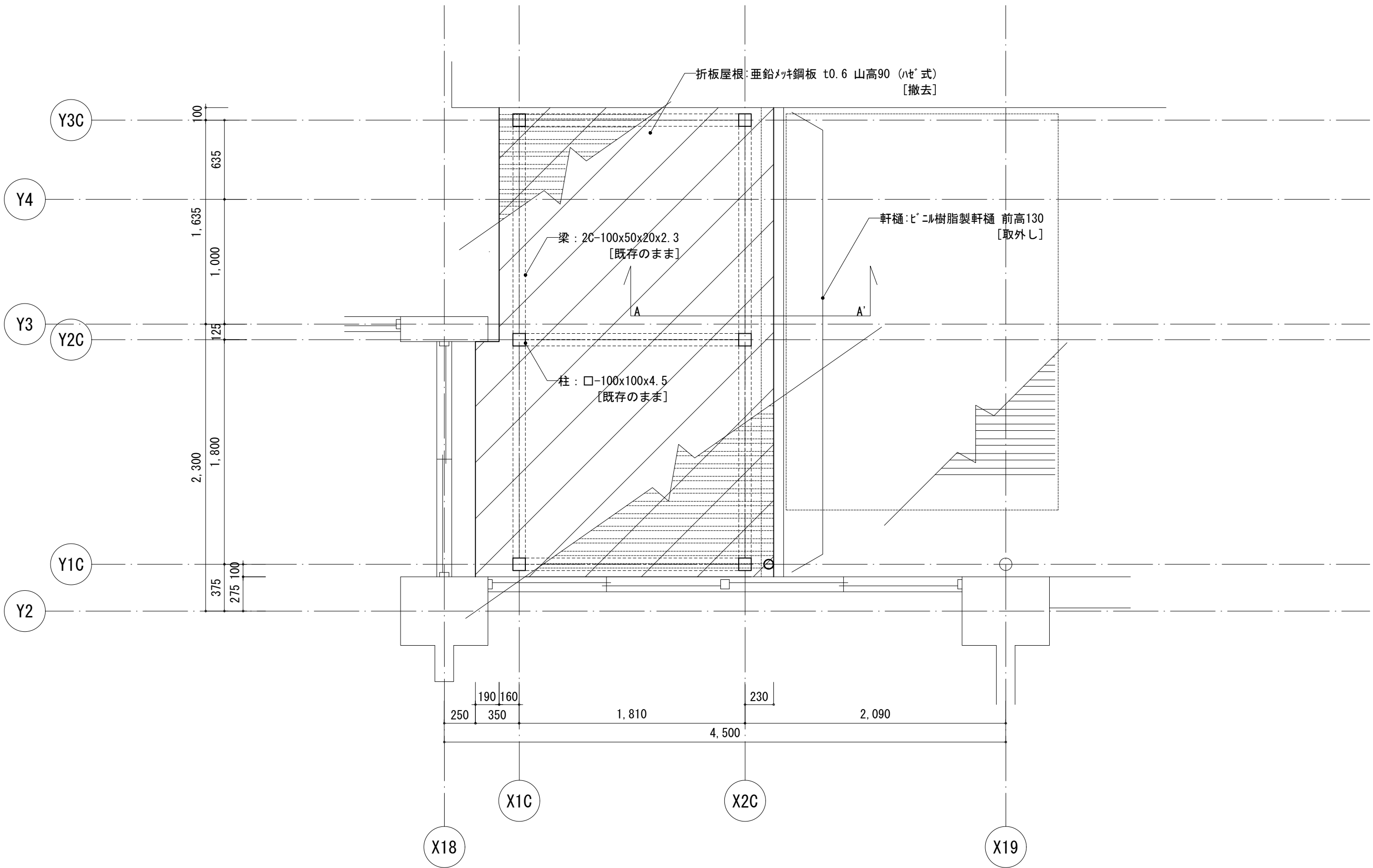


改修後 B-B' 断面図 S=1:30

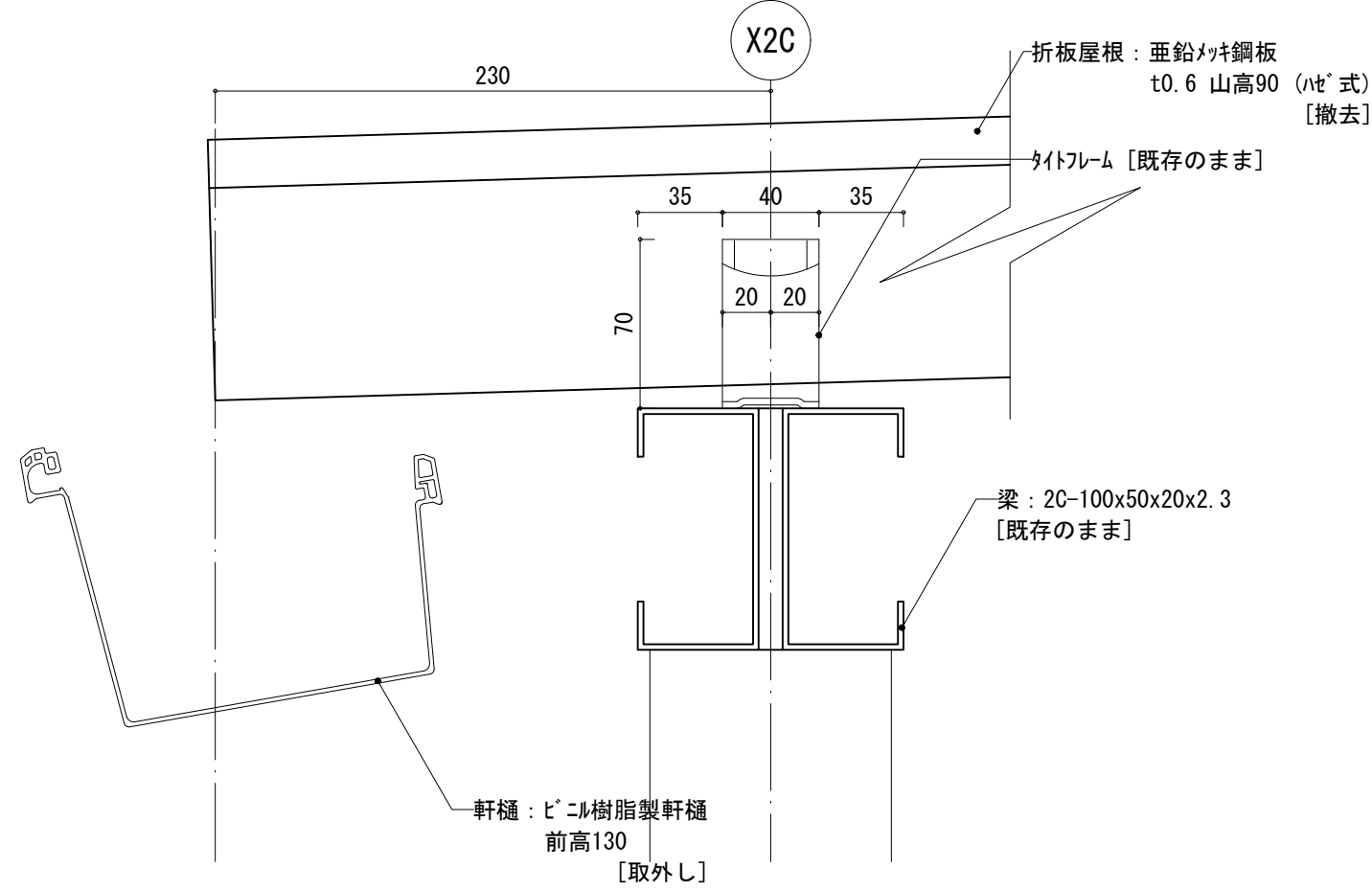


改修後 A-A' 部分断面図 S=1:3

改修後 B-B' 部分断面図 S=1:3

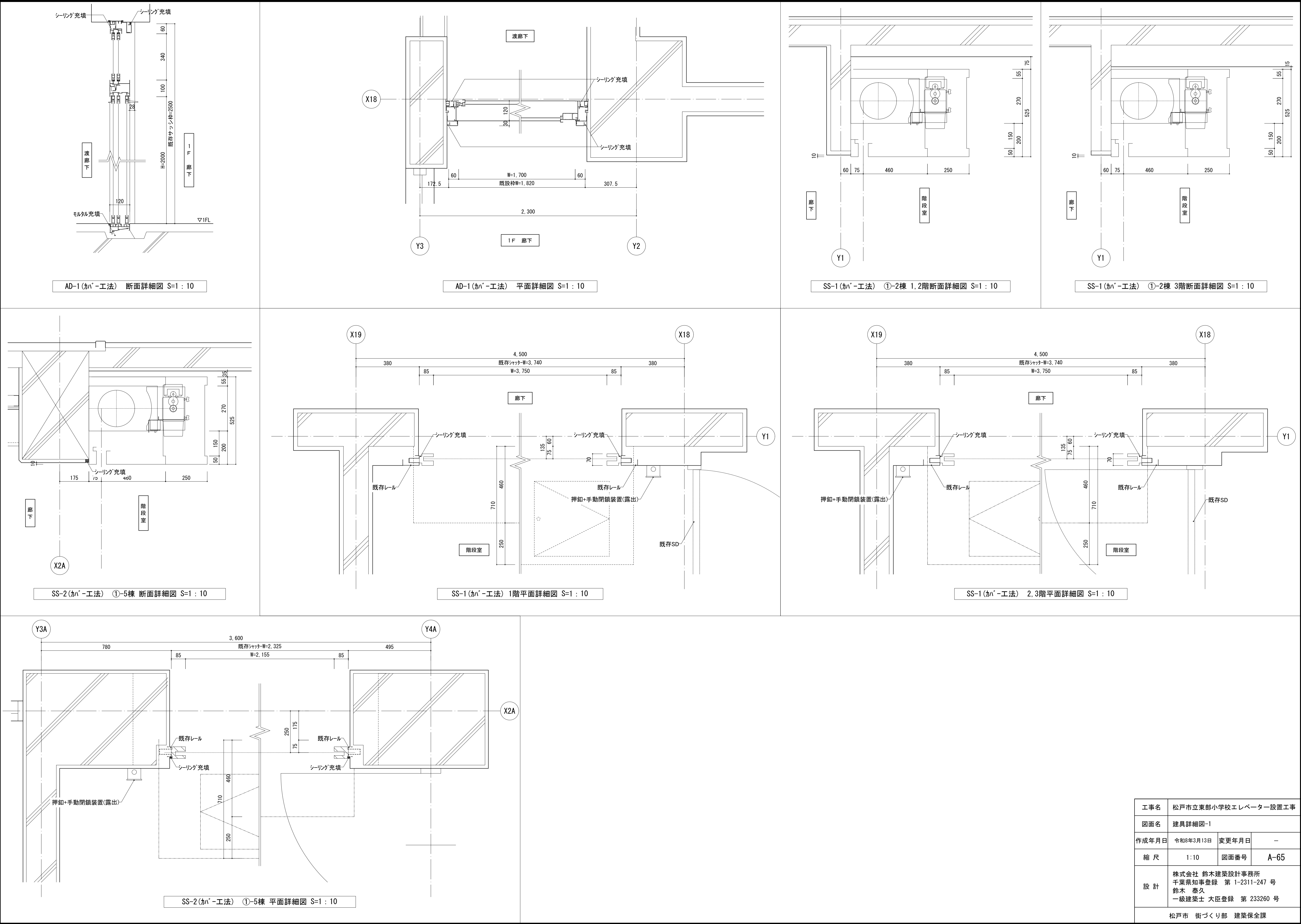


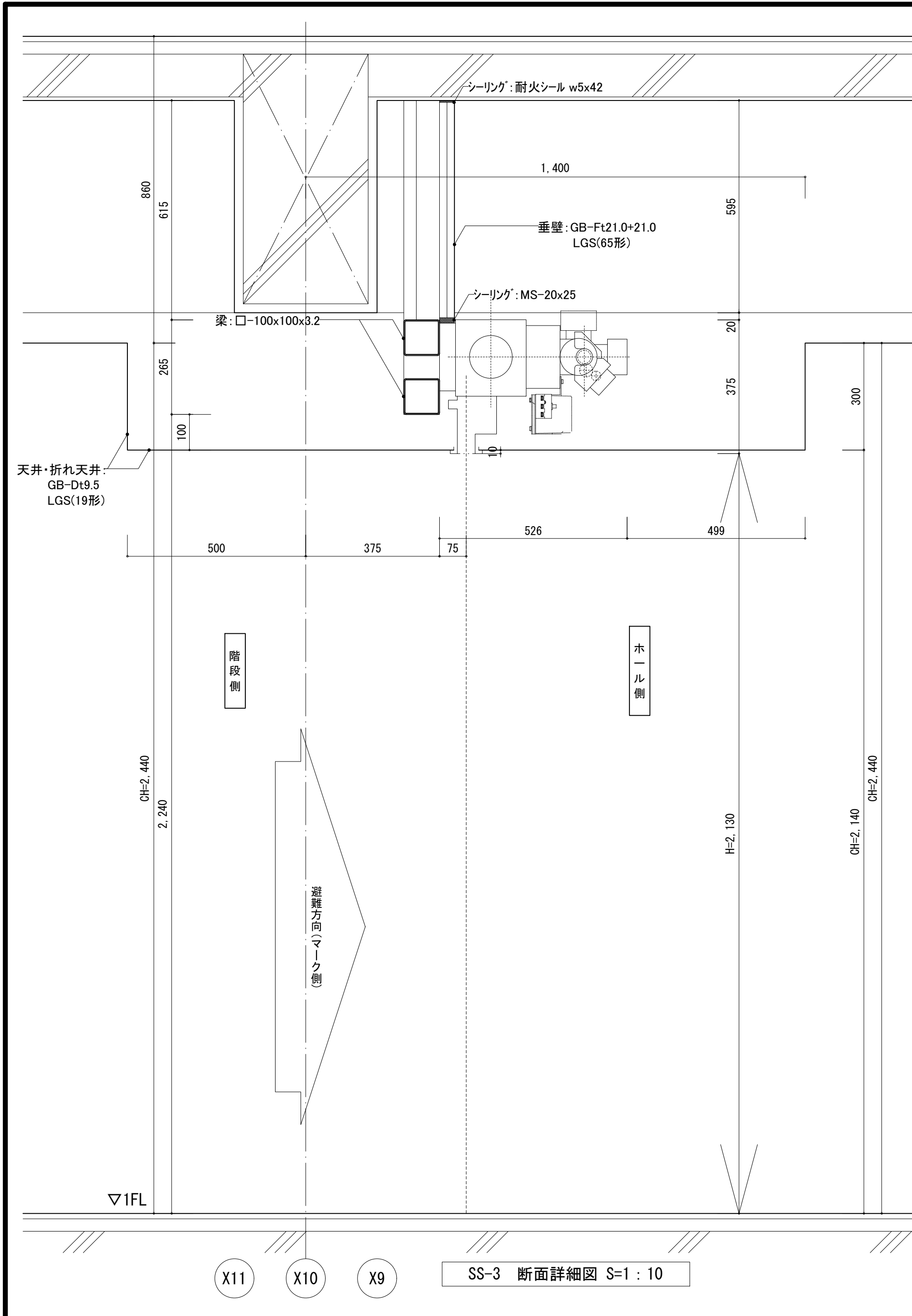
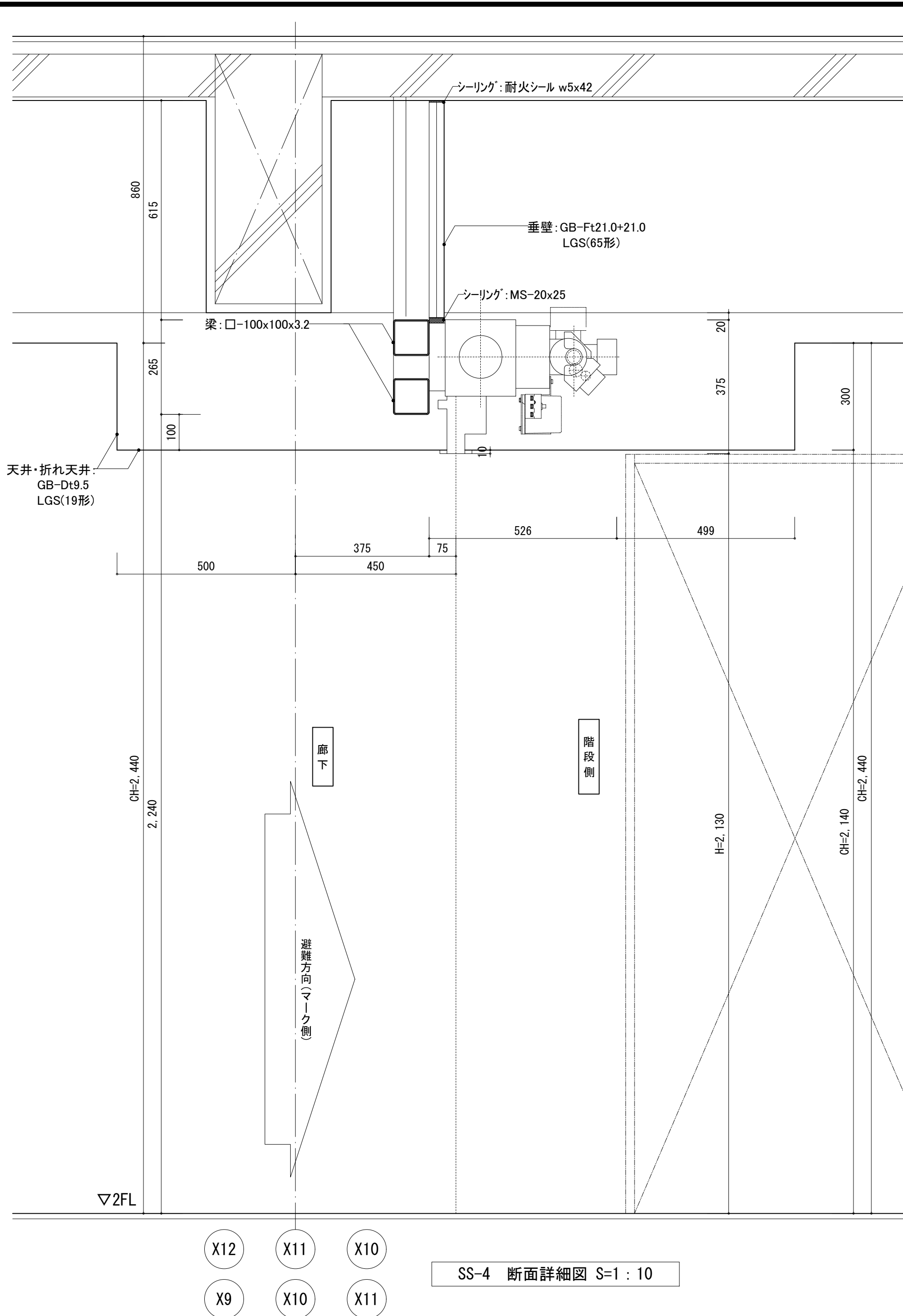
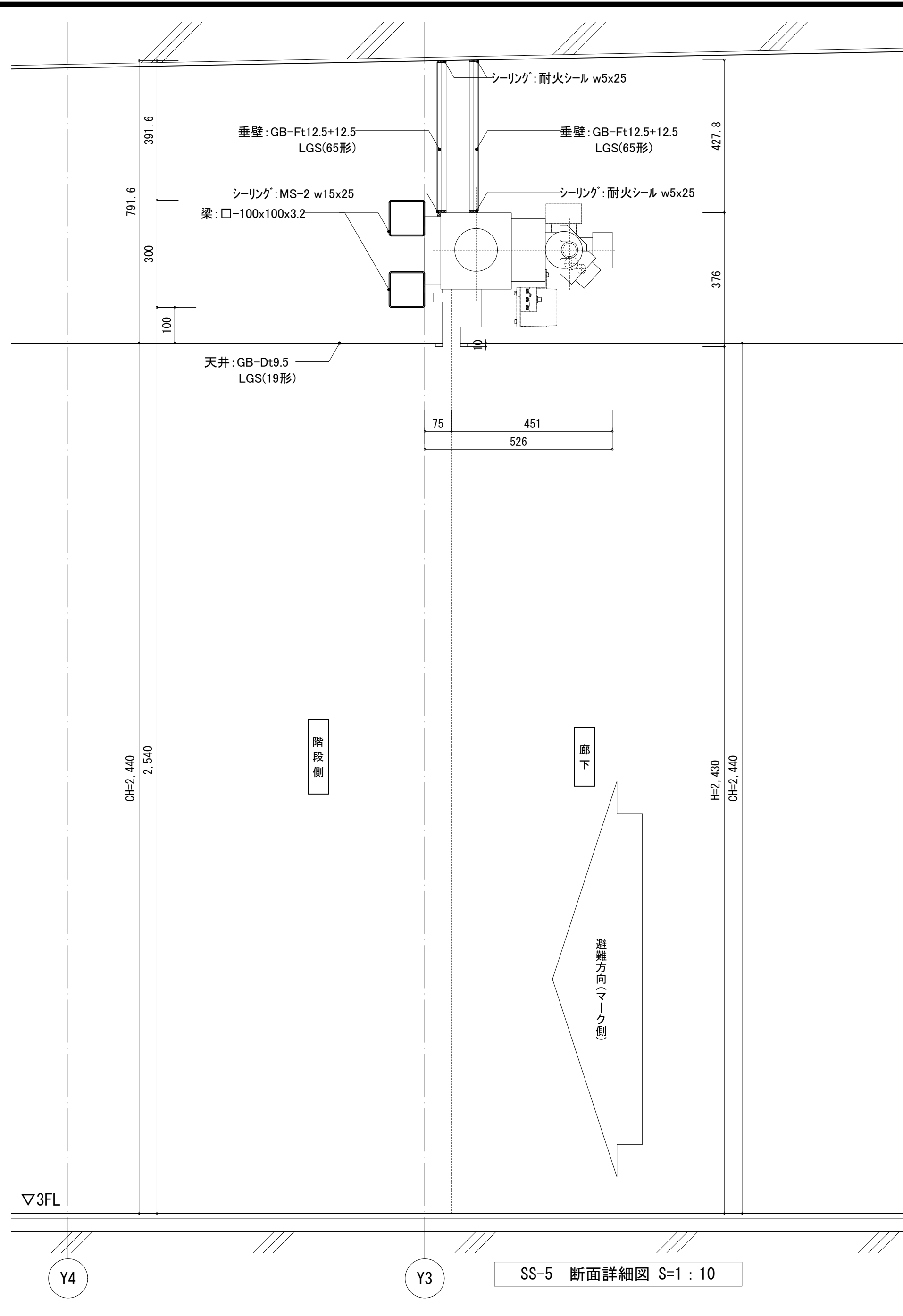
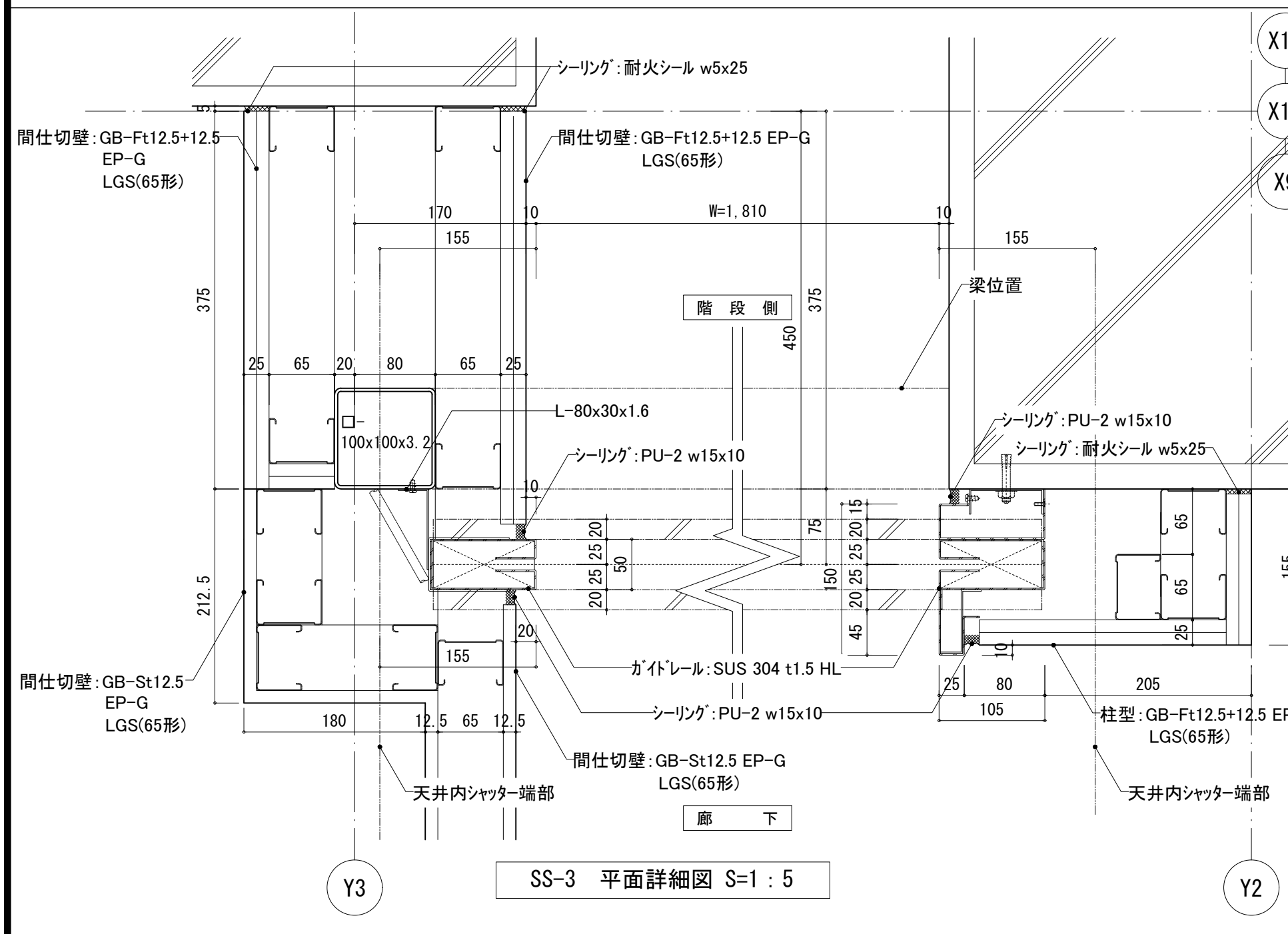
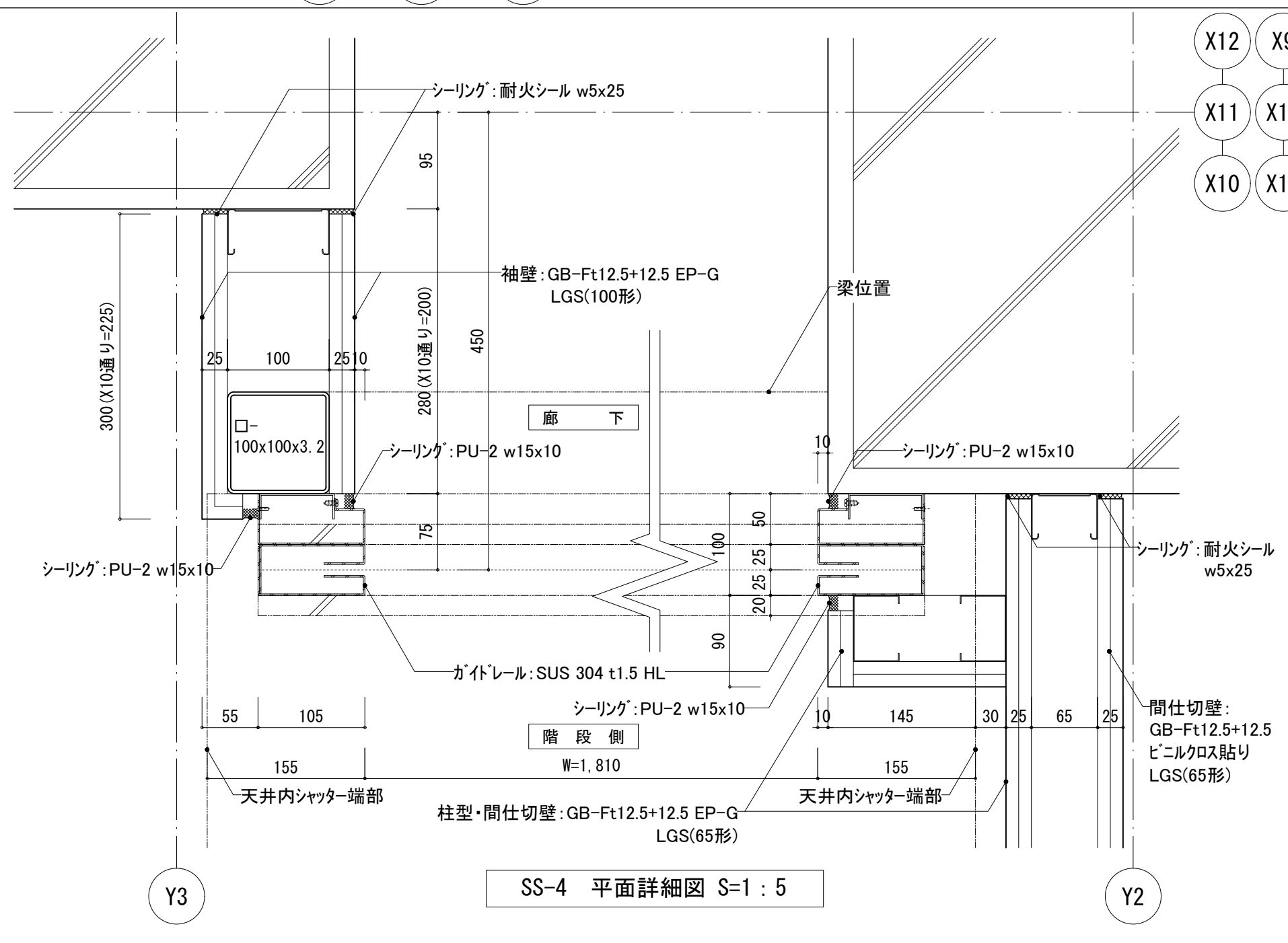
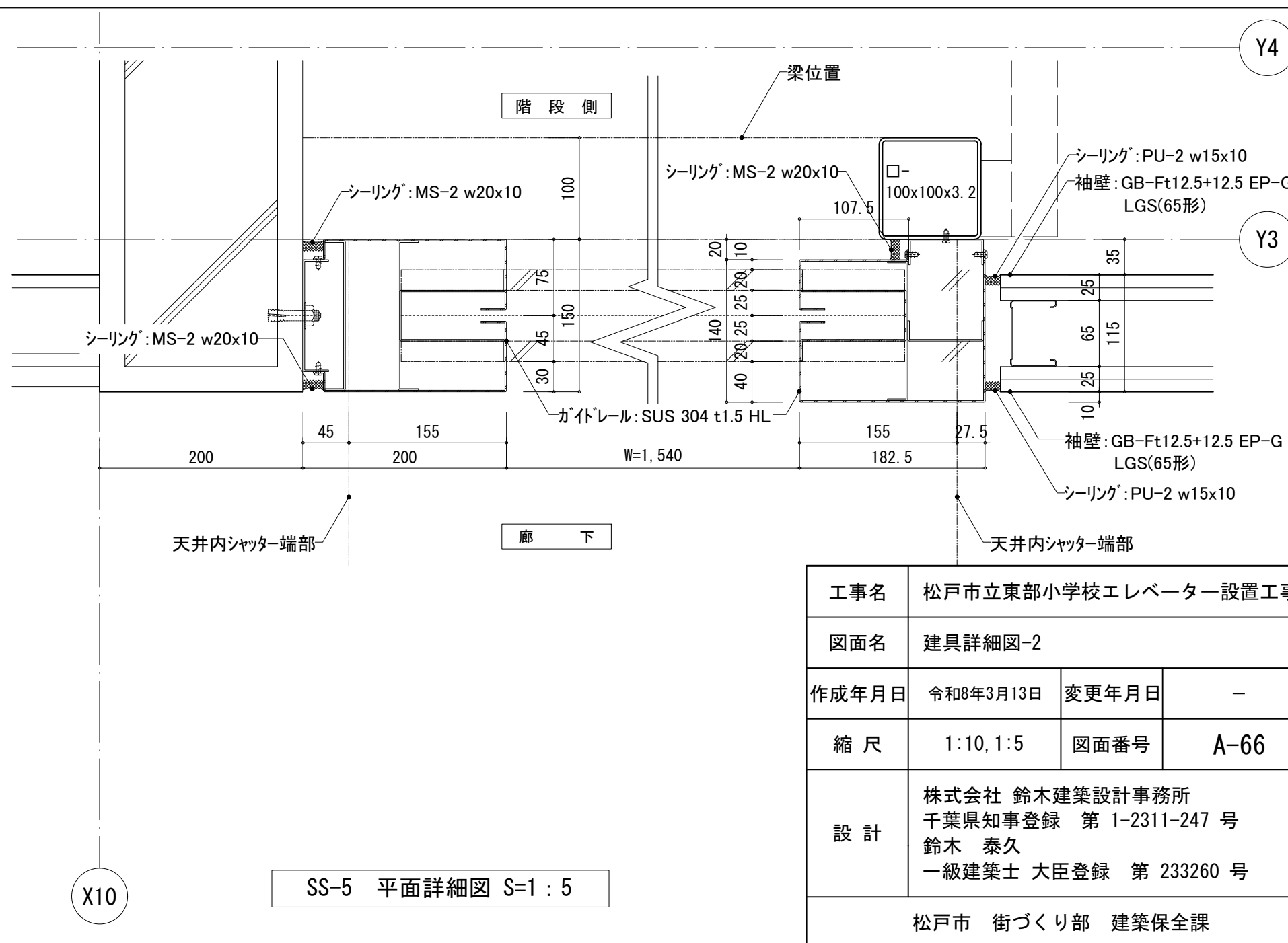
改修前 渡廊下スロープ屋根伏図 S=1:30



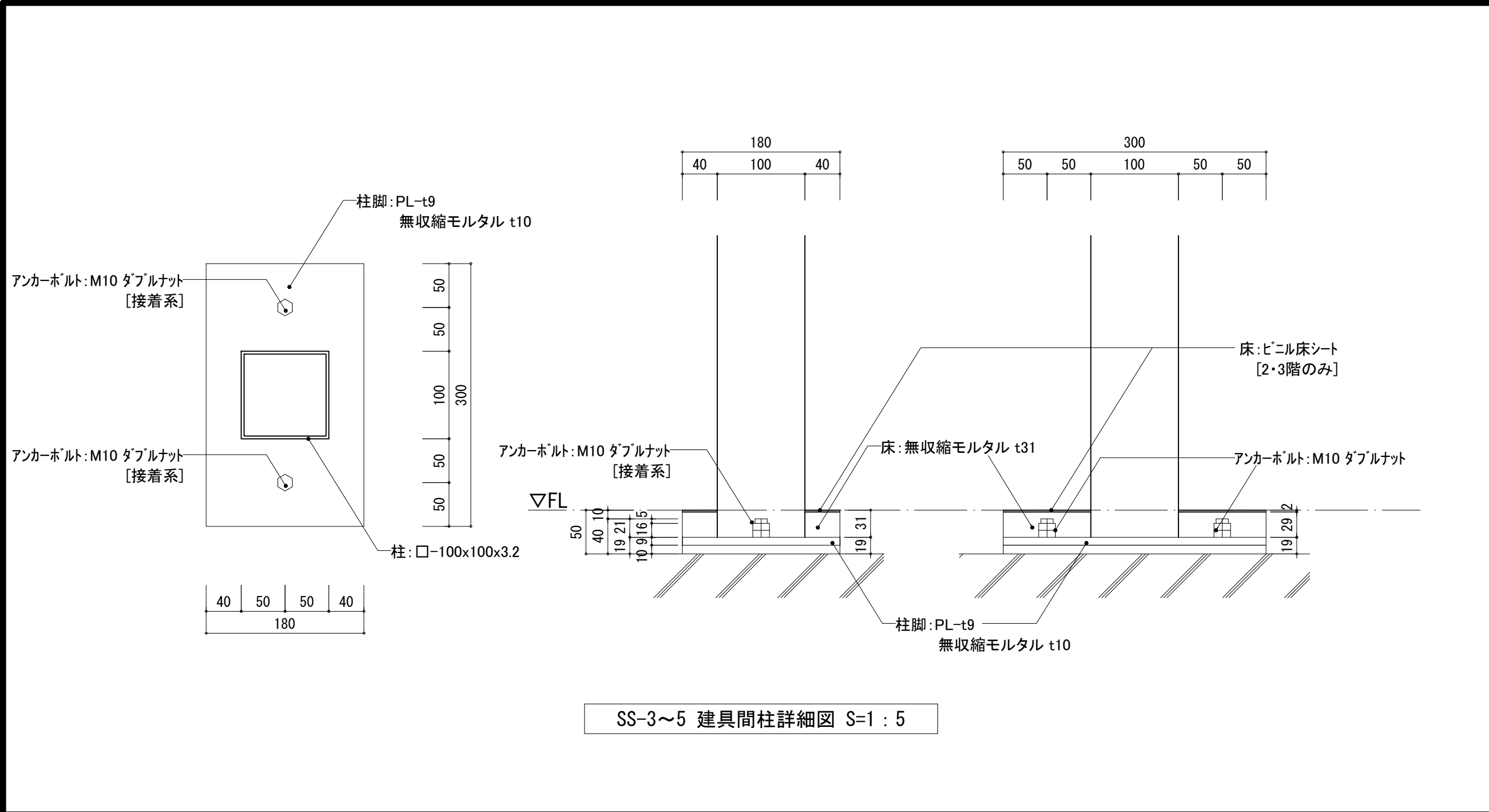
改修前 A-A' 部分断面図 S=1:3

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	①-2棟 渡廊下屋根伏図・詳細図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:30, 1:3	図面番号	A-64
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

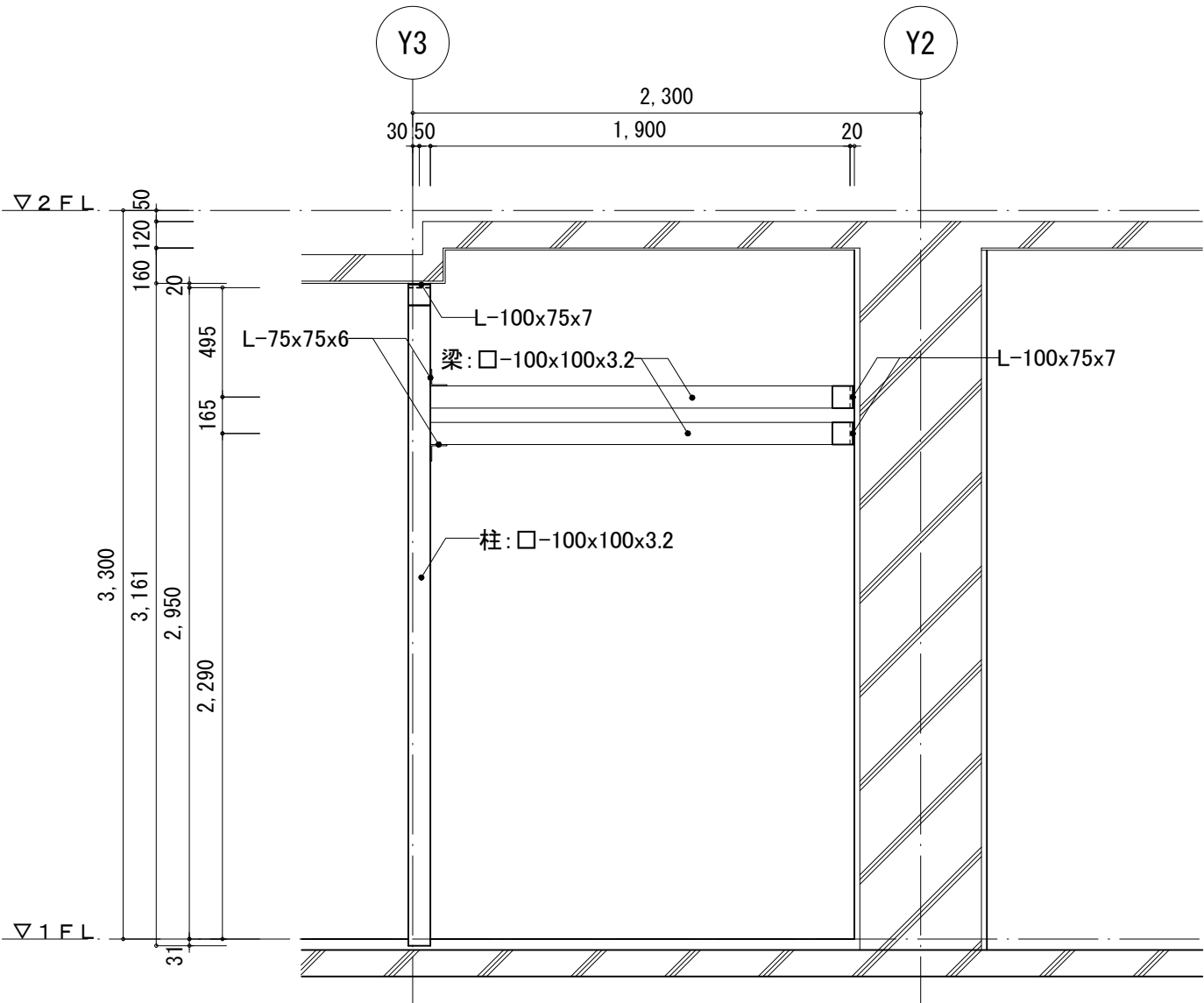




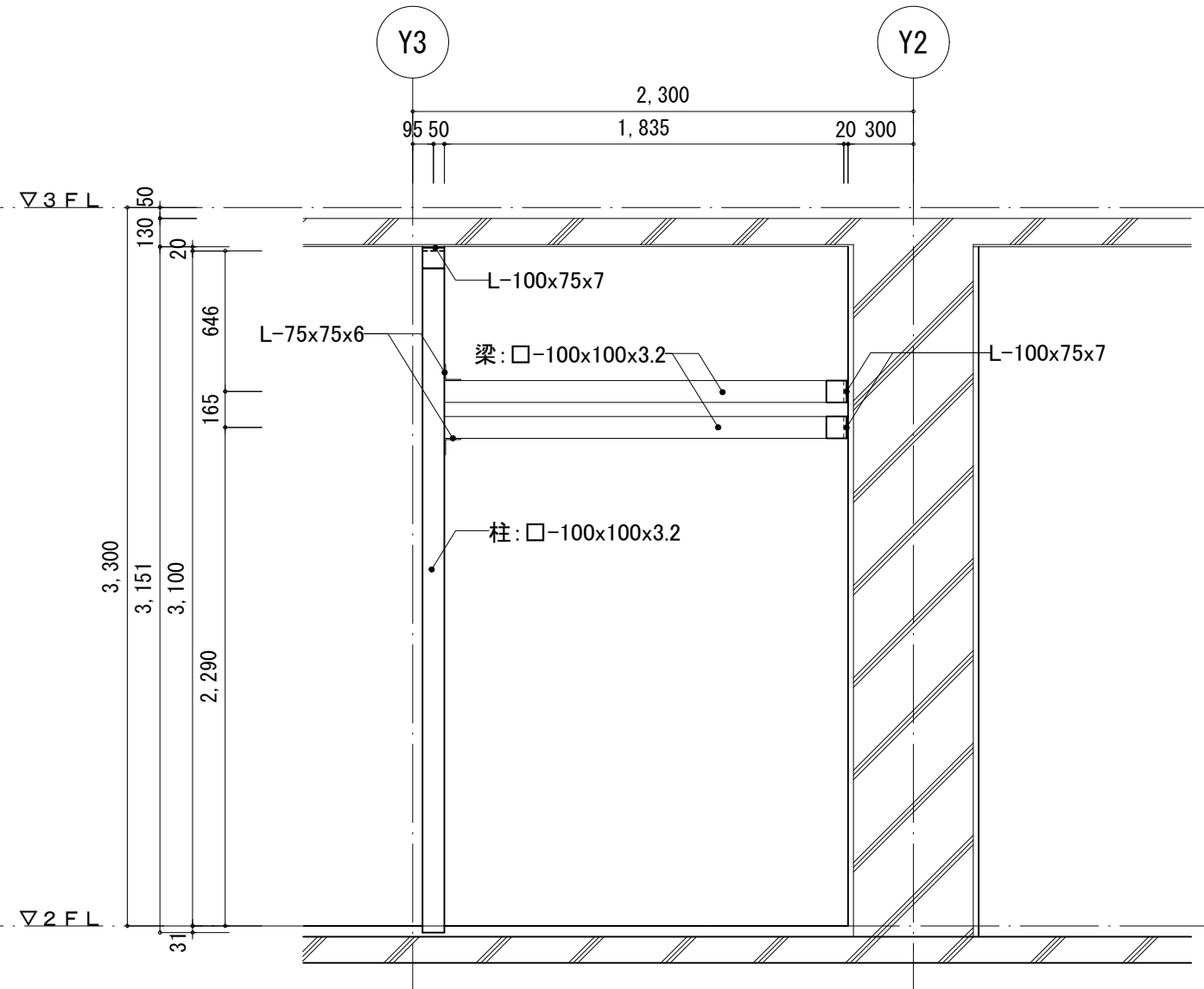
工 事 名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	建具詳細図-2		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:10, 1:5	図面番号	A-66
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



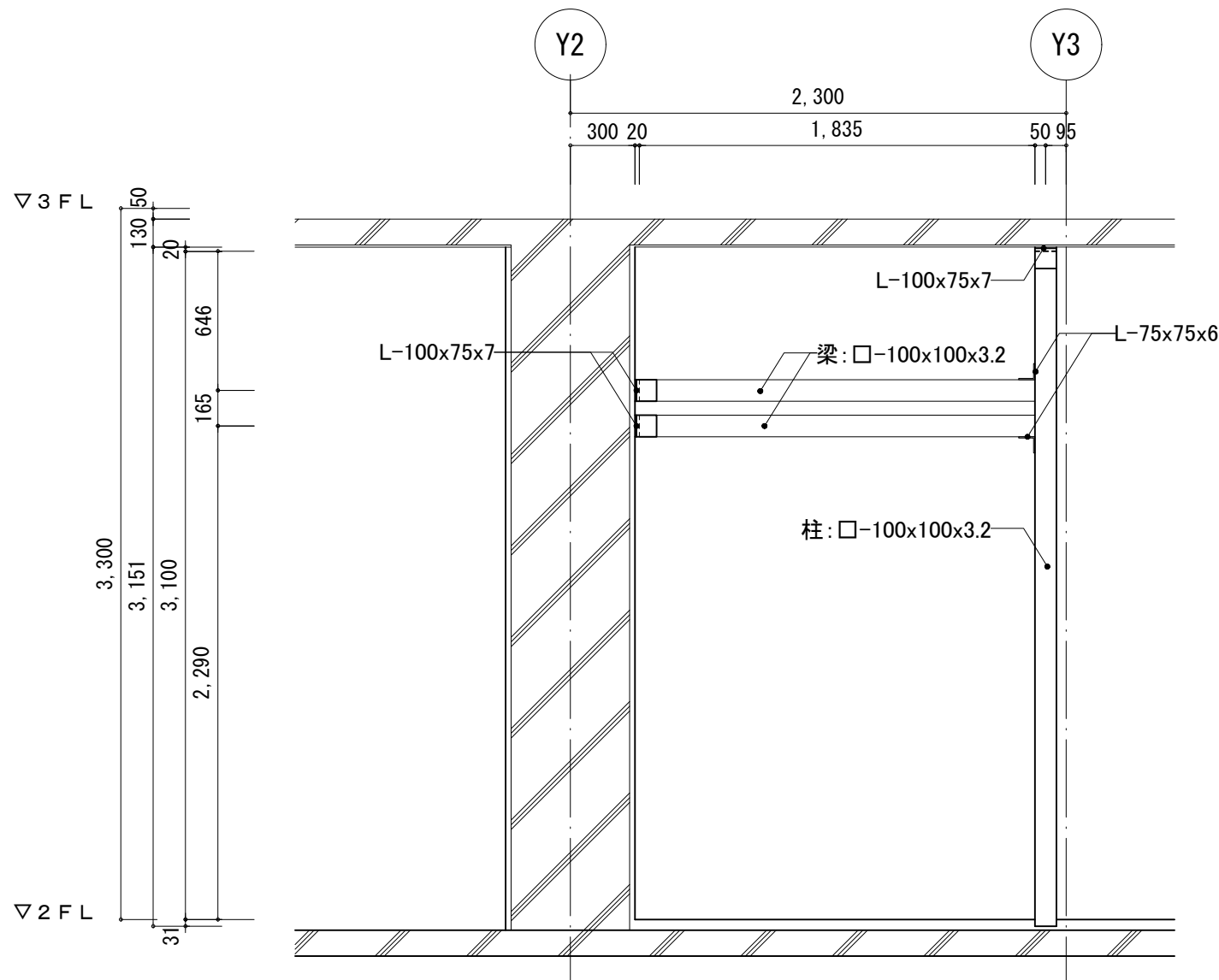
SS-3~5 建具間柱詳細図 S=1 : 5



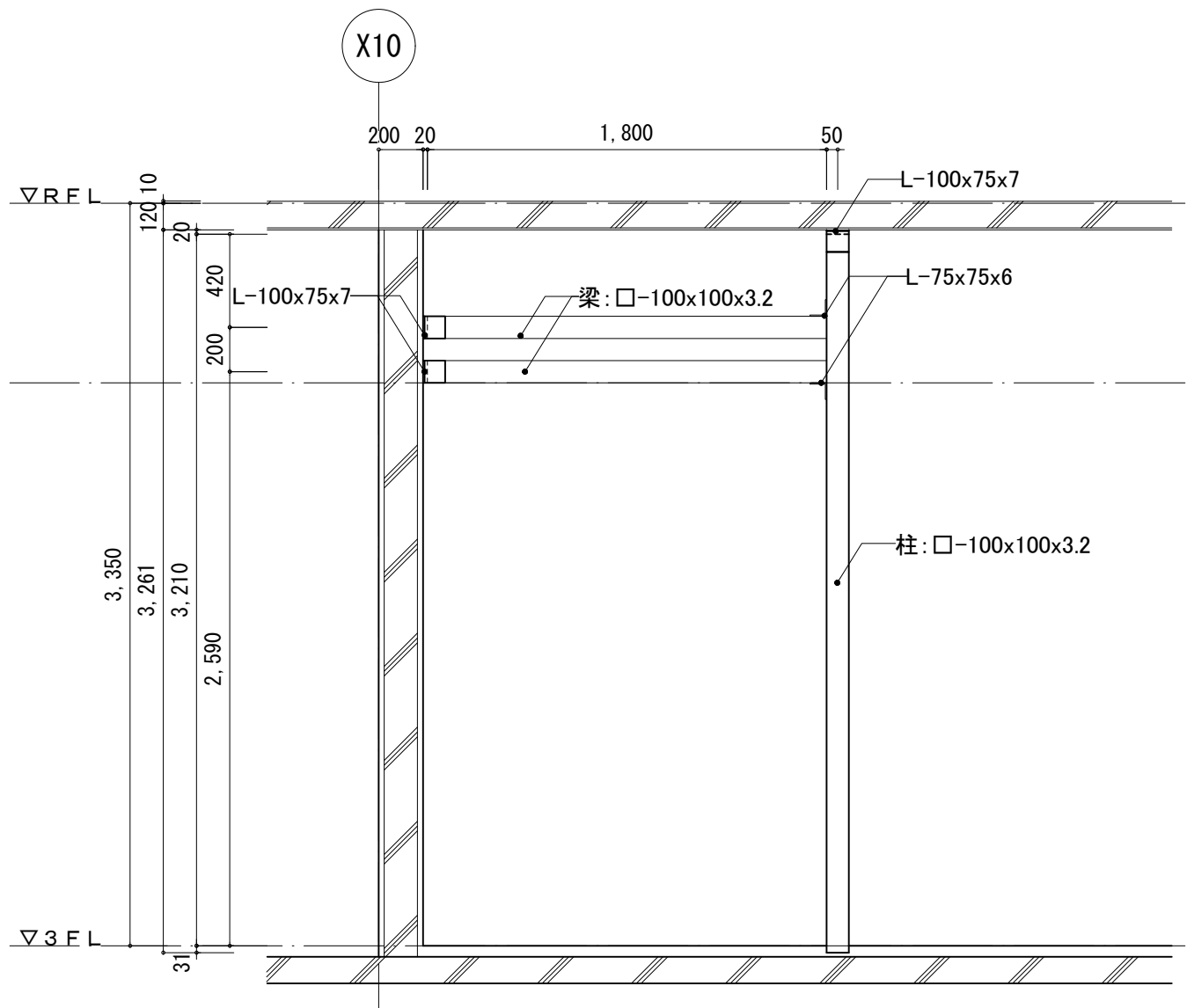
SS-3 X-10通り建具鉄骨下地正面図 S=1 : 30



SS-4 X-10通り建具鉄骨下地正面図 S=1 : 30

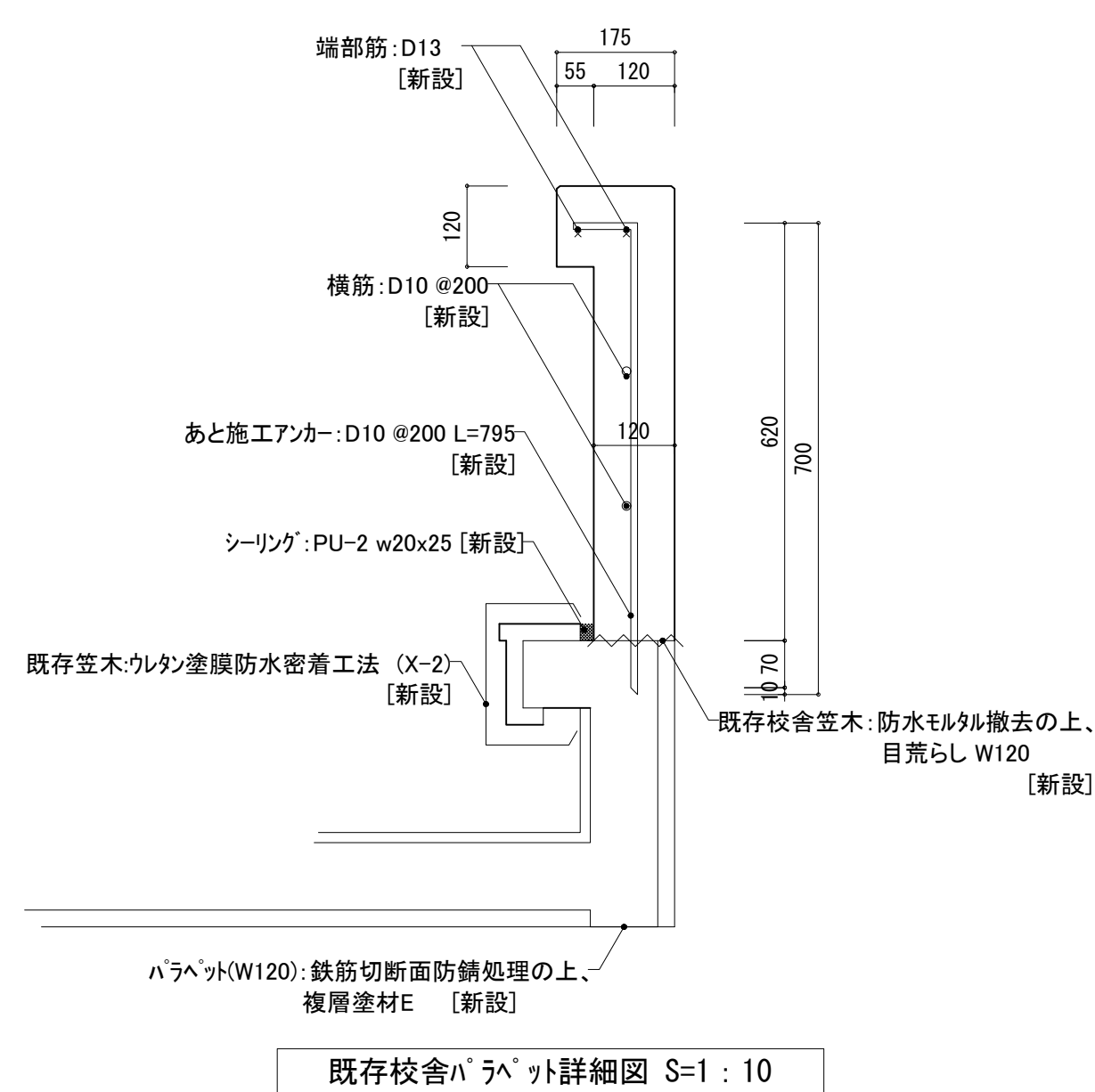
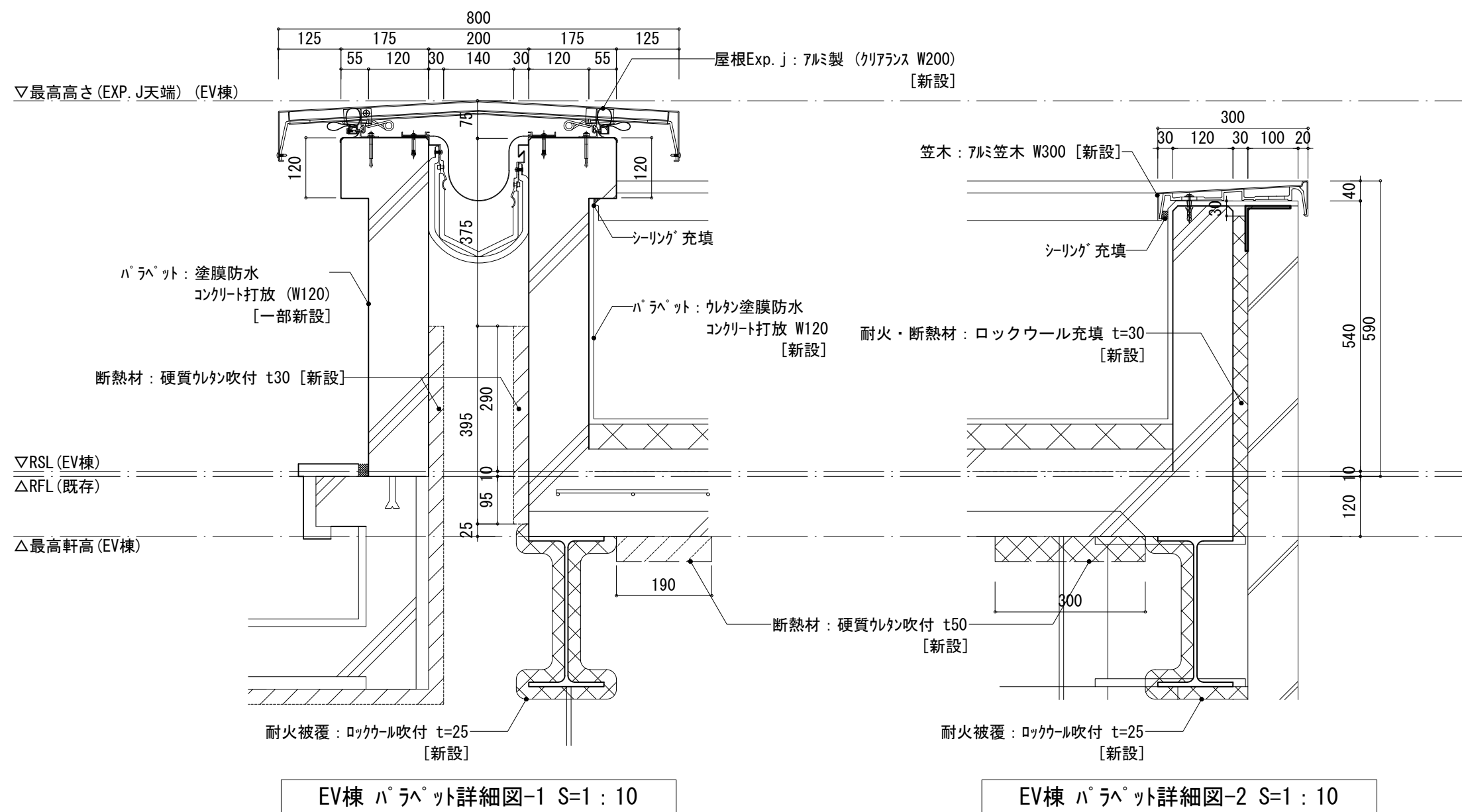
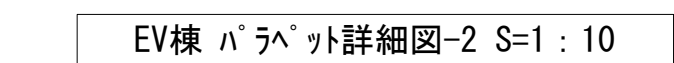
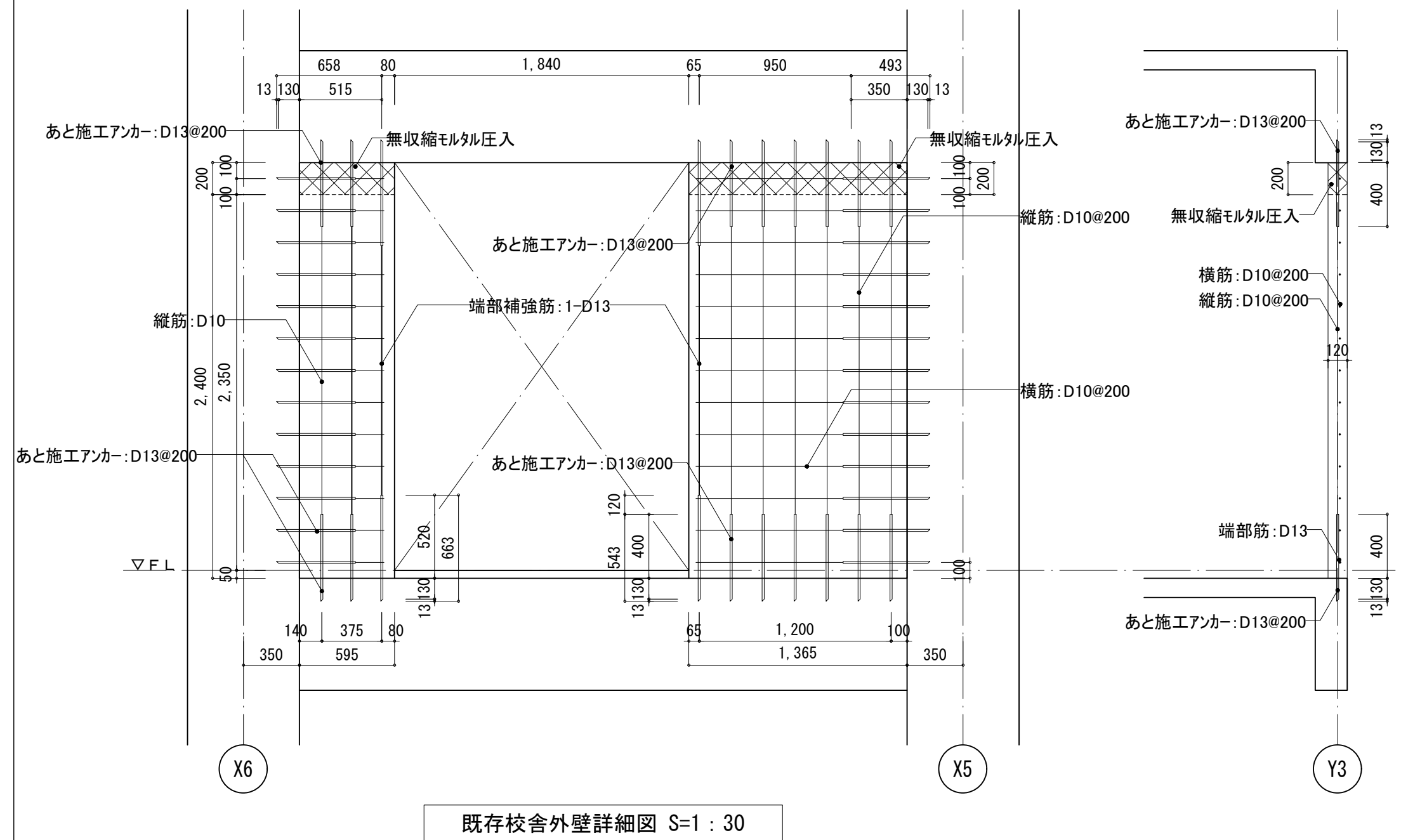
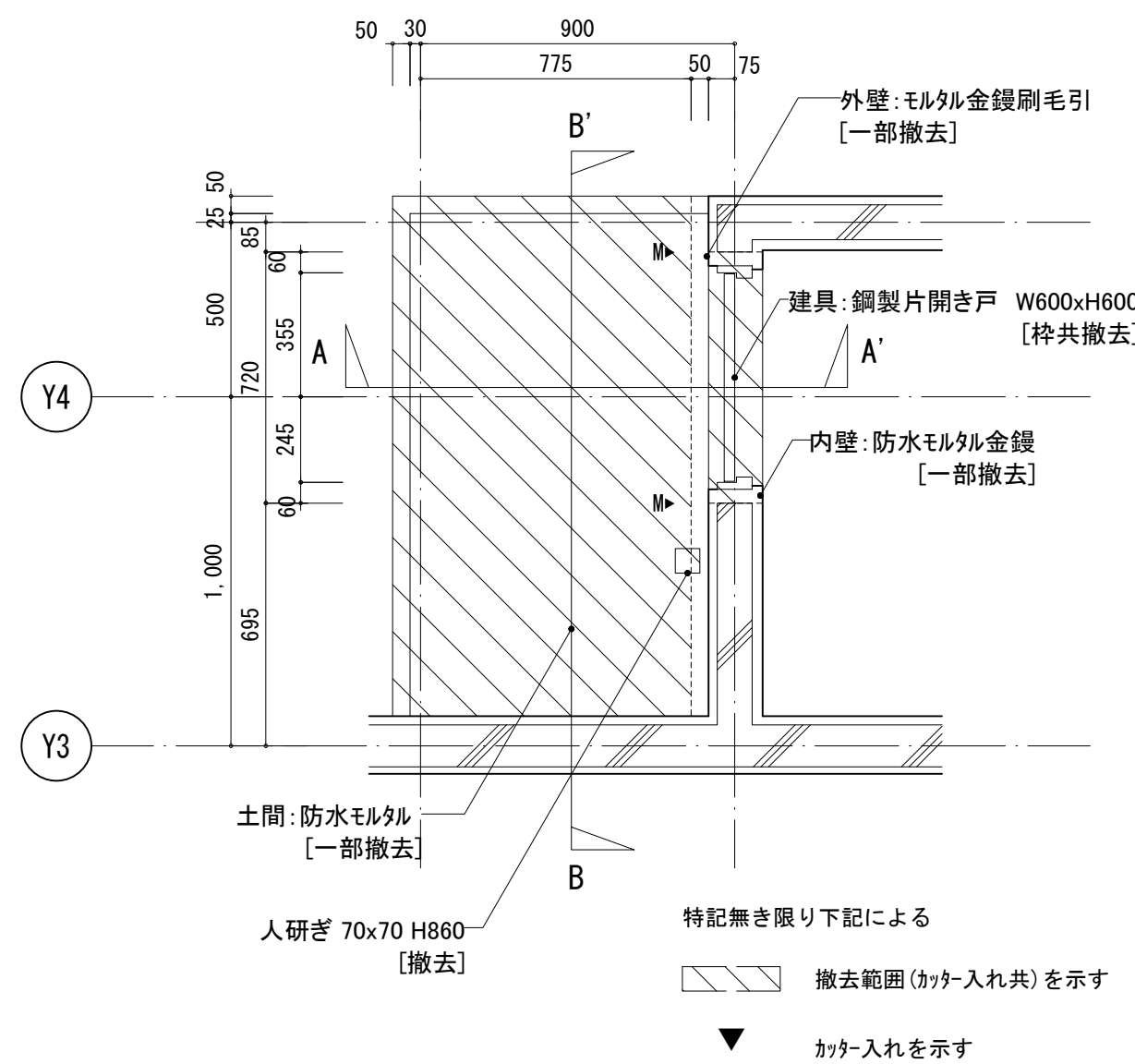
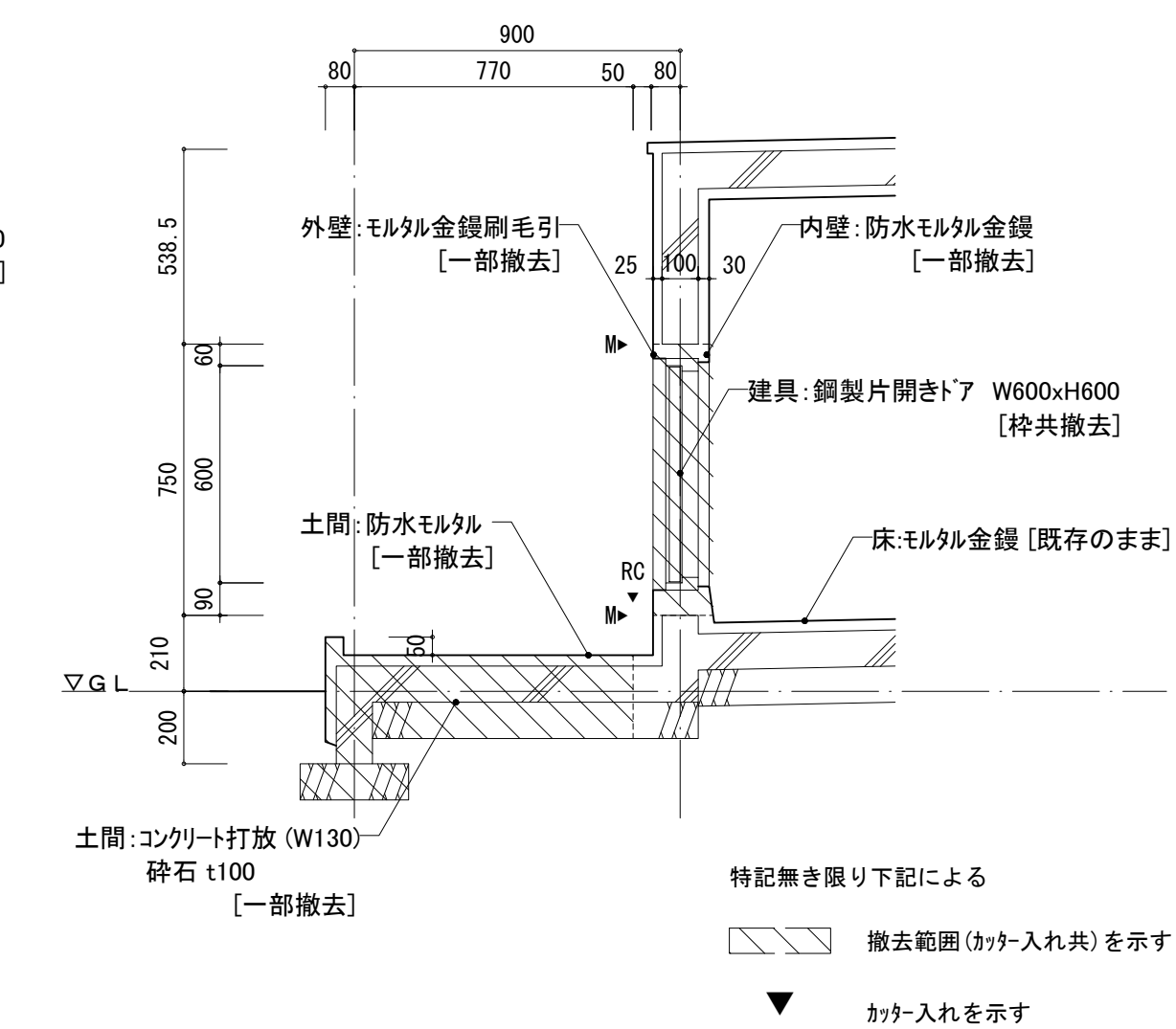
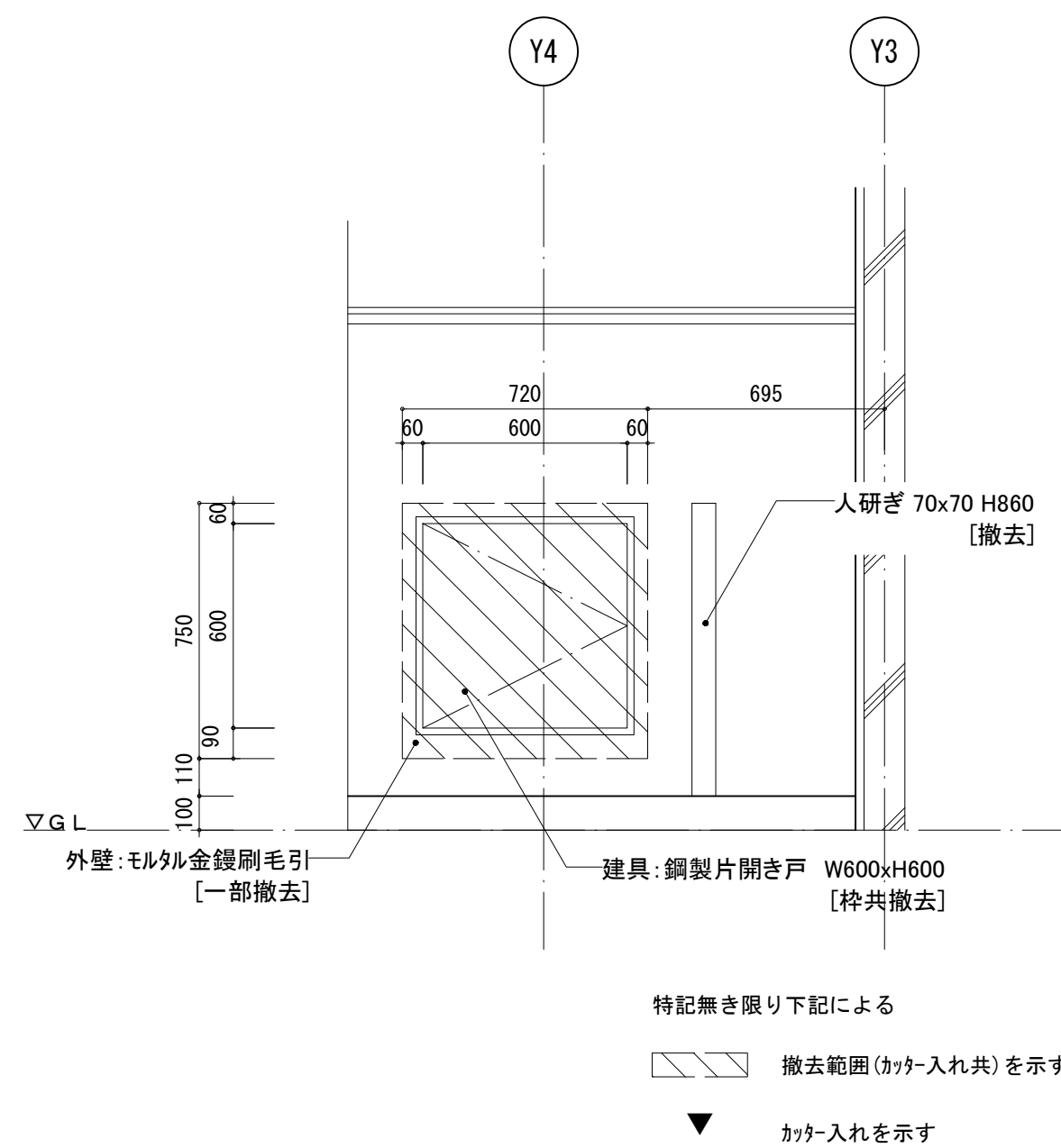
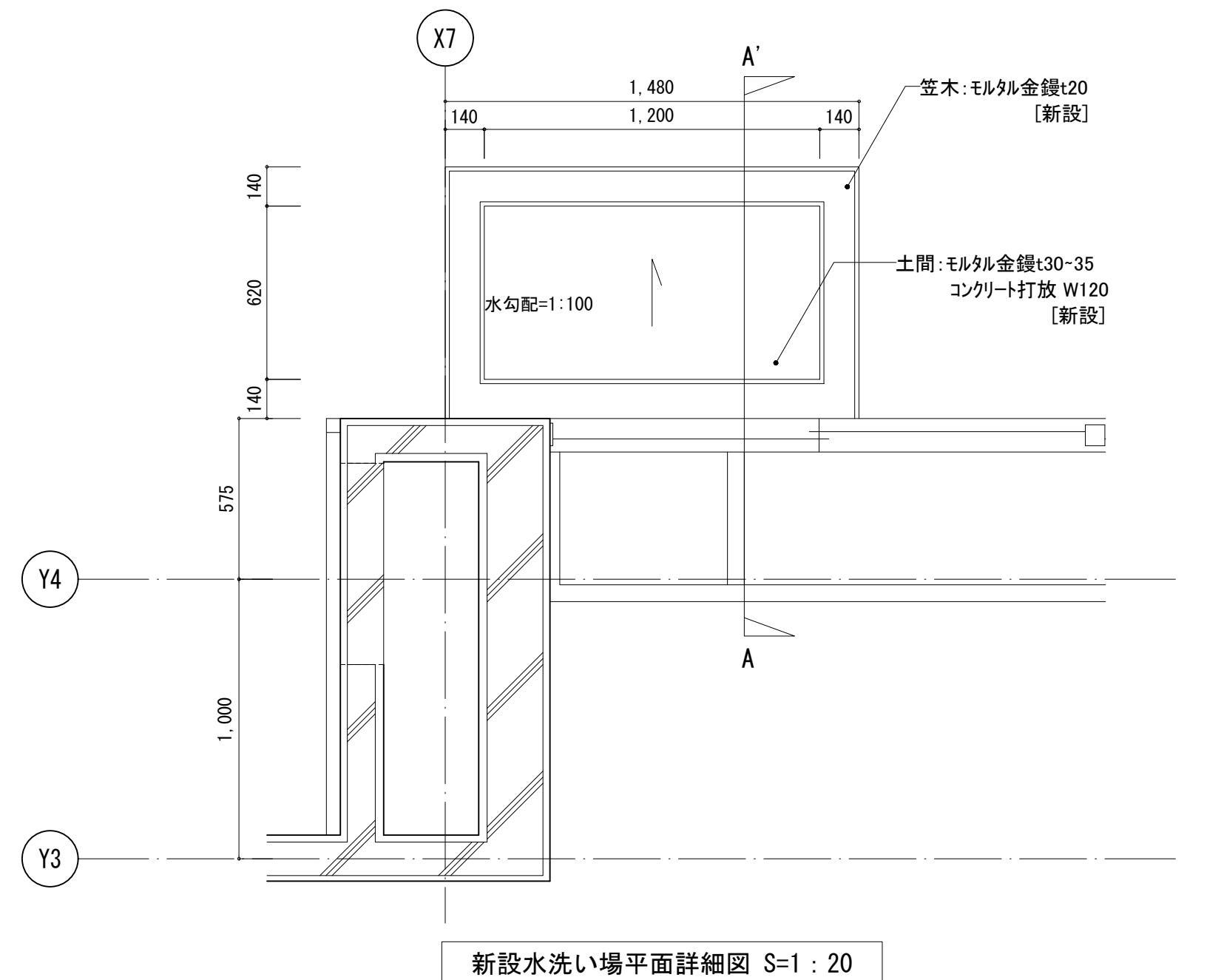
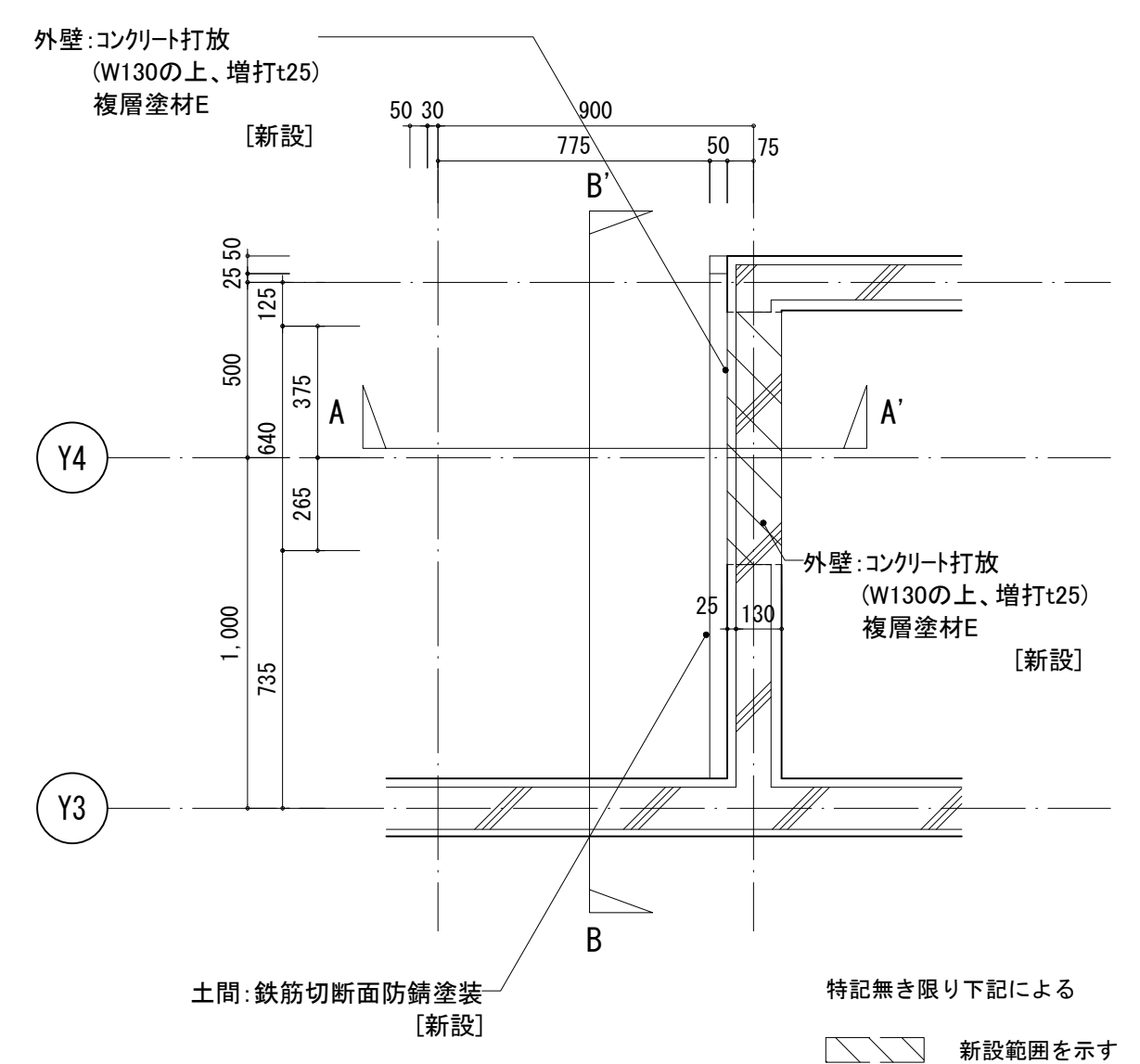
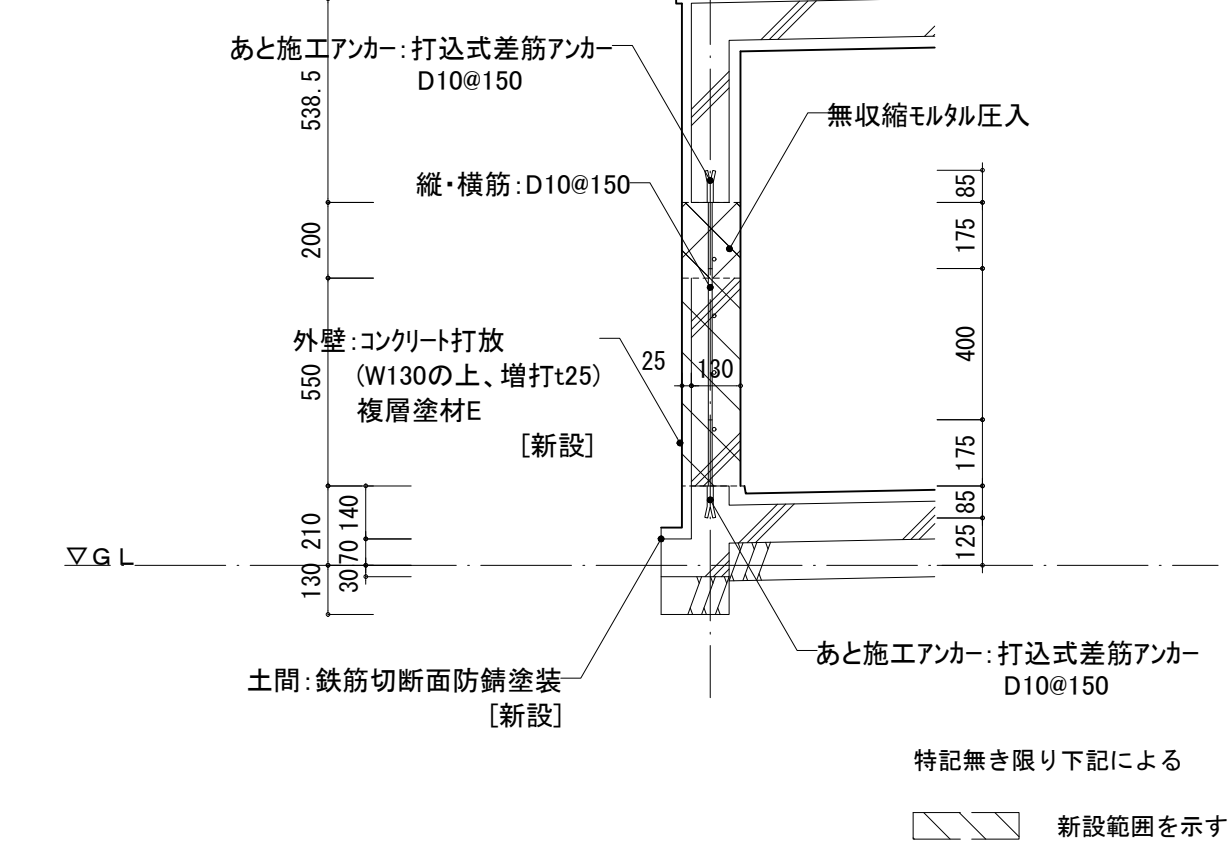
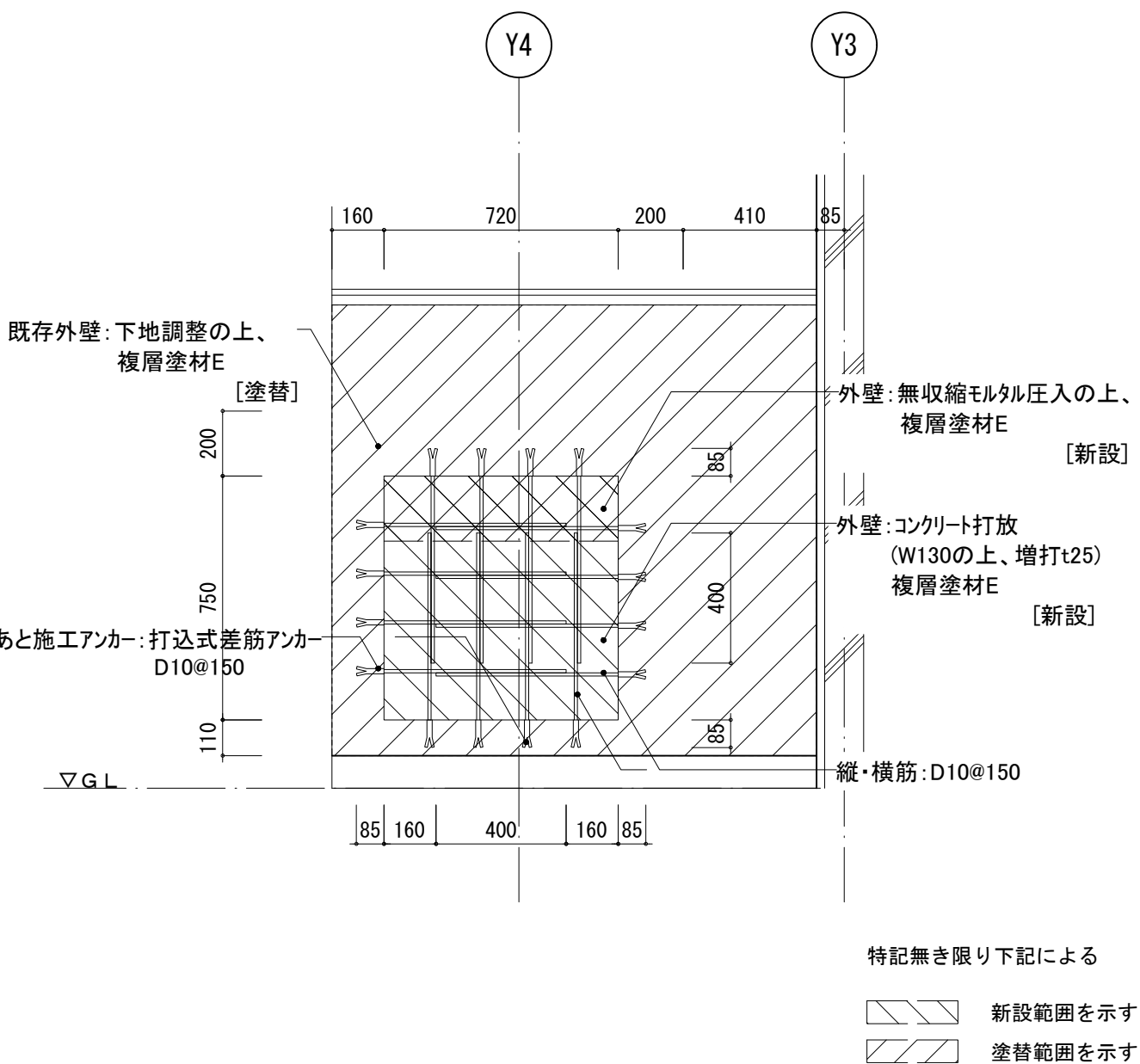
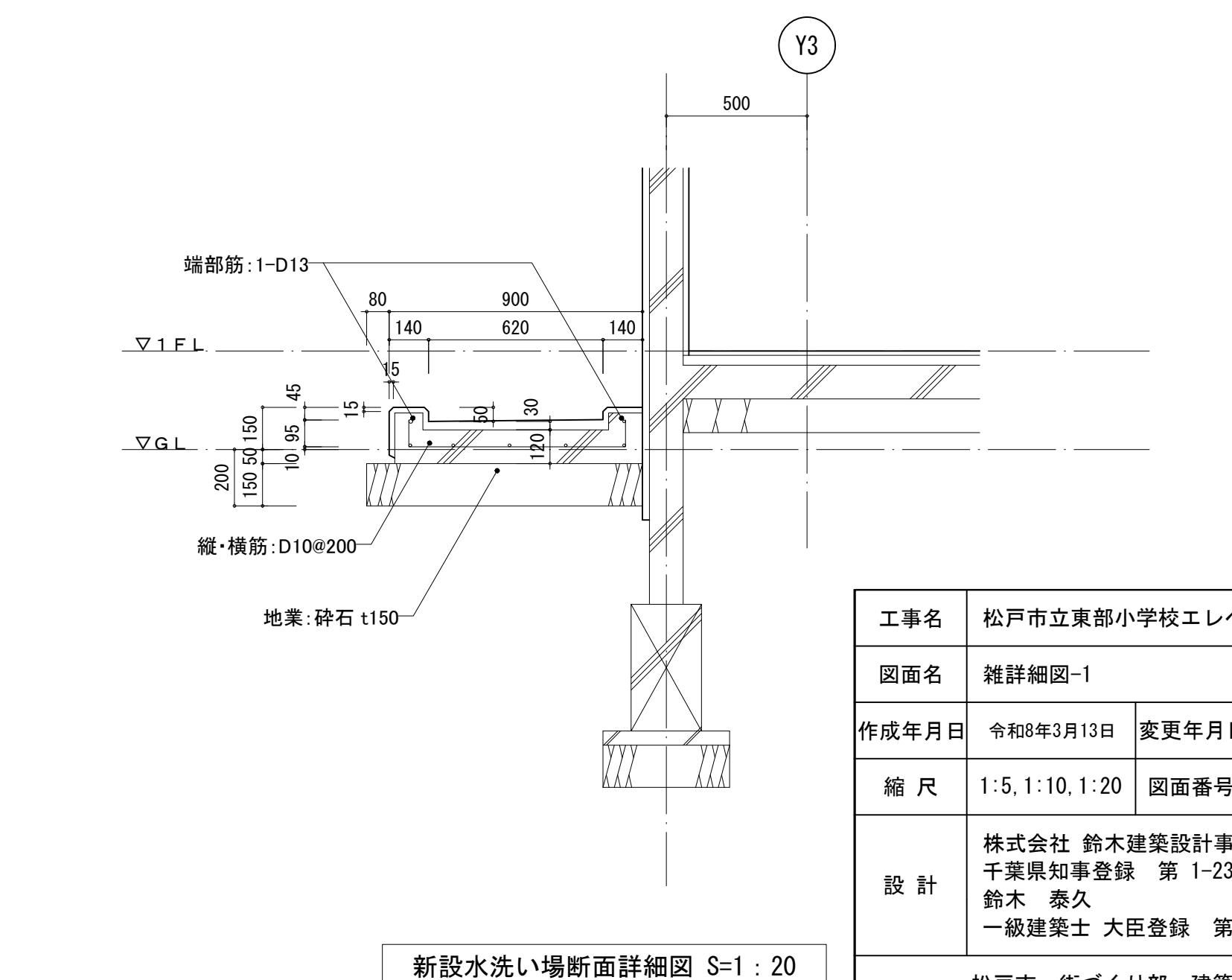


SS-4 X-11通り建具鉄骨下地正面図 S=1 : 30

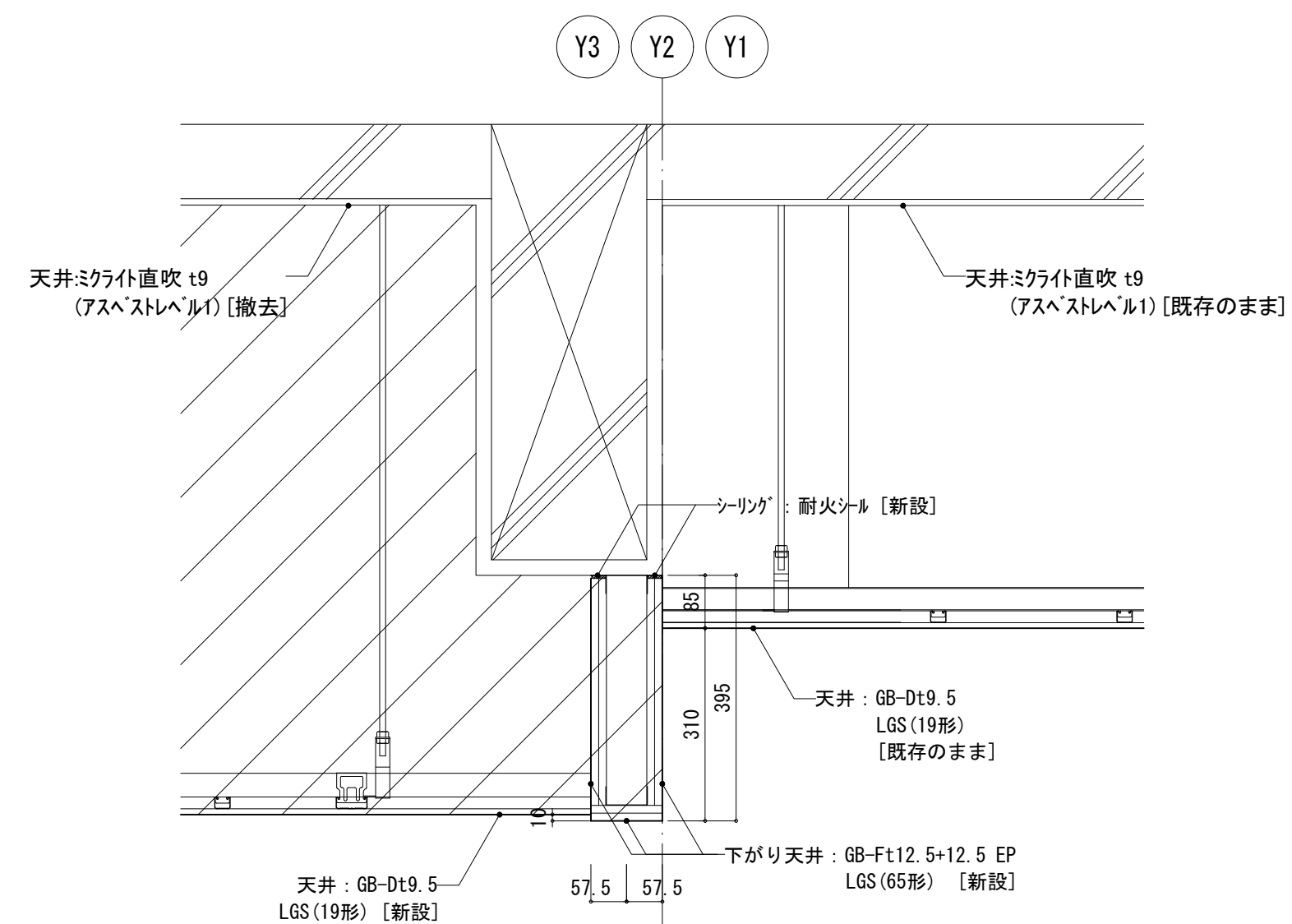
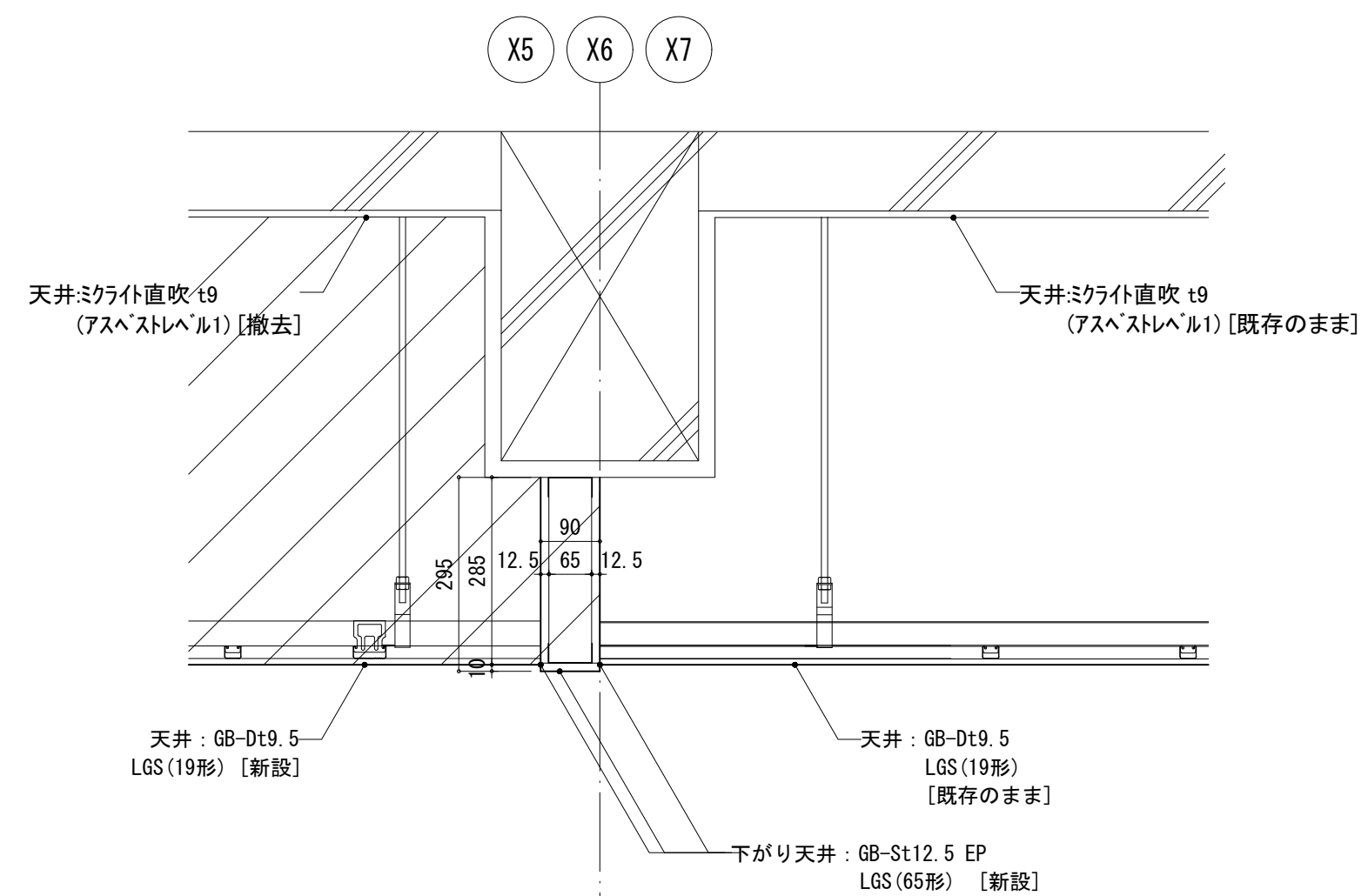
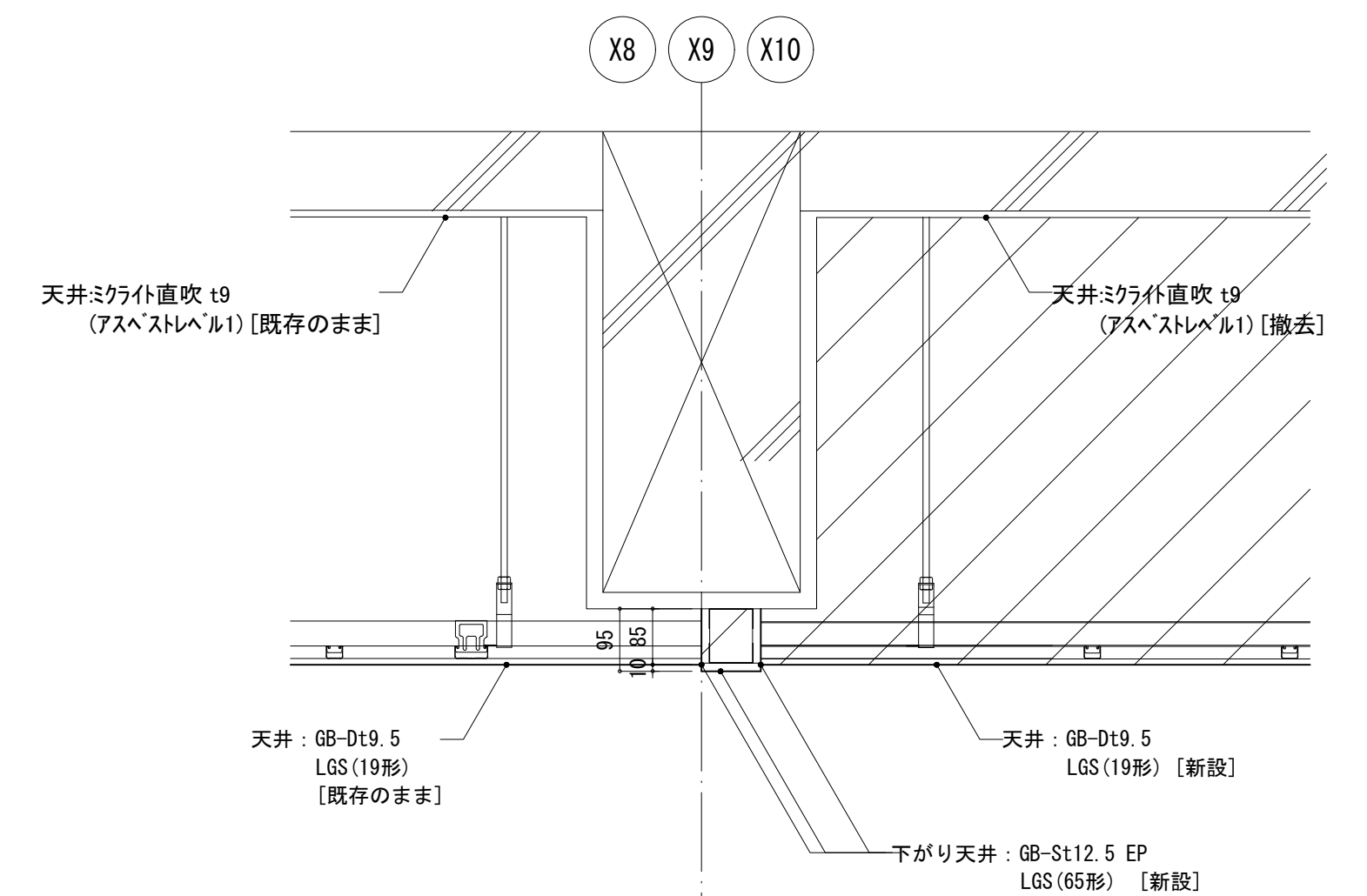
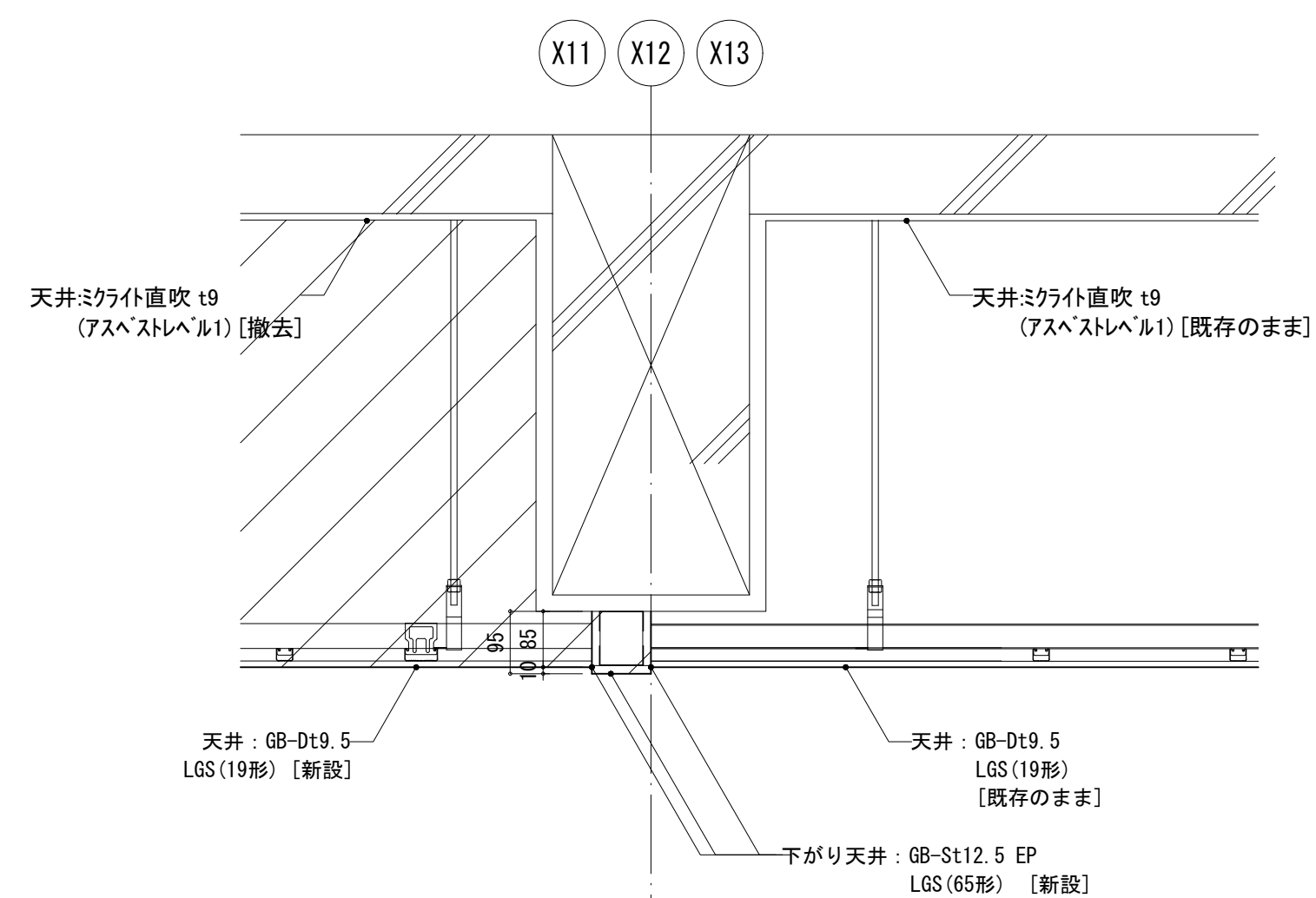


SS-5 Y3通り建具鉄骨下地正面図 S=1 : 30

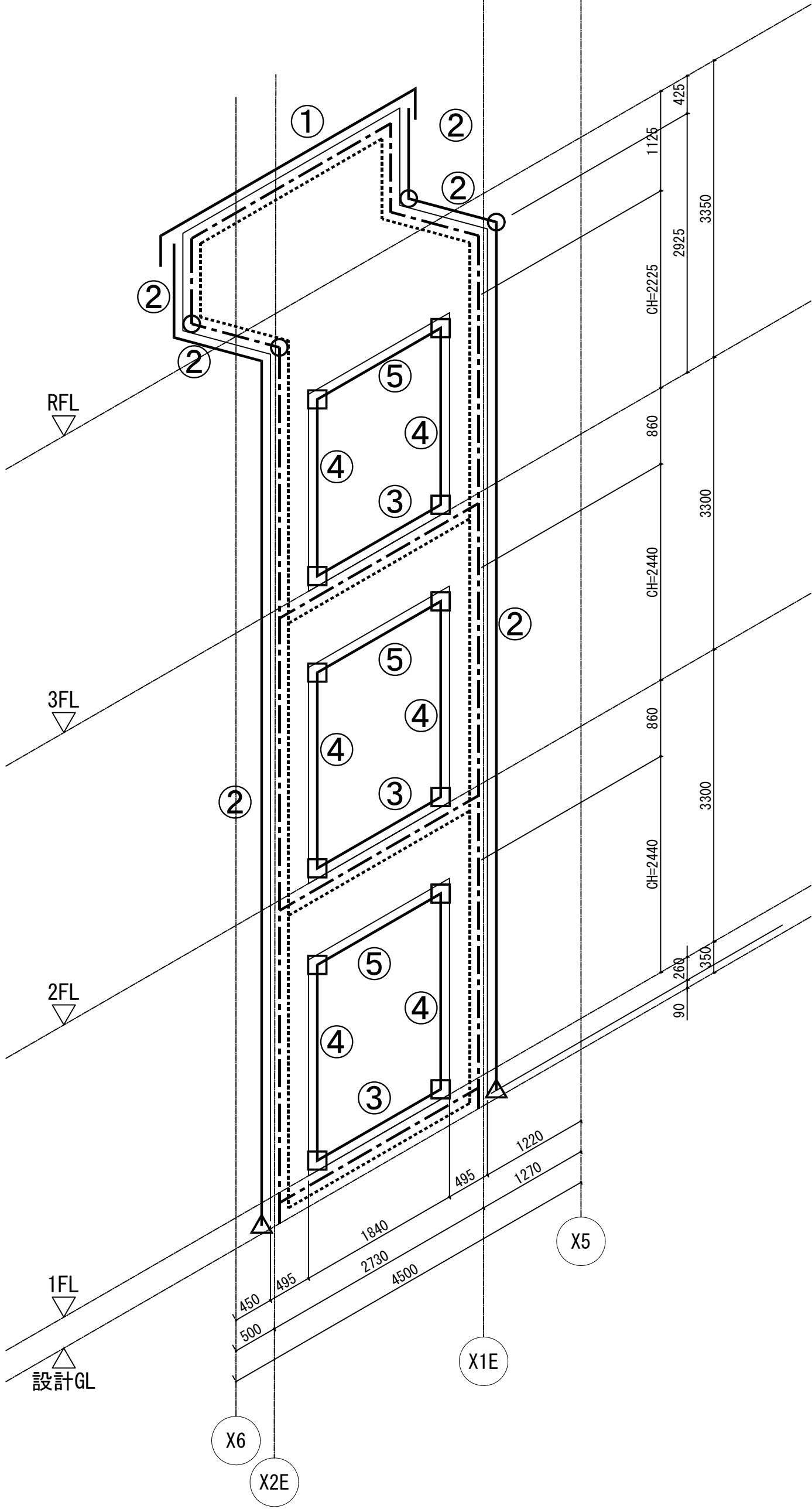
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	建具詳細図-3		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:5, 1:30	図面番号	A-67
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



工事名	松戸市立東部小学校工レベーター設置工事		
図面名	雑詳細図-1		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:5, 1:10, 1:20	図面番号	A-68
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	雑詳細図-2		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:10	図面番号	A-69
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



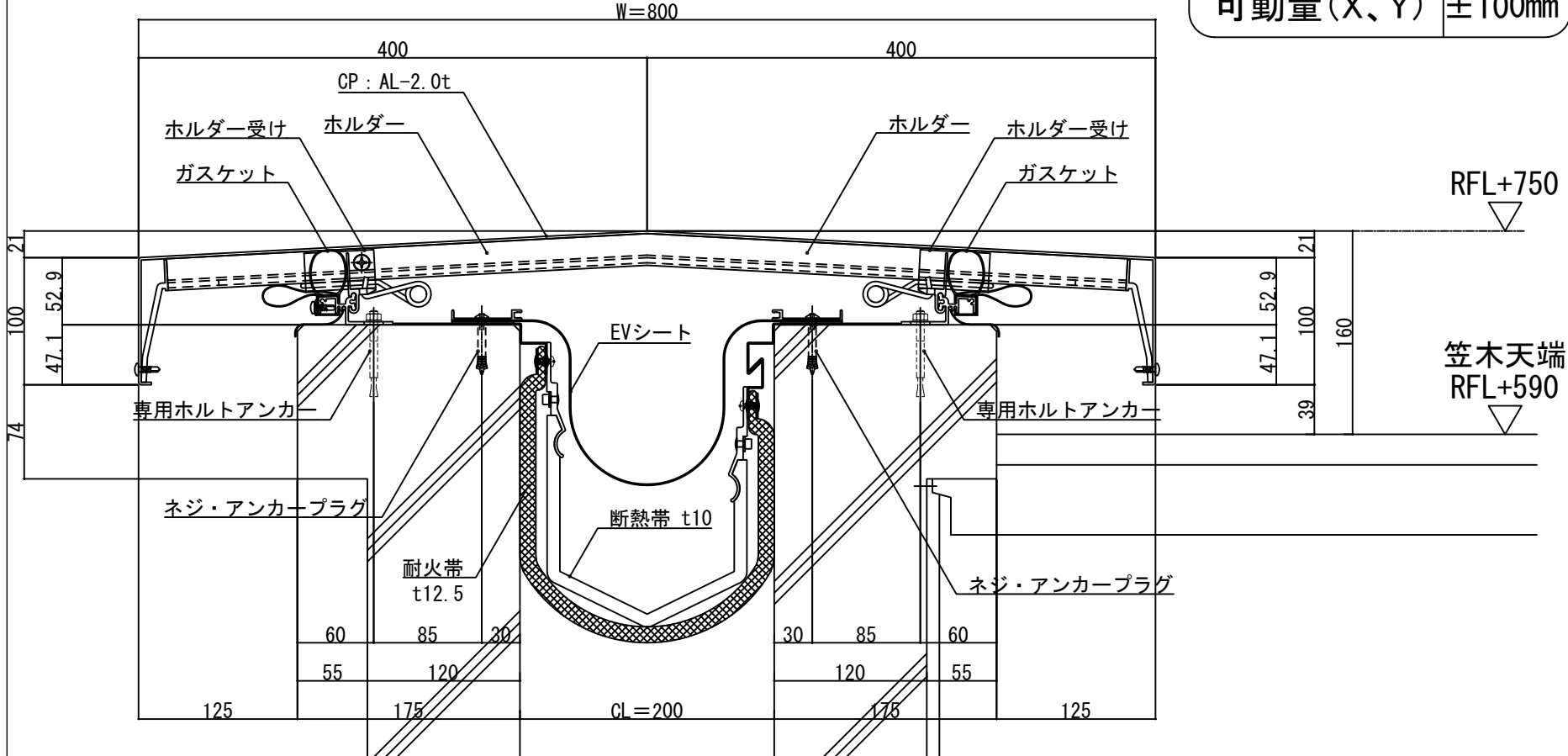
Exp. j キープラン S=1 : 50

- : 可動ジョイント
- : 90°コーナー加工 (溶着加工)
- △ : ロゼッタクッション
- : 耐火帯
- : 断熱帯

① 屋根一屋根 (アルミ製) 耐火仕様・断熱仕様

H800-APR-ST

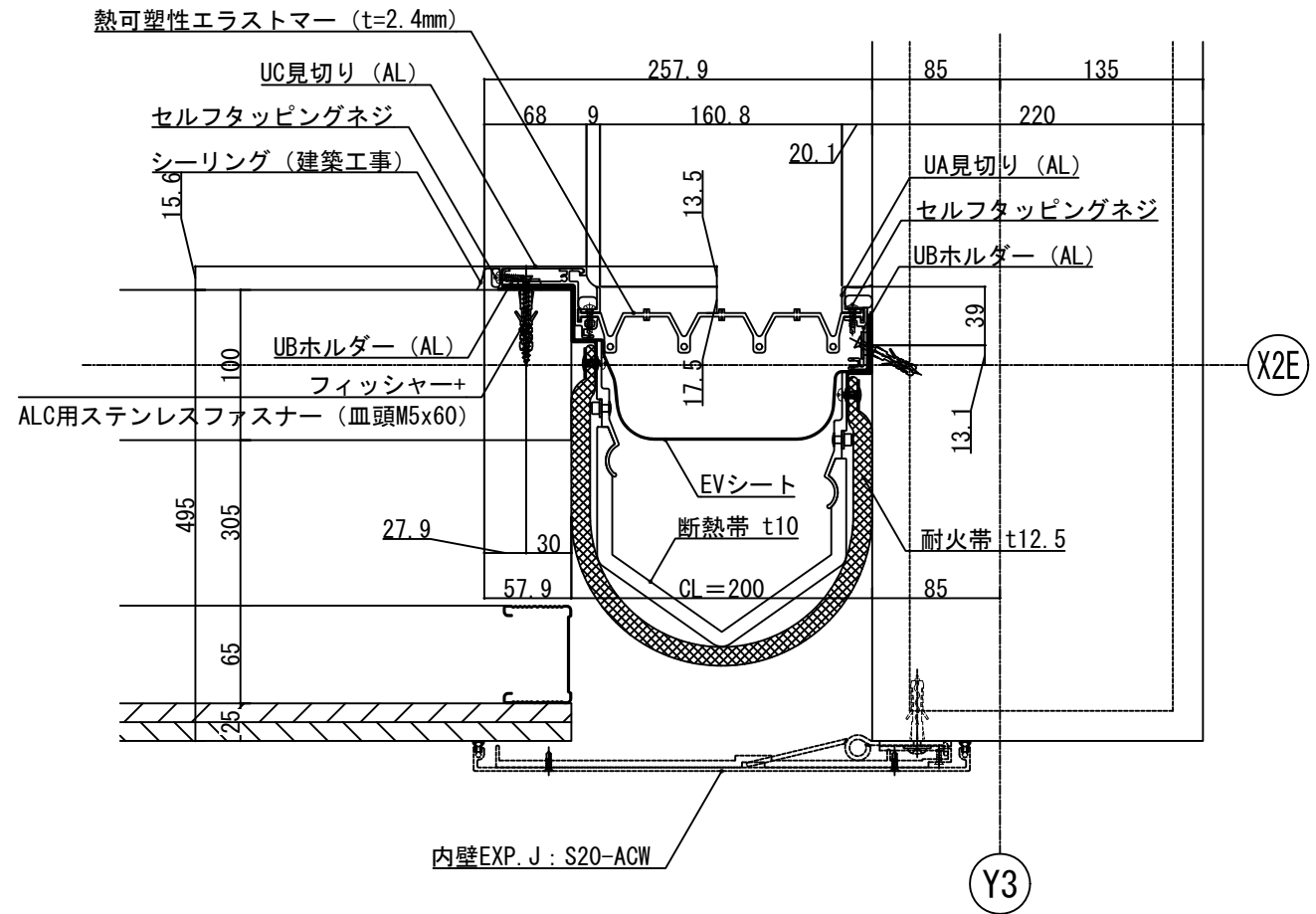
クリアランス	200mm
可動量(X、Y)	±100mm



② 外壁コーナー (熱可塑性エラストマー製) 耐火仕様・断熱仕様

EU-200C

クリアランス	200mm
可動量(X、Y)	±100mm

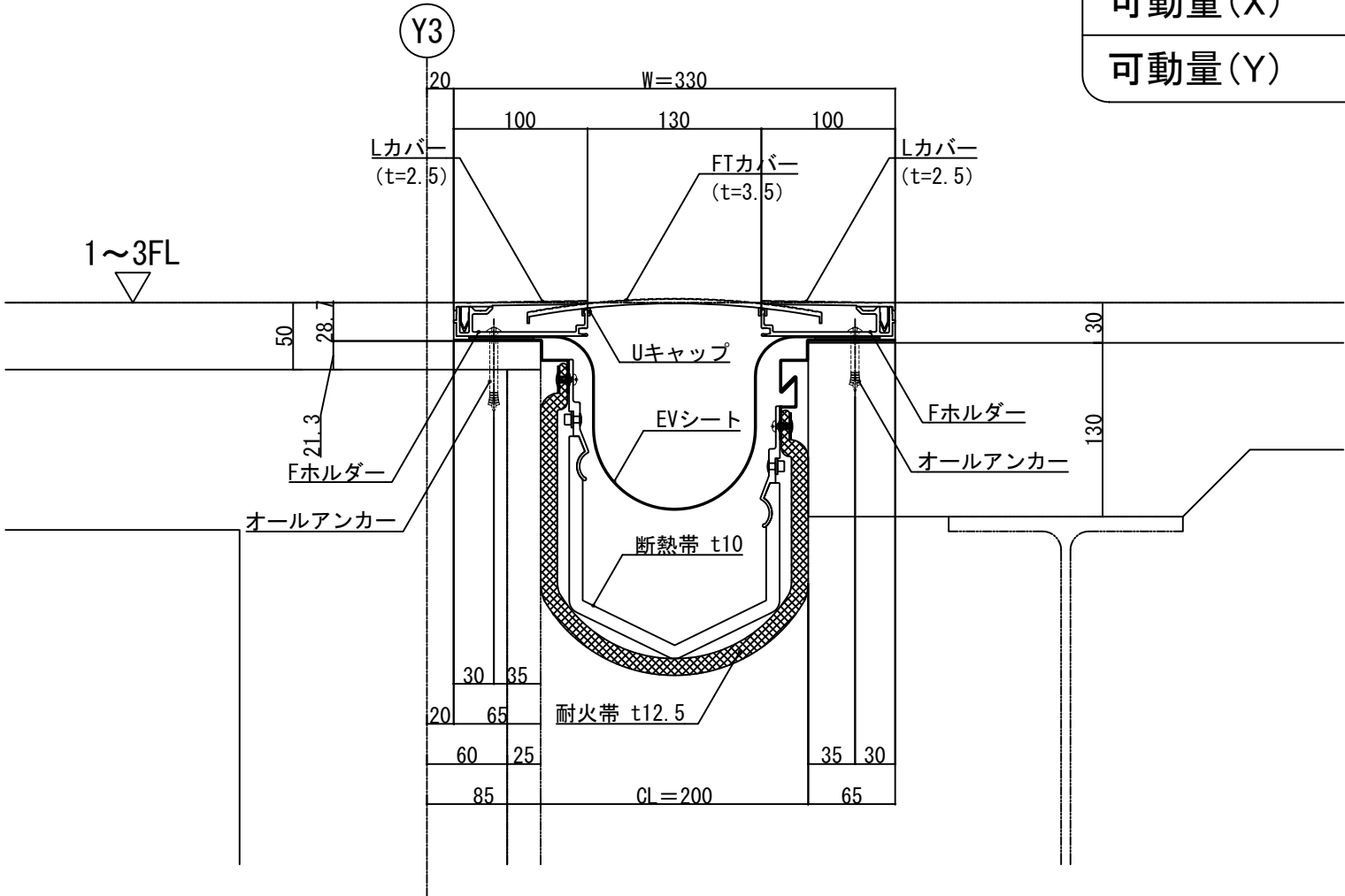


③ 床一床 (アルミ製) 耐火仕様・断熱仕様

S20-AFX

※ Y可動量は端部可動ジョイント使用時。

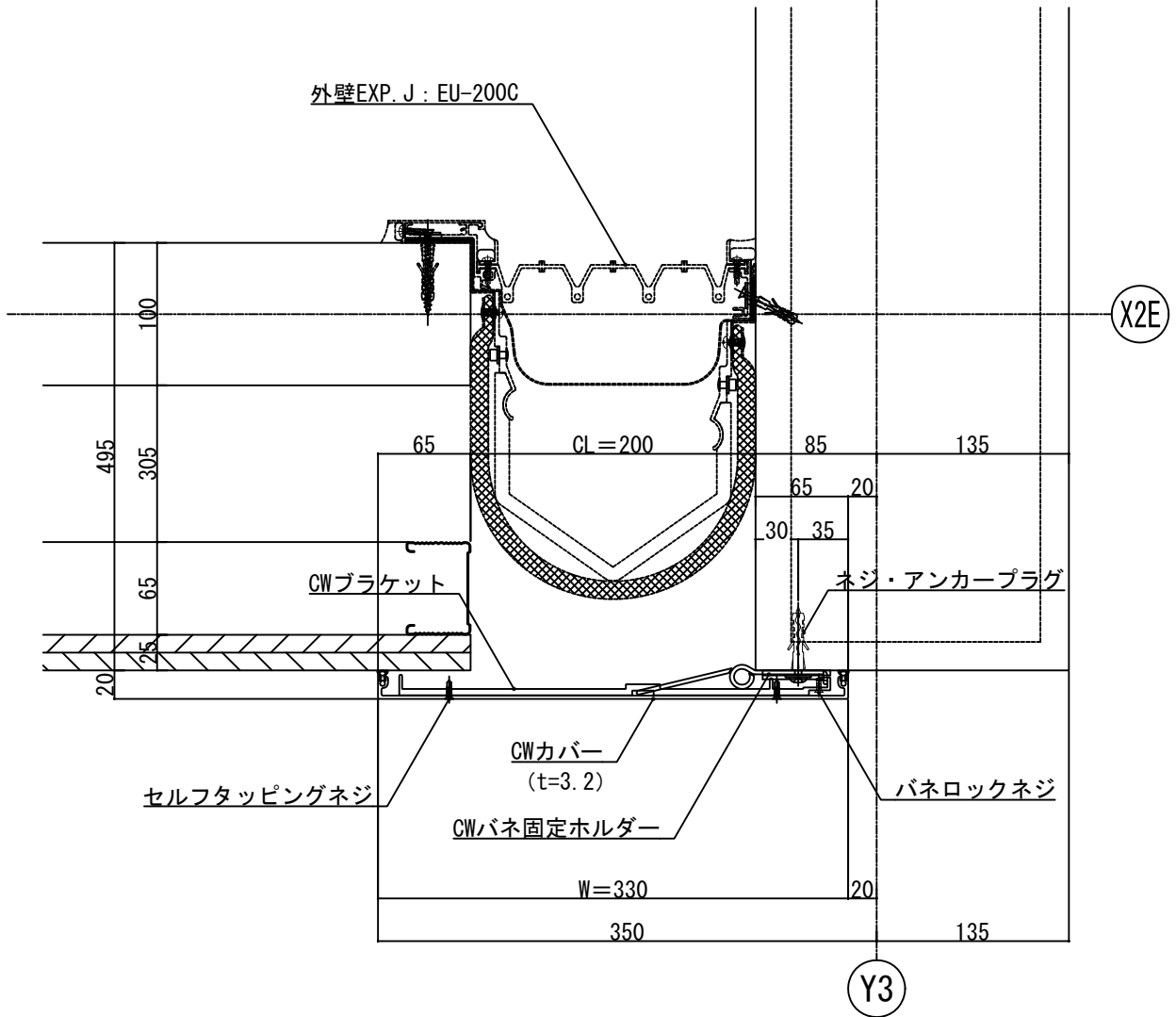
クリアランス	200mm
可動量(X)	+83mm
可動量(Y)	±75mm



④ 内壁一内壁 (アルミ製)

S20-ACW

クリアランス	200mm
可動量(X)	±65mm
可動量(Y)	±75mm

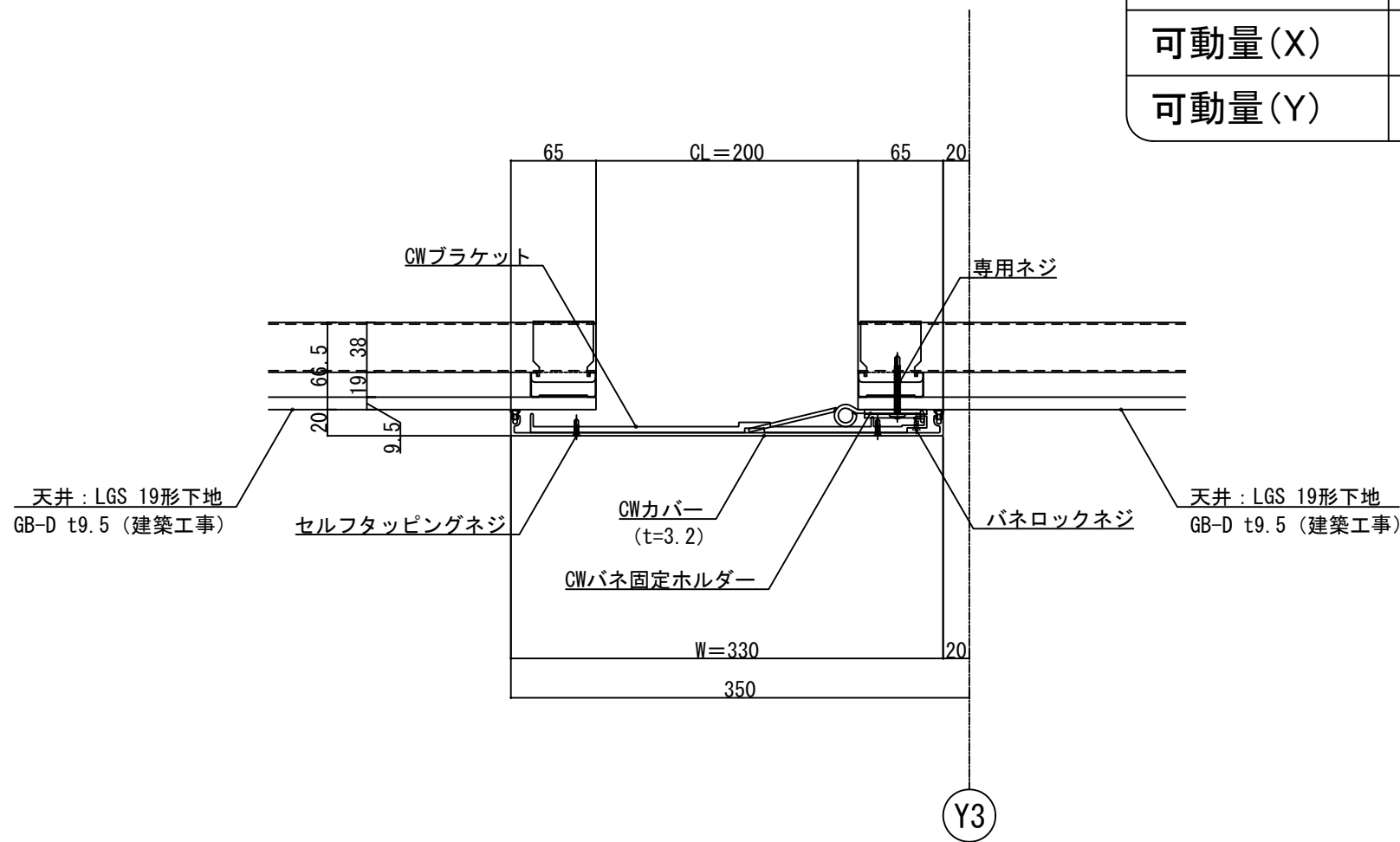


⑤ 天井一天井 (アルミ製)

S20-ACW

※ Y可動量は端部可動ジョイント使用時。

クリアランス	200mm
可動量(X)	±65mm
可動量(Y)	±75mm



工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	EV棟 Exp. j詳細図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:50, 1:5	図面番号	A-70
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

仕 様 ― 覧										
	号 機	—								
	用 途	乗用（車いす仕様）								
	機 種	Ele Glance（エレ・グランス／機械室レス）J525								
	制御方式	インバータ制御方式（電力再生無し）								
	運転操作方式	乗合全自動方式								
	積 載	750	k g	11	名					
	速 度	45	m／m i n							
	動力用電源	三相 3 線	200	V	50	H z				
	照明用電源	単相	100	V	50	H z				
	巻上電動機	3.1 k W								
停止階及び数	（正面）	1-3	階	3	個所					
	（背面）	階								
かご内法	（開口）	1400	mm	（奥行）	1350	mm	（高さ）	2250	mm	
出入口寸法	（開口）	800	mm	（高さ）	2100	mm				
戸の方式	2枚 両引き（電動式）									
荷重条件	※ 1	250 k g 以下								
管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付								
	火災時管制運転	●								
	停電時自動着床	●								
	冠水時管制運転	●								
	自家発時管制運転	-								
	緊急地震速報連動	-								
セーフティ機能	長周期地震時管制運転	-								
	カードポケットセンサー	●								
	光電式ドアニック	●：（光電式）								
	光電式多光軸ドアセンサー	●								
	ドアエッジセンサー	-								
	ドアウインカー	-								
ユニバーサル対応	車いす仕様	●								
	音声案内装置	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）								
	視覚障がい者仕様（点字）	●								
	聴覚障がい者仕様（応答灯付インターホン呼びボタン）	●								
	発音機能付タクトイルボタン	●								
	走行お知らせ音	●								
乗場	三方枠	全館	スチレンスヘアライン仕上							
	幕 板									
	扉	全館	鋼板塗装仕上							
	遮煙乗場ドア	●：1-3階								
乗場意匠機器	防犯窓	-								
	敷 居	全館	複質アルミ製							
	表示機器	全館	液晶表示／押ボタン組込							
	押ボタン	全館	35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）							
	フェースプレート	全館	ステンレスヘアライン仕上（樹脂フレーム）							
か	天 井	スタンダードタイプ								
	袖 壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）								
	入口柱	-								
	側 壁	化粧鋼板								
	幕 板	化粧鋼板								
	扉	化粧鋼板								
	幅 木	ステンレスヘアライン仕上								
	床	t=3：ビニールタイル								
	敷 居	複質アルミ製								
	換気装置	クロスフローファン								
	主操作盤	表示機器	液晶表示／操作盤組込							
		押ボタン	35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）							
		フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上							
		手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（端部・支持部：ステンレスブラスト仕上）							
	鏡	背面中央パネル：21ステンレス鏡面仕上								
	ガード	ステンレスヘアライン仕上（H=350）								
	保護幕	-								
	床マット	-								
	I T Vカメラ	●：メンテナンス用（122万画素）								
特記仕様	監視カメラ（一部用主操作盤 車いす用操作盤 インジケータ押ボタン）	AirTap 非接触ボタン（一部用主操作盤 車いす用操作盤 インジケータ押ボタン）								
	非常呼び信号 IA	故障信号 IA								
	両側セーフティシュー	先行先着キャンセル機能								
	放送用スピーカー	視覚障がい者用注意録板（かご）								
	視覚障がい者用注意録板（奥場）									
監視盤	-									
高調波対策	EMIフィルタ 零相リアクトル（標準）	-（回路分類NO.31 換算係数Ki=3.4）								
	標準+ACリアクトル	-（回路分類NO.32 換算係数Ki=1.8）								
	標準+DCリアクトル	●（回路分類NO.33 換算係数Ki=1.8）								
	標準+AC・DCリアクトル	-（回路分類NO.34 換算係数Ki=1.4）								
基本仕様										
最寄階救出運転										
戸開き不能時救出運転										
乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）										
各階強制停止運転（各停運転）										
昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応										
戸開走行保護装置										
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）登録商標）										
耐震クラス（ A14 ）										
車いす仕様										
乗 場	車いす専用乗場ボタン									
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）									
	鏡									
	手すり									
セーフティ機能	戸開放時間の延長									
	戸閉速度の低減									
	自動着床修正装置 光電式多光軸ドアセンサー									
遮煙エレベータ乗場ドア										
認定番号 04S-1263（国住参建策3170号）										
1-3 階 乗場ドアは、上記認定品とする。										
認定条件通り 停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置しております。										
遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項										
・遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。										
・建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給給します。										

特 記 仕 様		AirTap 非接触ボタン（一般用主操作盤、車いす用操作盤、インジケータ乗ボタン）	
		非常呼信号 1A	
		故障信号 1A	
		両側セーフティシュー	
		行先選キャンセル機能	
		放送用スピーカー	
		視覚障がい者用注意銘板（かご）	
		視覚障がい者用注意銘板（乗場）	
高 調 波 対 策		監視盤	
		-	
		EMI フィルタ 零相リアクトル（標準）	
		-（回路分類N0.31 換算係数Ki=3.4）	
策		標準+ACリアクトル	
		-（回路分類N0.32 換算係数Ki=1.8）	
		標準+DCリアクトル	
		●（回路分類N0.33 換算係数Ki=1.8）	
策		標準+AC・DCリアクトル	
		-（回路分類N0.34 換算係数Ki=1.4）	

基本仕様	
最寄階射出運転	
戸開き不能時救出運転	
乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）	
各階強制停止運転（各停運転）	
昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応	
戸開走行保護装置	
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）登録商標）	
耐震クラス（ A14 ）	

車いす仕様	
乗 場	車いす専用乗場ボタン
	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
	鏡
セーフティ機能	手すり
	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
光電式多光軸ドアセンサー	

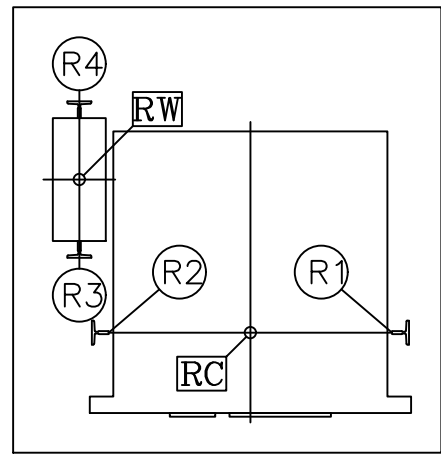
遮煙エレベータ乗場ドア	
認定番号 CAS-1263（国仕参建策3170号）	
1～3 階 乗場ドアは、上記認定品とする。	
認定条件通り 停電時自動着床装置と火災時管制運転（自動）を合わせて設置しております。	

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項	
・遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。	
・建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上、火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。	

注意事項	
1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。	
昇降機に必要な配管設備にあつては、昇降機の機能に支障無きよう願います。	
また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。	
2. エレベータ受電端における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。	
3. 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにして下さい。	
4. 昇降路には有毒ガスや甚だしい塵あい等が入らないようにして下さい。	
5. 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。	
6. エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）	
7. 据付工事前仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。	
8. 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。	

※昇降路内温度の制約	
下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。	
・昇降路内温度が40℃を超える場合（エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）	
・エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合	
エレベータ機器発熱量 二かご用ク＝ラ＝含む二	437 W
エレベータ機器発熱量による 昇降路内温度上昇	7℃以下
※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。	

工 事 区 分 表						
エレベータ工事内容		建 築	電 気	設 備	昇降機	備 考
昇 降 路	01	昇降路築造工事、防火区画工事 コンクリート強度は 21 N/mm^2 以上とする 昇降路のコンクリート壁厚は 150 mm 以上 昇降路の壁（囲い）は、 5 cm^2 の任意の面に直角方向の外力（ 300 N ）が作用しても 15 mm を超える変形及び塑性変形を生じない構造とする		○		
	02	ビット防水仕上工事		○		
	03	ビット点検用タラップの設置工事				○
	04	ビットに段差がある場合の転落防止対策（金網等）		○		
	05	ビットが法定又は必要寸法より深い場合の埋め戻し工事		○		
	06	ビット下利用がある場合、二重スラブ又はつり合いおもり側の直下部厚壁工事		○		
	07	昇降路が鉄骨構造の場合の鉄骨材の耐火、及び飛散防止処理工事		○		
	08	レール取付用ビーム設置工事		○		
	09	レールブラケット取付用立柱及びファスナープレートの設置工事		○		
	10	昇降路頂部に揚重用吊りフック又は、吊り鋼材の設置工事		○		
	11	昇降路換気設備工事（昇降路・機械室内温度は 40°C 以下）			○	
	12	昇降路換気設備用配管・配線工事		○		
	13	昇降路に換気設備が設けられない場合の給排気ダクト設置工事			○	
乗 場	14	各階出入口の開口工事及び補強（インジケータ・押ボタン等の開口を含む）		○		
	15	各階乗場機器取付用部材（三方枠・敷居・押ボタン等）の設置工事		○		
	16	各階乗場機器取付後の周囲床等の埋め戻し工事		○		
	17	各階乗場機器取付後の周囲壁及び床等の仕上工事		○		
	18	各階三方枠取付後の裏詰め工事並びに耐火処理工事		○		
電 気	19	100V点検用コンセント設備工事（機械室内および昇降路ビット）			○	
	20	昇降路頂部および機械室内の煙感知器設備工事（昇降路内の露出配管は不可）			○	
	21	動力用電源（接地線含む）のエレベータ昇降路または機械室受電盤（制御盤）迄の配管・配線工事			○	
	22	エレベータ遠隔監視用電話回線工事			○	
	23	館内放送（スピーカー）付の場合の信号線引込工事			○	
	24	照明用電源のエレベータ昇降路制御盤迄の配管・配線工事			○	
	25	クーラー用電源のエレベータ昇降路制御盤迄の配管・配線工事			○	
	26	昇降機用インターホン（親機・子機）の設置工事				○
	27	昇降路外の監視盤関係・インターホン等昇降機に必要な配管・配線工事			○	
	28	昇降機用自家発電源の供給			○	
	29	昇降機の監視盤設置工事				○
	30	その他信号線の昇降路外配管配線工事			○	
	31	エレベータと防火シャッター等の運動用接点信号の配管・配線の引込工事			○	
そ の 他	32	地震時非常着床用の避難通路照明及び非常灯設置工事		○		
	33	乗場戸に近接して設ける防火シャッター等の防火区画工事（建設省告示第1111号の廃止による）		○		
	34	その他建築に関する工事		○		



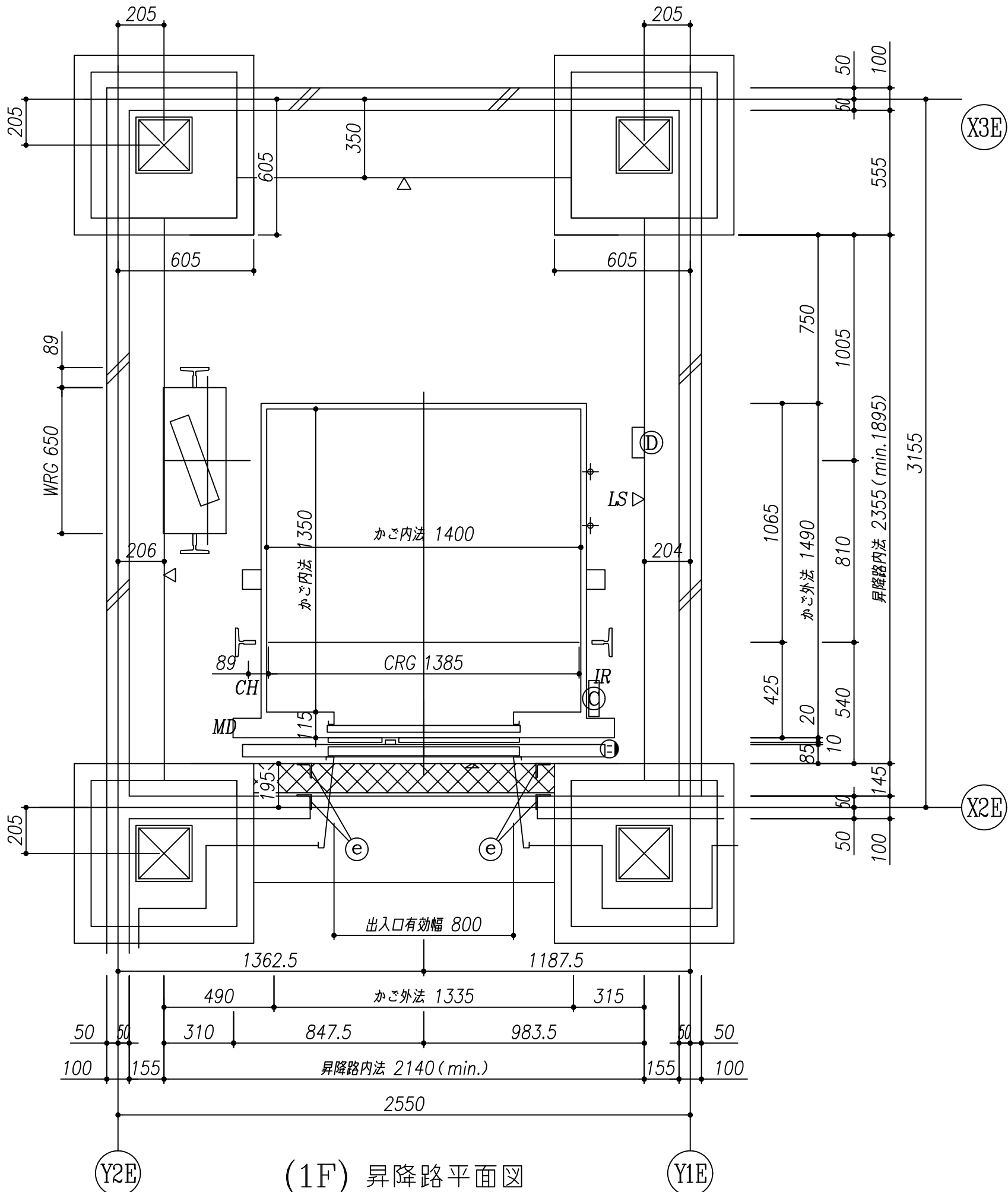
ピット部反力 (kN) : 長期荷重			
R1	R2	R3	R4
23	4	41	19

ピット床衝撃力 (kN) : 短期荷重	
RC	RW
67	57

レールに作用する荷重値 (kN)			
P y	P x	P y	P x
かご	6	3.8	
おもり	7	8.7	
短期荷重による建築部材のたわみは 5mm以下としてください			

電源設備 (1台当たり) 【電気工事】				
記号	種別	線種等	引込み高さ	引出し線長さ
⊕	動力用電源	3φ 3W AC 200V 50Hz	3FL+2800	5000 mm
		幹線サイズ (mm ²)		
		幹線こう長 (m)		
		電気室ブレーカ (A)		
		接地線 (mm ²)		
		電源設備容量 (kVA)		
		全負荷定速時電流 (A)		
		全負荷加速時電流 (A)		
		制御盤内降圧トランス容量 (kVA)		
	自家発動力用電源	-		
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 50Hz	3FL+2600	1000 mm
		照明用電源容量 (kVA)		
	クーラー用電源	-	3FL+2600	4000 mm
	ピットコンセント	AC100V 10A 1個		
	遠隔監視用配線	別途打ち合わせによる		
	弱電関係用配線	別途打ち合わせによる		

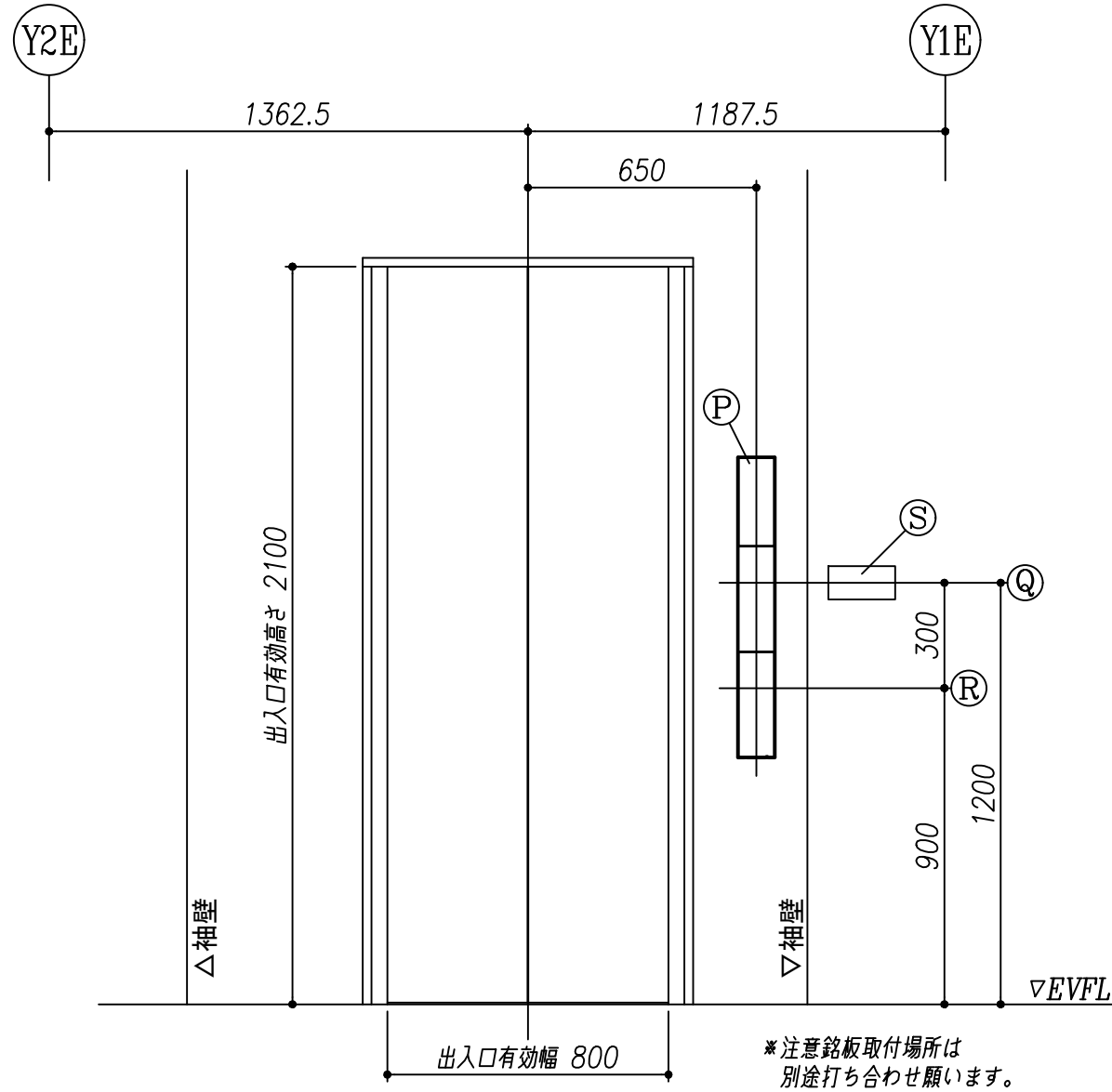
高調波 (高周波ノイズ) への注意事項	
電源側遮断器に漏電遮断器等を設置する場合は、下記対応を実施願います。	
1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は昇降機1台あたり50mA (感度設定値100mA相当) の漏洩電流として設定下さい。	
2. 昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。	
また高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、下記対策を推奨します。	
1. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。	
2. 昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。	
3. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。	
4. 昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。	



(1F) 昇降路平面図

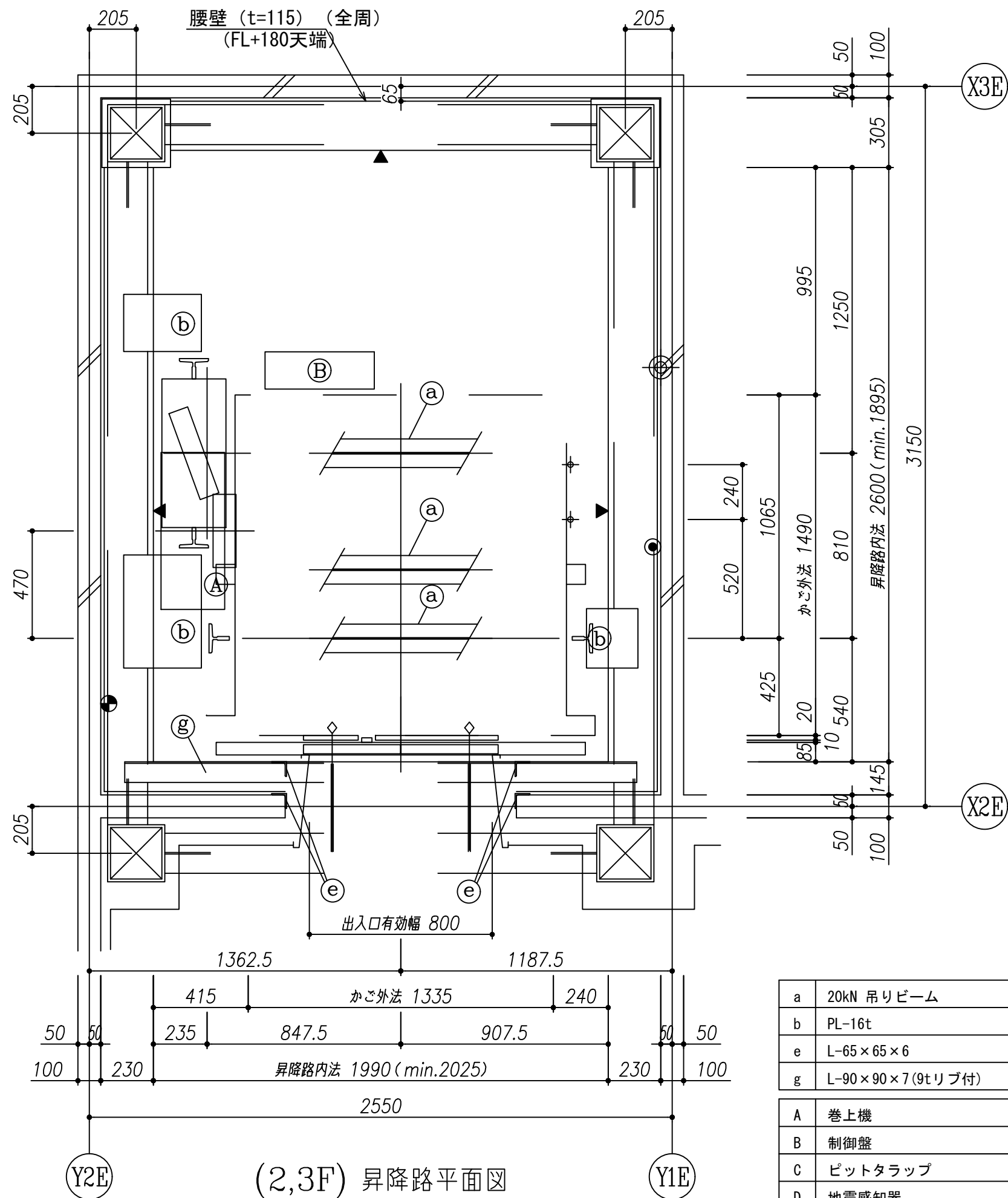
注: ピット内は、塗膜防水仕上願います。
△: 防水仕上面を示す。(CON天=EVFL-20)

⊗: 地中梁増打ち (CON天=EVFL-20) (建築工事)



出入口正面図

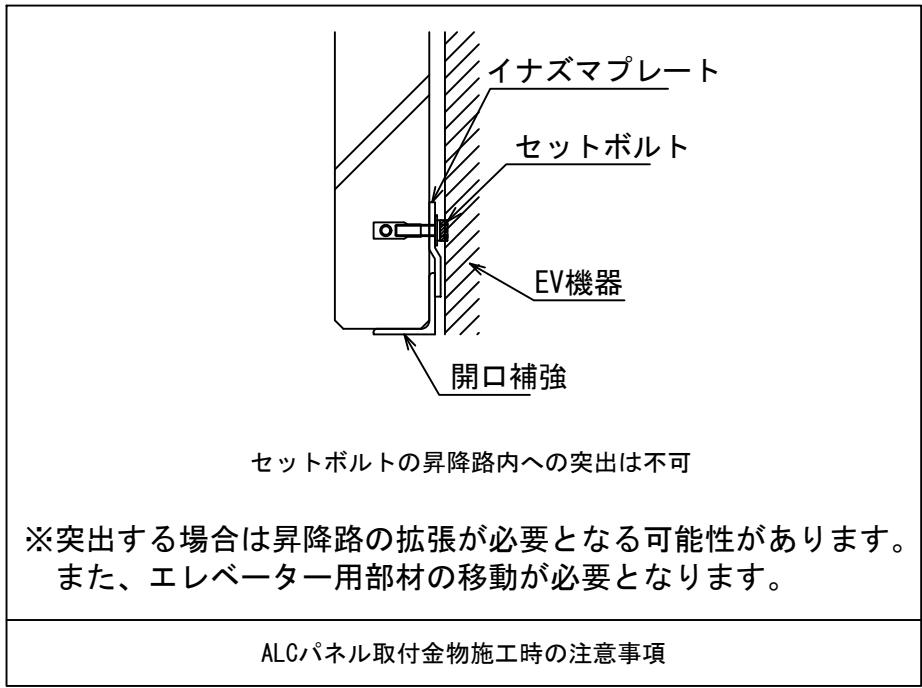
P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯
S	視覚障がい者用注意銘板



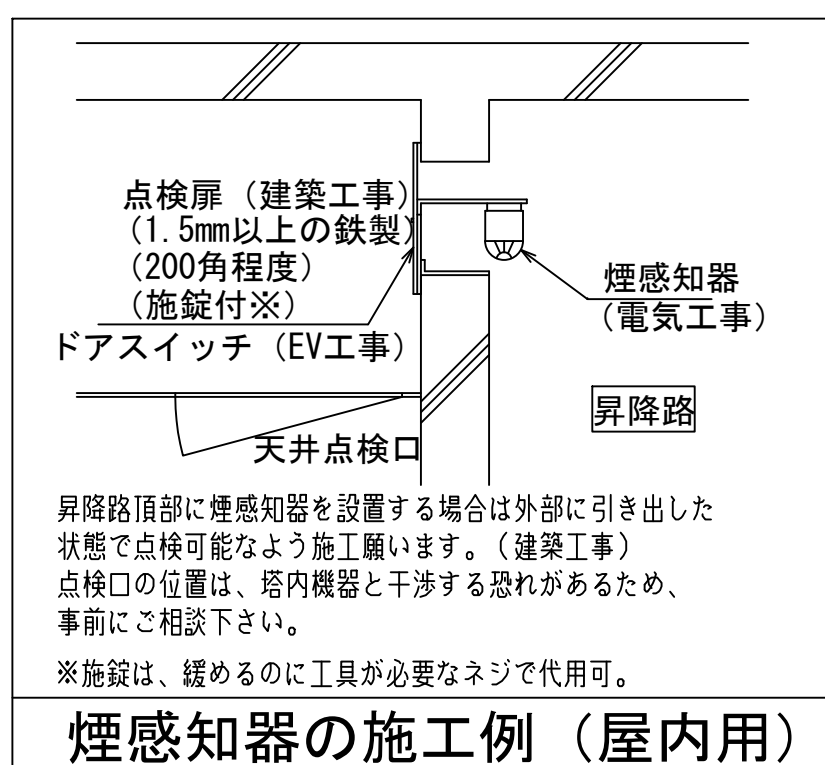
(2,3F) 昇降路平面図

▲: 耐火ビク面を示す。(t=25)
◇: リブ設置位置を示す。

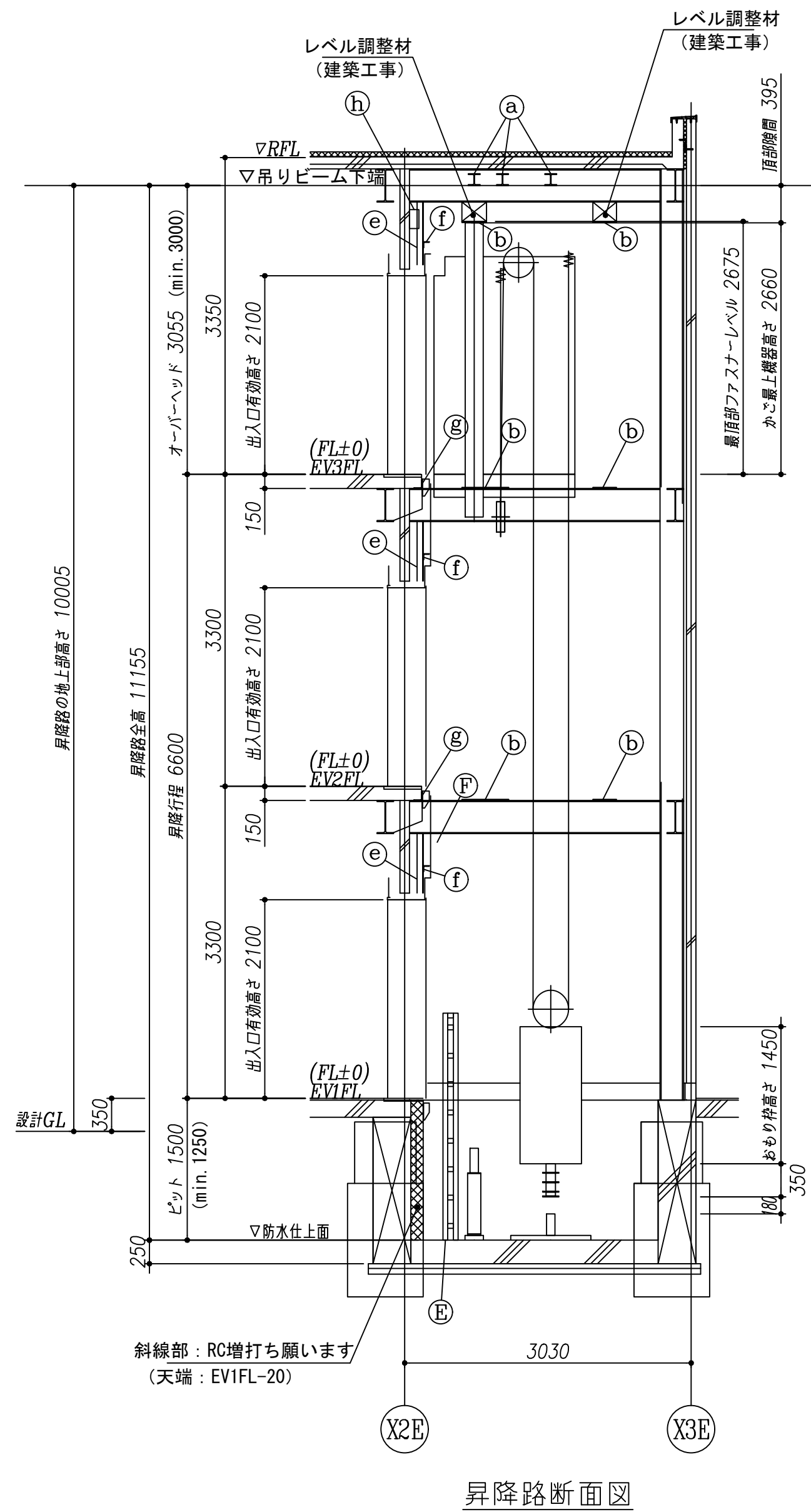
a	20kN 吊りビーム	(建築工事)
b	PL-16t	
e	L-65×65×6	
g	L-90×90×7 (9tリブ付)	(EV工事)
A	巻上機	
B	制御盤	
C	ピットタラップ	
D	地震感知器	



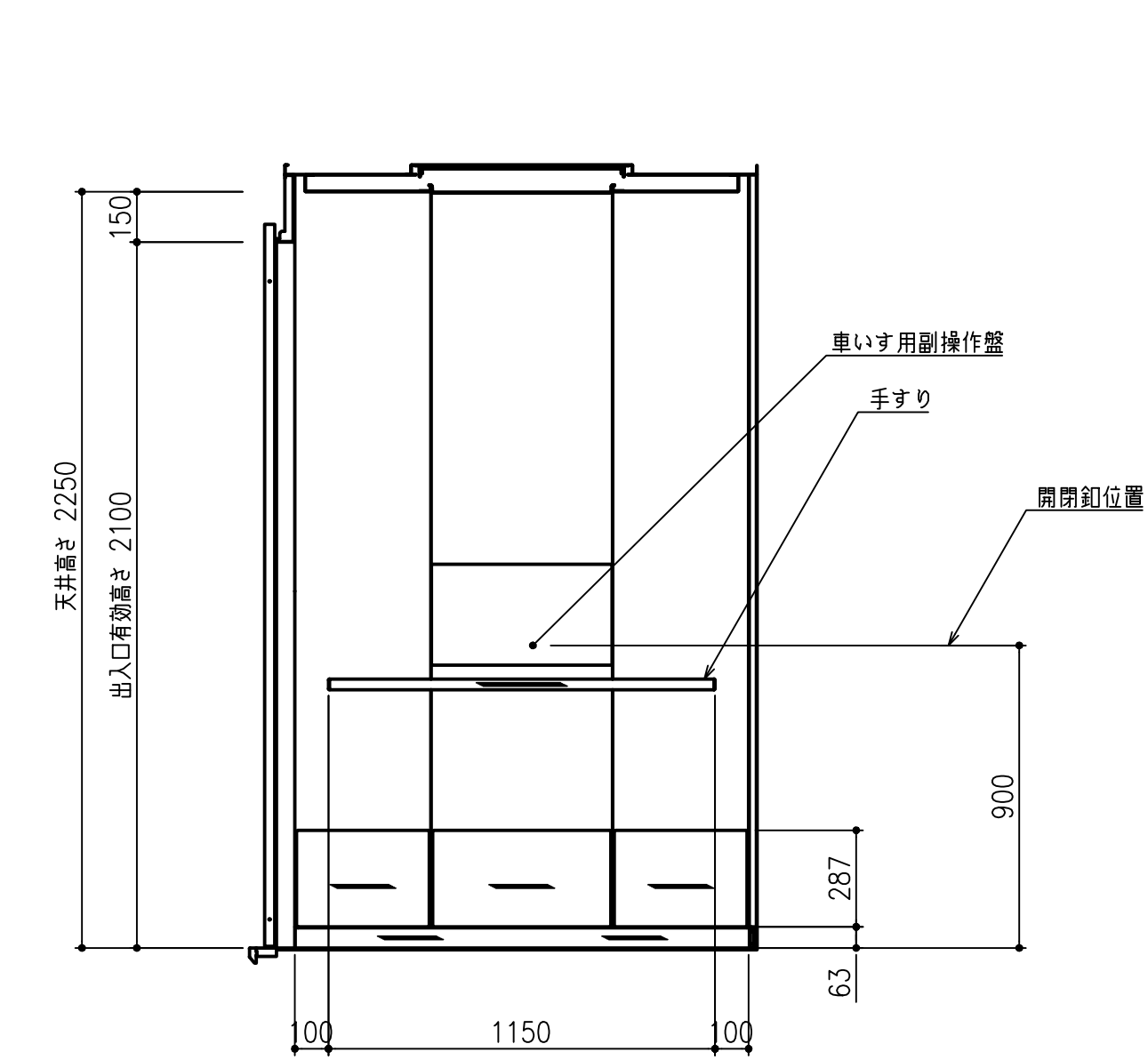
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	昇降機設備図-2		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:20	図面番号	A-72
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



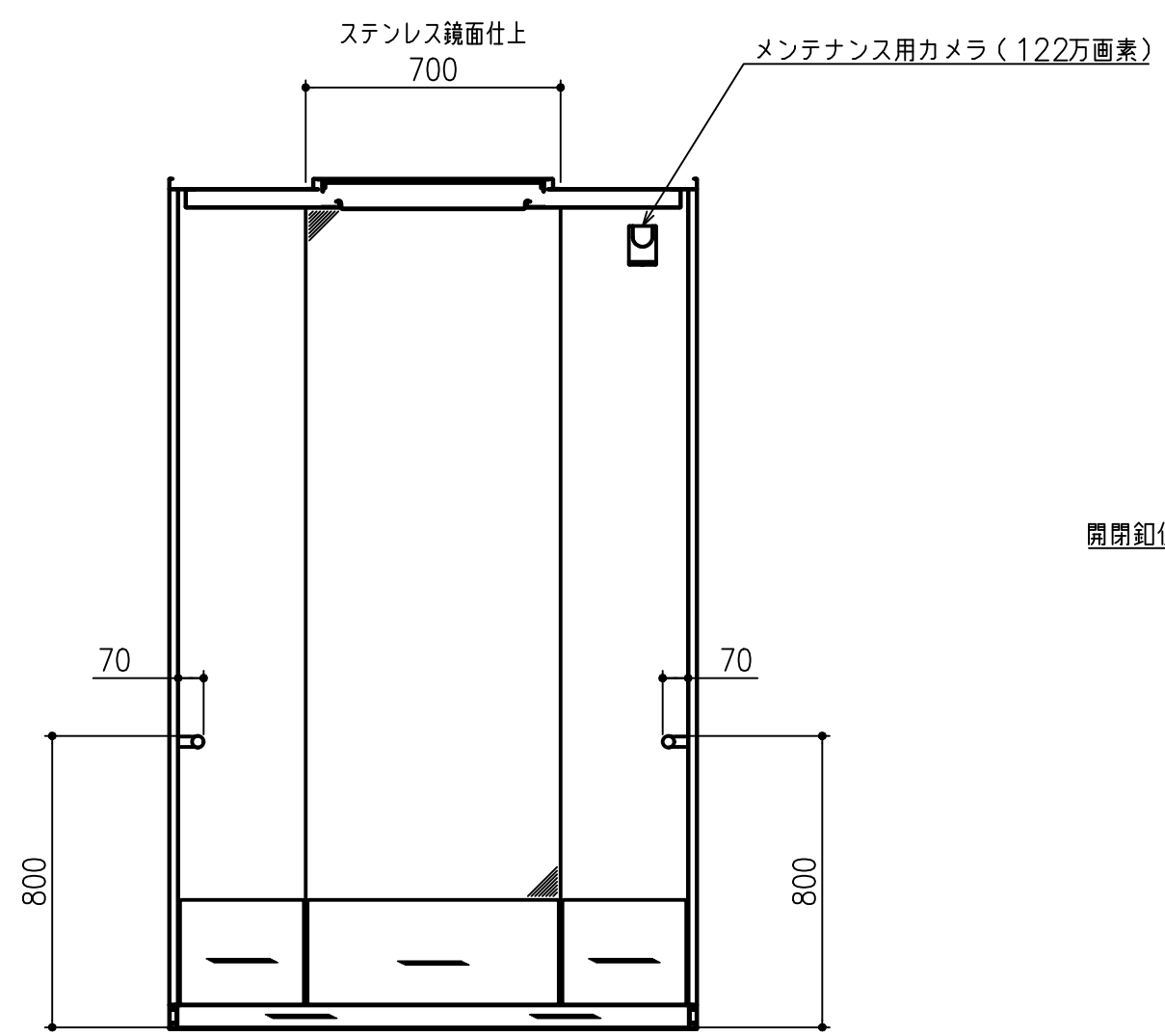
a	20kN 吊りビーム	(建築工事)
b	PL-16t	
e	L-65×65×6	
f	L-65×65×6	
g	L-90×90×7(9tリブ付)	
h	煙感知器	(電気工事)
E	タフアップ	(EVI事)
F	フェッシャー・プレート	



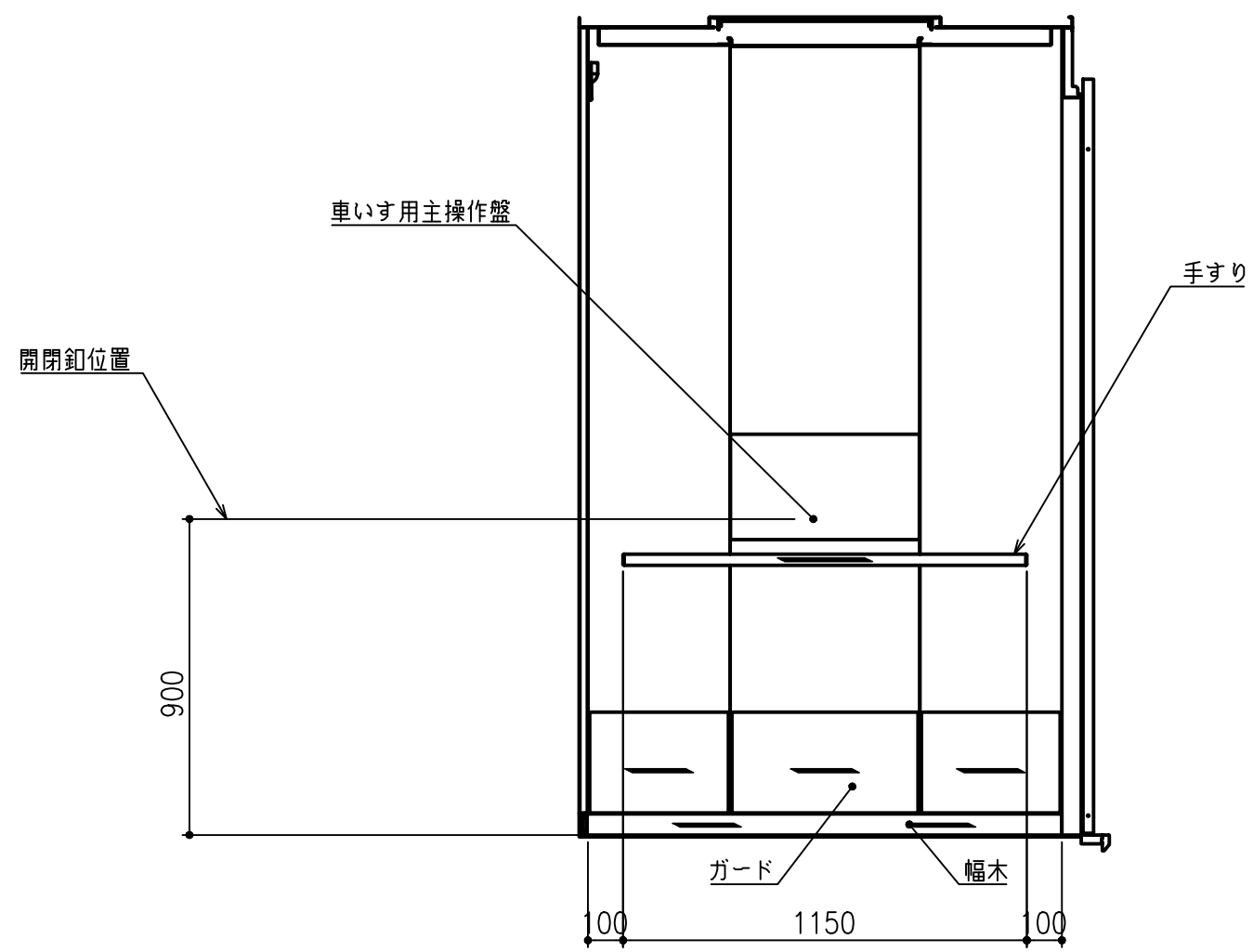
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	昇降機設備図-3		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:50	図面番号	A-73
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



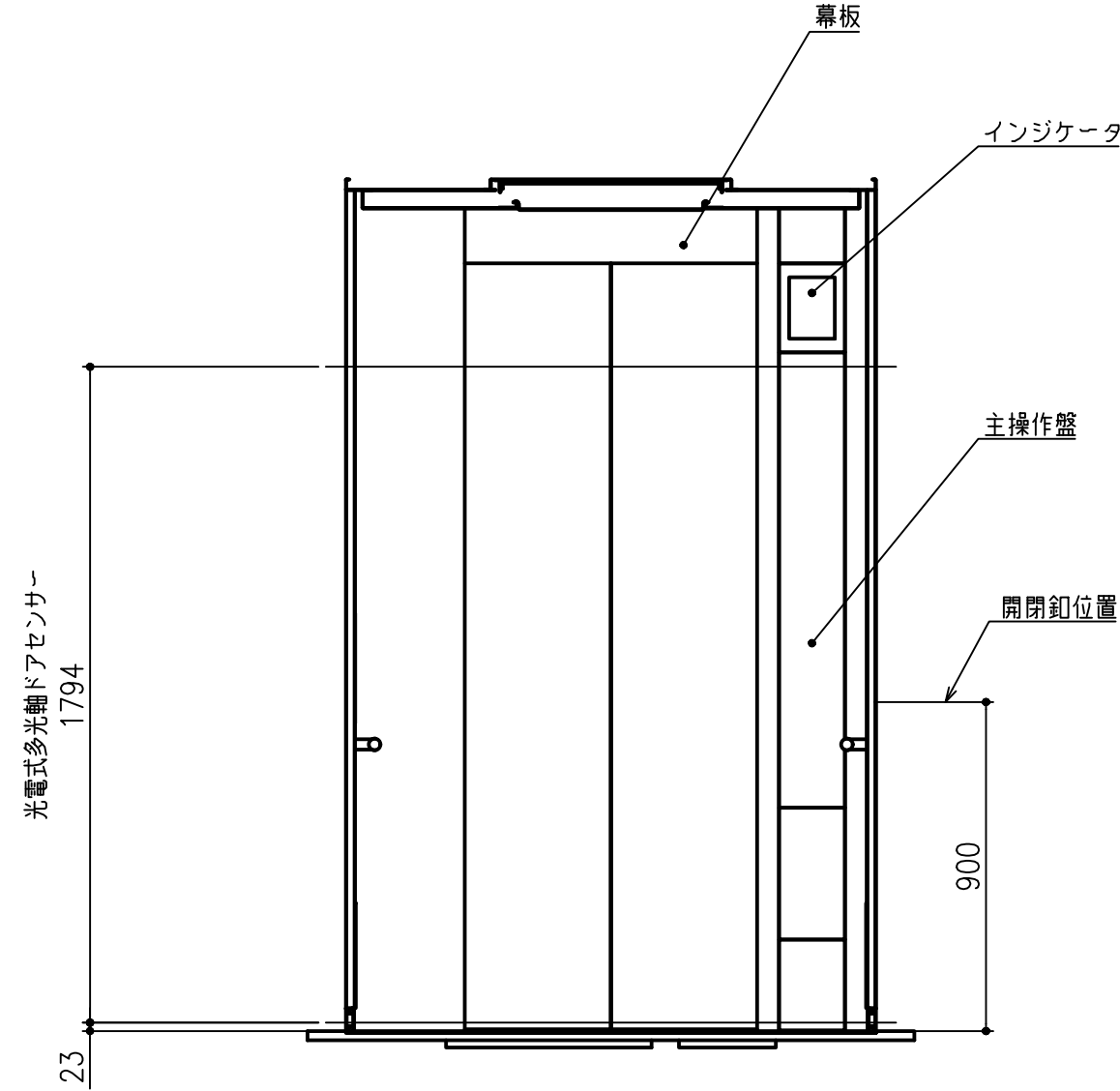
矢視 A



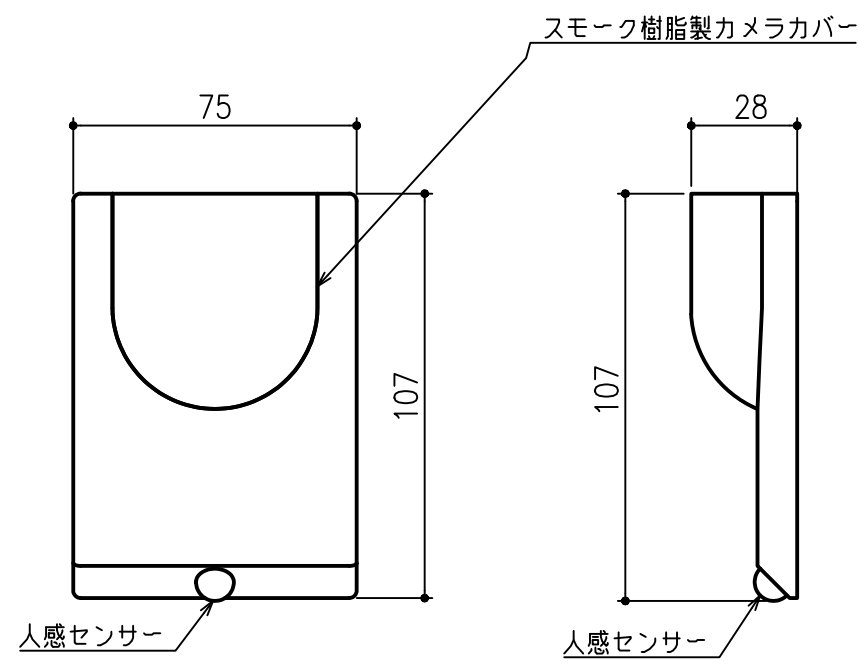
矢視 B



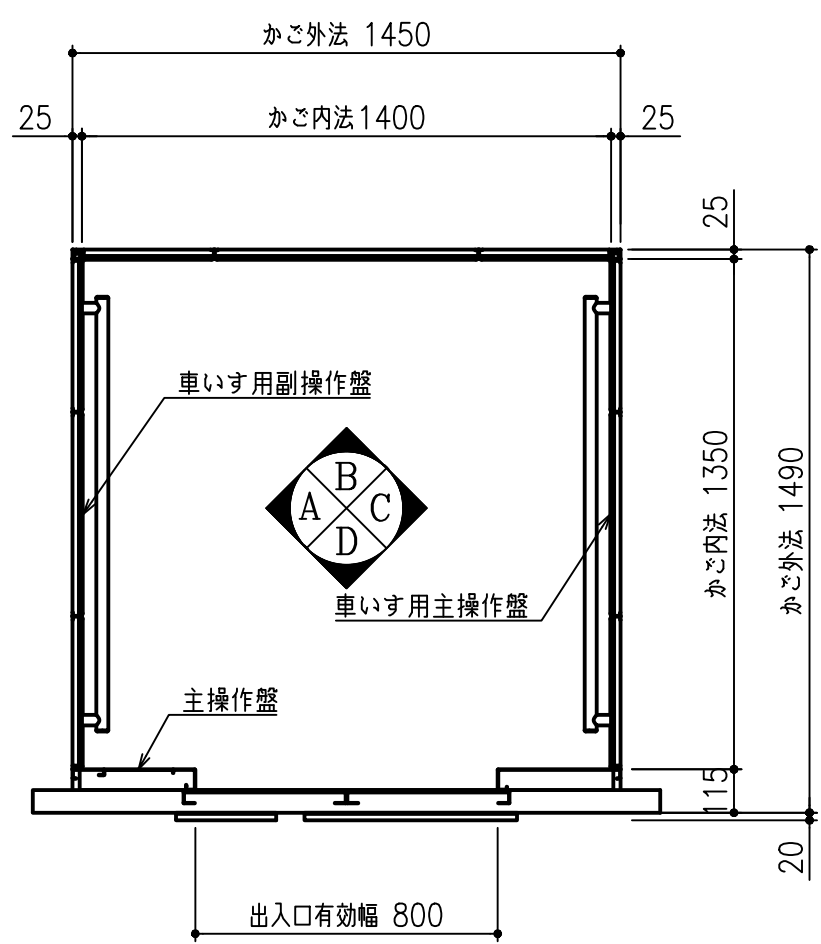
矢視 C



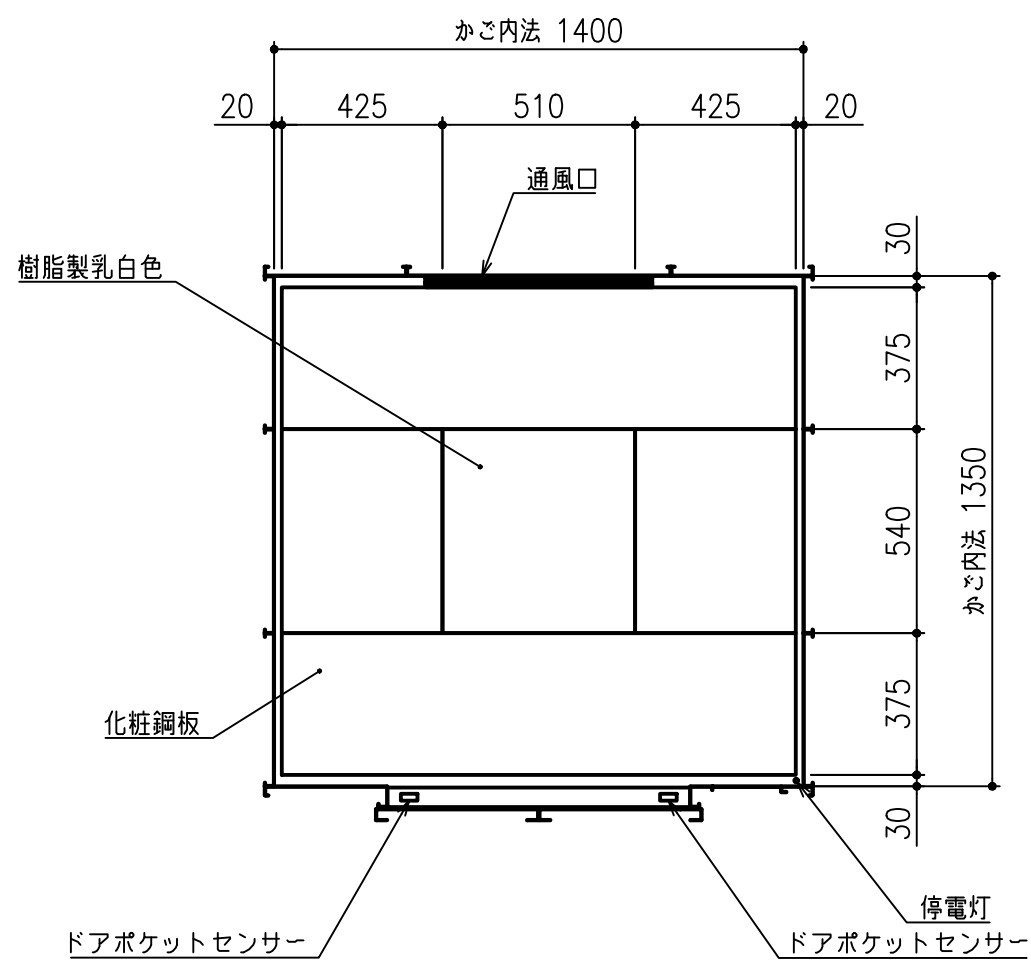
矢視 D



カメラ詳細図



かご平面図



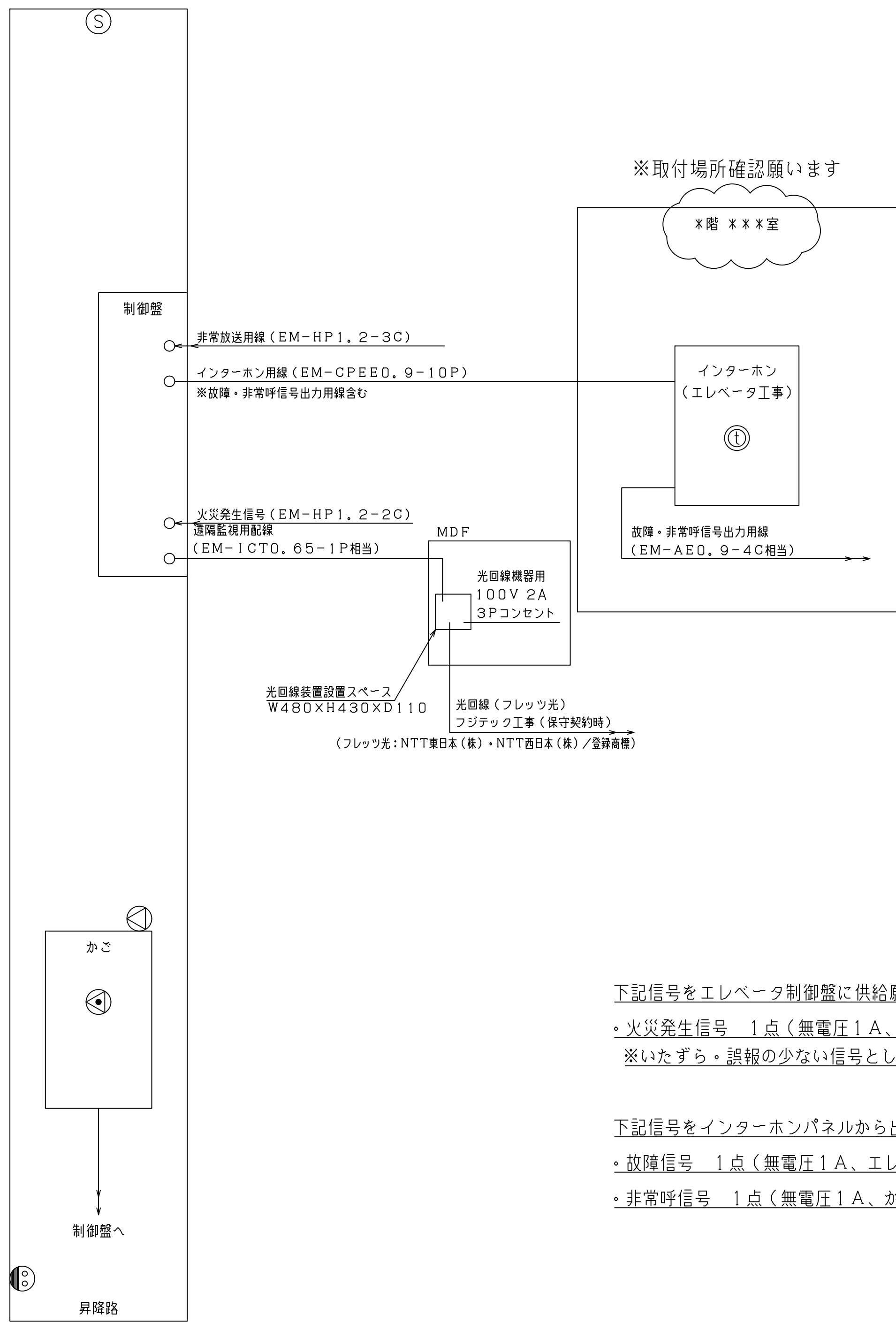
天井見上図

項目	意匠内容
かご内法	間口 1400 mm × 奥行 1350 mm
出入口寸法	幅 800 mm × 高さ 2100 mm
積載	積載 750 kg / 定員 11 名
側壁	化粧銅板
幕板	化粧銅板
扉	化粧銅板
天井	スタンダードタイプ (SC-01)
袖壁	ステンレスパイプレーション仕上 (入口柱一体)
幅木	ステンレスヘアライン仕上
床	t=3.0 ビニールタイル
敷居	硬質アルミ製
照明	LED照明 (白色)
停電灯	LED
換気装置	クロスフローファン (イオンフル付)
手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上 (端部・支持部: ステンレスブラスト仕上)
ガード	t=1.5 ステンレスヘアライン仕上
鏡	t=2.0 ステンレス鏡面仕上 (背面中央パネル)
付属品	音声案内装置 放送用スピーカー ドアポケットセンサー 光電式ドアニック 光電式多光軸ドアセンサー 両側セーフティシュー 点字 メンテナンス用カメラ (122万画素)

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	昇降機設備図-4		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:20	図面番号	A-74
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

凡 例

- ① インターホン親機……………（エレベータ工事）
- ② インターホン子機……………（エレベータ工事）
- ⑤ 煙感知器……………（電気工事）
- ⑧ 点検用コンセント……………（電気工事）
- ⑨ スピーカー……………（エレベータ工事）
- 配管・配線……………（電気工事）



下記信号をエレベータ制御盤に供給願います（接点容量 DC24V 0.1A）

- ・火災発生信号 1点（無電圧1A、平常時OFF、火災発生中時ON連続）

※いたずら・誤報の少ない信号としてください

下記信号をインターホンパネルから出力します（接点容量 DC24V 0.1A）

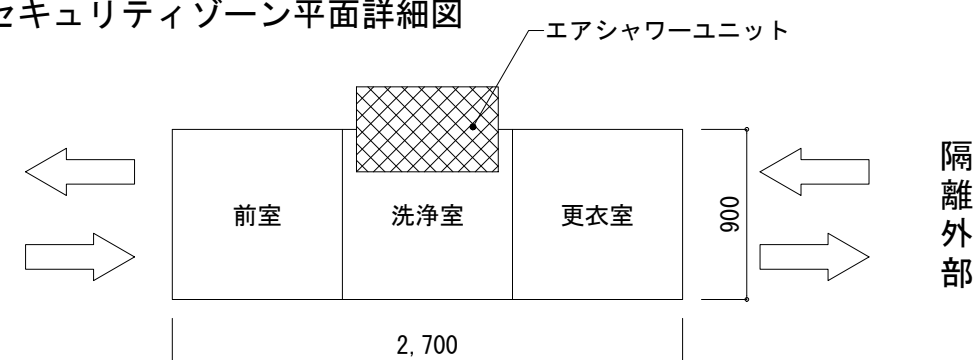
- ・故障信号 1点（無電圧1A、エレベーターが故障中時ON、故障回復時OFF）
- ・非常呼信号 1点（無電圧1A、かご内非常呼ボタンが押されている時のみON）

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	昇降機設備図-5		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	No Scale	図面番号	A-75
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



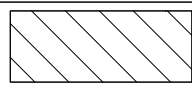
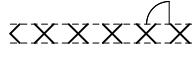
- ・床面は、厚さ0.15mmのプラスチックシートを2枚重ねて端まで覆い、端部は30cm折り返し、接着テープで留める。
- ・壁面は厚さ0.10mmのプラスチックシートで端まで覆い、接着テープで上面と床面に留める。

除去作業場所



※GL+350=FL±0

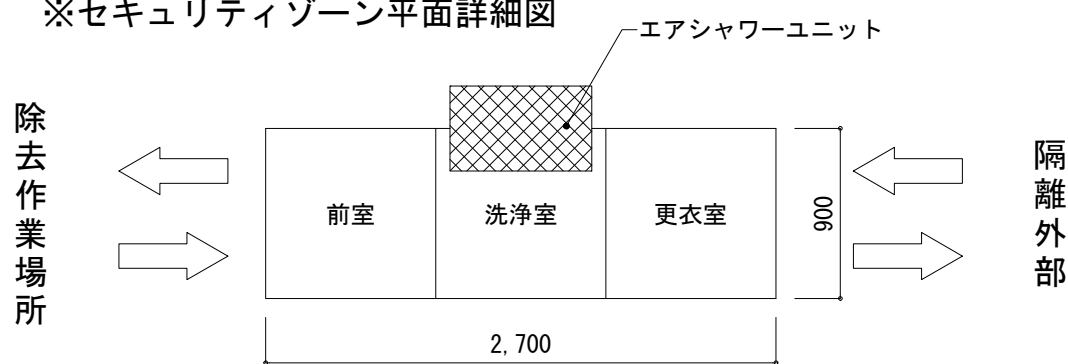
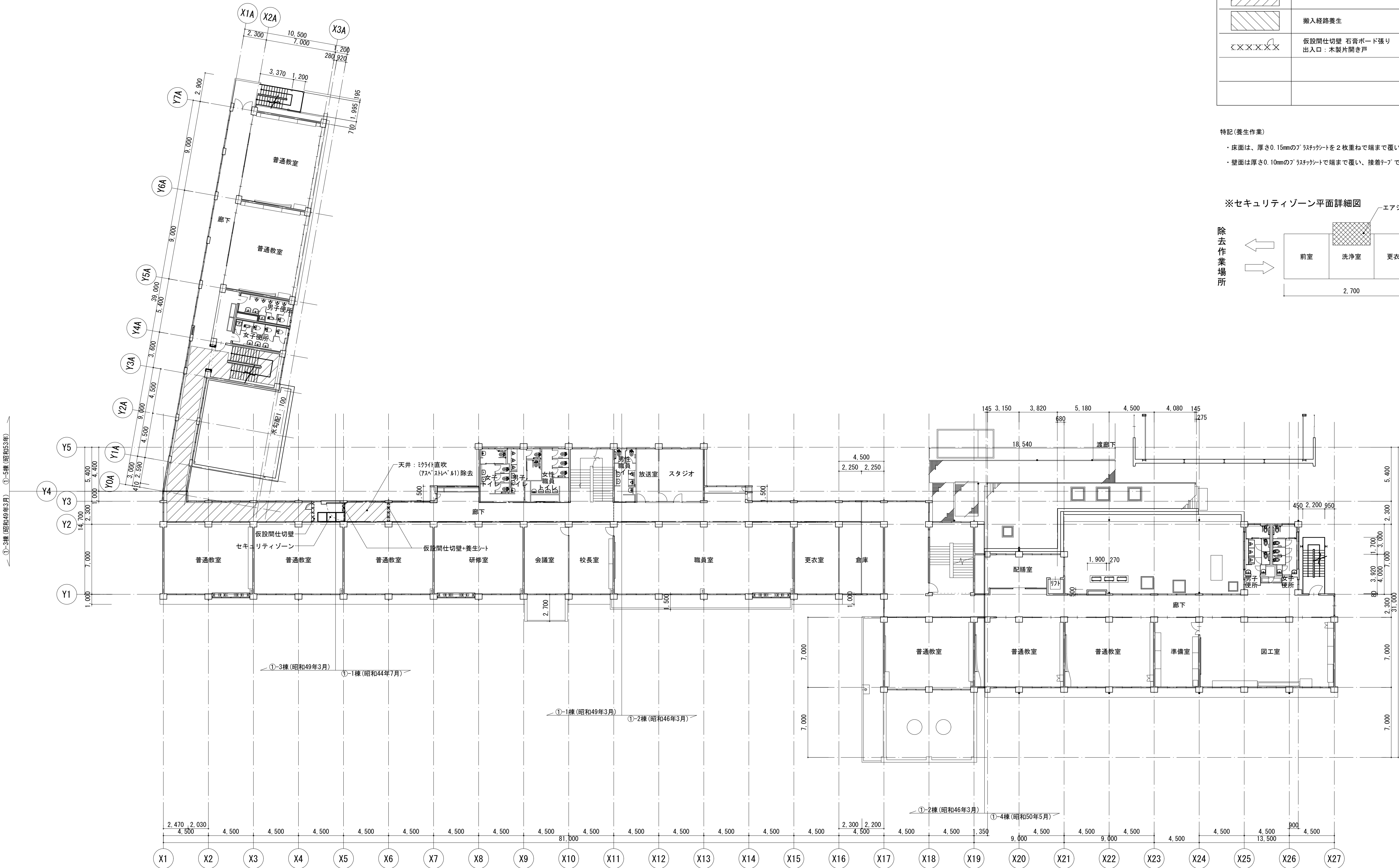
工事名	松戸市立東部小学校エレーター設置工事		
図面名	[1期]アスベスト除去 1階内部仮設計画図(案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮尺	1:200	図面番号	A-76
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保課			

仮設凡例	
	養生、脚立足場
	搬入経路養生
	仮設間仕切壁 石膏ボード張り 出入口：木製片開き戸

特記（養生作業）

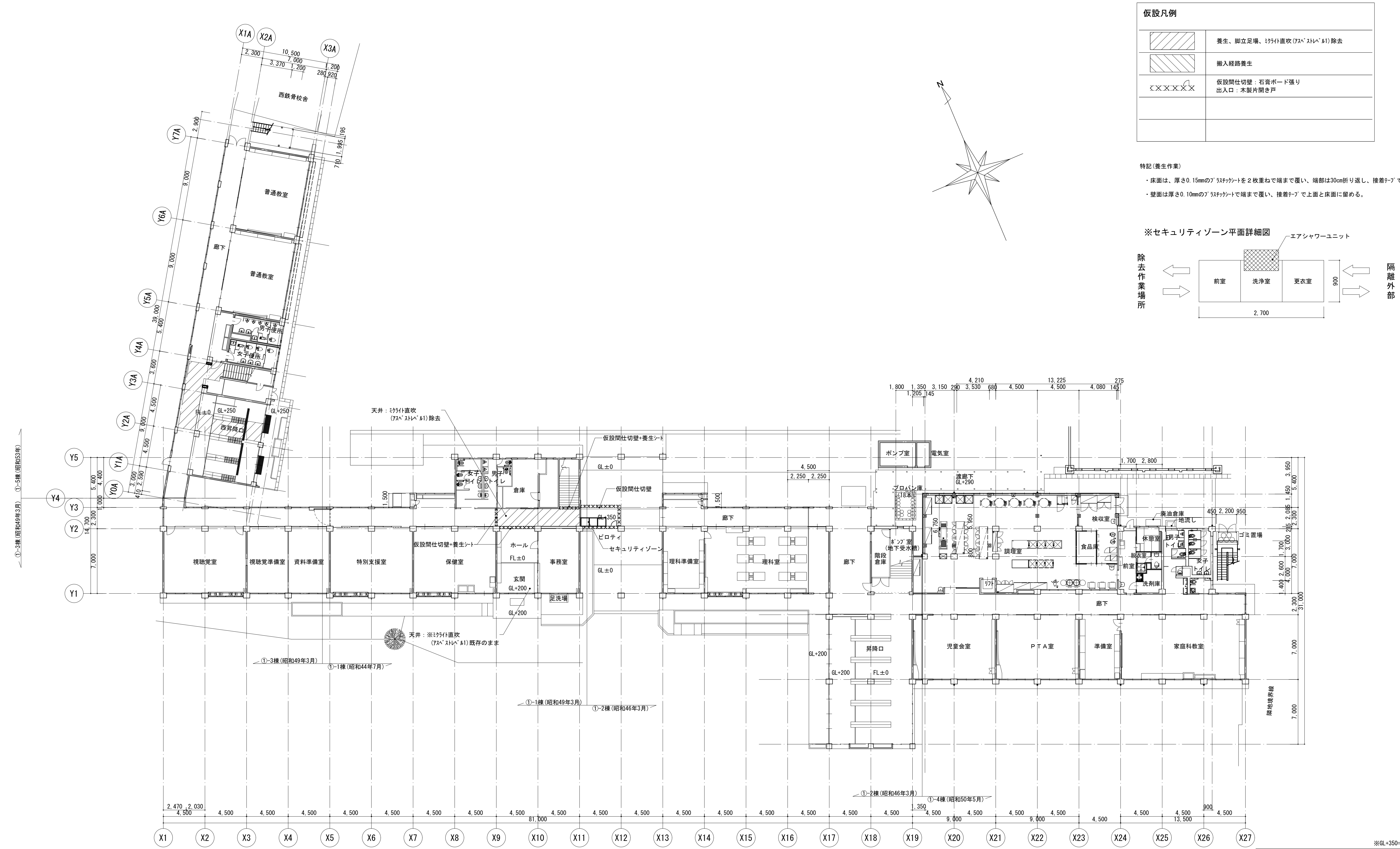
- ・床面は、厚さ0.15mmのプラスチックシートを2枚重ねで端まで覆い、端部は30cm折り返し、接着テープで留める。
- ・壁面は厚さ0.10mmのプラスチックシートで端まで覆い、接着テープで上面と床面に留める。

※セキュリティゾーン平面詳細図



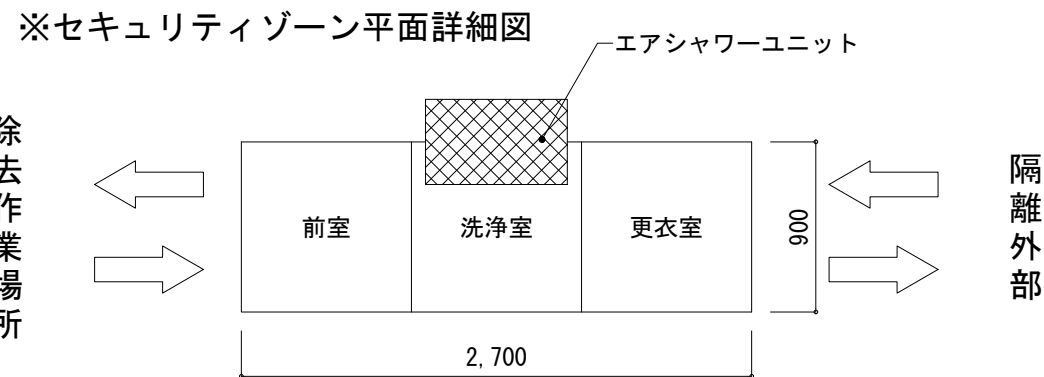
[1期] アスベスト除去 2階内部仮設計画図(案) S=1:200

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[1期]アスベスト除去 2階内部仮設計画図(案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-77
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



仮設凡例	
	養生、脚立足場、ミカド直吹(7ｽﾍﾞｽﾄﾚｰﾙ)除去
	搬入経路養生
	仮設間仕切壁：石膏ボード張り 出入口：木製片開き戸

- 特記(養生作業)
- ・床面は、厚さ0.15mmのプラスチックシートを2枚重ねで端まで覆い、端部は30cm折り返し、接着テープで留める。
 - ・壁面は厚さ0.10mmのプラスチックシートで端まで覆い、接着テープで上面と床面に留める。

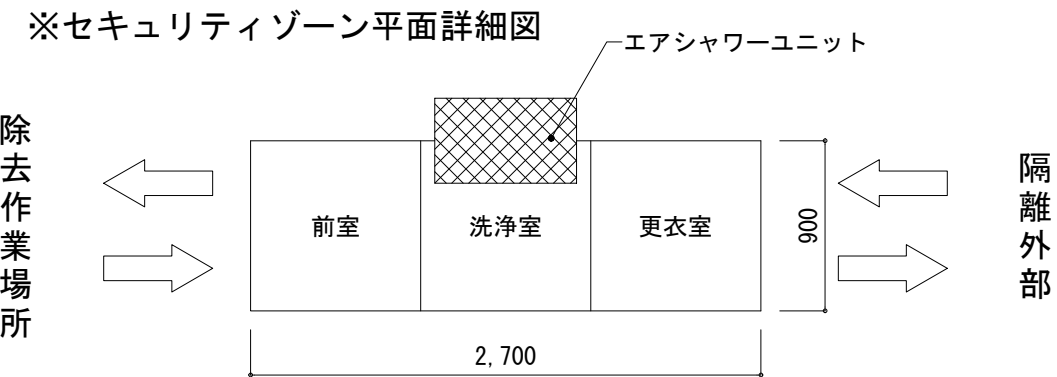
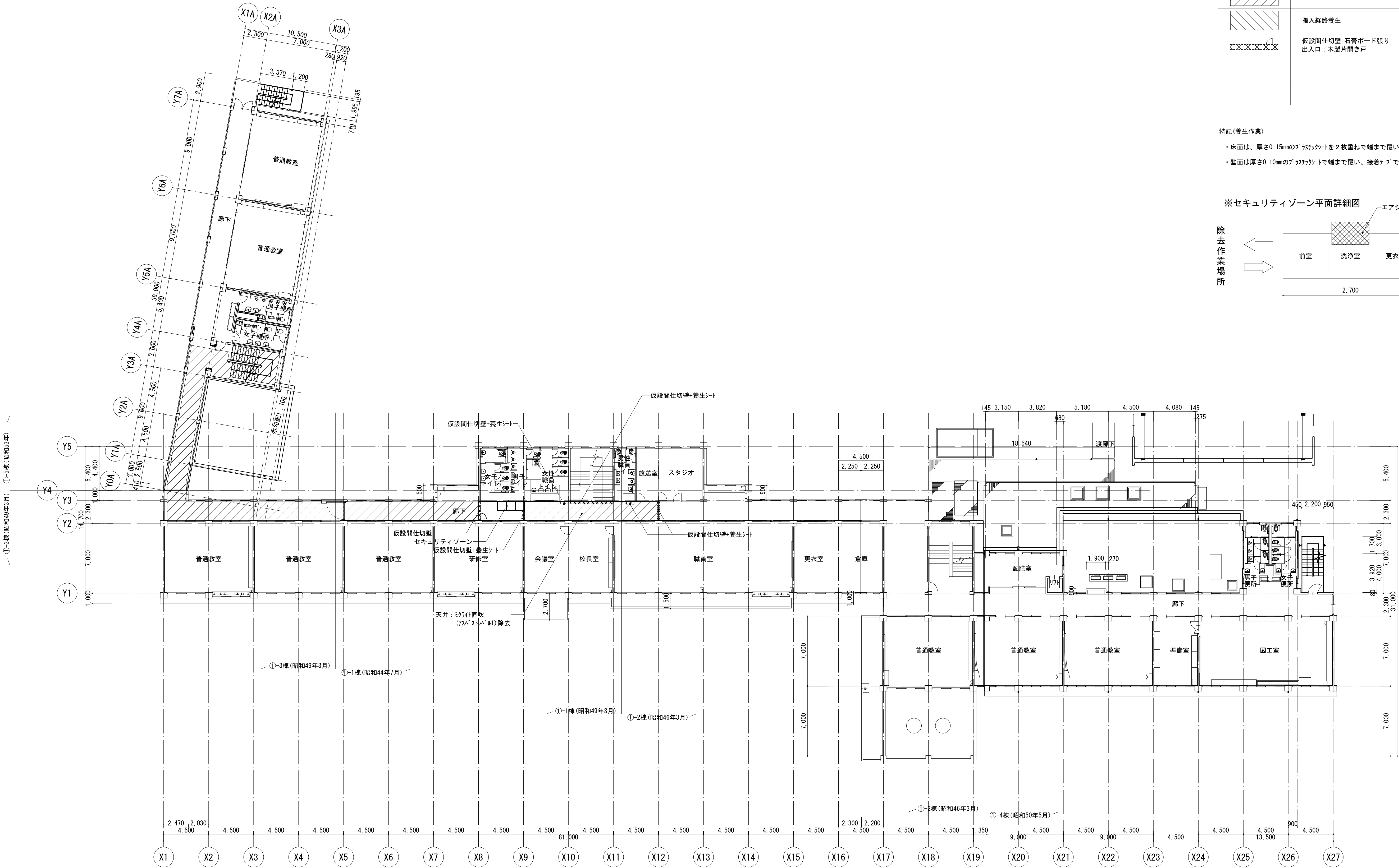


[2期]アスベスト除去 1階内部仮設計画図(案) S=1:200

※GL+350=FL±0			
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[2期]アスベスト除去 1階内部仮設計画図(案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:200	図面番号	A-78
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

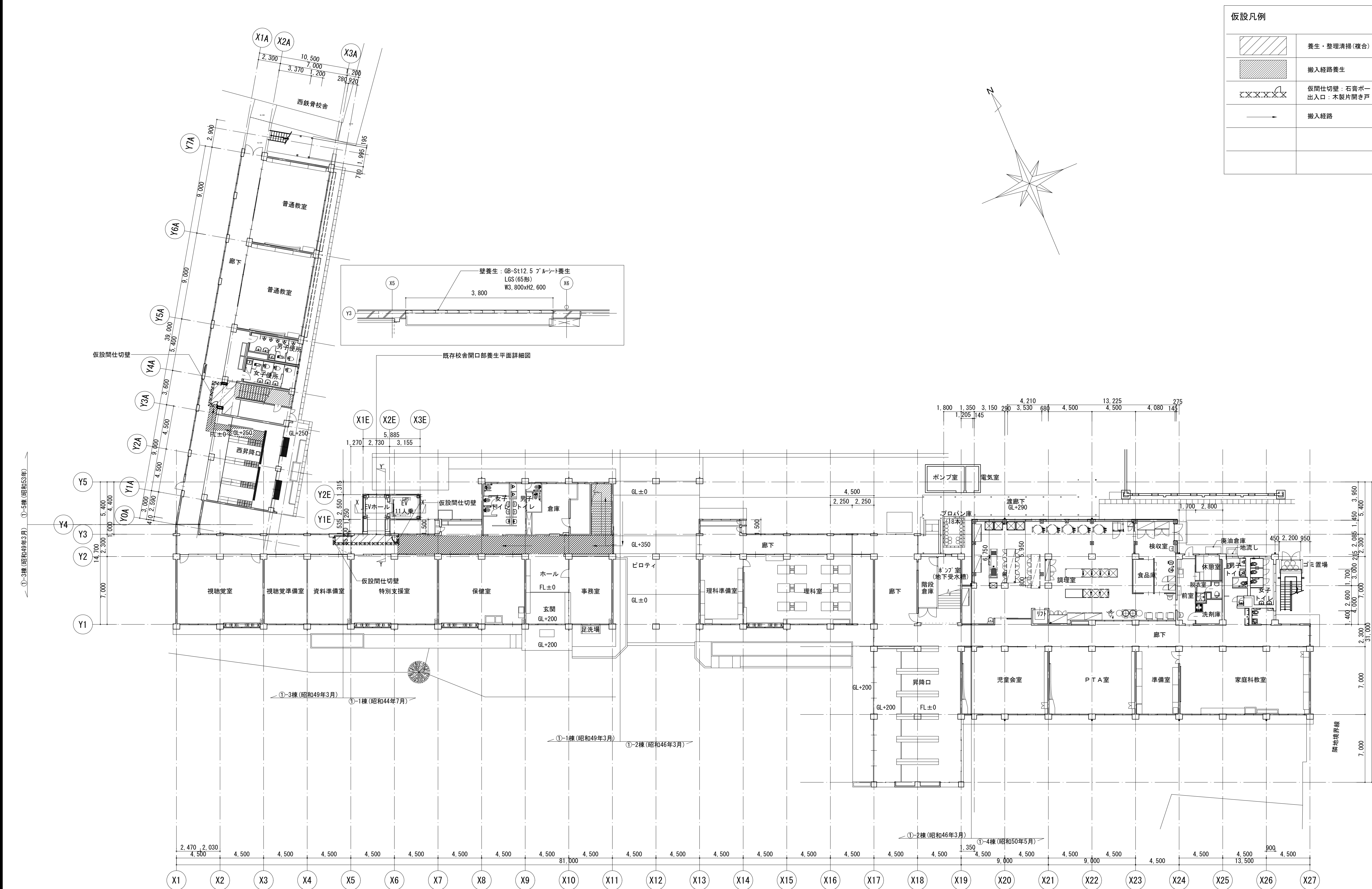
仮設凡例	
	養生、脚立足場
	搬入経路養生
	仮設間仕切壁 石膏ボード張り 出入口：木製片開き戸

- 特記(養生作業)
- ・床面は、厚さ0.15mmのプラスチックシートを2枚重ねで端まで覆い、端部は30cm折り返し、接着テープで留める。
 - ・壁面は厚さ0.10mmのプラスチックシートで端まで覆い、接着テープで上面と床面に留める。



[2期]アスベスト除去 2階内部仮設計画図(案) S=1:200

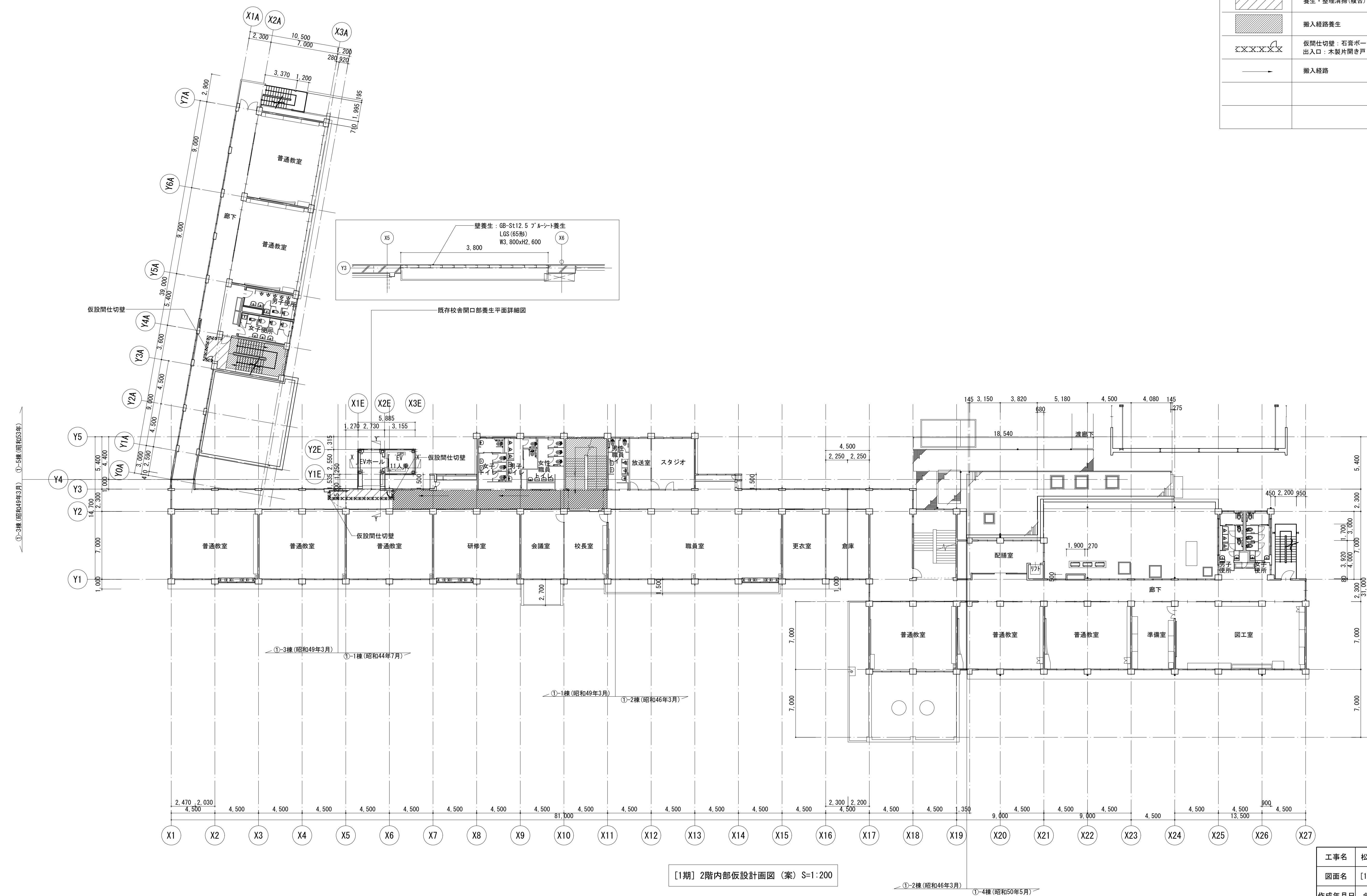
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[2期]アスベスト除去 2階内部仮設計画図(案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:200	図面番号	A-79
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



[1期] 1階内部仮設計画図 (案) S=1:200

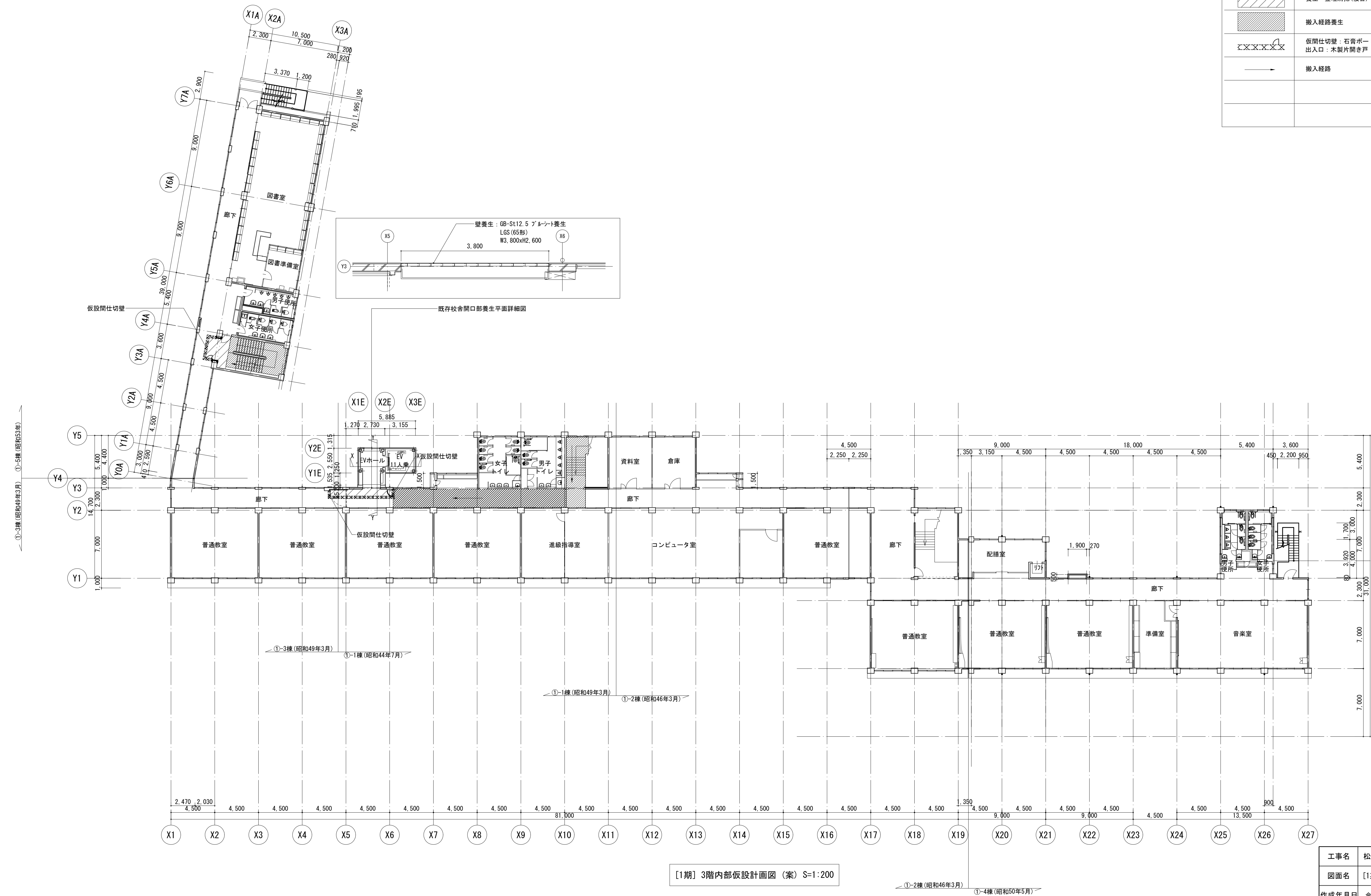
工 事 名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[1期]1階内部仮設計計画図 (案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:200	図面番号	A-80
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

仮設凡例	
	養生・整理清掃(複合)・脚立足場
	搬入経路養生
	仮間仕切壁：石膏ボード張り 出入口：木製片開き戸
	搬入経路



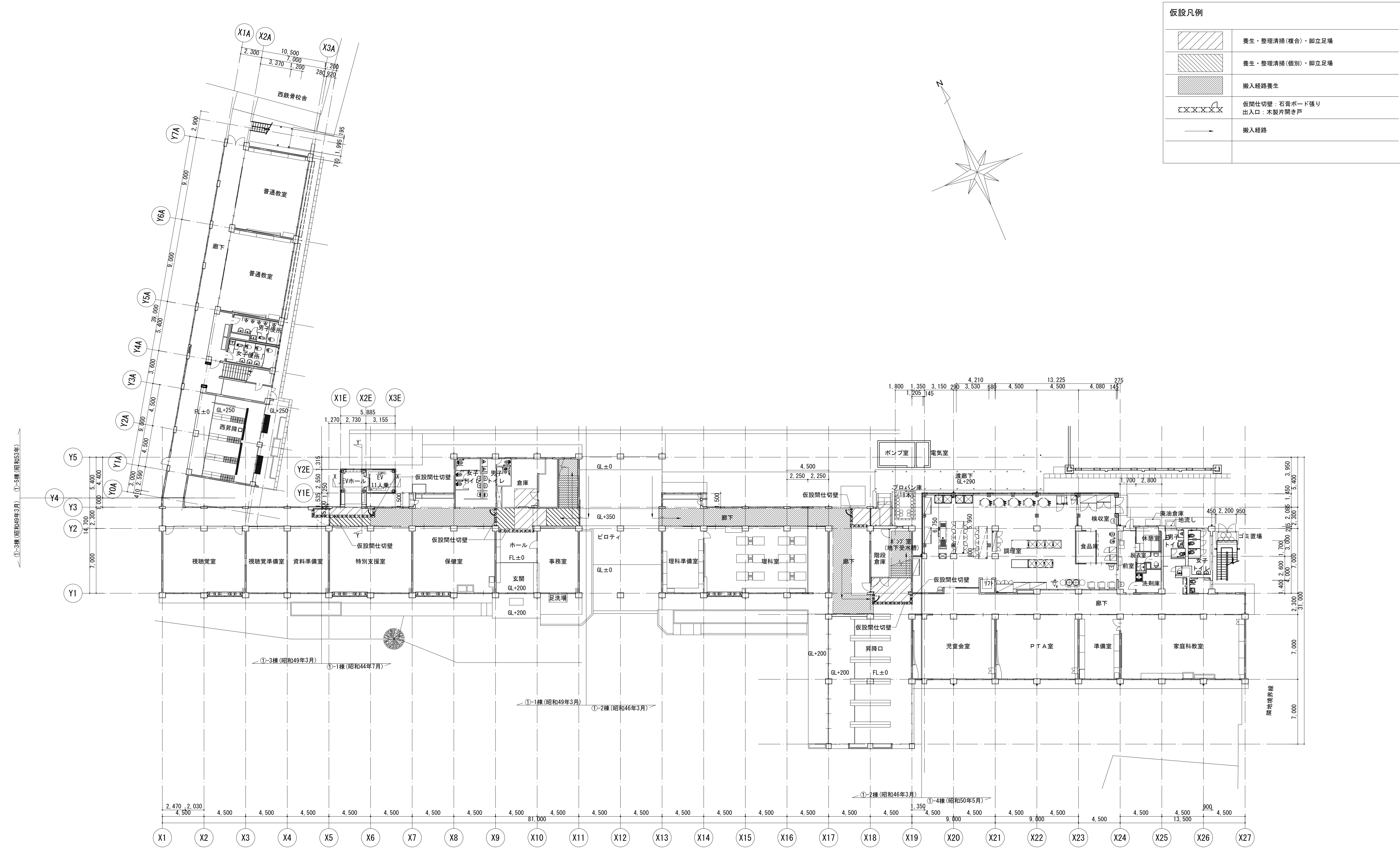
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[1期] 2階内部仮設計画面図 (案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-81
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

仮設凡例	
	養生・整理清掃(複合)・脚立足場
	搬入経路養生
	仮間仕切壁：石膏ボード張り 出入口：木製片開き戸
	搬入経路



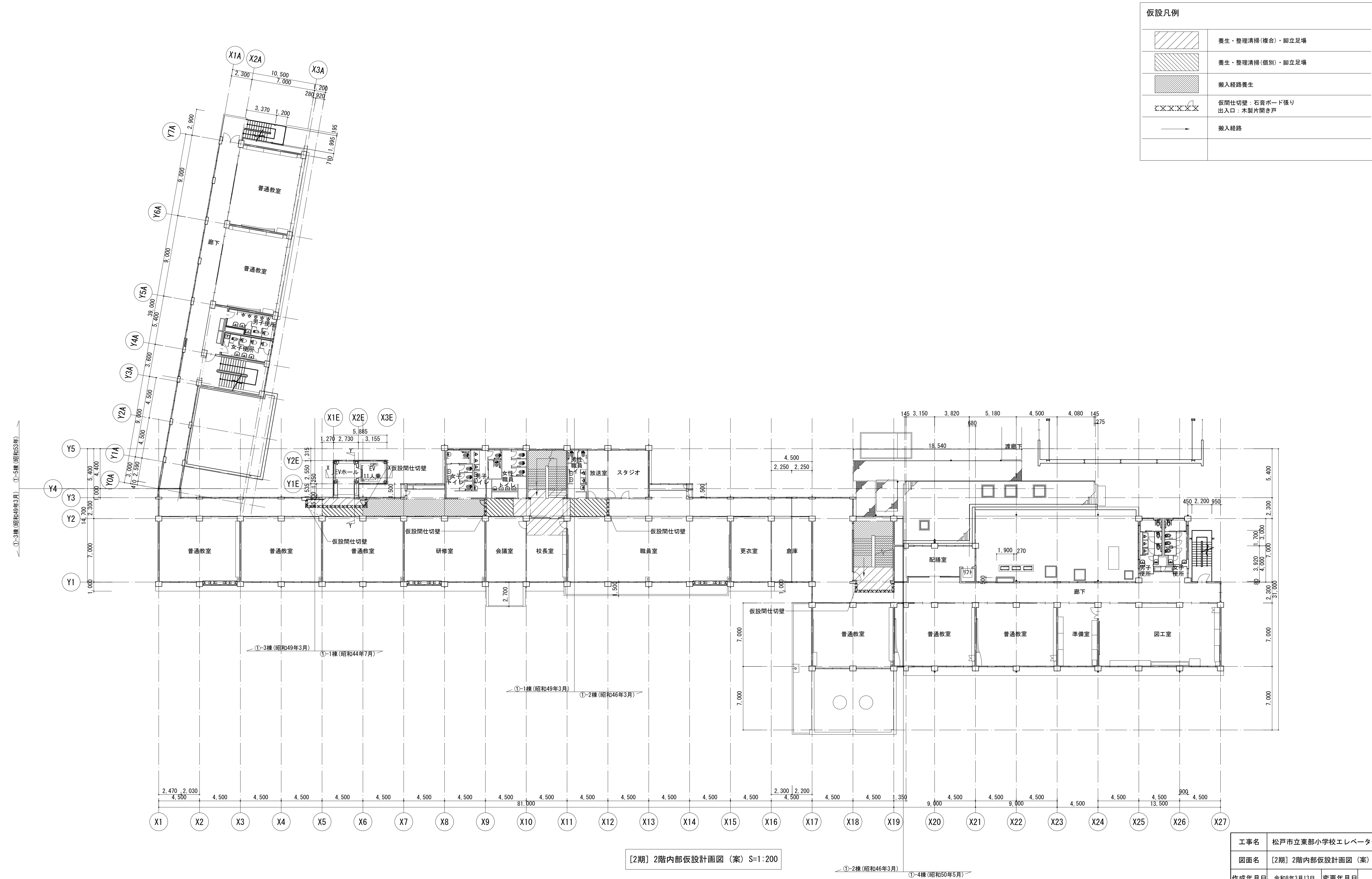
[1期] 3階内部仮設計画図 (案) S=1:200

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[1期] 3階内部仮設計画図 (案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-82
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



[2期] 1階内部仮設計画図 (案) S=1:200

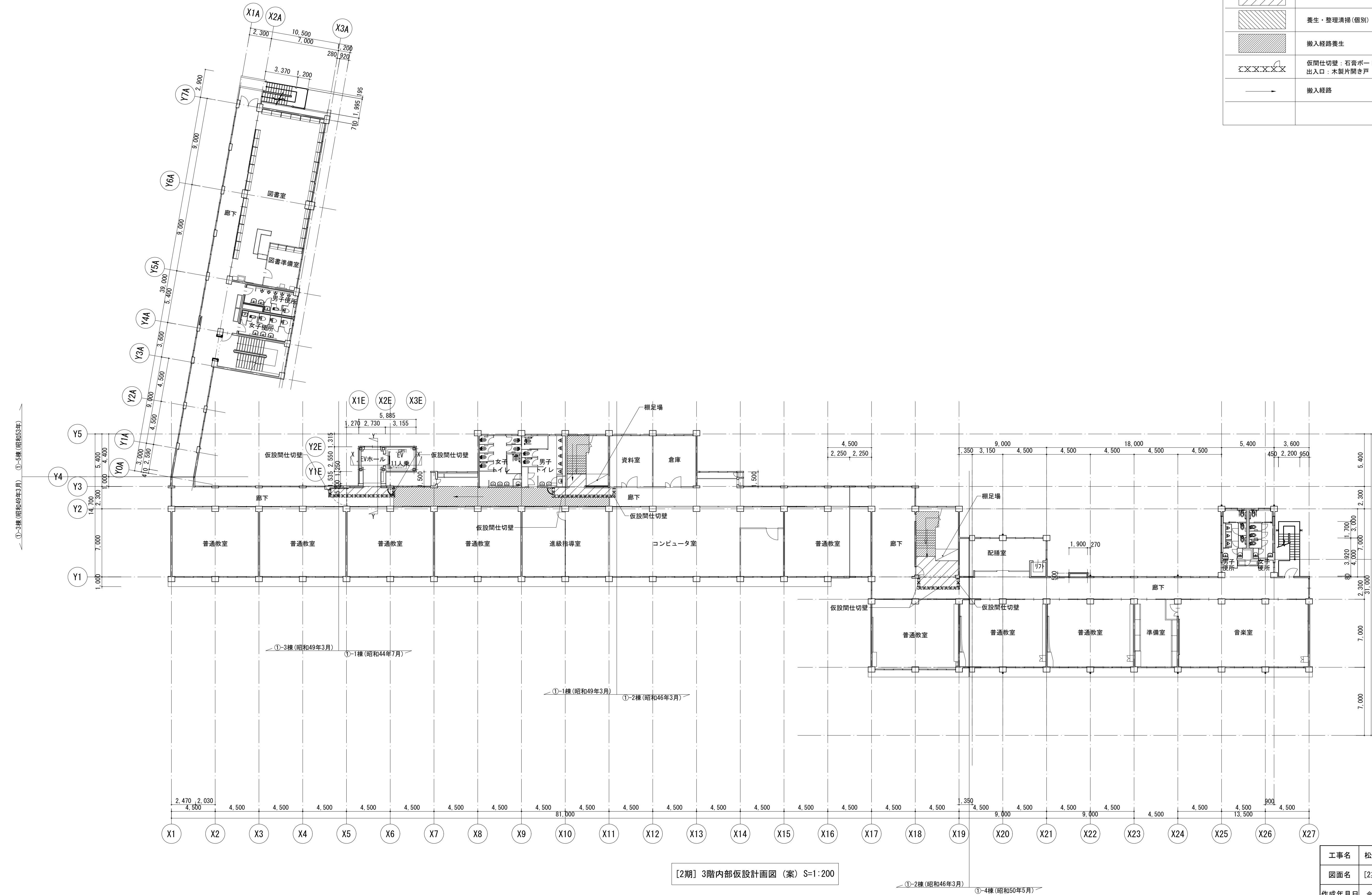
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[2期] 1階内部仮設計画図 (案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	-
縮 尺	1:200	図面番号	A-83
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



[2期] 2階内部仮設計画図 (案) S=1:200

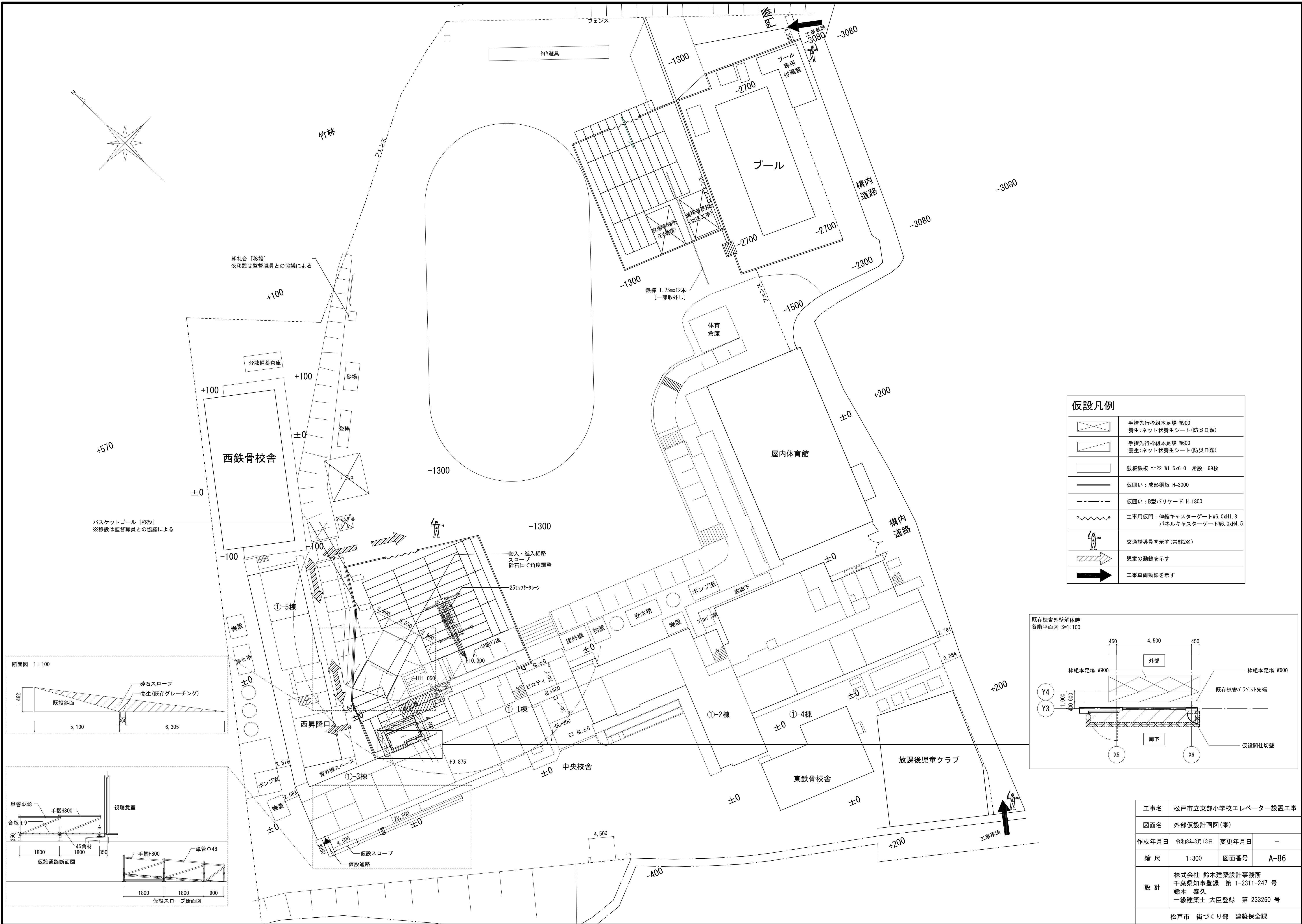
工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[2期] 2階内部仮設計画図 (案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-84
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

仮設凡例	
	養生・整理清掃(複合)・脚立足場
	養生・整理清掃(個別)・脚立足場
	搬入経路養生
	仮設間仕切壁：石膏ボード張り 出入口：木製片開き戸
	搬入経路

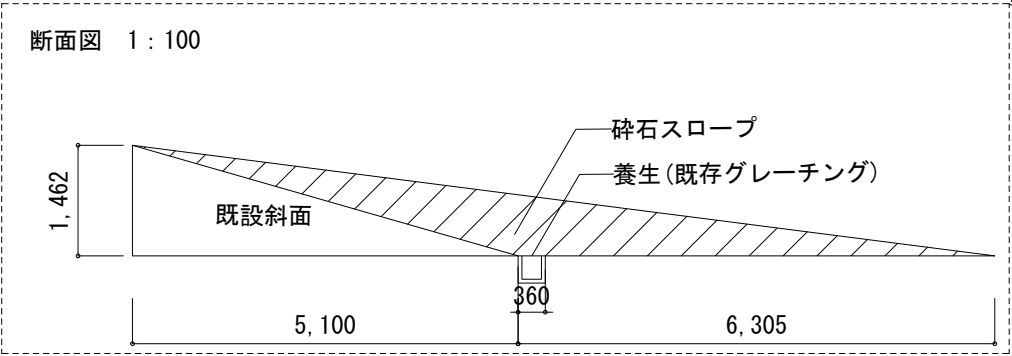
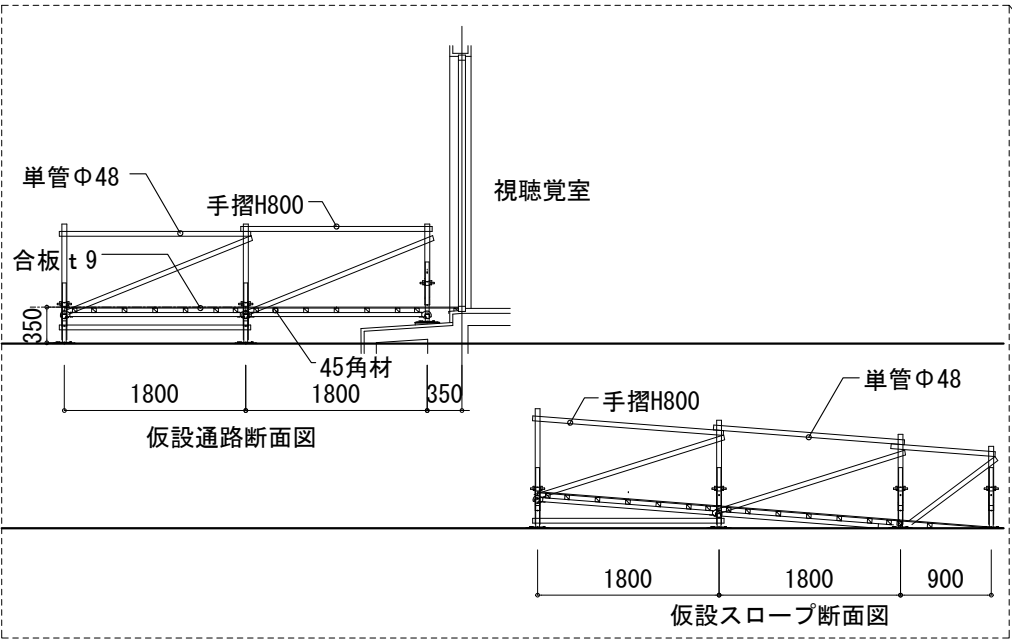
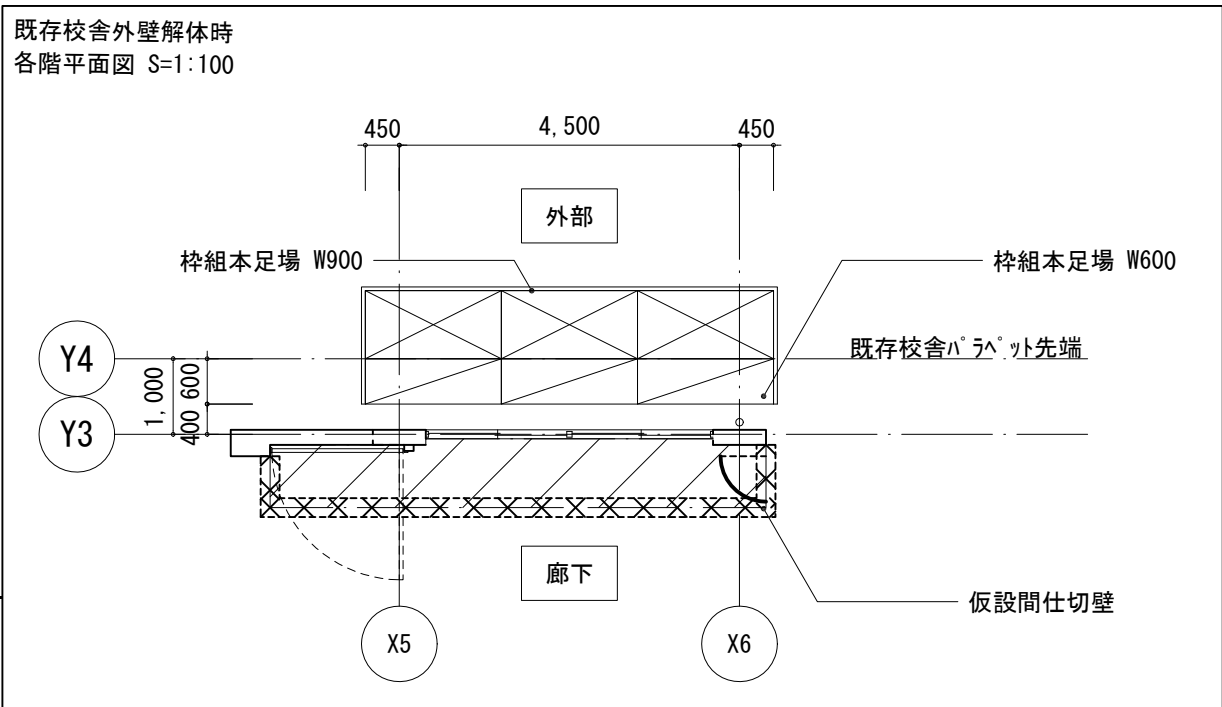


[2期] 3階内部仮設計画図 (案) S=1:200

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	[2期] 3階内部仮設計画図 (案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1:200	図面番号	A-85
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



仮設凡例	
	手摺先行枠組本足場 W900 養生: ネット状養生シート (防災Ⅱ類)
	手摺先行枠組本足場 W600 養生: ネット状養生シート (防災Ⅱ類)
	敷板鉄板 t=22 W1.5x6.0 常設: 69枚
	仮囲い: 成形鋼板 H=3000
	仮囲い: B型バリケード H=1800
	工所用仮門: 伸縮キャスターゲート W6.0xH1.8 パネルキャスターゲート W6.0xH4.5
	交通誘導員を示す (常駐2名)
	児童の動線を示す
	工事車両動線を示す



工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	外部仮設計画図(案)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	－
縮 尺	1:300	図面番号	A-86
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

I. 建物構造概要等

1. 建物概要

工事名称	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事
工事場所	松戸市高塚新田382番地の1
主要用途	小学校（EV棟）
延べ面積	57.57 m2
階数	地上 3 階、地下 〇 階、 塔屋 〇 階
建物高さ	11.05 m
軒高	10.31 m
工事種別	○ 新築、● 増築、○ 改築、○ 移転
増築計画	○ 有り、● 無し
構造種別	地上 鉄骨造、地下 ---
架構形式	X方向 純ラーメン Y方向 純ラーメン
耐震構造方式	● 耐震構造、○ 免震構造、○ 制震構造、○（ ）
耐震安全性の分類	○ I類（I=1.50）、● II類（I=1.25）、○ III類（I=1.00）

2. 構造計算条件

a. 耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期 0.31 秒 地盤種別 第 2 種地盤 地域係数 Z= 1.00
計算ルート	X方向 〇 ルート3 Y方向 〇 ルート3
設計層間変角	X方向 一次設計 1/200 二次設計 1/100 Y方向 一次設計 1/200 二次設計 1/100

b. 耐風設計条件

基準風速（V0）	34 m/秒
地表面粗度区分	○ I、○ II、☒ III、○ IV

c. 耐積雪設計条件

建設地の標高	— m
多雪区域の指定	○ 有り、● 無し
設計垂直積雪量	30 cm

II. 建築工事仕様（構造関係）

1. 共通仕様書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。

2. 特記仕様

1) 項目は、●のついたものを適用する。
2) 特記事項は、●のついたものを適用する。（●印が付かない場合は、※印のついたものを適用する。）
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) [6]印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12 年法律第100 号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たすものとする。

章	項	目	特	記	事	項
4	地盤工事	● 1. 支持地盤	・杭基礎：（4. 2. 1）（4. 3. 4～5）（4. 5. 5～6） 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む） ● 図示、○（ ） ・直接基礎：（3. 2. 1）（4. 2. 1） 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ● 図示、○（ ） 試験掘り（根切り底の状態の確認等） ○ 行わない ○ 行う（位置等 ○ 図示、○（ ）） ・地盤の載荷試験：（4. 2. 4） 載荷試験の方法 ○ 地盤工学会基準 JIS 1521による、○（ ） 試験の位置、載荷荷重 ○ 図示、○（ ） ● 2. 液状化対策 ● 3. 杭工事の施工管理 ☒ 施工計画において、杭工事に係る受注者及び下請業者の施工プロセスごとの役割や責任分担を明確にすること。 施工管理に際して、事前に管理項目及び管理内容について監督職員の承諾を得た上で、杭一本ごとに施工管理チェックシートを作成し、施工時に全数分を記録して監督職員に提出すること。 受注者は、杭一本ごとの支持層への到達状況について責任を負うものとする。 ○（ ）	● 5. 鋼杭地業		

4

地業工事

○ 4. 既製コンクリート杭地業

・種類：（4. 3. 3）
○ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
○ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
○ 外敷鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料 ○ SKK400、○ SKK490
○（ ）
・寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）：（4. 2. 2）（4. 3. 3）

	種類	コンクリート強度(N/mm2)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
○ 試験杭	上杭 中杭 下杭								
○ 本杭	上杭 中杭 下杭								
○									

・杭先端部形状：（4. 4. 3）
○ 開放形、○ 半開放形、○ 閉そく形、○（ ）
・施工方法：（4. 3. 1）
○ セメントミルク工法（4. 2. 2）（4. 3. 4）
試験杭の位置 ○ 図示による、○（ ）
掘削深さ ○ 図示による、○（ ）
杭の支持地盤への根入れ深さ ○ 図示による、○（ ）
杭の精度 水平方向の位置ずれ ○ 杭径の1/4かつ100mm以下、○（ ）
杭の傾斜 ○ 1/100以内、○（ ）
○ 特定埋込杭工法（4. 2. 2）（4. 3. 5）
○ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
○ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ）
工法
○ プレボーリング拡大根固め工法
○ 中堀り拡大根固め工法
○（ ）
杭周固定液 ○ 使用する、○ 使用しない
試験杭の位置 ○ 図示による、○（ ）
杭の支持地盤への根入れ深さ ○ 図示による、○（ ）
杭の精度 水平方向の位置ずれ ☒ 評定等の評価内容による、○（ ）
杭の傾斜 ☒ 評定等の評価内容による、○（ ）
・杭の継手の工法：（4. 3. 3）（4. 3. 6）（7. 2. 5）
○ アーク溶接継手
溶接材料 ○ 標準仕様書 7. 2. 5(1) (2) による、○（ ）
○ 機械式継手
工法 ☒ 評定等を受けた工法
検査 ☒ 評定等により定められた項目
施工 ☒ 評定等をされた施工管理基準による
・杭頭の処理等：（4. 3. 8）
○ 処理しない
○ 処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
○ 図示による、○（ ）
・杭頭の中詰め材料：（4. 3. 8）
○ 基礎のコンクリートと同調合のもの、○（ ）

・材料、寸法、継手等：（4. 2. 2）（4. 4. 3）（4. 4. 5）

	種類	厚さ(mm)	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
○ 試験杭	上杭 中杭 下杭							
○ 本杭	上杭 中杭 下杭							詳細は「杭断面リスト」による
○								

・施工方法：（4. 4. 1）
● 特定埋込杭工法（4. 2. 2）（4. 3. 5）
○ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
● H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
α=（ 300 ）、β=（ ）、γ=（ ）
工法
○ 中堀り拡大根固め工法
●（ 図示 ）
試験杭の位置 ● 図示による、○（ ）
杭の精度 水平方向の位置ずれ ☒ 評定等の評価内容による、○（ ）
杭の傾斜 ☒ 評定等の評価内容による、○（ ）
・杭の継手の工法：（4. 3. 3）（4. 4. 5）（7. 2. 5）
○ 溶接継手
○ JIS A 5525による、○（ ）
形状 ○ 標準仕様書 7. 2. 5(1) (2) による、○（ ）
溶接材料 ○ 標準仕様書 7. 2. 5(1) (2) による、○（ ）
● 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法 ☒ 評定等を受けた工法
検査 ☒ 評定等により定められた項目
施工 ☒ 評定等をされた施工管理基準による
・杭頭の処理等：（4. 3. 8）（4. 4. 6）
● 処理しない
○ 処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
○ 図示による、○（ ）
・杭頭の中詰め材料：（4. 3. 8）
○ 基礎のコンクリートと同調合のもの、○（ ）

4

地業工事

○ 6. 場所打ちコンクリート杭地業

・工法：（4. 5. 1）（4. 5. 5）
○ アースドリル工法（安定液 〇使用する、○ 使用しない）
○ リバース工法
○ オーレーシング工法（孔内の水張り 〇 行う、〇 行わない）
・併用する工法
○ 場所打ち鋼管コンクリート工法（鋼管の種類 ○SKK400、○ SKK490、○（ ））
○ 抵底杭工法（安定液 〇使用する、〇 使用しない）
○（ ）
・寸法等：（4. 2. 2）

	鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	抵底径(mm)	杭長(mm)	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
○ 試験杭								
○ 本杭								

・試験杭の位置：○ 図示による、○（ ）
・孔壁の保持状況の測定箇所：○ 試験杭（ ）箇所及び本杭（ ）箇所
○（ ）
・杭の支持層への根入れ深さ：○ 図示による、○（ ）
・杭の精度：水平方向の位置ずれ ○ 杭径の1/4かつ100mm以下、○（ ）
○ 評定等の内容による
○ 1/100以内、○（ ）
○ 評定等の内容による
杭の傾斜
・鉄筋の種類：（4. 5. 4）

種類の記号	呼び径(mm)	備考
○ SD295		
○ SD345		
○		

・帯筋：（4. 5. 4）
○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）6. 2帯筋(2) (

6
コンクリート工事

● 1. コンクリートの種類等

・コンクリートの類別：(6.2.1)
 ☒ I 類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
 ○ II 類（JIS A 5308に適合したコンクリート）
・普通コンクリート：(6.2.1～6.2.4)
 設計基準強度(N/mm2) スラブ質量(cm) 気乾単位容積(t/m3) 適用箇所
 ● 24 ○ 15又は18 ● 2.3程度 基礎、基礎梁、壁、土間
 ● 21 ● 18 ● 2.3程度 デッキスラブ
 ○ ○ ○
 ○ ○ ○
・構造体強度補正值：(6.3.2)
 ☒ ・別表「コンクリートの構造体強度補正值(S) 一覧」による
 ○ ()

● 2. セメント

・種類：(6.3.1)
 ☒ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
 適用箇所 (☒ 下記以外全て、 ○)
 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする
 ○ 高炉セメントB種 ㊦)
 適用箇所 (○ 1FLより下部 (立上り部含む) 、 ○)
 ○ フライアッシュセメントB種 ㊦)
 適用箇所 (○)
 ○ ()
 適用箇所 (○)

● 3. 骨材

・アルカリシリカ反応性による区分：(6.3.1)
 ☒ A、 ○ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt<3.0kg/m3 以下)

● 4. 混和材料

・混和剤の種類：(6.3.1)
 ☒ 標準仕様書 6.3.1(4) (a)による
 ○ ()
・混和材の種類：(6.3.1)
 ☒ 標準仕様書 6.3.1(4) (b)による
 ○ ()

● 5. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

・打継の位置：(6.6.4)
 梁及びスラブ
 ☒ スパンの中央又は端から1/4の付近、 ○ 図示による
 ○ ()
 柱及び壁
 ☒ スラブ、壁梁又は基礎の上端、 ○ 図示による
 ○ ()
・目地寸法：(6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)
 ☒ 標準仕様書 9.7.3(1) (7)による
 (ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する)
 ○ 図示による ()
 ○ ()
・ひび割れ誘発目地の位置：(6.8.1)
 ○ 図示による ()
 ○ ()

● 6. コンクリートの仕上り

・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ：(6.2.5) (6.8.2)
 種類
 ○ A種 ☒ 図示による () 、 ○
 ● B種 ☒ 図示による (意匠図による) 、 ○
 ○ C種 ☒ 図示による () 、 ○
・コンクリートの仕上りの平坦さ：(6.2.5) (6.8.2)
 種類
 ○ a種 ☒ 図示による () 、 ○
 ● b種 ☒ 図示による (意匠図による) 、 ○
 ○ c種 ☒ 図示による () 、 ○

● 7. 打増し厚さ (打放し仕上げ部)

・打増し厚さ：(6.8.1)
 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
 ● 20mm、 ○ ()
 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
 ● 10mm、● 20mm、 ○ ()
 外装タイル後張り面の打増し処理
 ○ 20mm、 ○ ()
・打増し範囲：()
 ● 図示による (意匠図による) 、 ○ ()

● 8. 型枠

・せき板の材料及び厚さ：(6.8.2)
 ● 合板 ㊦ (☒ 12mm、 ○) 、 ○ ()
・断熱材を兼用した型枠：()
 使用箇所 ○ 図示による () 、 ○ ()
・MCR工法用シート：()
 使用箇所 ○ 図示による () 、 ○ ()
 打増し厚さ ○ 20mm、 ○ ()
 打増し範囲 ○ 図示による () 、 ○ ()
・スリーブの材種、規格等：()
 ○ 図示による () 、 ● (標準仕様書6.8.2(9)による)

● 9. 無筋コンクリート

・コンクリートの種類：(6.2.1) (6.14.1)
 ☒ 普通コンクリート、 ○ ()
・セメントの種類：(6.3.1)
 ☒ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
 ○ 高炉セメントB種 ㊦)
 ○ フライアッシュセメントB種 ㊦)
 設計基準強度
 ☒ 18N/mm2、 ○ ()
 スランプ：(6.14.1)
 ☒ 15cm又は18cm、 ○ ()
 適用箇所：(6.14.1)
 ● 標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(h)による箇所
 ○ 図示による ()

6
コンクリート工事

○ 10. コンクリートの単位水量測定

・実施要領：(1)単位水量の測定は、150m3に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f) (e)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
 1)測定した単位水量が、計画配合率の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m3の範囲にある場合はそのまま施工する。
 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m3の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m3以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
 3)設計値±20kg/m3を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m3以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m3以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
 4)「3)」の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
 4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7
鉄骨工事

● 1. 鉄骨製作工場

・鉄骨製作工場の加工能力：(7.1.3)
 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場、または、同等以上の能力のある工場
 評価の区分 ☒ (M) グレード、 ○ グレードの指定はしない

● 2. 鉄骨製作工場における施工管理技術者

・施工管理技術者：(7.1.3) (7.1.4)
 ☒ 配置する

● 3. 鋼材

・種類等：(7.2.1)
 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格
 ● SS400 図示による ● JIS規格による、○
 ● SM400B 大梁、小梁、間柱、プレート ● JIS規格による、○
 ● SM490C ダイヤフラム、ベースプレート ● JIS規格による、○
 ● BCR295 柱 ● JIS規格による、○
 ● SSC400 胴縁 ● JIS規格による、○
・溶融亜鉛めっき工法の適用箇所：()
 ○ ()

● 4. 高力ボルト

・高力ボルトの種類：(7.2.2)
 ● トルシア形高力ボルト
 ● JIS形高力ボルト (トルシア型高力ボルトが使用できない場合)
 ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
 ○ ()
・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等：(7.3.2)
 ● 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)
 ○ ()
・摩擦面の処理方法等：(7.4.2)
 溶融亜鉛めっき面以外
 ● 標準仕様書7.4.2(1)による、 ○ ()
 溶融亜鉛めっき面
 ○ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)
 ○ プラスト処理以外の特別な処理方法 ○ 図示による、 ○ ()
・すべり試験
 ● すべり係数試験、 ○ すべり耐力試験
 試験の方法等
 ○ 図示による、 ○ ()

● 5. 普通ボルト

・ボルト及びナットの材料：(7.2.3)
 ● 標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) 又は次による
 ボルトの規格はJIS B 1180とする
 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。)
 ナットの規格はJIS B 1181とする
 (ナットの種類を六角ナット・Oの鋼製とする。)
 ○ ()
・座金：(7.2.3)
 ☒ JIS B 1256による、 ○ ()
・戻り止め：(7.5.2)
 ☒ 二重ナット、 ○ ()
・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等：(7.3.2)
 ☒ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)
 ○ ()

● 6. アンカーボルト

・構造用アンカーボルトの種類：(7.2.4) (7.10.3)
 ● ABR400、 ○ ABR490、 ○ ()
・建方 (及び付属鉄骨) 用アンカーボルトの種類：(7.3.2)
 ○ SS400、 ○ ()
 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上りの程度
 ● 標準仕様書 表7.2.3による、 ○ ()
・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等：(7.3.2)
 ☒ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)
 ○ ()

● 7. 溶接材料

・溶接材料：(7.2.5)
 ● 標準仕様書 7.2.5(1) (2)による
 ○ 標準仕様書 7.2.5(1) (2) 以外による
 材料及び使用箇所 ○ 図示による、 ○ ()

○ 8. ターンバックル

・種類：(7.2.6)
 建築用ターンバックルボルト
 ☒ 羽子板ボルト、 ○ ()
 建築用ターンバックル胴
 ☒ 割格式、 ○ ()
・ねじの呼び：(7.2.6)
 ● 図示による、 ○ ()

● 9. 床構造用のデッキプレート

・材質、形状及び寸法：(7.2.7)
 構法 適用箇所 材質・形状・寸法 備考
 ○ デッキプレート 単独の構法
 ● デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 屋根、床 図示による
 ○
・開口部補強要領 (補強筋の定着長さ等を含む)：(7.7.8)
 ○ 図示による、 ○ ()
 鉄骨部材への溶接方法：(7.7.8)
 ● 図示による、 ○ ()
・耐火認定：()
 ○ あり (耐火時間 ○ 図示による、 ○) 、 ● なし

○ 10. スタッド

・種類等：(7.2.8)
 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所
 ○ 16
 ○ 19
 ○ 22

● 11. 柱底均しモルタル

・無収縮モルタルとする場合の材料、調合等：(7.2.9)
 ☒ 標準仕様書 7.2.9(2) (7)～(i)による、 ○ ()

7
鉄骨工事

● 12. 製作精度

・鉄骨の製作精度：(7.3.3)
 JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
 ☒ H12建告第1464号第二号イ(2)による、 ○ ()
 アンダーカットの寸法
 ☒ H12建告第1464号第二号イ(3)による、 ○ ()
・食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法：(7.6.3)
 ☒ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
 ○ ()

○ 13. 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験

● 14. 溶接接合

・開先の形状：(7.6.4)
 ● 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-2)
 ○ ()
・エンドタブの切除する部分：(7.6.7)
 ○ 図示による、● ()
 切断範囲
 ● エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以下残して直線状に切断する
 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
 ○ ()
 切断面の仕上げ
 ● 標準仕様書7.6.7(1) (h) (b) ②による
 ○ ()
・スカラップの形状：(7.6.7)
 ● 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-4 (d) 改良型スカラップ)
 ○ ()

● 15. 入熱

・適用箇所：()
 ○ 図示による
 ● 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

● 16. 溶接部の試験

・H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等：(7.6.12)
 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による
 ○ 抜き取り検査①
 ● 抜き取り検査②
・JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等：(7.6.12)
 ● JASS6 10.4「受入検査」による溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
 外観検査の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
・完全溶込み部の超音波探傷試験：(7.6.13)
 工場溶接の場合
 ● AQL(%) (● 4.0、 ○ 2.5)
 箇所 ● 全て、 ○ ()
 検査水準 ● 第6水準、 ○ ()
 ○ 全数
 工事現場溶接の場合
 ● 全数

● 17. 錆止め塗装

・塗料の範囲：(7.8.2)
 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
 ○ 図示による、● (全て)
 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
 ○ 図示による、● (全て)
・塗料の種別：(7.8.4) (18.3.2)
 下記以外の鉄鋼面は、「18章 塗装工事」による。
 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
 ☒ A種、 ○ ()
 耐火被覆が接着する面の塗料の種別
 ○ ()

● 18. 耐火被覆

・種類、材料、構法等：(7.9.2～7.9.8)
 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分)
 ● 耐火材吹付け ○ 乾式吹付けロックウール 1 時間 柱・梁
 ● ● 半乾式吹付けロックウール
 ○ ○ 湿式ロックウール
 ○ ○
 ○ 耐火板張り ○ 繊維混入けい酸カルシウム板
 ○ 耐火材巻付け ○ 高断熱ロックウール
 ○ ラス張り —
 ○ モルタル塗り —
 ○ 耐火塗料
 ○
 ☒ JASS6 付則6 [鉄骨精度基準] 付表5 [工事現場] による

● 19. 建方精度

● 20. アンカーボルトの設置等

・構造用アンカーボルトの形状及び寸法：(7.10.3)
 ● 図示による、 ○ ()
・構造用アンカーフレームの形状及び寸法：(7.10.3)
 ● 図示による、 ○ ()
・建方 (及び付属鉄骨) 用アンカーボルトの形状及び寸法：(7.10.3)
 ○ 図示による、 ○ ()
・建方 (及び付属鉄骨) の保持及び埋込み工法：(7.10.3)
 種類 ○ A種、 ○ B種
・柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別：(7.10.3)
 厚さ ● (30mm)
 種別 ☒ A種、 ○ B種

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	構造関係特記仕様書 (2)		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	NS	図面番号	S-002
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は構造図による。
二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.2 二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200φ
KB2	D13-150φ
KB3	D13-100φ
KB4	D13、D16-150φ
KB5	D16-150φ
KB6	D16-125φ
KB7	D16-100φ

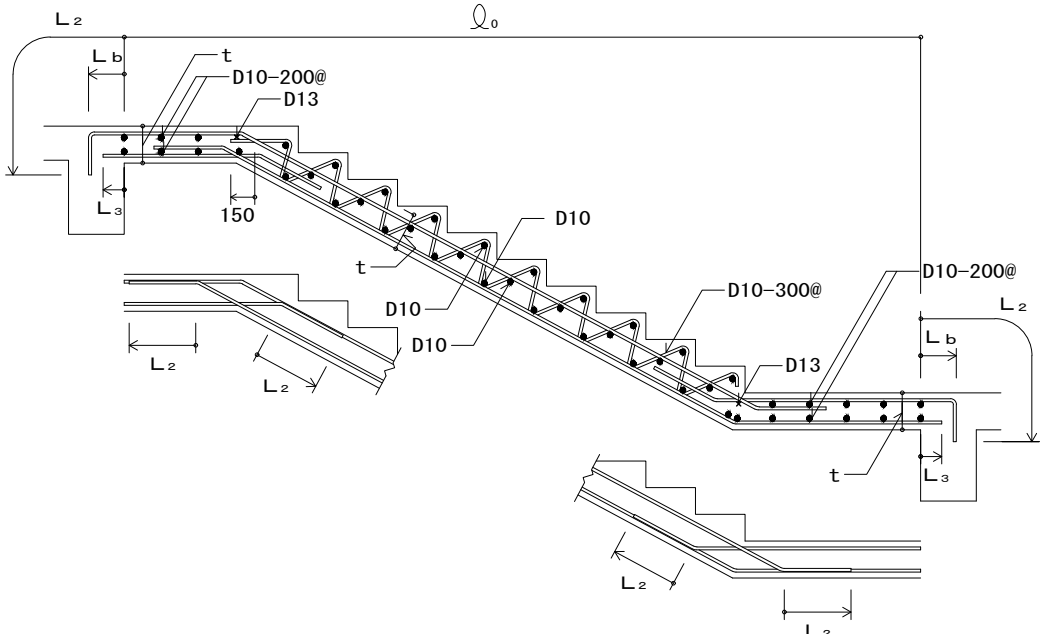
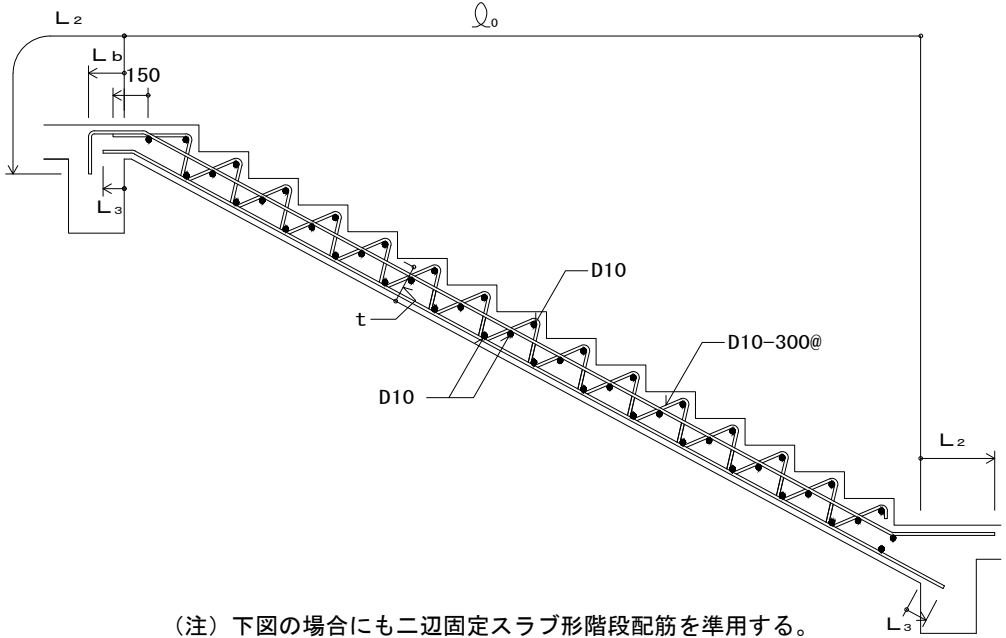


図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その1）



（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

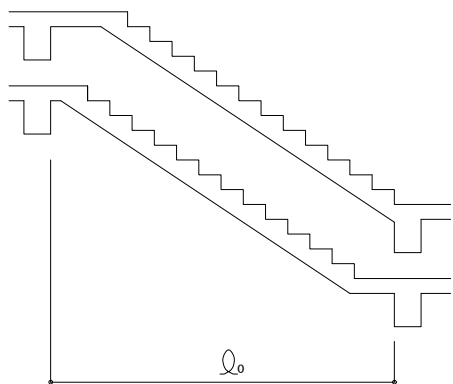


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その2）

11.1 梁貫通孔

- (1) 梁貫通孔は、次による。
(7) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
(4) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
(9) 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3（Dは梁せい）の範囲には設けてはならない。
(5) 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
(6) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
(8) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(4) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
(9) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、補強を省略することができる。
(7) 溶接金網の余長は、1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
(5) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
(9) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
(9) 他の開孔を設けない範囲は、図11.3による。

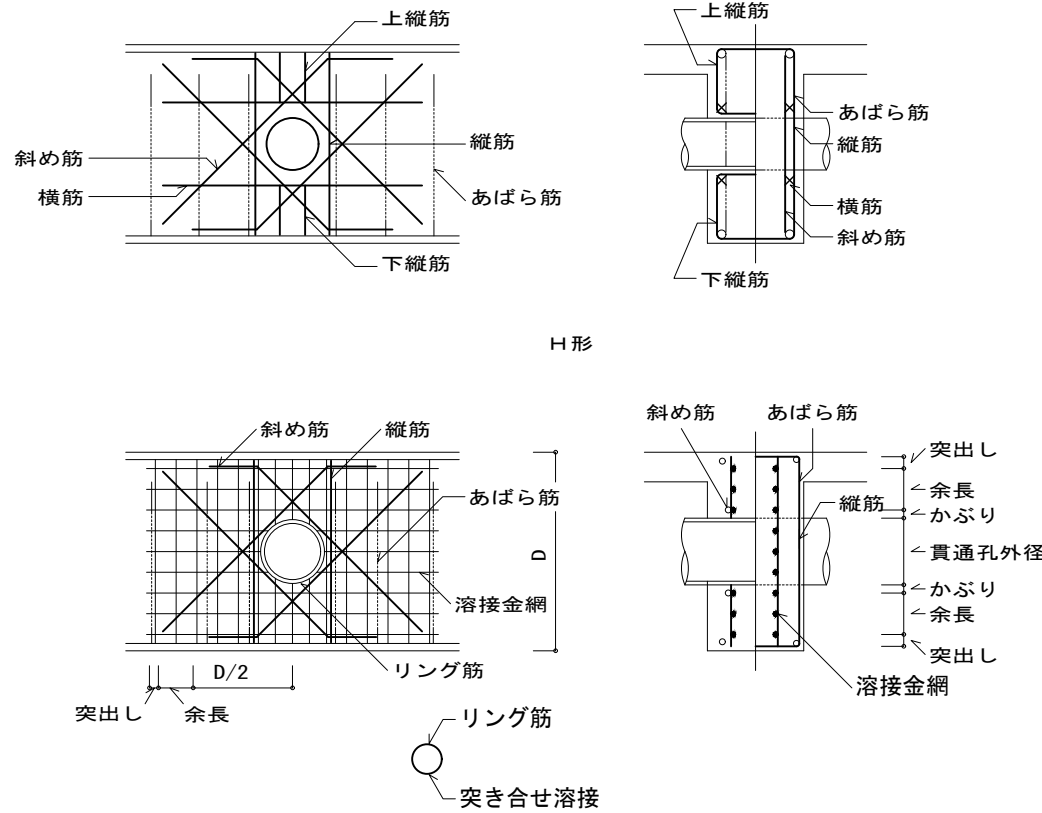


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

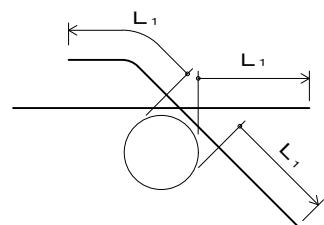


図11.2 補強筋の定着長さ

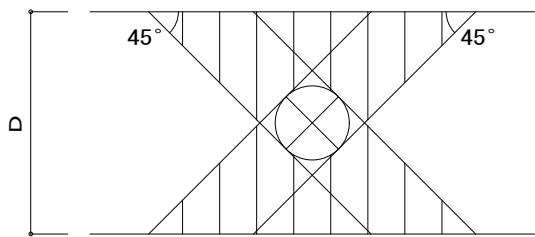


図11.3 他の開孔を設けない範囲

- (2) 梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.2により、配筋種別は設計図による。

表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

（注）—— は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100φ	
MH7	4-2-D19			

（注）—— は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

- (1) 控壁は、次による。
(7) 控壁の配置は、設計図による。
(4) 配筋は、図11.4による。

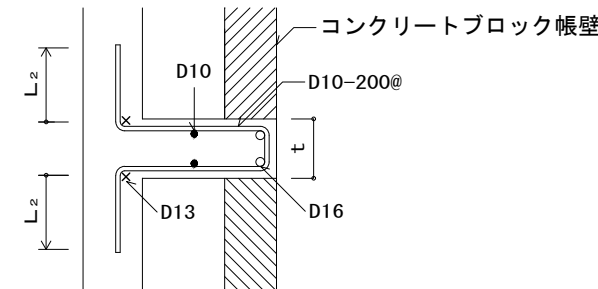


図11.4 控壁の配筋（水平、垂直とも）

- (2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

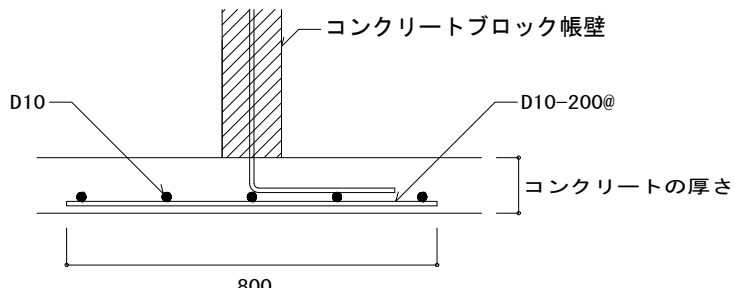


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 バラベット

バラベットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

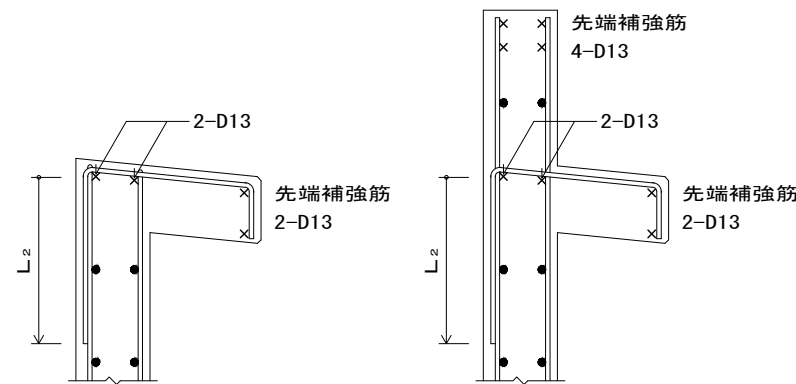


図11.6 バラベットの先端補強筋

12.1 擁壁

宅地造成等規制区域外での高さ2m以下の擁壁の鉄筋の定着長さは図12.1により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。

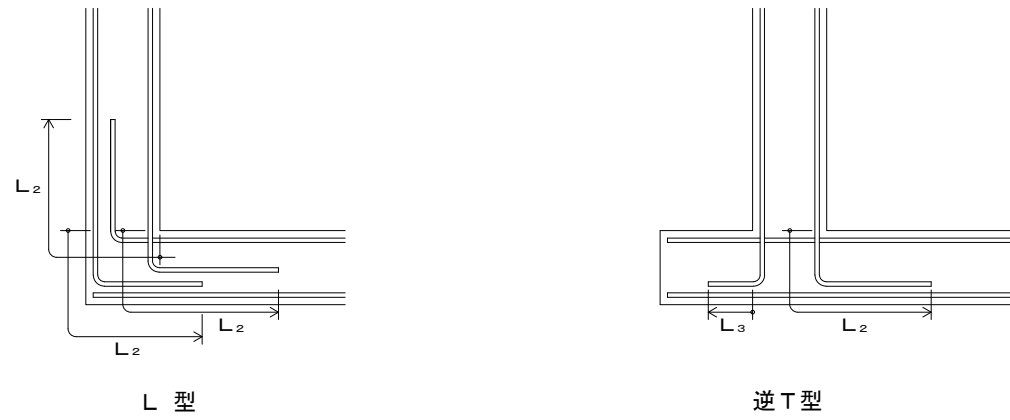


図12.1 擁壁の鉄筋の定着長さ

構造設計者
須田 諭史
一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	構造関係共通事項（その4）		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	NS	図面番号	S-007
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	構造関係共通事項（その5）		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	NS	図面番号	S-008
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

ハイベースNEO工法設計施工標準

大臣認定
BCJ認定

2023/12

(ハイベースNEO工法は、S造及びCFT造に適用)

設計

1. 材質

エコタイプ・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

	ベースプレート		アンカーボルト		エコナット		ナット		座金		定着板	
規格	JIS G3136 又は TMCP鋼	※4 TMCP鋼	HAB (大臣認定取得材)	※2 大臣認定取得材	JIS B1181 (六角ナット)	※2 大臣認定取得材	JIS G3106	※2 大臣認定取得材	JIS G3106	※2 大臣認定取得材	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)	※2 大臣認定取得材
ねじの種類	-		-		メートル並目		メートル並目		メートル並目		-	
備考	板厚40mm以下の場合 SM490B 板厚40mm超の場合 TMCP325B, C		TMCP385B, C		降伏比 70%以下		-		強度区分5		SM490A SS400	

エコタイプ、高強度柱適用タイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

	ベースプレート		アンカーボルト		ナット		座金		定着板	
規格	HCW490B, b HCW490st (大臣認定取得材)	※1	HAB (大臣認定取得材)	※2	JIS B1181 (六角ナット)	※2	JIS G3106	※2	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)	※2
ねじの種類	-		メートル並目		メートル並目		-		-	
備考	SM490B同等		降伏比 70%以下		強度区分5 (二重ナット時) 強度区分8 (一重ナット時)		SM490A		SS400	

※1 国土交通大臣認定 (MSTL-0566, 0404, 0180) ※2 国土交通大臣認定 (MBLT-0042~0046)
※3 M72は細目ねじ ※4 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

(2) ベースプレート下面のモルタル

後 詰 め モ ル タ ル	ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※		※ センクシアが供給するものに限る	
------------------	---	--	-------------------	--

中 心 塗
部分モルタル

○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル (NX-2000及びクイック3は使用不可。)
○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

(3) 基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、F=18~36N/mm ²	
鉄 筋	JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼	
柱 形	ヘリあき量は、ベースプレート外形寸法の0.1倍以上確保しなければならない。	

2. アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ、高強度柱適用タイプ用アンカーボルト部品

エコナットの形状 ナットの形状 座金の形状

	アンカーボルト				アンボンドスリーブ				ナット				座金			
ねじの呼び	軸径	ねじピッチ	長さ	全長	軸径	長さ	全長	軸径	長さ	全長	軸径	長さ	全長	軸径	長さ	全長
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44	44	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56	56	31	56
M36	36	4	150	16	720	925	41	29	55	64	6	37	66	66	37	66
M42	42	4.5	165	18	840	1080	48	34	65	75	9	43	78	78	43	78
M48	48	5	175	22	960	1235	54	38	75	87	9	50	92	92	50	92
M56	56	5.5	185	24	1120	1420	62	45	85	98	9	58	105	105	58	105
M64	64	6	200	28	1280	1610	70	51	95	110	12	66	115	115	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125	125	74	125

※1 t 2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。
※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3 表中のエコタイプ上段はEB、EM型式のアンカーボルト4本タイプ、エコタイプ下段はEB、EM型式のアンカーボルト8本、12本タイプ及びEHタイプの場合の寸法です。

注意

・エコタイプ、高強度柱適用タイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。
その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

工場加工

1. 溶 接 材 料

被覆アーク溶接 JIS Z 3211 (JB JIS Z 3212) に従い選定する (低水素系)
ガスシールドアーク溶接 JIS Z 3312 又は JIS Z 3313に従い選定する
※ベースプレートと柱のF値が異なる場合は、JASS6で各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

2. ベースプレートの鉄骨柱への取付け (柱端部に開先を設ける)

※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
開先はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる

※開先形状は参考

ベースプレート形状		開先形状
角形鋼管柱用 (EB型式)	円形鋼管柱用 (EM型式)	<div>柱はベースプレートのフラット面に取付けてください。 アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。</div>
アンカーボルト 4本タイプ	アンカーボルト 8本タイプ	
高強度角形鋼管柱用 (KB型式)	H形柱用 (EH型式)	
アンカーボルト 8本タイプ	アンカーボルト 12本タイプ	

3. 組 立 溶 接

4. 本 溶 接 の 手 順

5. 溶 接 施 工 一 般

予 熱

鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。

余 盛

溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。
余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手または「継手余盛り」高さに準拠する (Gタイプ)。

H形柱の溶接

エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接

注意

柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱型によって曲ることがあります。

6. 検 査

方 法

溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。
探傷は柱フランジ側から行う。

不良溶接部の補正

(1) 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。
(2) 溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

現場施工

(※) : センクシアの担当範囲

1. 捨てコンクリート打設

柱端部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

2. 墨出し

3. アンカーボルト搬入 (＃)

4. アンカーボルト据付 (＃)

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。

アンカーボルト設置例 (架台の形状は異なる場合あり)

アンカーボルト設置

アンカーボルト設置精度の目標値

基準高さよりの誤差eh
-3mm≦eh≦10mm

5. 鉄筋配筋・型枠の立込み

6. 基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7. 中心塗り部分モルタル施工

ベースプレート

中心塗り部分モルタル NX-2000、クイック3は使用不可。

後詰めモルタル

ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル注入方法はヘッド圧工法による。
※ センクシアが供給するものに限る

(イ) □ 250以下、φ267.4以下、H250以下の場合
100mm ≦ a ≦ 200mm かつ柱寸法 D 以下
(ロ) □ 300以上φ700以下、φ300以上φ711.2以下、および H250以上の場合
150mm ≦ a ≦ 300mm かつ柱寸法 D 以下
(ハ) □ 750~φ1200、φ750~φ1016の場合
300mm ≦ a ≦ 500mm

中心塗り部分モルタル及び後詰めモルタルの養生

基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

8. 鉄骨建方

GH型式

8. 鉄骨建方

アンカーボルト締付

アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。

9. モルタル注入枠設置 (＃)

後詰めモルタル充填 (＃)

アンカーボルト締付確認 (＃)

ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。
(30° 回転、許容差: +10°, -0°)

9~10. モルタル注入枠設置 (＃)

10. アンカーボルト締付 (＃)

予備締め
マーキング
ナット回転法による本締め

11. モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースNEO工法のチェックシートに工事記録を記載する。

センクシア株式会社

本社 TEL 03-4214-1932
札幌 TEL 011-708-1177
東北 TEL 022-213-5595

URL https://www.senqcia.co.jp/

関東 TEL 027-322-9411
中部 TEL 052-582-3356
北陸 TEL 076-233-5260

関西 TEL 06-6395-2133
中四国 TEL 082-240-1630
九州 TEL 092-452-0341

注意

1. アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。(日本建築センターの評定で義務付けられています。)
2. アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3. 設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4. 建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5. 本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

構造設計者
須田 諭史
一般建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号

工事名

松戸市立東部小学校エレベーター設置工事

図面名

ハイベースNEO工法設計施工標準図 (その 1)

作成年月日

令和8年3月13日 変更年月日 -

縮 尺

NS 図面番号 S-009

設 計

株式会社 鈴木建築設計事務所
千葉県知事登録 第 1-2311-247 号
鈴木 泰久
一級建築士 大臣登録 第 233260 号

松戸市 街づくり部 建築保全課

ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形設計例 (Fc24の場合)

〈角形鋼管柱用 □150～□550〉

(ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用)

(ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用)

大臣認定

BCJ評定

MSTL-0566, 0404, 0180 (Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042～0046 (アンカーボルト)
BCJ評定-ST0058 (Gタイプ)
BCJ評定-ST0059 (エコタイプ)

本工法の設計・施工は、鋼構造設計標準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書JASS6鉄骨工事、建築工事標準仕様書・
同解説JASS5鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

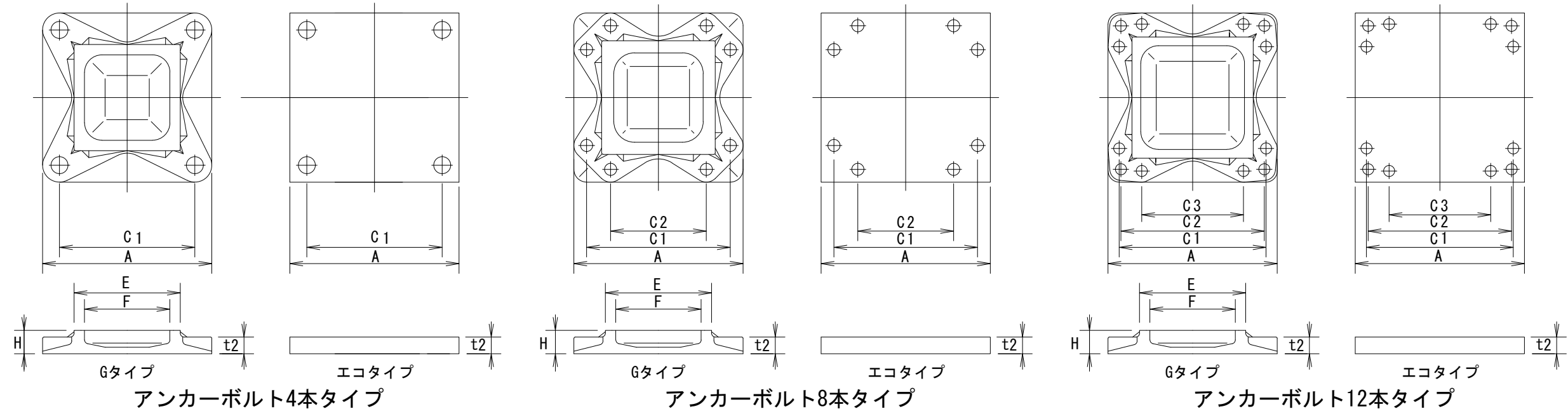
2024/10

型式表示例

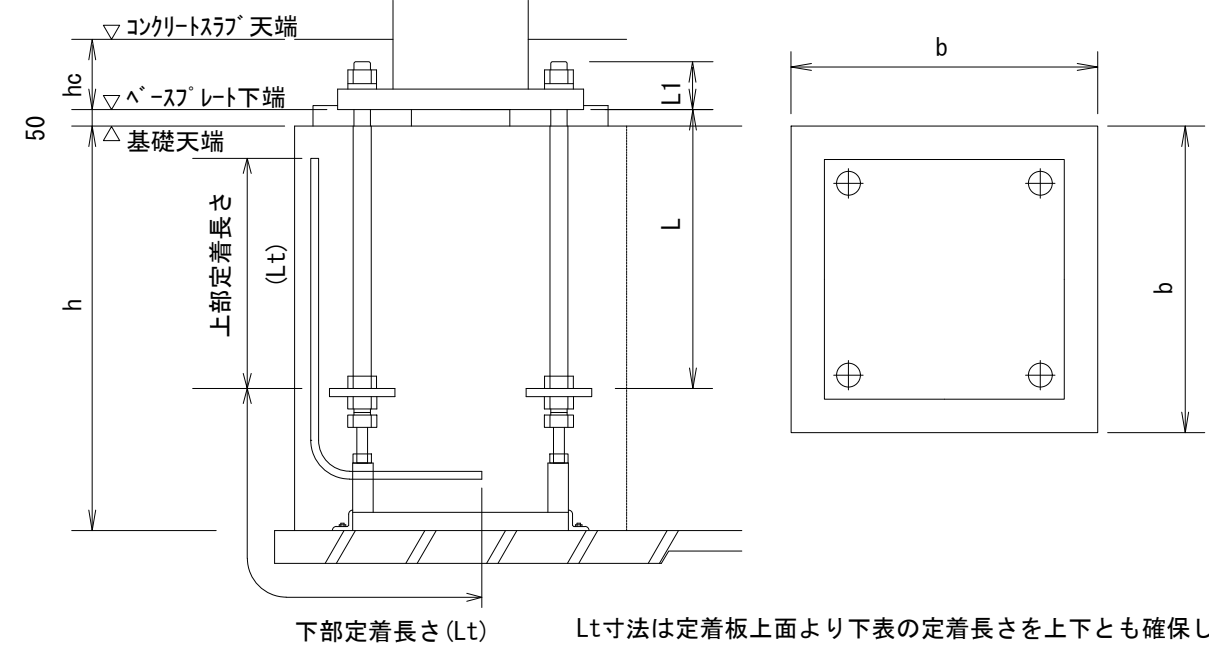
エコタイプ : EB350-8-36
Gタイプ : GB500-8-42

アンカーボルト径
アンカーボルト本数
柱外形寸法
角形鋼管柱用

ベースプレート形状



L, L1, h, hc, b寸法、柱形主筋の定着長さ (Lt)



エコタイプはシングルナット仕様 (コンクリートスラブに埋込)
Gタイプはダブルナット仕様 (露出が標準)
注) 表中のh寸法は杭がない場合です。
杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(ho寸法)は
"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

・ハイベースNEO工法

(角形鋼管柱用□150～□550)

採用		適用 柱		ハイベースNEO型式		アン キ ャ ー ボ ル ト	回転バネ 定数 X10 ³ kN・m/rad	寸法 (mm)								質量 (kg)				L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～ 捨てコン天端		ベースプレート 下端～ コンクリートスラブ 天端		基礎柱形の設計例 (Fc24) < 側・隅柱用 >										基礎柱形の設計例 (Fc24) < 中柱用 (4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。) >									
柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t ₂	ベース プレート	部品	セット質量	h (mm)			hc (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	鉄筋の定着長さ Lt (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	鉄筋の定着長さ Lt (mm)									
		□150	4.5～12	EB150-4-24		4-M24	14.0	290	210	—	—	—	—	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8-D16	D13φ150	500	16-D16	D13φ150	200	500	8-D16	D13φ150	500	16-D16	D13φ150	200										
		□175	4.5～12	EB175-4-24		4-M24	17.9	310	230	—	—	—	—	25	19	14	33	400	80	600以上	120	520	8-D16	D13φ150	520	16-D16	D13φ150	190	520	8-D16	D13φ150	520	16-D16	D13φ150	190										
	□200	6～12	EB200-4	～24		4-M24	21.9	340	260	—	—	—	—	25	23	14	37	400	80	600以上	120	550	8-D16	D13φ150	550	16-D16	D13φ150	190	550	8-D16	D13φ150	550	16-D16	D13φ150	190										
				～30		4-M30	35.4	360	270					32	33	23	56	400	102	600以上	150	570	8-D19	D13φ150	570	16-D19	D13φ150	290	570	8-D19	D13φ150	570	16-D19	D13φ150	290										
				～36		4-M36	41.4	360	270					40	41	36	77	480	117	700以上	160	580	12-D19	D13φ150	580	20-D19	D13φ100	330	580	12-D19	D13φ150	580	20-D19	D13φ100	330										
				～24		4-M24	32.2	390	310					25	30	15	45	400	80	600以上	120	600	8-D19	D13φ150	600	12-D19	D13φ150	190	600	8-D19	D13φ150	600	12-D19	D13φ150	190										
	□250	6～16	EB250-4	～30		4-M30	51.3	410	320	—	—	—	—	32	43	23	66	400	102	600以上	150	610	8-D19	D13φ150	610	16-D19	D13φ150	280	610	8-D19	D13φ150	610	16-D19	D13φ150	280										
				～36		4-M36	59.7	410	320					40	53	36	89	480	117	700以上	160	610	12-D19	D13φ150	610	20-D19	D13φ100	330	610	12-D19	D13φ150	610	20-D19	D13φ100	330										
				EB250-8-30	8-M30	51.1	450	360	190					40	64	51	115	600	110	800以上	150	640	12-D22	D13φ150	640	20-D22	D13φ100	430	640	12-D22	D13φ150	640	20-D22	D13φ100	430										
					4-M30	70.1	460	370	32					54	24	78	400	102	600以上	150	660	8-D19	D13φ150	660	16-D19	D13φ150	270	660	8-D19	D13φ150	660	16-D19	D13φ150	270											
	□300	6～22	EB300-4	～36		4-M36	82.9	460	370	—	—	—	—	40	67	37	104	480	117	700以上	160	660	12-D19	D13φ100	660	20-D19	D13φ100	330	660	12-D19	D13φ100	660	20-D19	D13φ100	330										
				EB300-8	8-M30	69.4	500	410	240					36	71	51	122	600	106	800以上	150	700	16-D22	D13φ150	700	20-D22	D13φ100	410	700	16-D22	D13φ150	700	20-D22	D13φ100	410										
8-M36					84.0	510	420	220	44					90	82	172	720	121	900以上	170	720	16-D25	D13φ150	720	24-D25	D13φ100	570	720	16-D25	D13φ150	720	24-D25	D13φ100	570											
8-M30				89.5	550	460	290	36	86					52	138	600	106	800以上	150	750	16-D22	D13φ150	750	20-D22	D13φ150	460	750	16-D22	D13φ150	750	20-D22	D13φ150	460												
●	□350	9～22	EB350-8	～36		8-M36	105	560	470	270	—	—	—	—	40	99	83	182	720	117	900以上	160	770	16-D25	D13φ150	770	24-D25	D13φ100	540	770	16-D25	D13φ150	770	24-D25	D13φ100	540									
				～42		8-M42	133	590	480	260					48	132	131	263	840	138	1100以上	180	790	20-D25	D13φ150	790	32-D25	D13φ100	710	790	20-D25	D13φ150	790	32-D25	D13φ100	710									
				GB350-4	～42	4-M42	128	550	440	—					75	50	107	72	179	840	145	1100以上	—	750	12-D25	D13φ150	750	16-D25	D13φ150	480	750	12-D25	D13φ150	750	16-D25	D13φ150	480								
					～48	4-M48	156	590	460	—					90	61	142	113	255	960	168	1200以上	—	790	12-D25	D13φ150	790	20-D25	D13φ150	580	790	12-D25	D13φ150	790	20-D25	D13φ150	580								
	9～25	GB350-8	～30		8-M30	150	540	450	280	55	28	77	52	129	600	95	800以上	—	740	16-D22	D13φ150	740	20-D22	D13φ150	470	740	16-D22	D13φ150	740	20-D22	D13φ150	470													
			～36		8-M36	188	560	470	270	65	36	95	83	178	720	116	900以上	—	770	16-D25	D13φ150	770	24-D25	D13φ100	560	770	16-D25	D13φ150	770	24-D25	D13φ100	560													
			～42		8-M42	216	590	480	260	70	45	118	131	249	840	140	1100以上	—	790	20-D25	D13φ100	800	32-D25	D16φ100	610	790	20-D25	D13φ100	800	32-D25	D16φ100	610													
			8-M30	111	600	510	340	36	102	52	154	600	106	800以上	150	800	16-D22	D13φ150	800	20-D22	D13φ150	450	800	12-D22	D13φ150	800	20-D22	D13φ150	450																
	□400	9～25	EB400-8	～36		8-M36	127	610	520	320	—	—	—	—	40	117	83	200	720	117	900以上	160	820	16-D25	D13φ150	820	24-D25	D13φ100	530	820	12-D25	D13φ100	820	24-D25	D13φ100	530									
				～42		8-M42	175	640	530	310					48	155	131	286	840	138	1100以上	180	840	20-D25	D13φ100	840	32-D25	D13φ100	680	840	20-D25	D13φ100	840	32-D25	D13φ100	680									
GB400-4				～42	4-M42	163	600	490	—	75					49	129	73	202	840	144	1100以上	—	810	12-D25	D13φ100	810	16-D25	D13φ100	400	810	12-D25	D13φ100	810	16-D25	D13φ100	400									
				～48	4-M48	194	640	510	—	85					59	165	114	279	960	166	1200以上	—	840	12-D25	D13φ100	840	20-D25	D13φ100	500	840	12-D25	D13φ100	840	20-D25	D13φ100	500									
9～32	GB400-8	～36		8-M36	234	610	520	320	60	34	110	83	193	720	114	900以上	—	820	16-D25	D13φ100	820	24-D25	D13φ100	540	820	16-D25	D13φ100	820	24-D25	D13φ100	540														
		～42		8-M42	282	640	530	310	70	42	136	131	267	840	137	1100以上	—	840	20-D25	D13φ100	850	32-D25	D16φ100	600	840	20-D25	D13φ100	850	32-D25	D16φ100	600														
		～48		8-M48	321	680	550	300	80	52	176	211	387	960	159	1300以上	—	880	20-D29	D13φ100	890	28-D29	D16φ100	790	880	20-D29	D13φ100	890	28-D29	D16φ100	790														
		8-M36	169	660	570	370	44	150	84	234	720	121	900以上	170	870	16-D25	D13φ100	870	24-D25	D13φ100	520	870	16-D25	D13φ100	870	24-D25	D13φ100	520																	
□450	9～25	EB450-8	～42		8-M42	199	690	580	360	—	—	—	—	48	180	132	312	840	138	1100以上	180	890	24-D25	D13φ100	890	32-D25	D13φ100	670	890	20-D25	D13φ100	890	32-D25	D13φ100	670										
			GB450-4	～42	4-M42	199	650	540	—					75	48	153	73	226	840	143	1100以上	—	860	12-D25	D13φ100	860	16-D25	D13φ100	390	860	12-D25	D13φ100	860	16-D25	D13φ100	390									
				4-M48	196	690	560	85	58					192	116	308	960	165	1200以上	—	890	12-D25	D13φ100	890	20-D25	D13φ100	480	890	12-D25	D13φ100	890	20-D25	D13φ100	480											
			GB450-8	～36	8-M36	296	660	570	370					60	32	130	84	214	720	112	900以上	—	870	16-D25	D13φ100	870	24-D25	D13φ100	520	870	16-D25	D13φ100	870	24-D25	D13φ100	520									
	～42	8-M42		348	690	580	360	65	40	158	132	290	840	135	1100以上	—	890	24-D25	D13φ100	890	32-D25	D13φ100	680	890	20-D25	D13φ100	890	32-D25	D13φ100	680															
	～48	8-M48	413	730	600	350	75	49	196	213	409	960	156	1300以上	—	930	20-D29	D13φ100	940	28-D29	D16φ100	770	930	20-D29	D13φ100	940	28-D29	D16φ100	770																
	9～36	EB500-8	～36		8-M36	210	710	620	420	—	—	—	—	44	173	89	262																												

スクリューパイルEAZET（イーゼット）設計施工標準（関東・甲信越地区・東北地区）

【許容支持力および適用範囲】

1. 件名
先端羽根付き鋼管杭 スクリューパイルE A Z E T
2. 本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期ならびに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

1) 長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

$$Ra = \frac{1}{3} \{ \alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N} s L_s + \gamma \overline{qu} L_c) \Psi \} \text{ (kN)} \cdots (i)$$

2) 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

$$Ra = \frac{2}{3} \{ \alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N} s L_s + \gamma \overline{qu} L_c) \Psi \} \text{ (kN)} \cdots (ii)$$

ここで、(i)、(ii)式において、

α ：基礎ぐいの先端付近の地盤（地震時に液状化するおそれのある地盤を除く）におけるくい先端支持力係数（ $\alpha=300$ ）

β ：基礎ぐいの周囲の地盤（地震時に液状化するおそれのある地盤を除く）のうち砂質地盤におけるくい周面摩擦係数（ $\beta \bar{N} s=15$ を満たす β ）

γ ：基礎ぐいの周囲の地盤（地震時に液状化するおそれのある地盤を除く）のうち粘土質地盤におけるくい周面摩擦係数（ $\gamma \overline{qu}=15$ を満たす γ ）

$\bar{N}$ ：基礎ぐいの先端付近（くい先端位置より下方に1Dw（Dw：羽根の直径）、上方に1Dwの範囲）の地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）

ただし、基礎ぐいの先端地盤が砂質地盤（礫質地盤含む）の場合は $15 \leq \bar{N}$ とし、60を超える場合は60を上限とする。

また、基礎ぐいの先端地盤が粘土質地盤の場合は $12 \leq \bar{N}$ とし、60を超える場合は60を上限とする。

A_p ：基礎ぐいの先端の有効断面積（㎡）

$$A_p = A_D \cdot e$$

e ：有効面積率（ $e=0.5$ ）

$$A_D：\text{くい先端平面積} \quad A_D = \pi \cdot Dw^2 / 4 \text{ (㎡)}$$

$\bar{N} s$ ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）

ただし、 $0 < \bar{N} s$ とし、30を超える場合は30とする。なお、 $N s$ 値が0の場合、周面摩擦力を考慮しない。

$\overline{qu}$ ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値（kN/㎡）
ただし、 $0 < \overline{qu}$ とし、200を超える場合は200を上限とする。なお、 qu 値が0の場合、周面摩擦力を考慮しない。

L_s ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計（m）

L_c ：基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計（m）

Ψ ：基礎ぐいの周囲の有効長さ（m）

$$\Psi = \pi \cdot Do$$

Do ：くい本体径（m）

3. くい材から決まる許容鉛直支持力

$$Ra_2 = f_e \cdot Ae \times 10^{-3}$$

Ra_2 ：くい材から決まる長期許容鉛直支持力（kN）
 f_e ：くい材の長期許容応力度（ $= F ※ / 1.5$ ）

$F ※$ ：設計基準強度（N/mm²）
 $F ※ = F \cdot (0.80 + 2.5 t_e / r)$ かつ $F ※ \leq F$
 F ：くい材の許容応力度を決定する場合の基準値
（STK400→235N/mm²、STK490→325N/mm²、SEAH590[STKT590]→440N/mm²）
 t_e ：腐食しろを除いた鋼管の肉厚（mm）
 r ：鋼管の半径（mm）
 Ae ：腐食しろを考慮したくい材の有効断面積（mm²）

4. 適用範囲

- 1) 適用する地盤の種類
- 基礎ぐいの先端付近の地盤：
- 砂質地盤（礫質地盤含む） TACP-0635
- 粘土質地盤 TACP-0636
- 基礎ぐいの周囲の地盤：砂質地盤及び粘土質地盤

- 2) 最大施工深さ（m）

杭本体径	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4
先端砂質地盤 （礫質地盤）	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.4	46.2	51.3
先端粘土質地盤	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.0	45.8	－

- 3) 適用する建築物の規模
- 床面積の合計が500,000㎡以下の建築物

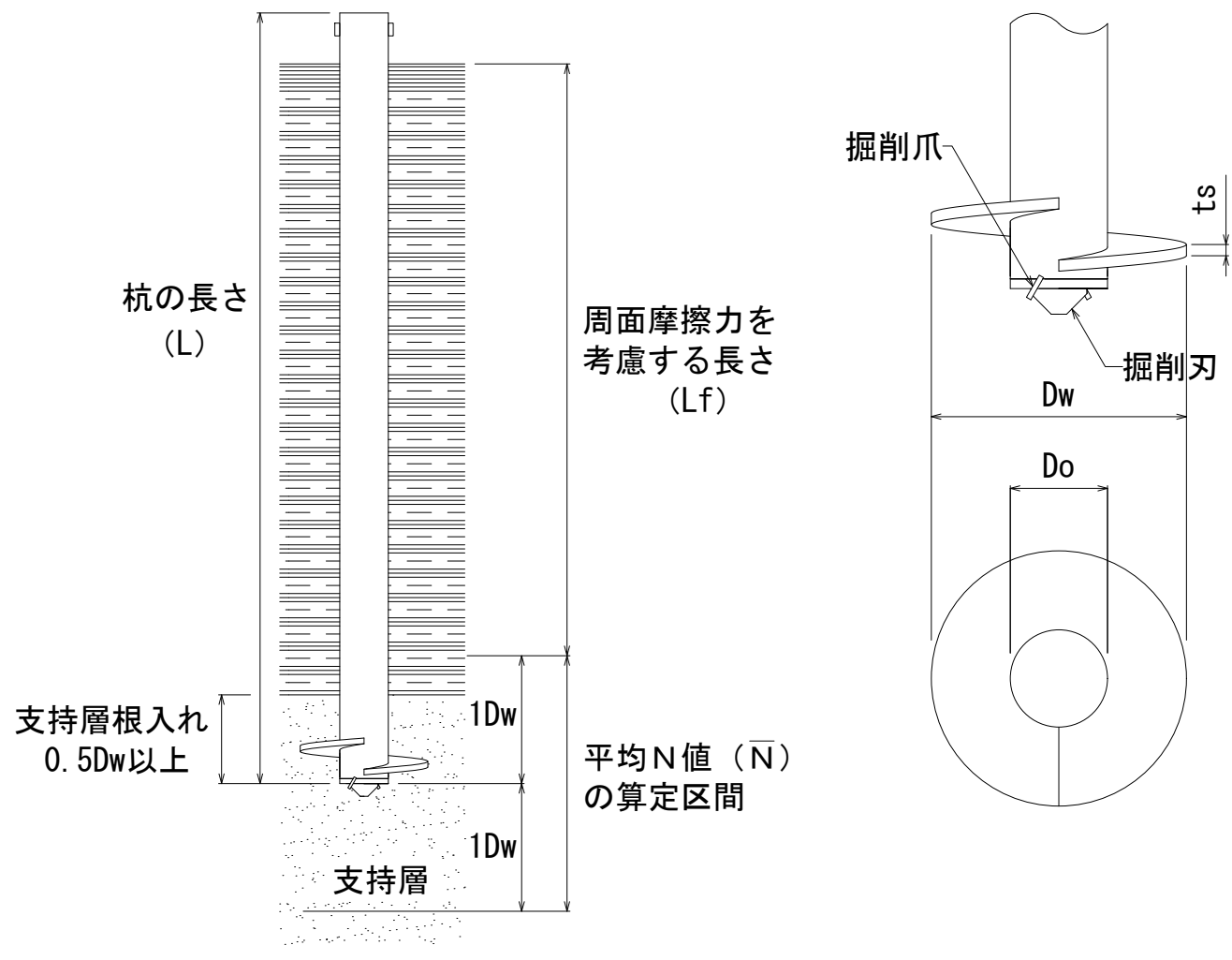
【EAZET（イーゼット）の構造・規格】

1. 関東・甲信越・東北地区向け杭材仕様

杭本体部				杭先端羽根部		材質
径 Do (mm)	STK400	STK490	SEAH590 [STKT590]	径 Dw (mm)	厚 ts (mm)	
	厚 t (mm)					
114.3	<6.0>	－	－	300	16	SM490A
139.8	<6.6>	－	－	350	19	
165.2	－	7.1	－	350	16	
				450	22	
190.7	－	7.0	－	400	19	
				500	22	
				570	25	
				470	22	
216.3	－	8.2 12.7	－	550	25	
				600	28	
				650	28	
				580	28	
				650	28	
267.4	－	8.0 12.7	<8.0> <12.7>	700	28	
				750	32	
				800 ※1	36	
				700	28	
				800	32	
318.5	－	7.9 12.7	－	750	28	
				800	32	
355.6	－	7.9 12.7 <16.0>	－	800	32	
				800	28	
406.4	－	<7.9> <12.7> <19.0>	－	880	32	

※1：N値45まで限定。ただし、下杭の厚さをt=12.7mmとする場合は、N値50まで採用可能
※< >の仕様は準標準材です。ご検討される場合は弊社担当までお問い合わせください。

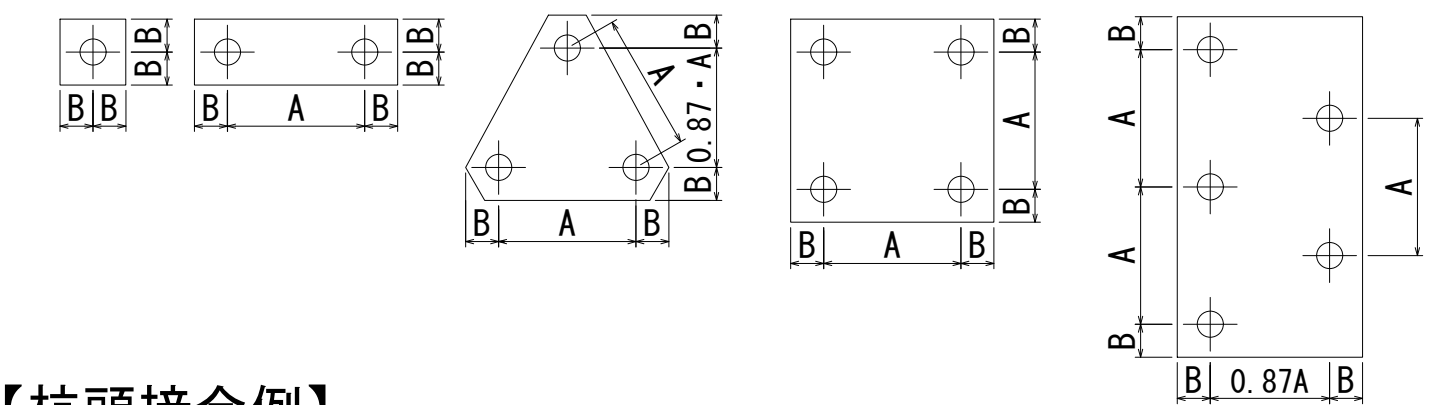
部材	規格
杭本体部	JIS G 3444 一般構造用炭素鋼管 STK400、STK490
	MSTL-0419 国土交通大臣認定 基礎ぐい用高張力鋼管 SEAH590[STKT590]
杭先端部	JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490A



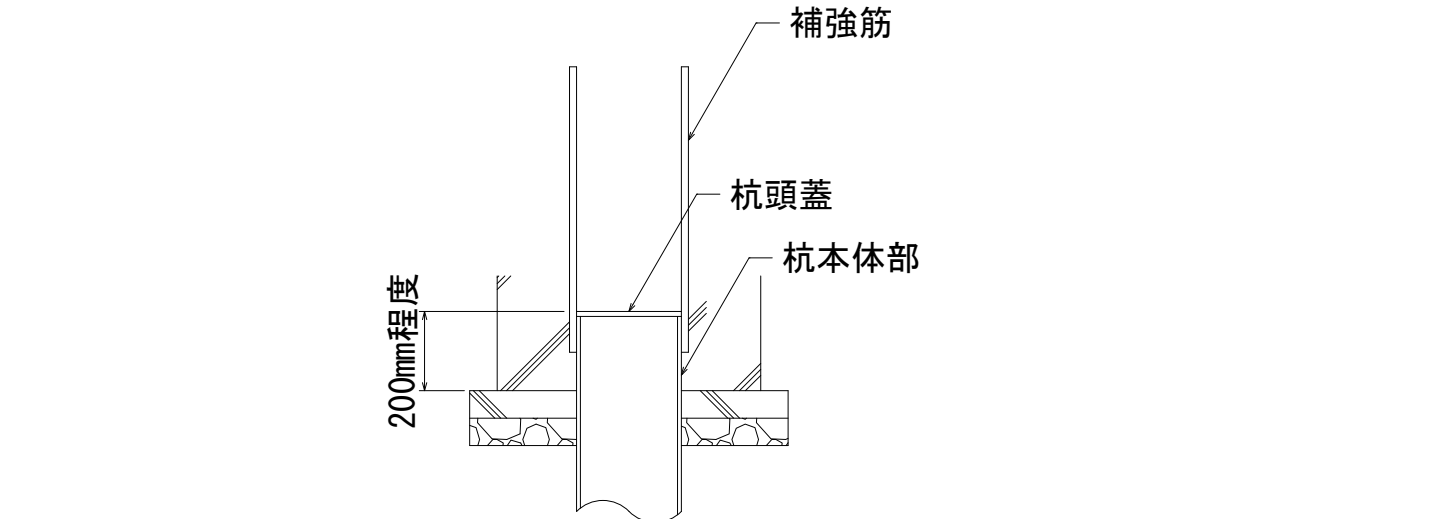
【基礎とフーチング形状例】

A：杭心間隔	B：へりあき
Dw + Do	1.25 × Do

※ Dw：杭先端羽根径 Do：杭本体径

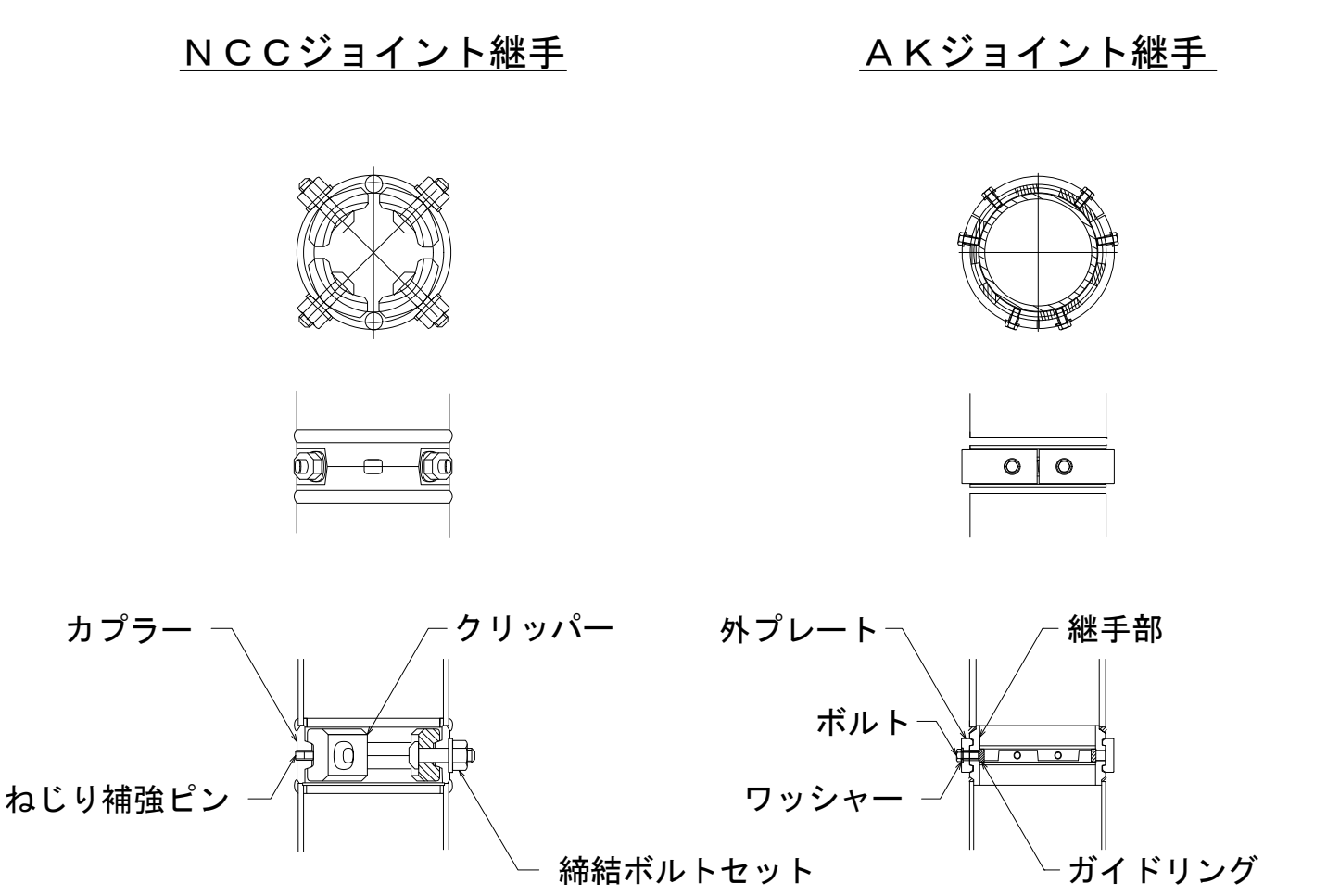
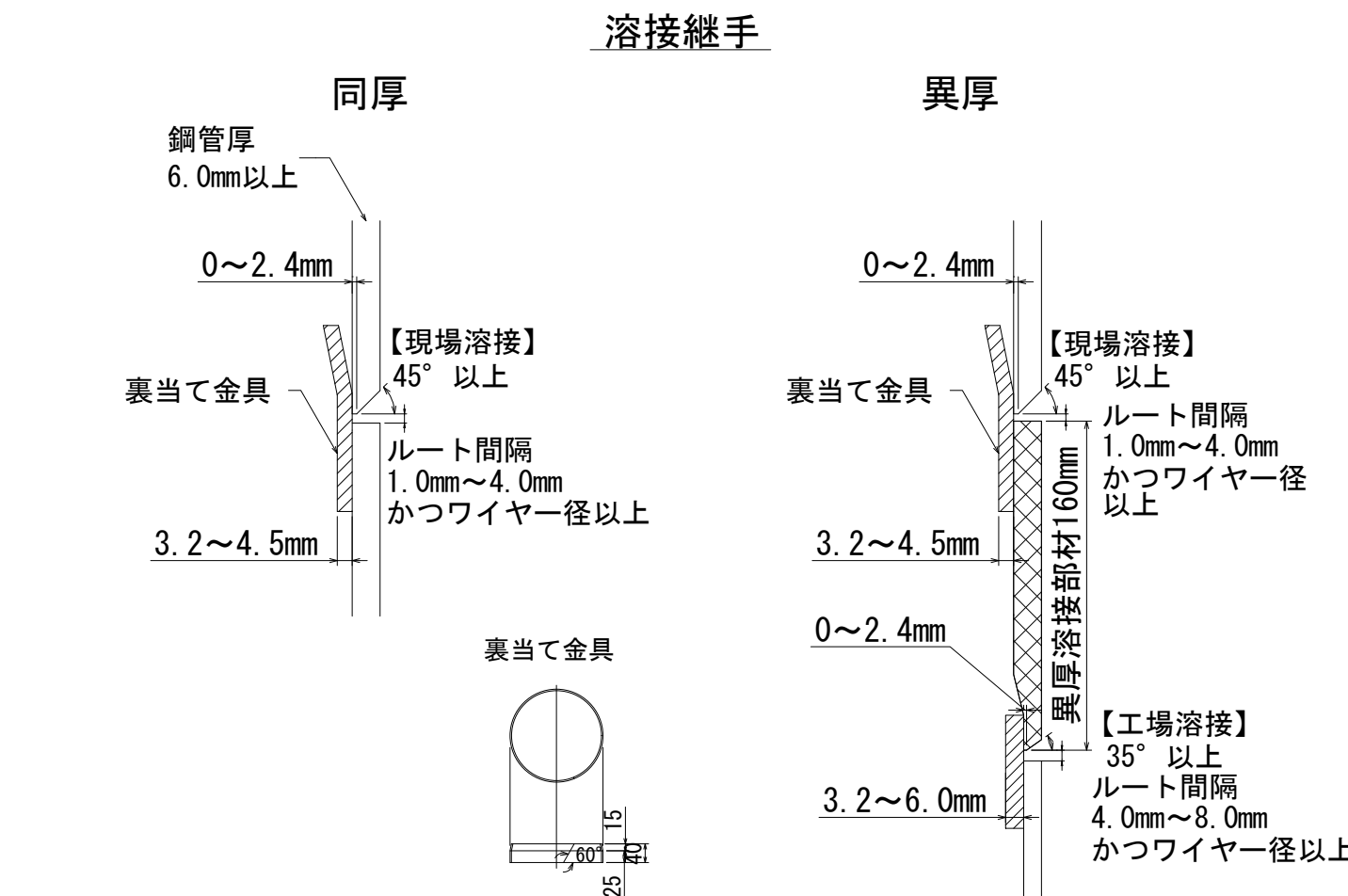


【杭頭接合例】



※杭頭接合部の設計は、認定書・評定書の中で規定されていませんので、設計者の判断に委ねられています。

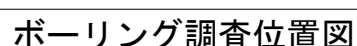
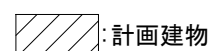
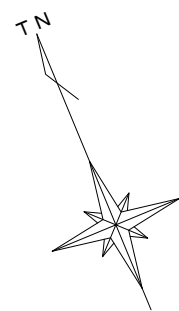
【継手接続例】



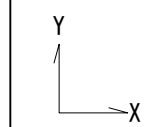
注)・杭施工後杭芯位置を測定し、杭頭補強筋を含め、鉄筋納まり図を作成すること。

杭頭補強筋リスト

杭頭補強要領



特記なき限り下記による。
1) 捨てコンt=50、砂利t=60



- ・杭施工後杭芯位置を測定し、杭頭補強筋を含め、鉄筋納まり図を作成すること。

$$\frac{\nabla \text{孔口} = 1\text{FL}-330}{\Delta \text{設計GL} = 1\text{FL}-350}$$

▽杭頭=設計GL-1400
△フーチング下端=設計GL-1600

▽杭先端=設計GL-11400

工 事 名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	杭・基礎リスト		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1 : 30 (A1) 1 : 60 (A3)	図面番号	S-102
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

特記なき限り下記による 1) 鋼材はBGR295 2) コンクリートFc24 3) 鉄筋材質 D19以上 : SD345、D16以下 : SD295		
符号	C1	
3 階	□-250x250x9	
2 階	□-250x250x9	
1 階	□-250x250x9	
柱脚部	露出柱脚 	
	ハイペースNE0 EB250-4-24	
RC柱型		
	主筋: 12-D19 H00P: D13@100	

符号	FG1	FG11	FCG1	
位置	全断面	全断面	全断面	
断面				
上端筋	2/2-D22	3/2-D22	3/2-D22	
下端筋	2/2-D22	3/2-D22	3/2-D22	
STP	D13#200	D13#200	D13#200	
腹筋	8-D13	8-D13	4-D13	

(a) 両側スラブ付きの場合

(b) (片側スラブ付きの場合)

□ 型スターラップ

基礎梁幅 B

20d

補強筋

[illegible]

特記なき限り下記による。

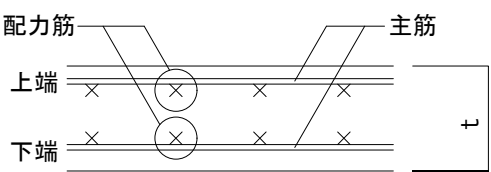
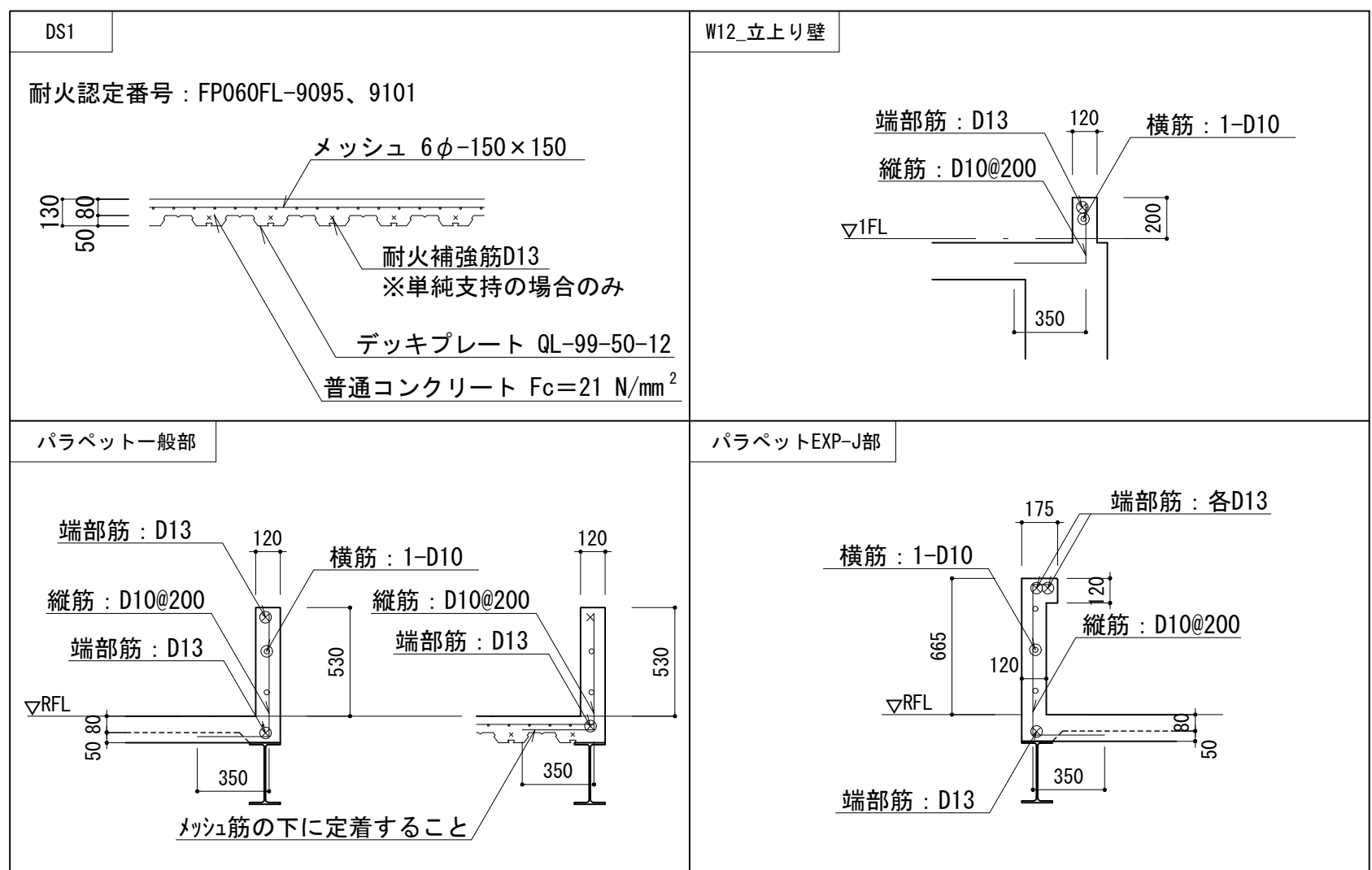
1) 鋼材材質SM400B 2) 高力ボルトS10T 3) 継手はSCSSH97による。

J1	部材：H-300x150x6.5x9		J2	部材：H-250x125x6x9	
F. SPL	外側：SPL-9x150xZ90 内側：2SPL-9x60xZ90	2x2-M16	F. SPL	外側：SPL-12x125x410 —	3x2-M16
W. SPL	2SPL-6x200x170	3x1-M16	W. SPL	2SPL-6x170xZ90	2x2-M16
備考	フランジ g1=90 P=60 ㌖P=60		備考	フランジ g1=75 P=60 ㌖P=90	
凡例					

特記なき限り下記による。

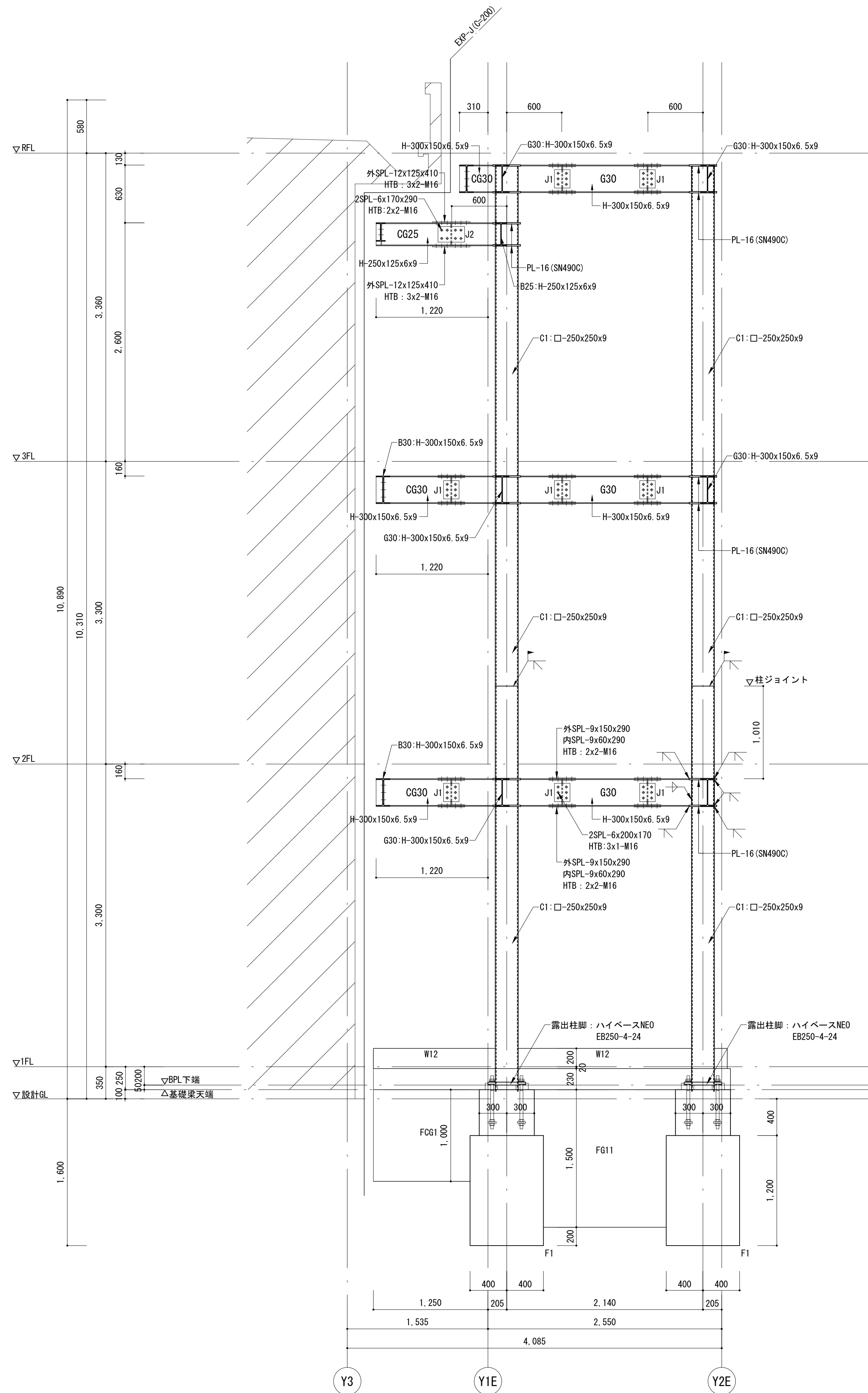
1) コンクリート Fe24 3) 鉄筋材質 D19以上：SD345、D16以下：SD295

符号	スラブ厚さ(t)	位置	主筋方向の配筋	配筋方向の
			端部・中央	端部・中央
S1	180	上端	D13φ200	D10φ200
		下端	D10φ200	D10φ200
S2	250	上端	D13φ200	D13φ200
		下端	D13φ200	D13φ200
CS1	180	上端	D13φ200	D10φ200
		下端	D10φ200	D10φ200
土間	150	シングル	D10φ200	D10φ200



工事名	松戸市立東部小学校工区エレベーター設置工事		
図面名	柱・基礎梁・スラブ・鉄骨部材リスト		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮 尺	1 : 30 (A1) 1 : 60 (A3)	図面番号	S-103
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

構造設計者
須田 諭史
一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号



X1E通り鉄骨詳細図 S=1:30

構造設計者
須田 諭史
一級建築士 大臣登録 第341604号
構造設計一級建築士 第9472号

工事名	松戸市立東部小学校エレベーター設置工事		
図面名	鉄骨詳細図		
作成年月日	令和8年3月13日	変更年月日	—
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	図面番号	S-104
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2311-247 号 鈴木 泰久 一級建築士 大臣登録 第 233260 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 松戸市立東部小学校エレベーター設置工事

2. 工事場所 松戸市高塚新田382番地の1

3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 9年12月24日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備 考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	■ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	■ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	■ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	■ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバー工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	■ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	■ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	■ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	■ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	■ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	■ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□ 17 部分使用		
	■ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
	■ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

1. 工事名称 松戸市立東部小学校エレベーター設置工事

2. 工事場所 松戸市高塚新田382番地の1

3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 9年12月24日 まで

4. CADデータの貸与 ☒有 ☐無

※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。

※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。

※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。

※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） <div style="text-align: right;">【契約後14日以内】</div>	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	☐ 電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） <div style="text-align: right;">【契約後14日以内】</div>	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 <div style="text-align: right;">【初回打合せ後速やかに】</div>	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など <div style="text-align: right;">【初回打合せ後速やかに】</div>	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	■発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■1 工事記録写真 ■2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳 写真帳	1 1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 ■1 建築物等の利用に関する説明書 ■2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □3 機器性能試験成績書 ■4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□5 総合試運転報告書 □6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	